

吹田市
健康に関する市民意識
アンケート調査 2019
結果報告書

令和2年3月

吹 田 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	3
1	一般市民対象調査	3
(1)	回答者属性	3
(2)	食生活等について	10
(3)	喫煙状況等について	32
(4)	日頃の運動の状況等について	39
(5)	心身の健康について	44
(6)	歯の健康等について	57
(7)	お酒を飲む機会等について	65
(8)	健診や医療機関の受診状況等について	68
2	保護者対象調査	86
(1)	回答者属性	86
(2)	食生活等について	89
(3)	喫煙状況等について	93
(4)	お子さんについて	98
(5)	お子さんの食事の状況について	99
(6)	日常生活の状況等について	111
(7)	生活習慣について	113
(8)	その他	117

Ⅲ 調査結果からみた課題.....	118
1 栄養・食生活.....	118
2 たばこ.....	119
3 運動・身体活動.....	120
4 休養・こころの健康.....	120
5 歯と口腔の健康.....	121
6 アルコール.....	122
7 健康管理.....	122
8 食を通じた豊かな人間形成.....	124
Ⅳ 調査票.....	125

I 調査の概要

1 調査の目的

健康増進に関する計画策定や評価、保健活動の基礎資料として、調査を実施しました。

2 調査対象

- (1) 一般市民対象調査：中学卒業以上の市民
- (2) 保護者対象調査：2歳以上中学生以下の子供の保護者

3 調査期間

令和元年（2019年）11月12日から令和元年12月3日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
一般	2,000通	927通	46.4%
保護者	1,000通	549通	54.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

集計中でのライフステージは下記の分類となっています。

調査種別	ライフステージ	対 象	図中表記
一般市民 対象調査	青年期	中学卒業から 24 歳までの市民	“青年期”
	成年期	25 歳から 39 歳までの市民	“成年期”
	中年期	40 歳から 64 歳までの市民	“中年期”
	高年期	65 歳以上の市民	“高年期”
保護者 対象調査	妊娠・乳幼児期	幼児(2 歳から就学前)の保護者	“幼児期保護者”
	学齢期 (小学生)	小学生とその保護者	“小学生保護者”
	学齢期 (小学 1 年～ 3 年)	小学 1 年生～ 3 年生の保護者	“小学生低学年保護者”
	学齢期 (小学 4 年～ 6 年)	小学 4 年生～ 6 年生の保護者	“小学生高学年保護者”
	学齢期 (中学生)	中学生とその保護者	“中学生保護者”

・一部、前回調査や大阪府・国実施調査との比較を行っている部分があります。

実施主体	実施調査	調査時期	図中表記
吹田市	健康に関する市民意識アンケート調査	平成 26 年度 (2014 年度)	“前回調査”
大阪府	本文中に記載	—	“府調査”
厚生労働省	国民健康・栄養調査	平成 29 年 (2017 年)	“国調査”

Ⅱ 調査結果

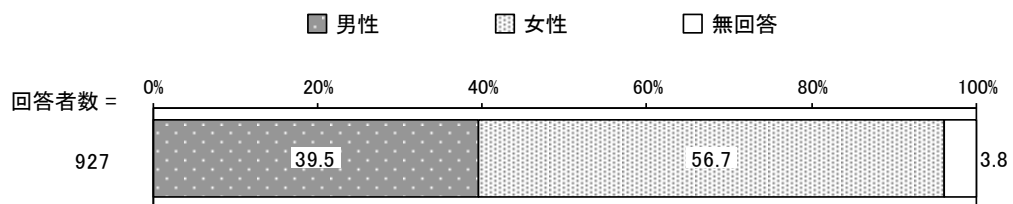
1 一般市民対象調査

(1) 回答者属性

問1 あなたの性別を教えてください。〈1つに○〉

「男性」の割合が39.5%、「女性」の割合が56.7%となっています。

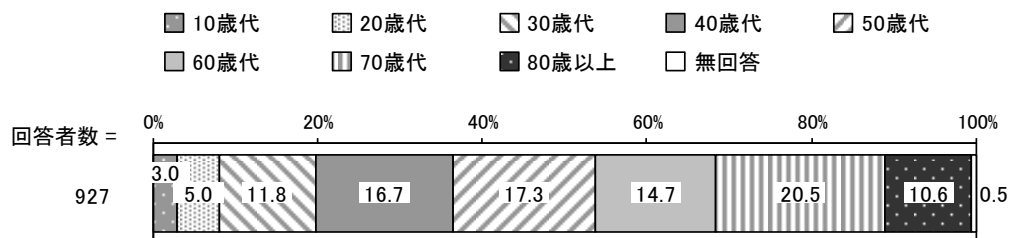
【図 1-1 性別】



問2 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。(10月1日現在でお答えください。)〈1つに○〉

「70歳代」の割合が20.5%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が17.3%、「40歳代」の割合が16.7%となっています。

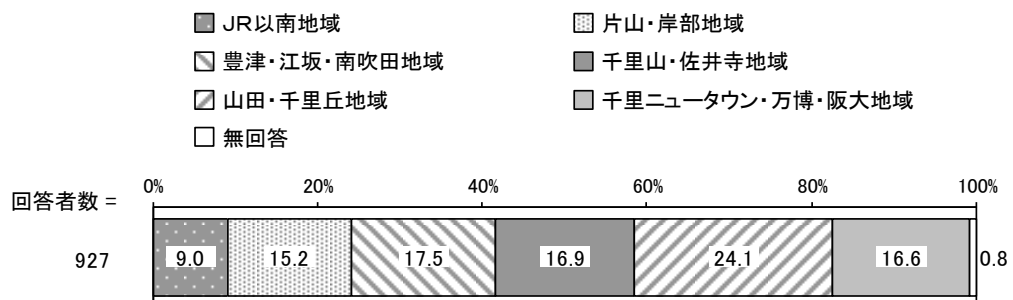
【図 1-2 年齢】



問3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。〈該当する地域1つに○〉

「山田・千里丘地域」の割合が24.1%と最も高く、次いで「豊津・江坂・南吹田地域」の割合が17.5%、「千里山・佐井寺地域」の割合が16.9%となっています。

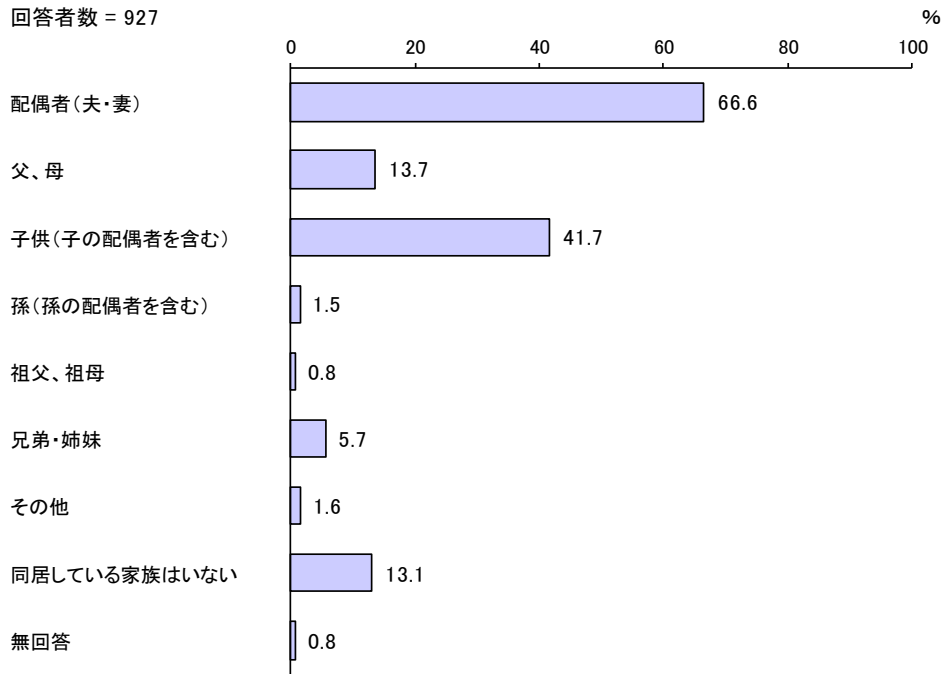
【図 1-3 居住地域】



問4 現在、同居している家族はどなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉 ※あなたからみた続柄でお答えください。(義理関係含む)

「配偶者(夫・妻)」の割合が66.6%と最も高く、次いで「子供(子の配偶者を含む)」の割合が41.7%、「父、母」の割合が13.7%となっています。

【図1-4 家族構成】

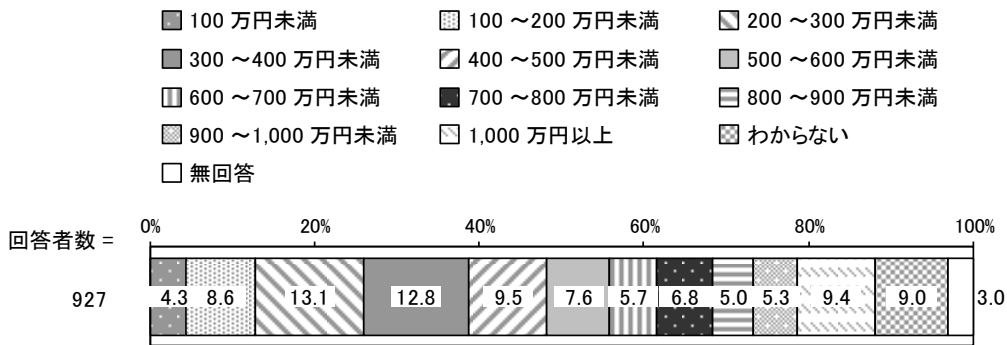


問5 あなたの世帯全体の年間の収入は次のどれにあてはまりますか。〈1つに○〉

「200～300万円未満」の割合が13.1%と最も高く、次いで「300～400万円未満」の割合が12.8%となっています。

また、「200万円未満」の割合が12.9%、「200～400万円未満」の割合が25.9%、「400～600万円未満」の割合が17.1%、「600万円以上」の割合が32.2%となっています。

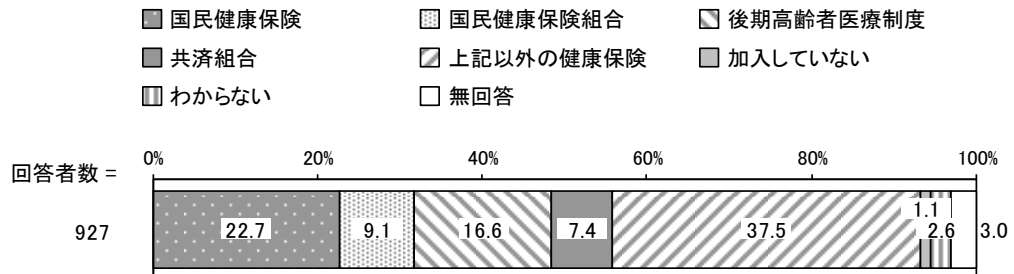
【図1-5 世帯年収】



問6 現在、あなたが加入している健康保険は何ですか。〈1つに○〉

「上記以外の健康保険（民間企業等）」の割合が37.5%と最も高く、次いで「国民健康保険（自営業等）」の割合が22.7%、「後期高齢者医療制度（主に75歳以上の方）」の割合が16.6%となっています。

【図1-6 健康保険の種類】

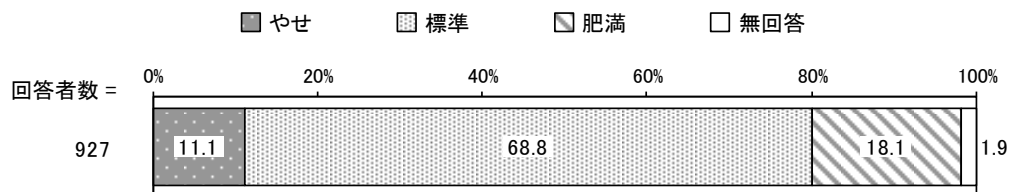


問7 あなたの身長と体重をお答えください。
 (※よくわからない場合はおおよそで結構です。)

BMI※

「標準」の割合が68.8%と最も高く、次いで「肥満」の割合が18.1%、「やせ」の割合が11.1%となっています。

【図1-7 BMI】



※BMI (Body mass index)

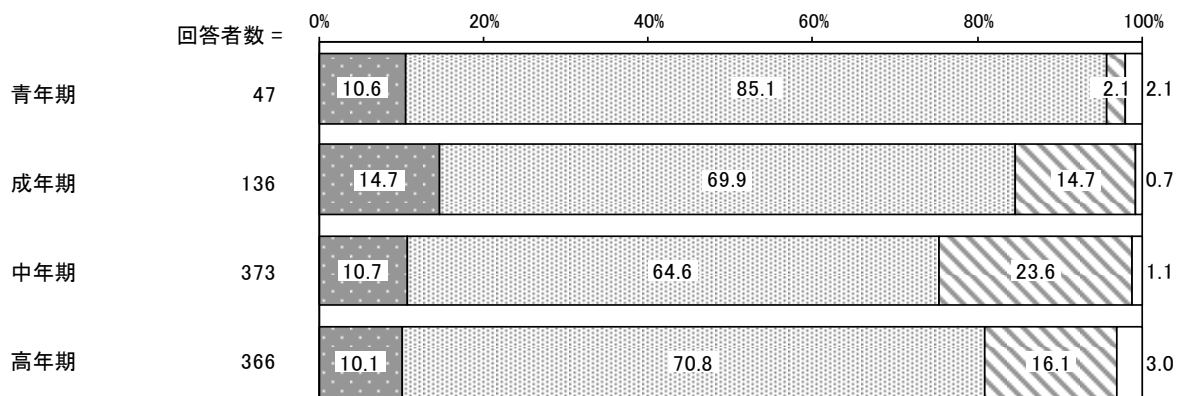
- ・身長と体重から算出される肥満の度合いを判定する数値
 - ・身長・体重からBMIを算出し分類
- <計算式> 体重[kg]÷(身長[m]×身長[m])

BMI	体格
18.5未満	やせ
18.5~25未満	標準
25以上	肥満

【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、青年期で「標準」の割合が、中年期で「肥満」の割合が高くなっています。

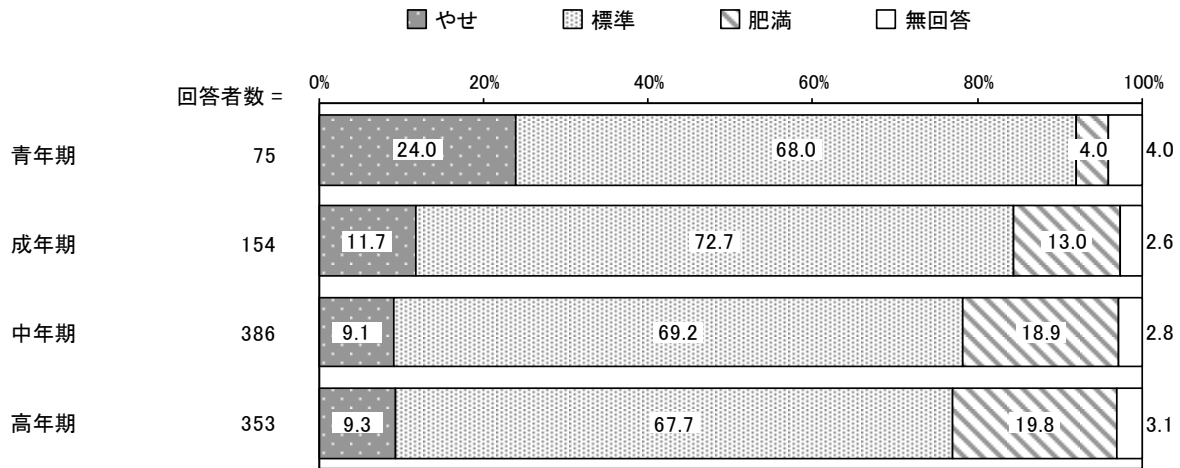
【図1-7-1 ライフステージ別 BMI】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期で「やせ」の割合が 13.4 ポイント減少し、「標準」の割合が 17.1 ポイント増加しています。

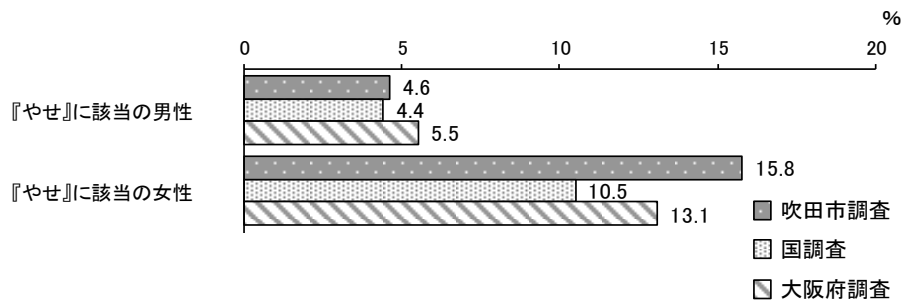
【図 1-7-2 ライフステージ別 BMI «前回調査»】



【国調査・大阪府調査※との比較（「やせ」に該当の人の割合）】

「やせ」に該当の人の割合を国や大阪府の調査と比較すると、「やせ」に該当している女性の割合が国より 5.3 ポイント、大阪府より 2.7 ポイント高くなっています。

【図 1-7-3 BMI 判定«国調査・大阪府調査との比較»（「やせ」に該当の人の割合）】

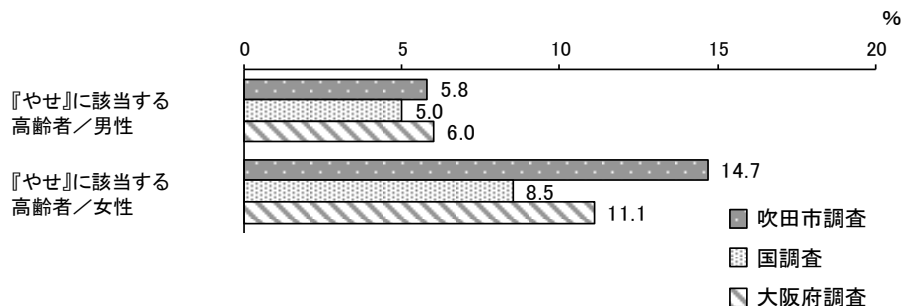


※平成 27 年度大阪版健康・栄養調査

【国調査・大阪府調査※との比較（「やせ」に該当する高齢者の割合）】

「やせ」に該当する高齢者を国や大阪府の調査と比較すると、「やせ」に該当している女性の割合が国より 6.2 ポイント、大阪府より 3.6 ポイント高くなっています。

【図 1-7-4 BMI 判定«国調査・大阪府調査との比較»（「やせ」に該当する高齢者の割合）】

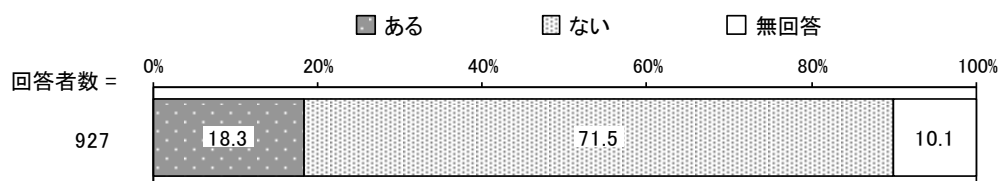


※平成 27 年度大阪版健康・栄養調査

問8 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響はありますか？ <1つに○>

「ある」の割合が18.3%、「ない」の割合が71.5%となっています。

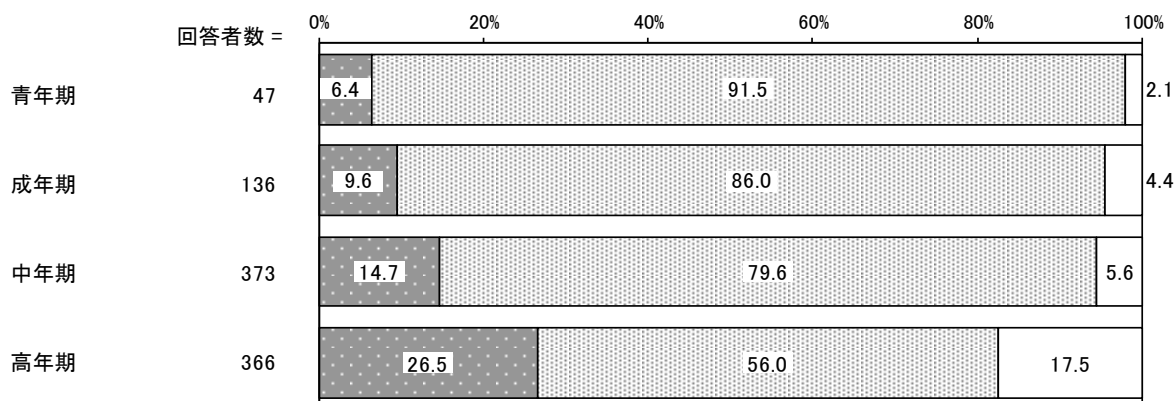
【図 1-8 日常生活における健康上の問題による影響の有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「ある」の割合が高くなっています。

【図 1-8-1 ライフステージ別 日常生活における健康上の問題による影響の有無】

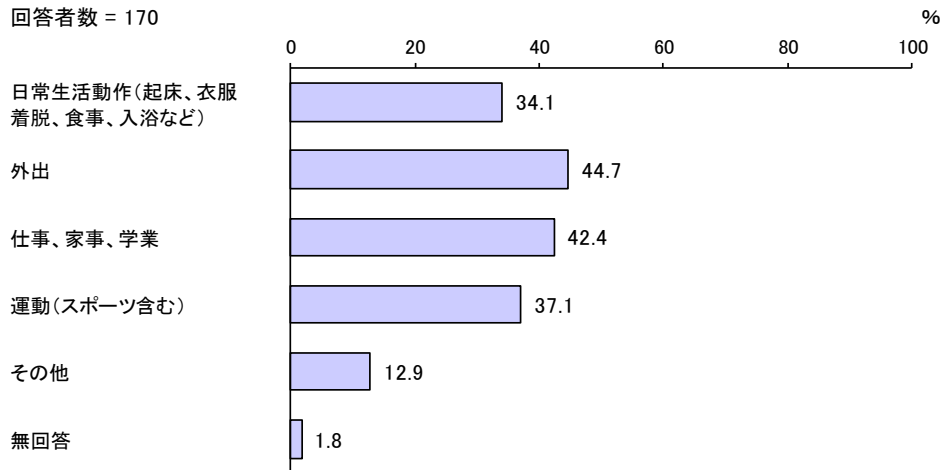


問8-1 問8で「1 ある」と回答した人にお聞きします。

それはどのようなことに影響がありますか。〈あてはまるものすべてに○〉

「外出」の割合が44.7%と最も高く、次いで「仕事、家事、学業」の割合が42.4%、「運動（スポーツ含む）」の割合が37.1%となっています。

【図 1-9 日常生活における健康上の問題による影響】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、成年期で「仕事、家事、学業」の割合が高くなっています。また、高年期で「外出」の割合が高くなっています。

【図 1-9-1 ライフステージ別 日常生活における健康上の問題による影響】

単位：%

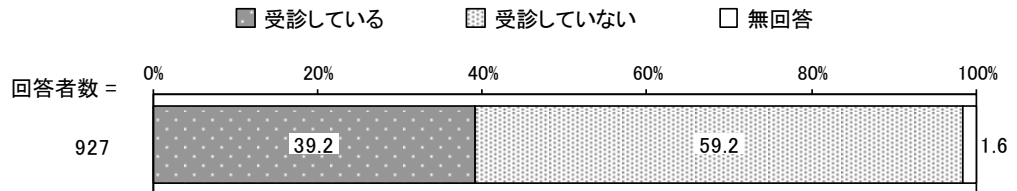
区分	回答者数(件)	日常生活動作 (起床、衣服着脱、 食事、入浴など)	外出	仕事、 家事、 学業	運動(スポーツ含む)	その他	無回答
青年期	3	-	66.7	66.7	-	-	-
成年期	13	15.4	30.8	84.6	30.8	7.7	-
中年期	55	25.5	29.1	49.1	38.2	14.5	-
高年期	97	42.3	54.6	32.0	38.1	13.4	3.1

問9 すべての方にお聞きします。

あなたは現在、生活習慣病の治療（通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む）のため、定期的に医療機関を受診していますか。〈1つに○〉

「受診している」の割合が39.2%、「受診していない」の割合が59.2%となっています。

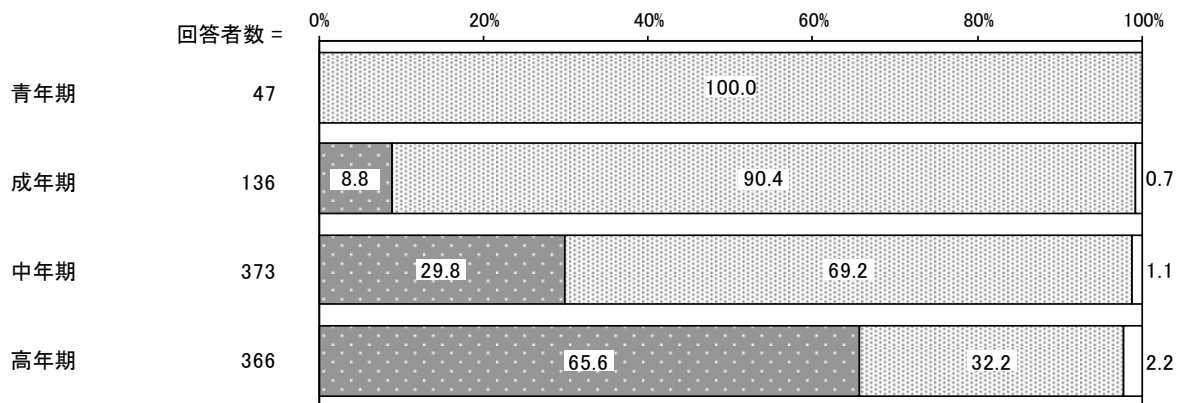
【図 1-10 生活習慣病治療のための定期的な医療機関の受診状況】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「受診している」の割合が高くなっています。

【図 1-10-1 ライフステージ別 生活習慣病治療のための定期的な医療機関の受診状況】

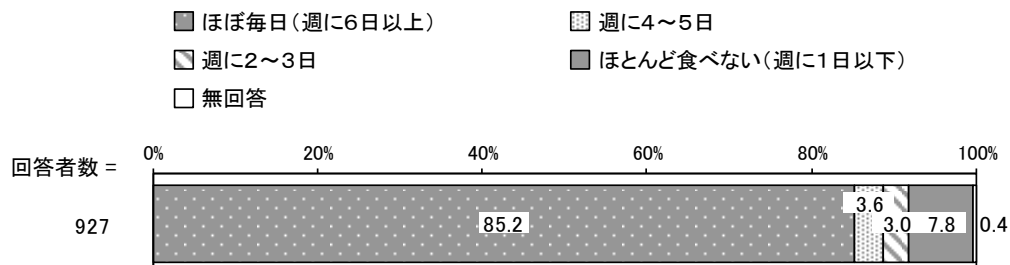


(2) 食生活等について

問 10 あなたは、ふだん朝食を食べていますか。〈1つに○〉

「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が85.2%と最も高くなっています。

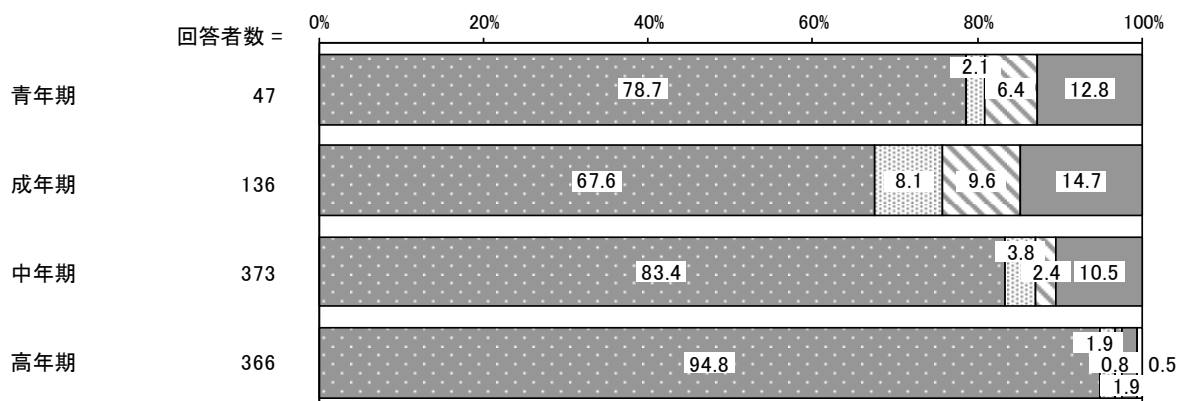
【図 2-1 朝食を食べる頻度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、成年期で「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が低く、「ほとんど食べない（週に1日以下）」の割合が高くなっています。また、高年期で「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が高くなっています。

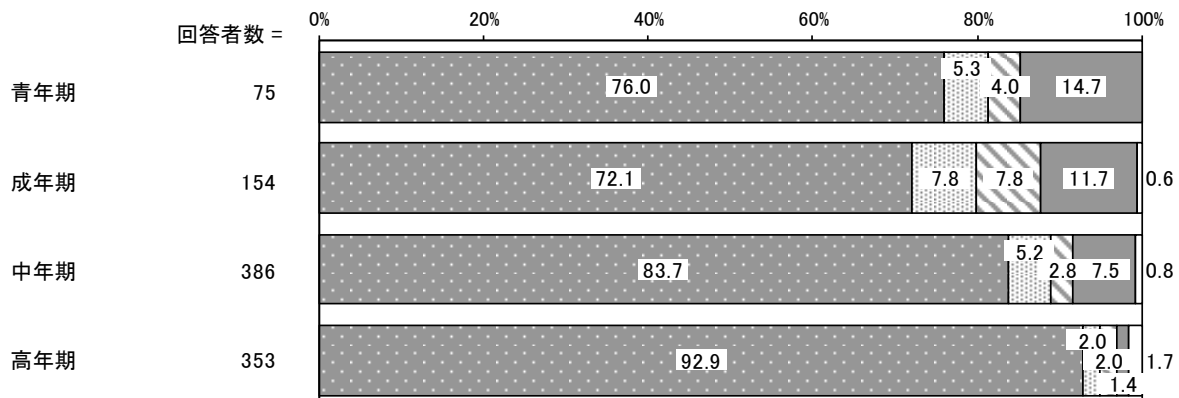
【図 2-1-1 ライフステージ別 朝食を食べる頻度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

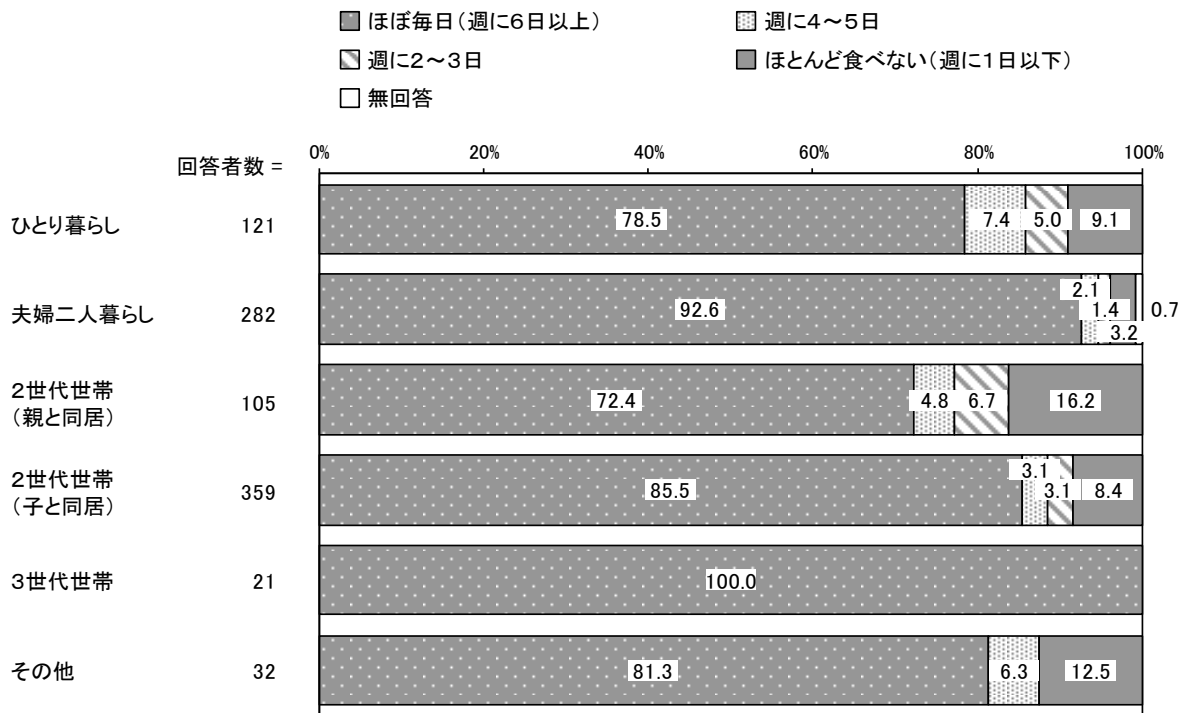
【図 2-1-2 ライフステージ別 朝食を食べる頻度〈前回調査〉】



【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、3世代世帯で「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が高くなっています。また、2世代世帯（親と同居）で「ほとんど食べない（週に1日以下）」の割合が高くなっています。

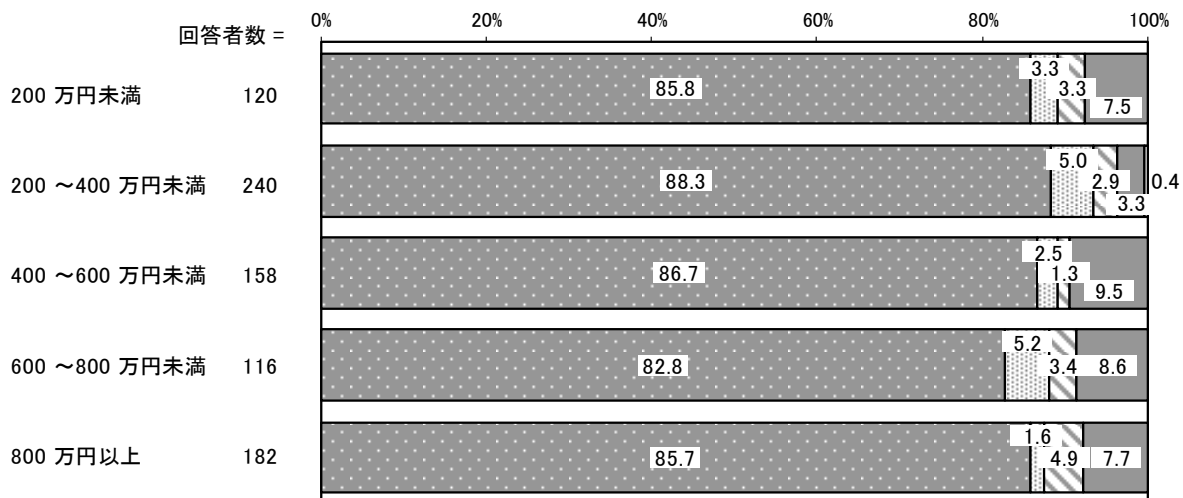
【図 2-1-3 世帯構成別 朝食を食べる頻度】



【世帯収入別】

世帯収入別で見ると、大きな差異はみられません。

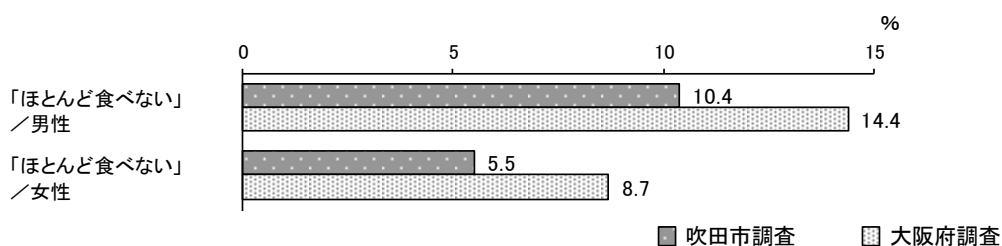
【図 2-1-4 世帯収入別 朝食を食べる頻度】



【大阪府調査※との比較（朝食欠食率）】

朝食欠食率を大阪府調査と比較すると、大阪府調査に比べ、男性で4.0ポイント、女性で3.2ポイント低くなっています。

【図 2-1-5 性別 朝食を食べる頻度「ほとんど食べない」《大阪府調査との比較》】



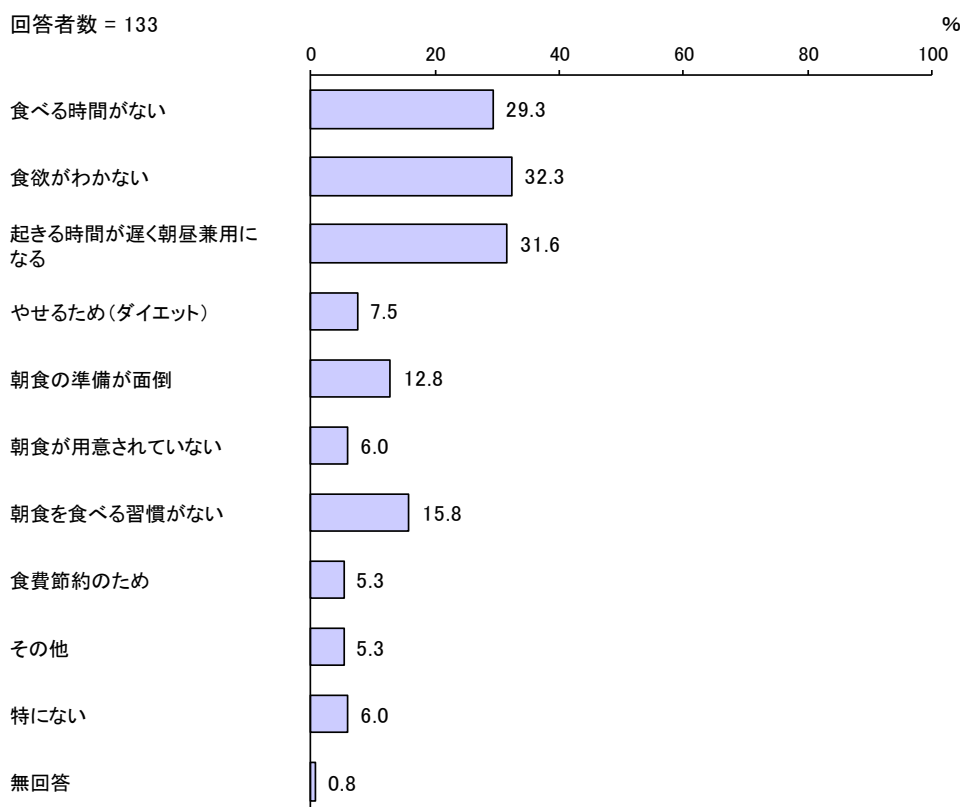
※平成 27 年度大阪版健康・栄養調査

問 10-1 問 10 で「2 週に 4～5 日」「3 週に 2～3 日」「4 ほとんど食べない（週に 1 日以下）」と回答した人にお聞きします。

あなたが朝食を食べない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

「食欲がわからない」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「起きる時間が遅く朝昼兼用になる」の割合が 31.6%、「食べる時間がない」の割合が 29.3%となっています。

【図 2-2 朝食を食べない理由】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、青年期で「食べる時間がない」「朝食が用意されていない」の割合が高くなっています。また、成年期、中年期で「食欲がわからない」「朝食を食べる習慣がない」の割合が、高年期で「起きる時間が遅く朝昼兼用になる」の割合が高くなっています。

【図 2-2-1 ライフステージ別 朝食を食べない理由】

単位：%

区分	回答者数(件)	食べる時間がない	食欲がわからない	起きる時間が遅く朝昼兼用になる	やせるため(ダイエット)	朝食の準備が面倒	朝食が用意されていない	朝食を食べる習慣がない	食費節約のため	その他	特にない	無回答
青年期	10	50.0	30.0	30.0	10.0	10.0	20.0	-	-	-	10.0	-
成年期	44	31.8	36.4	36.4	4.5	13.6	2.3	18.2	6.8	2.3	-	-
中年期	62	32.3	37.1	19.4	9.7	14.5	6.5	19.4	6.5	9.7	8.1	-
高年期	17	-	5.9	64.7	5.9	5.9	5.9	5.9	-	-	11.8	5.9

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、夫婦二人暮らしで「食欲がわからない」の割合が、ひとり暮らし、2世代世帯(親と同居)で「起きる時間が遅く朝昼兼用になる」の割合が高くなっています。また、ひとり暮らしで「朝食が用意されていない」の割合が高くなっています。

【図 2-2-2 世帯構成別 朝食を食べない理由】

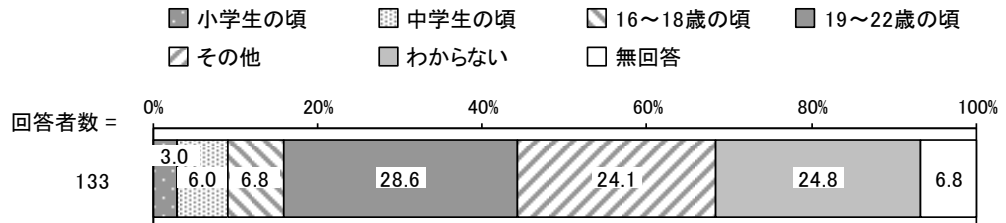
単位：%

区分	回答者数(件)	食べる時間がない	食欲がわからない	起きる時間が遅く朝昼兼用になる	やせるため(ダイエット)	朝食の準備が面倒	朝食が用意されていない	朝食を食べる習慣がない	食費節約のため	その他	特にない	無回答
ひとり暮らし	26	23.1	26.9	42.3	3.8	15.4	19.2	7.7	11.5	-	7.7	-
夫婦二人暮らし	19	10.5	42.1	36.8	10.5	10.5	-	10.5	-	15.8	5.3	-
2世代世帯(親と同居)	29	37.9	27.6	44.8	10.3	13.8	6.9	13.8	3.4	3.4	3.4	-
2世代世帯(子と同居)	52	36.5	36.5	17.3	7.7	11.5	1.9	25.0	3.8	5.8	5.8	-
3世代世帯	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	6	16.7	16.7	33.3	-	16.7	-	-	16.7	-	-	16.7

問 10-2 問 10で「2 週に4～5日」「3 週に2～3日」「4 ほとんど食べない (週に1日以下)」と回答した人にお聞きします。
いつ頃から朝食を食べないことになりましたか。〈1つに○〉

「19～22歳の頃」の割合が28.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が24.8%となっています。

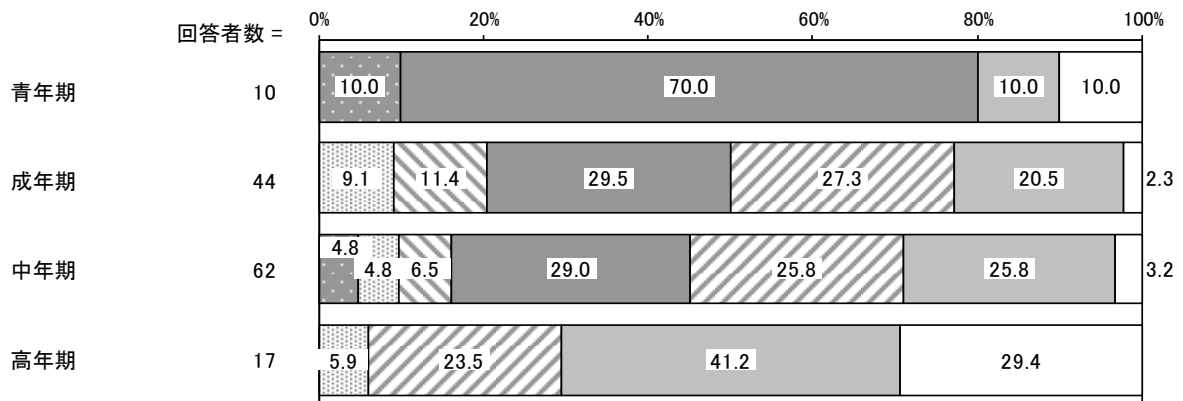
【図 2-3 朝食を食べなくなった時期】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、青年期で「19～22歳の頃」の割合が高くなっています。

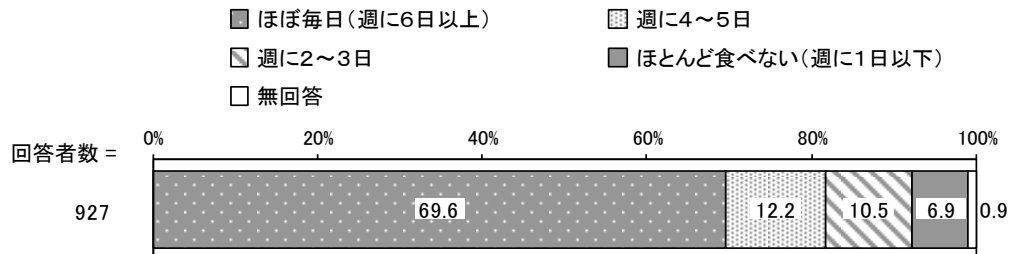
【図 2-3-1 ライフステージ別 朝食を食べなくなった時期】



問 11 あなたは、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べていますか。

「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が69.6%と最も高く、次いで「週に4～5日」の割合が12.2%、「週に2～3日」の割合が10.5%となっています。

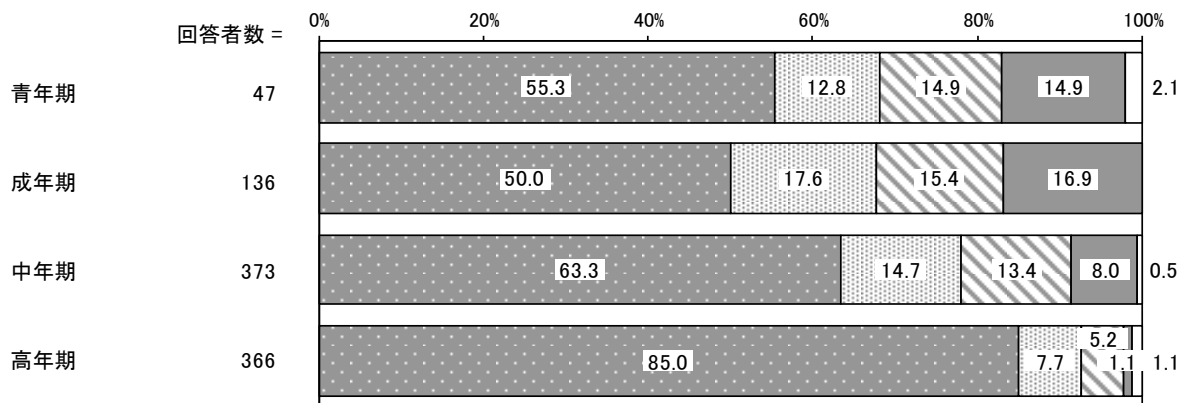
【図 2-4 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、年代が高くなるにつれ「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が高くなる傾向がみられます。また、青年期、成年期で「ほとんど食べない（週に1日以下）」の割合が高くなっています。

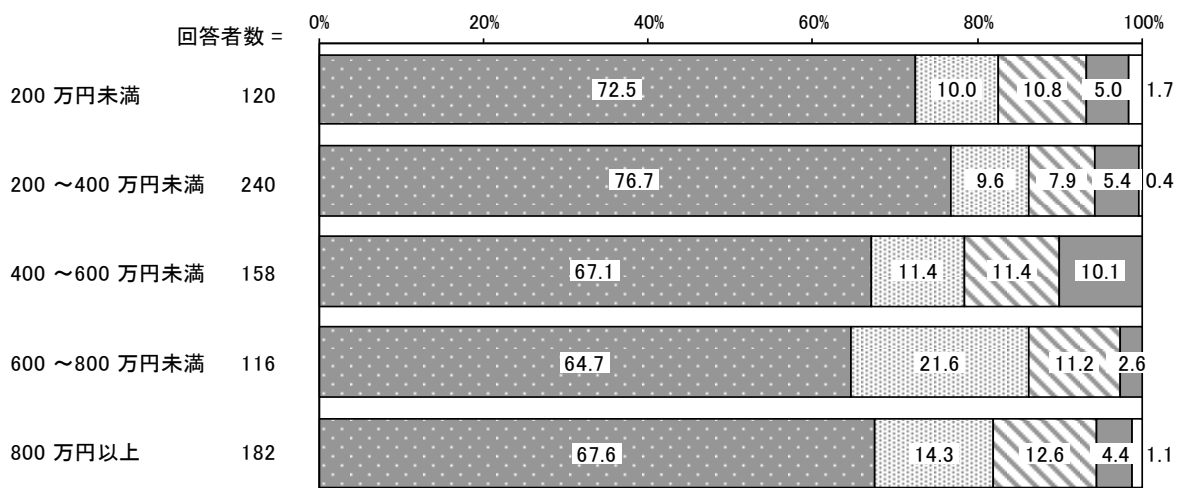
【図 2-4-1 ライフステージ別 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度】



【世帯収入別】

世帯収入別で見ると、他に比べ、200万円未満、200～400万円未満で「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が高くなっています。また、600～800万円未満で「週に4～5日」の割合が高くなっています。

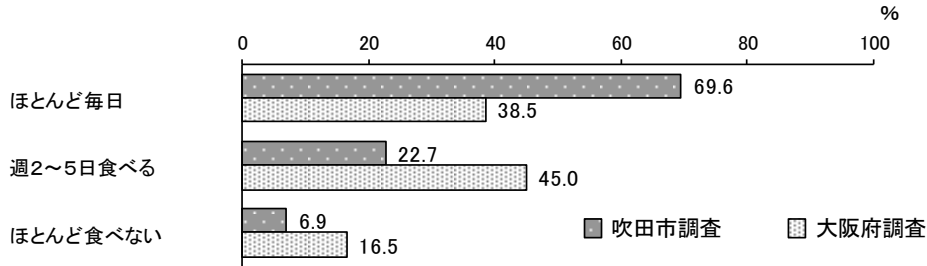
【図 2-4-2 世帯収入別 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度】



【大阪府調査^{※1}との比較（1日2回以上の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事）】

1日2回以上の主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の摂取率を大阪府調査と比較すると、大阪府調査に比べ、「ほとんど毎日」が31.1ポイント高く、「週2～5日食べる^{※2}」が22.3ポイント、「ほとんど食べない」が9.6ポイント低くなっています。

【図 2-4-3 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の頻度《大阪府調査との比較》】



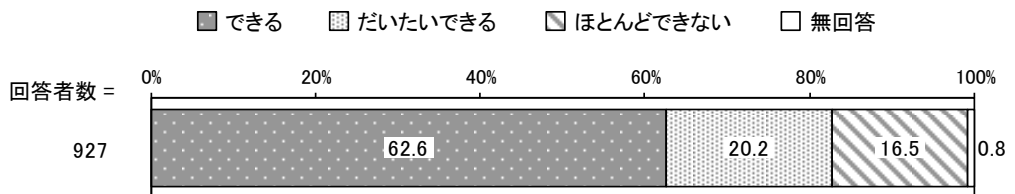
※1 平成27年度大阪府健康・栄養調査

※2 吹田市の「週2～5日食べる」は「週に4～5日」「週に2～3日」の合計です。

問 12 あなたは、食事の準備（調理等）をひとりでできますか。〈1つに○〉

「できる」の割合が62.6%と最も高く、次いで「だいたいできる」の割合が20.2%、「ほとんどできない」の割合が16.5%となっています。

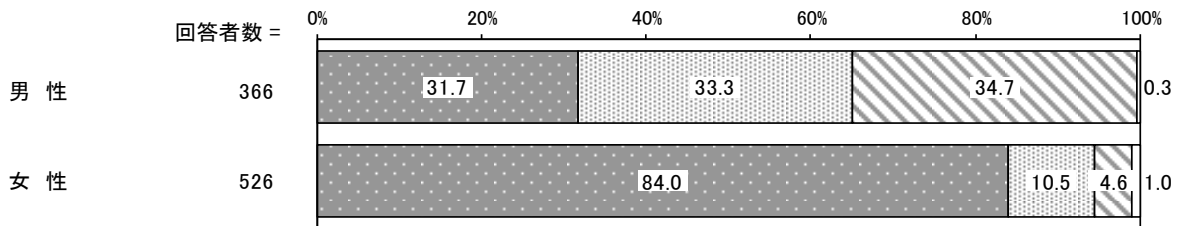
【図 2-5 食事の準備の可否】



【性別】

性別で見ると、女性に比べ、男性で「だいたいできる」「ほとんどできない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「できる」の割合が高くなっています。

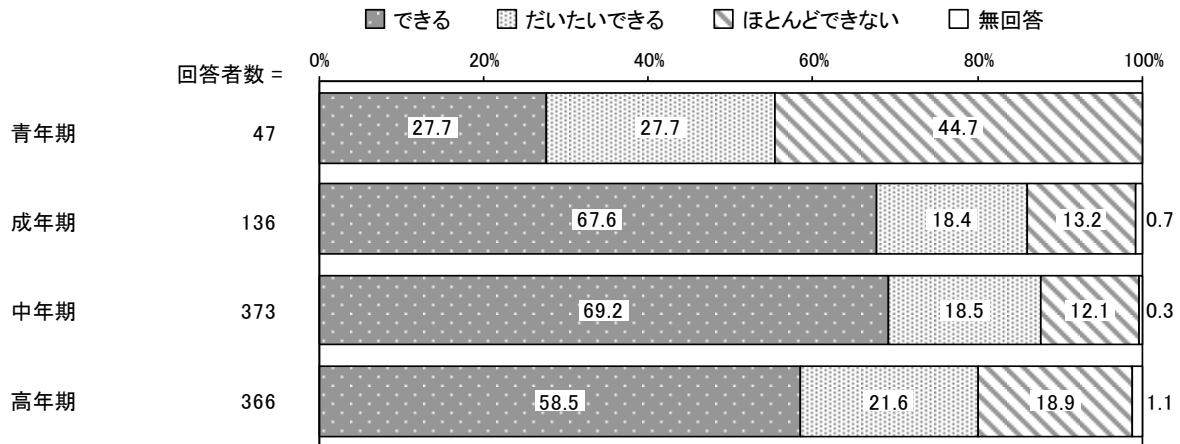
【図 2-5-1 性別 食事の準備の可否】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、成年期、中年期で「できる」の割合が高くなっています。また、青年期で「ほとんどできない」の割合が高くなっています。

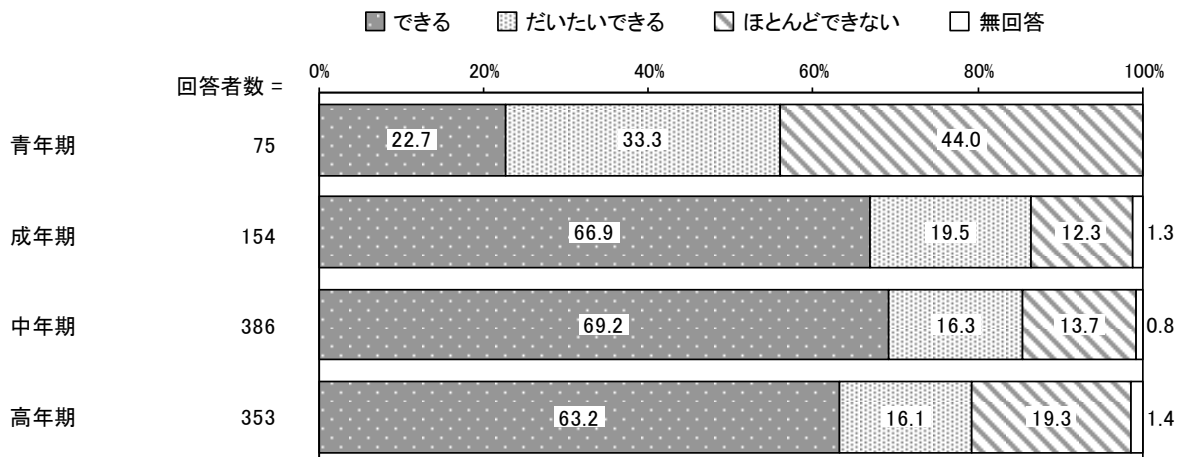
【図 2-5-2 ライフステージ別 食事の準備の可否】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期で「できる」の割合が 5.0 ポイント増加し、「だいたいできる」の割合が 5.6 ポイント減少しています。また、高年期で「だいたいできる」の割合が 5.5 ポイント増加しています。

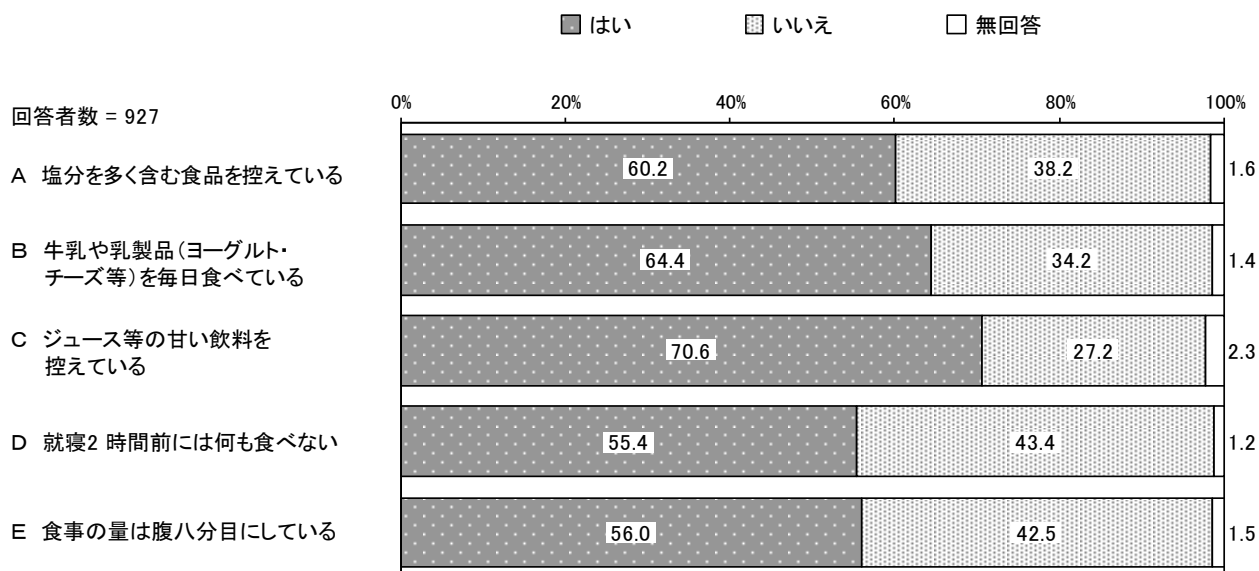
【図 2-5-3 ライフステージ別 食事の準備の可否<<前回調査>>】



問 13 日頃の食生活の状況について、以下の項目についてお答えください。
 <A～Eについて「はい」か「いいえ」に○>

「C ジュース等の甘い飲料を控えている」で「はい」の割合が高く、約7割となっています。
 「D 就寝2時間前には何も食べない」、「E 食事の量は腹八分目にしている」で「いいえ」の割合が高く、4割を超えています。

【図 2-6 日頃の食生活の状況】

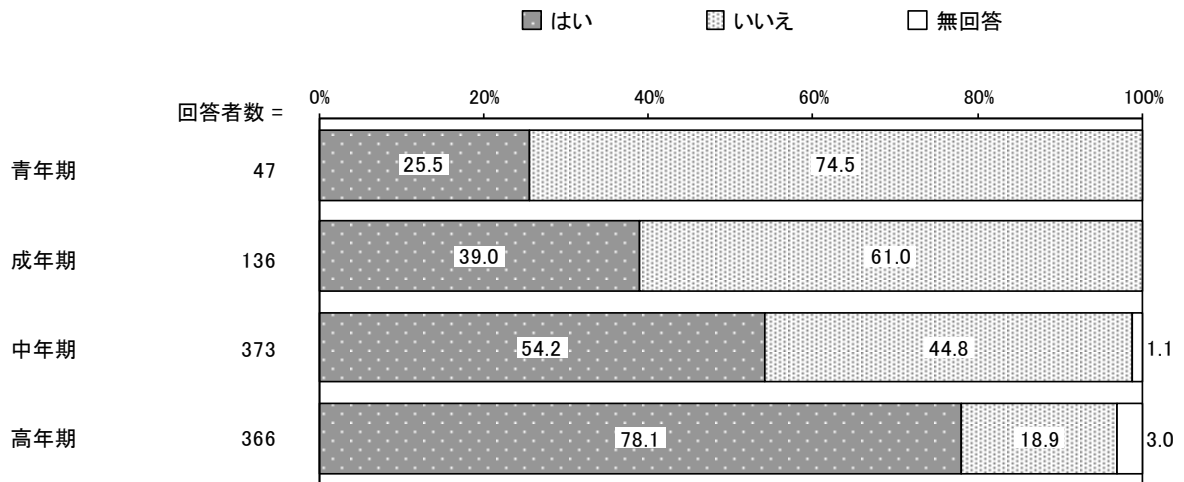


A 塩分を多く含む食品を控えている

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。

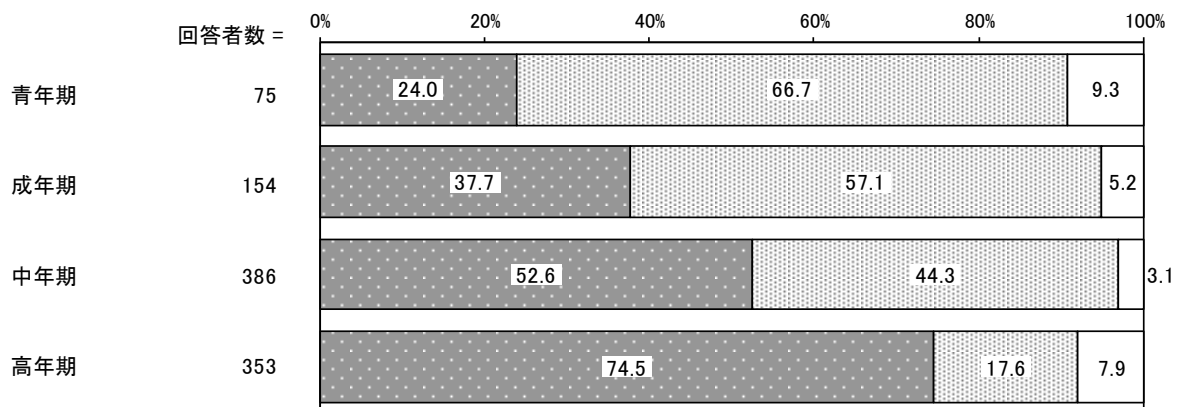
【図 2-6-1 ライフステージ別 日頃の食生活の状況『塩分を多く含む食品を控えている』】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期で「いいえ」の割合が 7.8 ポイント増加しています。

【図 2-6-2 ライフステージ別 日頃の食生活の状況『塩分を多く含む食品を控えている』《前回調査》】

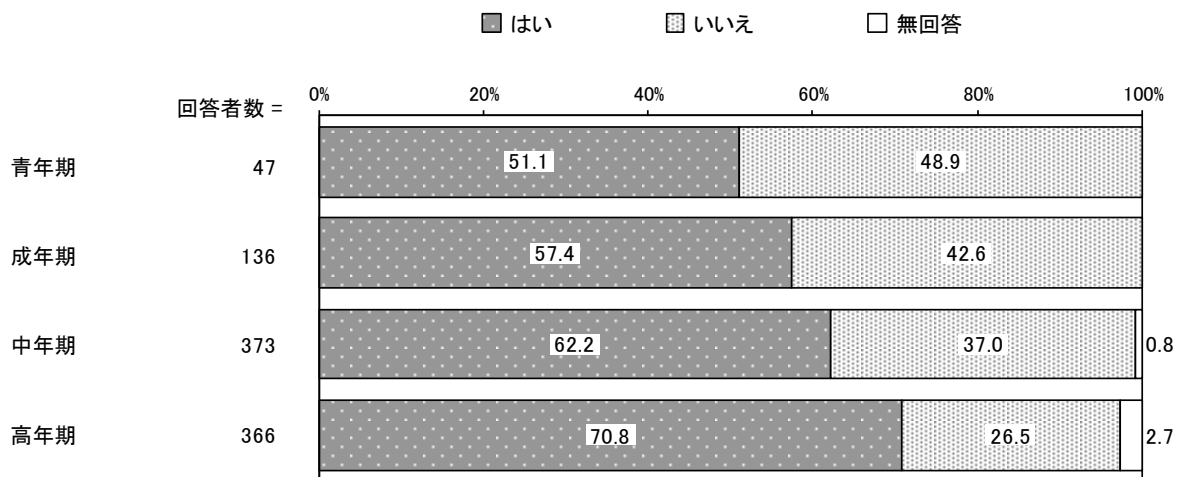


B 牛乳や乳製品（ヨーグルト・チーズ等）を毎日食べている

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。

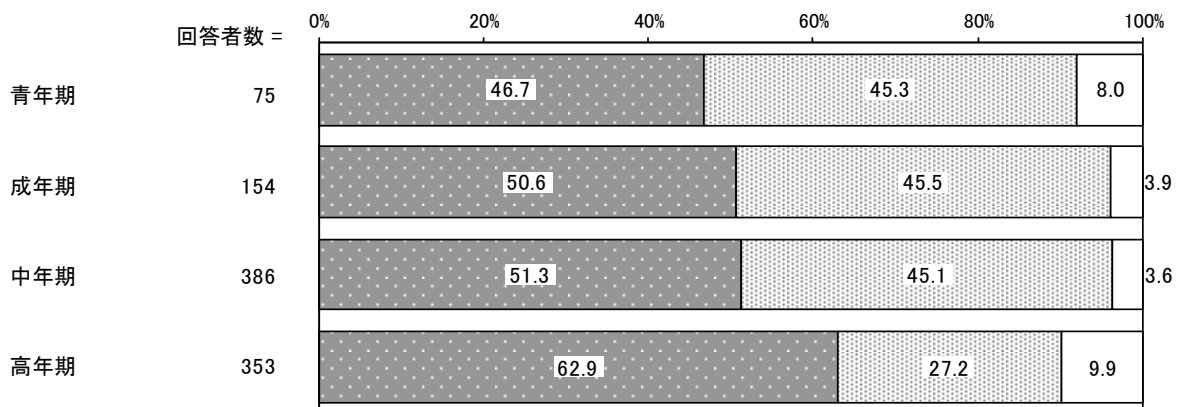
【図 2-6-3 ライフステージ別 日頃の食生活の状況『牛乳や乳製品（ヨーグルト・チーズ等）を毎日食べている』】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、中年期で「はい」の割合が 10.9 ポイント、高年期で「はい」の割合が 7.9 ポイント増加しています。また、中年期で「いいえ」の割合が 8.1 ポイント減少しています。

【図 2-6-4 ライフステージ別 日頃の食生活の状況『牛乳や乳製品（ヨーグルト・チーズ等）を毎日食べている』《前回調査》】

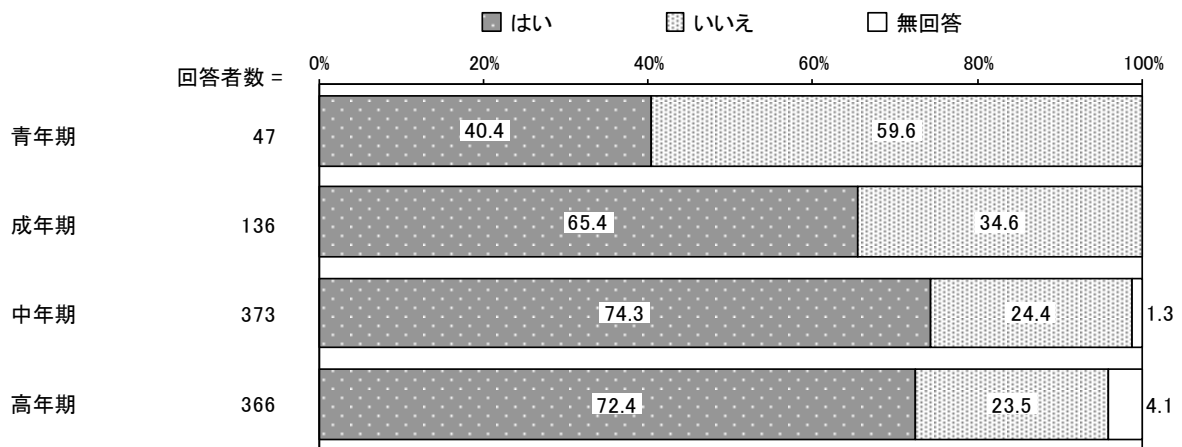


C ジュース等の甘い飲料を控えている

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、青年期で「いいえ」の割合が高くなっています。

【図 2-6-5 ライフステージ別 日頃の食生活の状況『ジュース等の甘い飲料を控えている』】

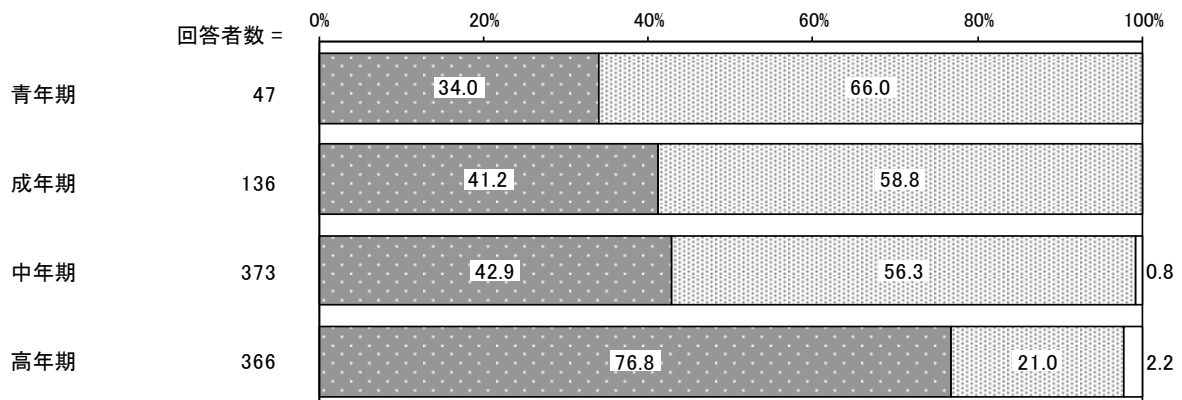


D 就寝 2 時間前には何も食べない

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、高年期で「はい」の割合が高くなっています。

【図 2-6-6 ライフステージ別 日頃の食生活の状況『就寝 2 時間前には何も食べない』】

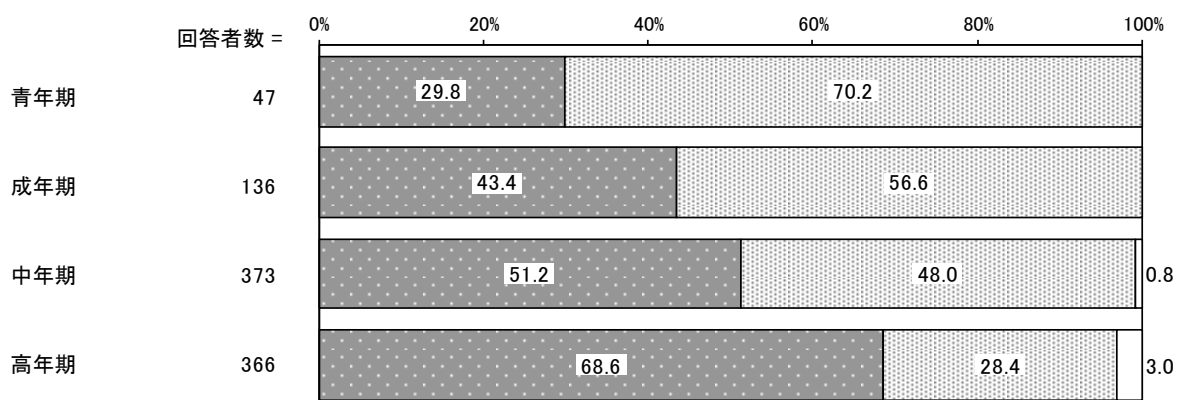


E 食事の量は腹八分目にしている

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。

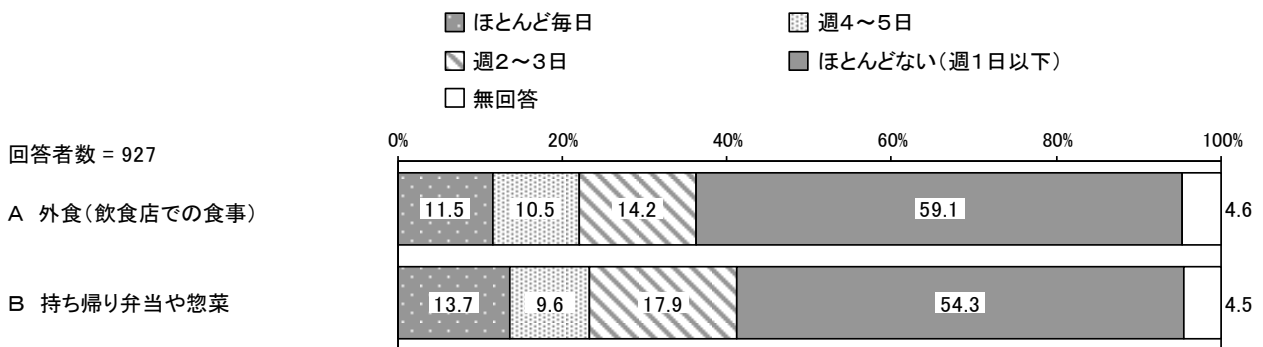
【図 2-6-7 ライフステージ別 日頃の食生活の状況『食事の量は腹八分目にしている』】



問 14 あなたは、外食及び持ち帰り弁当や惣菜はどのくらい利用しますか。〈A・Bについて「ほとんど毎日」「週4～5日」「週2～3日」「ほとんどない(週1日以下)」のいずれかに○〉

「A 外食(飲食店での食事)」、「B 持ち帰り弁当や惣菜」とともに「ほとんどない(週1日以下)」の割合が高く、5割を超えています。

【図 2-7 外食及び持ち帰り弁当や惣菜の利用頻度】

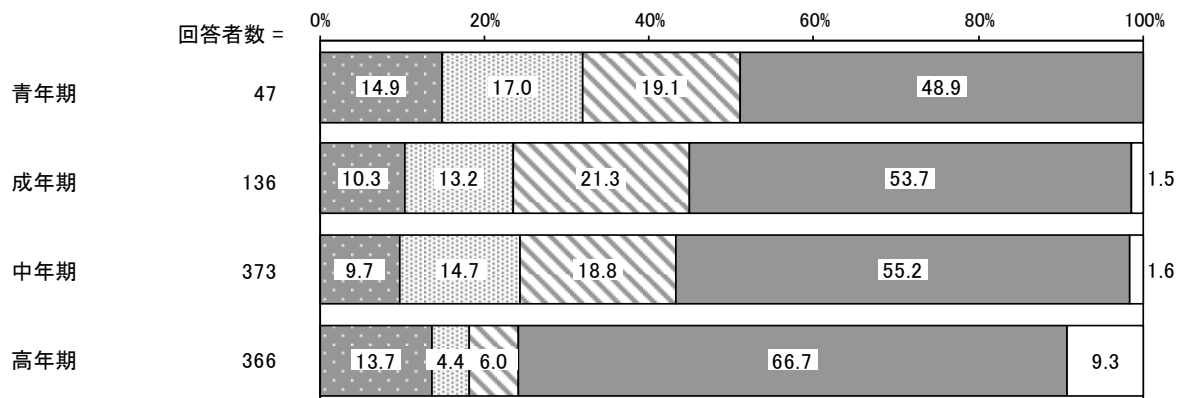


A 外食(飲食店での食事)

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「ほとんどない(週1日以下)」の割合が高くなっています。

【図 2-7-1 ライフステージ別 外食及び持ち帰り弁当や惣菜の利用頻度『外食(飲食店での食事)』】

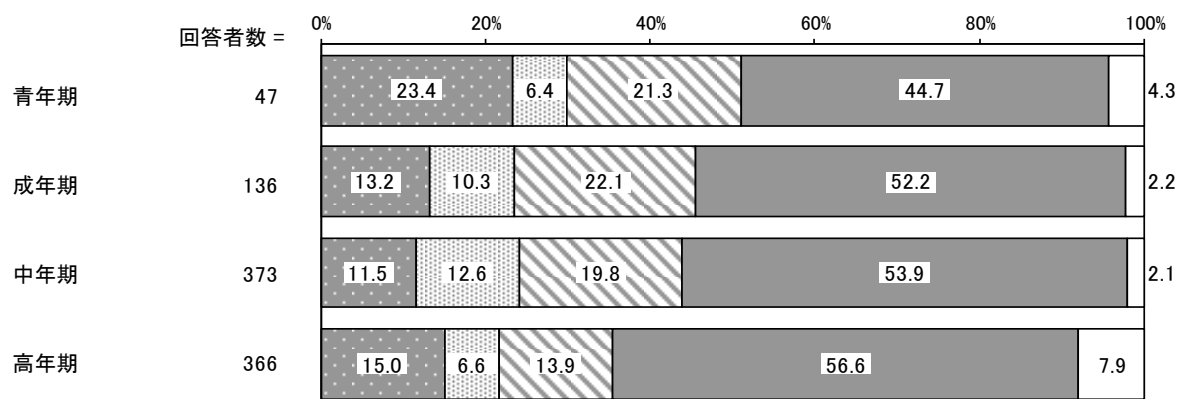


B 持ち帰り弁当や惣菜

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「ほとんどない(週1日以下)」の割合が高くなっています。また、他に比べ、青年期で「ほとんど毎日」の割合が高くなっています。

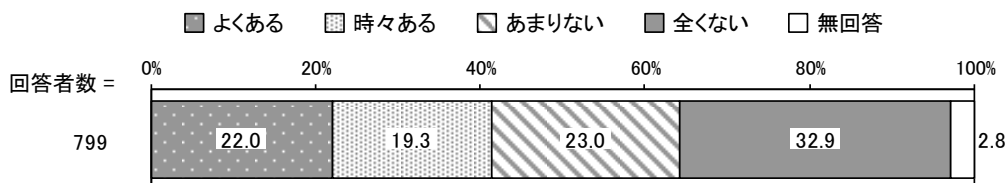
【図 2-7-2 ライフステージ別 外食及び持ち帰り弁当や惣菜の利用頻度『持ち帰り弁当や惣菜』】



問 15 家族等と同居されている方のみにお聞きします。
 あなたはふだん夕食をひとりで食べること（孤食）がどれくらいありますか。
 <1つに○>

「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”の割合が 41.3%、「あまりない」と「全くない」を合わせた“ない”の割合が 55.9%となっています。

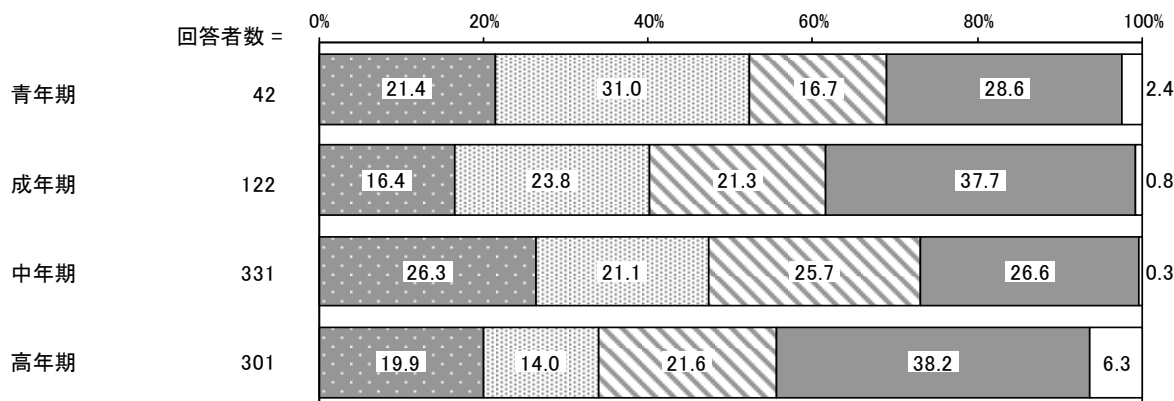
【図 2-8 孤食の頻度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、青年期で“ある”の割合が高くなっています。また、成年期、高年
 期で“ない”の割合が高くなっています。

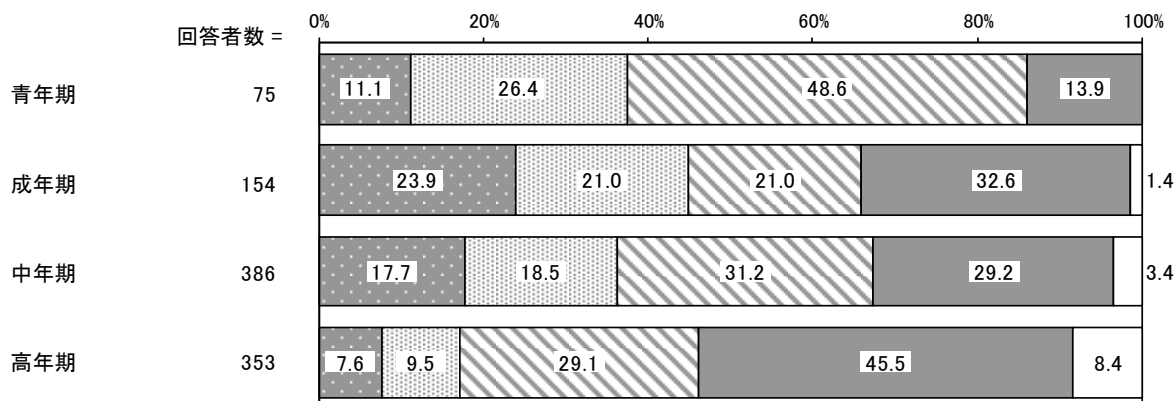
【図 2-8-1 ライフステージ別 孤食の頻度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期、中年期、高年期で「よくある」の割合が増加し、「あまりない」
 の割合が減少しています。特に、青年期では「あまりない」の割合が 31.9 ポイント減少し、「全
 くない」の割合が 14.7 ポイント増加しています。一方、成年期で「よくある」の割合が 7.5 ポ
 イント減少し、「全くない」の割合が 5.1 ポイント増加しています。

【図 2-8-2 ライフステージ別 孤食の頻度<前回調査>】

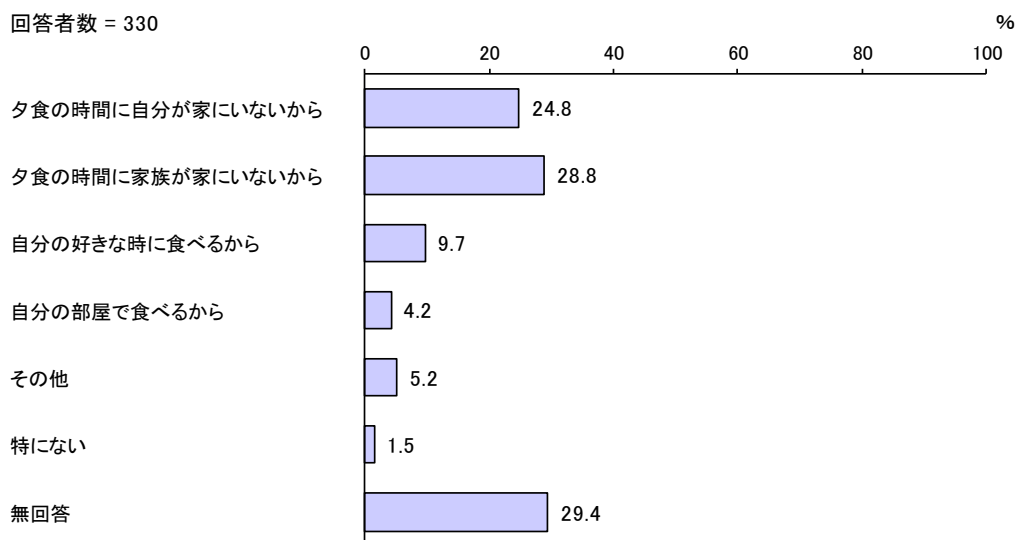


問 15-1 問 15 で「1 よくある」または「2 ときどきある」と回答した人にお聞きします。

夕食をひとりで食べる理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

「夕食の時間に家族が家にいないから」の割合が 28.8%と最も高く、次いで「夕食の時間に自分が家にいないから」の割合が 24.8%となっています。

【図 2-9 孤食の理由】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「夕食の時間に家族が家にいないから」の割合が高くなる傾向がみられます。

【図 2-9-1 ライフステージ別 孤食の理由】

単位：%

区分	回答者数 (件)	夕食の時間に自分が家にいないから	夕食の時間に家族が家にいないから	自分の好きな時に食べるから	自分の部屋で食べるから	その他	特にない	無回答
青年期	22	31.8	18.2	18.2	-	-	4.5	27.3
成年期	49	32.7	26.5	12.2	4.1	6.1	2.0	22.4
中年期	157	33.8	30.6	6.4	3.2	6.4	0.6	22.3
高年期	102	5.9	29.4	11.8	6.9	3.9	2.0	44.1

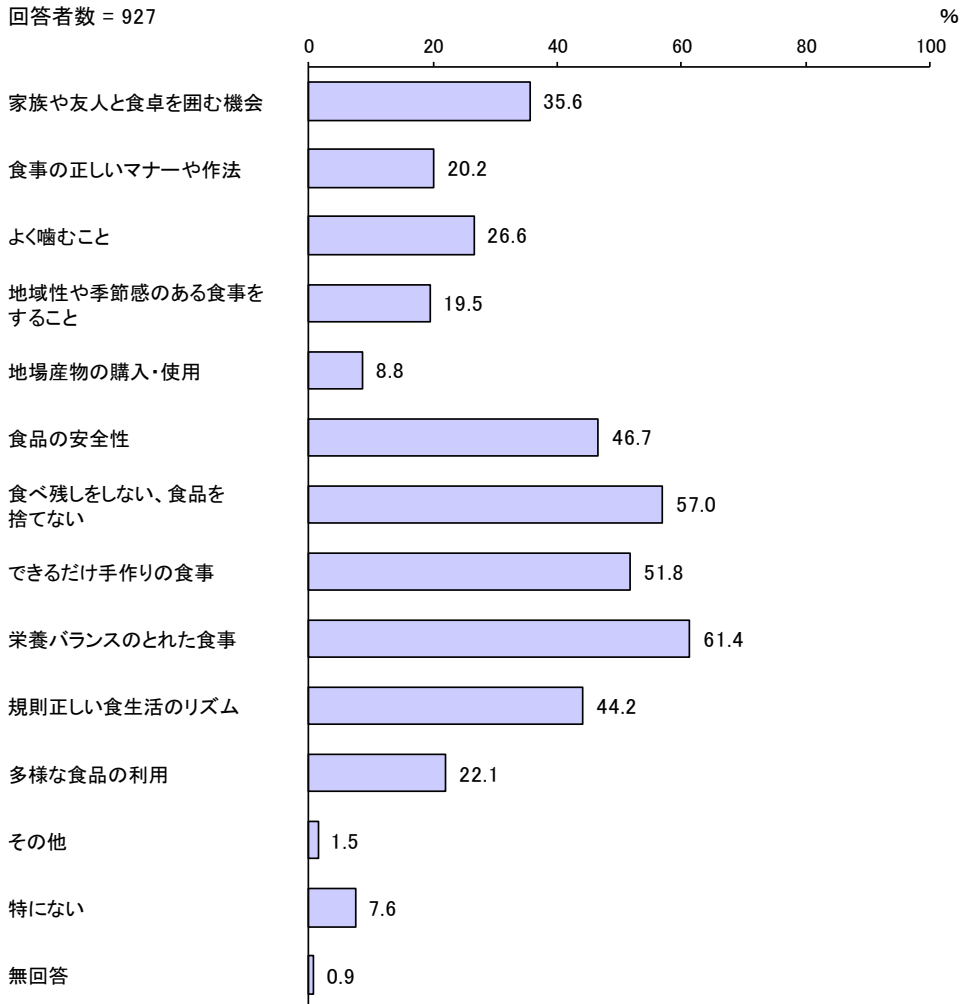
問 16 すべての方にお聞きします。

あなたは、食生活でどういったことを重視していますか。

<あてはまるものすべてに○>

「栄養バランスのとれた食事」の割合が 61.4%と最も高く、次いで「食べ残しをしない、食品を捨てない」の割合が 57.0%、「できるだけ手作りの食事」の割合が 51.8%となっています。

【図 2-10 食生活において重視していること】



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「食べ残しをしない、食品を捨てない」「特にない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「家族や友人と食卓を囲む機会」「食事の正しいマナーや作法」「よく噛むこと」「地域性や季節感のある食事をする事」「食品の安全性」「できるだけ手作りの食事」「栄養バランスのとれた食事」「多様な食品の利用」の割合が高くなっています。

【図 2-10-1 性別 食生活において重視していること】

単位：％

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会	食事の正しいマナーや作法	よく噛むこと	地域性や季節感のある食事をする事	地場産物の購入・使用	食品の安全性	食べ残しをしない、食品を捨てない	できるだけ手作りの食事	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	多様な食品の利用	その他	特にない	無回答
男性	366	29.8	15.0	22.4	13.4	6.0	38.0	61.2	38.0	54.9	43.4	15.8	1.6	10.4	0.8
女性	526	40.5	23.8	29.7	24.1	10.8	53.6	54.4	62.2	66.9	46.0	26.8	1.3	4.9	0.4

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「よく噛むこと」「食品の安全性」「食べ残しをしない、食品を捨てない」「できるだけ手作りの食事」「規則正しい食生活のリズム」「多様な食品の利用」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、成年期で「家族や友人と食卓を囲む機会」「食事の正しいマナーや作法」の割合が、青年期で「特にない」の割合が高くなっています。

【図 2-10-2 ライフステージ別 食生活において重視していること】

単位：％

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会	食事の正しいマナーや作法	よく噛むこと	地域性や季節感のある食事をする事	地場産物の購入・使用	食品の安全性	食べ残しをしない、食品を捨てない	できるだけ手作りの食事	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	多様な食品の利用	その他	特にない	無回答
青年期	47	29.8	17.0	12.8	2.1	-	25.5	46.8	23.4	17.0	14.9	4.3	2.1	27.7	-
成年期	136	47.1	29.4	16.9	16.9	8.8	39.0	54.4	49.3	61.0	35.3	16.9	2.2	8.1	-
中年期	373	38.6	23.6	19.8	21.2	7.8	43.2	53.4	44.5	64.9	36.5	20.4	1.3	7.0	0.3
高年期	366	29.0	13.9	38.8	21.3	11.2	56.3	63.4	63.7	64.2	59.6	28.4	1.1	5.5	1.6

【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期で「家族や友人と食卓を囲む機会」「食事の正しいマナーや作法」「栄養バランスのとれた食事」「規則正しい食生活のリズム」の割合が減少し、特に「栄養バランスのとれた食事」は25.7ポイント減少しています。また、高年期で「食事の正しいマナーや作法」「食べ残しをしない、食品を捨てない」「栄養バランスのとれた食事」「規則正しい食生活のリズム」の割合が増加し、特に「栄養バランスのとれた食事」は11.8ポイント、「規則正しい食生活のリズム」は10.3ポイント増加しています。

【図 2-10-3 ライフステージ別 食生活において重視していること《前回調査》】

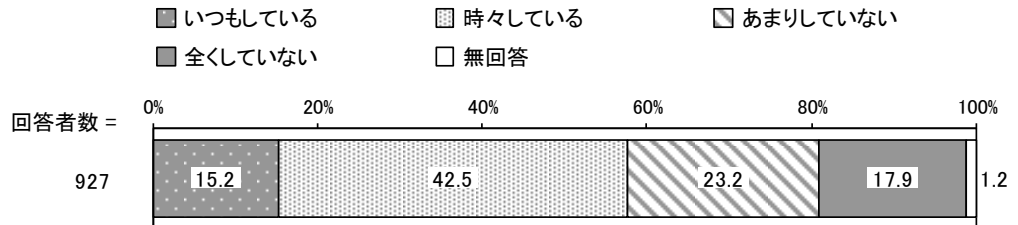
単位：%

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会	食事の正しいマナーや作法	よく噛むこと	地域性や季節感のある食事をすること	地場産物の購入・使用	食品の安全性	食べ残しをしない、食品を捨てない	できるだけ手作りの食事	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	多様な食品の利用	その他	特にない	無回答
青年期	75	36.0	29.3	12.0	6.7	-	24.0	44.0	26.7	42.7	21.3	8.0	2.7	21.3	-
成年期	154	44.8	33.8	18.2	21.4	9.7	43.5	61.0	45.5	57.8	37.7	24.0	2.6	7.1	1.3
中年期	386	37.6	15.0	21.0	19.9	9.6	53.1	49.7	46.6	64.8	37.6	16.6	0.5	8.8	1.6
高年期	353	24.6	7.6	44.5	23.5	11.6	55.5	58.1	59.5	52.4	49.3	25.2	2.3	6.2	1.4

問 17 あなたは、食品を購入する際に栄養成分の表示を確認して購入しますか。
 <1つに○>

「いつもしている」と「時々している」を合わせた“している”の割合が 57.7%、「あまりしていない」と「全くしていない」を合わせた“していない”の割合が 41.1%となっています。

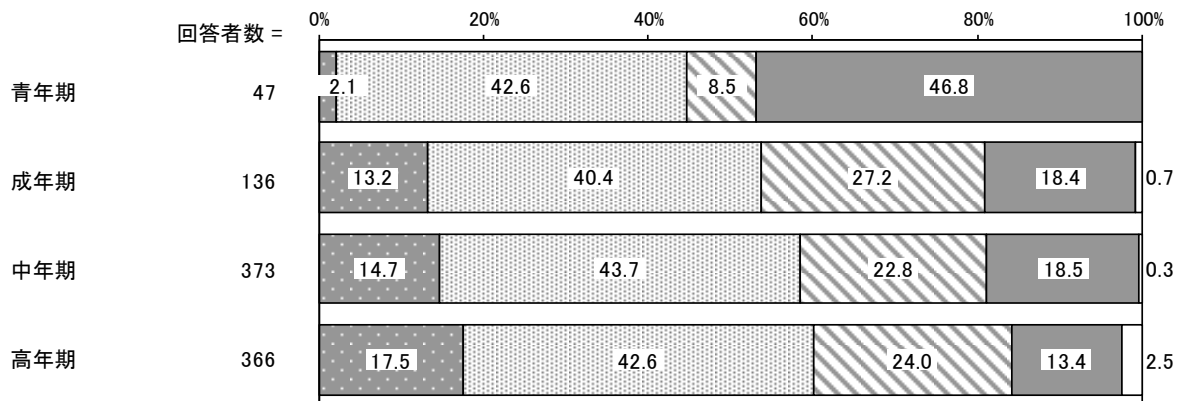
【図 2-11 食品購入時の栄養成分の表示の確認】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ“している”の割合が高くなっています。また、他に比べ、青年期で「全くしていない」の割合が高くなっています。

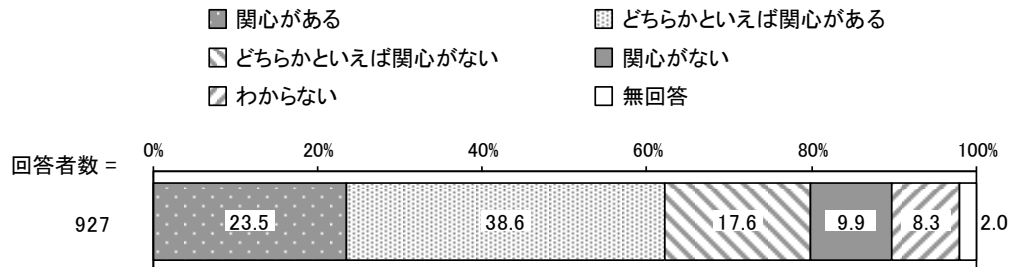
【図 2-11-1 ライフステージ別 食品購入時の栄養成分の表示を確認】



問 18 あなたは、「食育」に関心がありますか。〈1つに○〉

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 62.1%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 27.5%となっています。

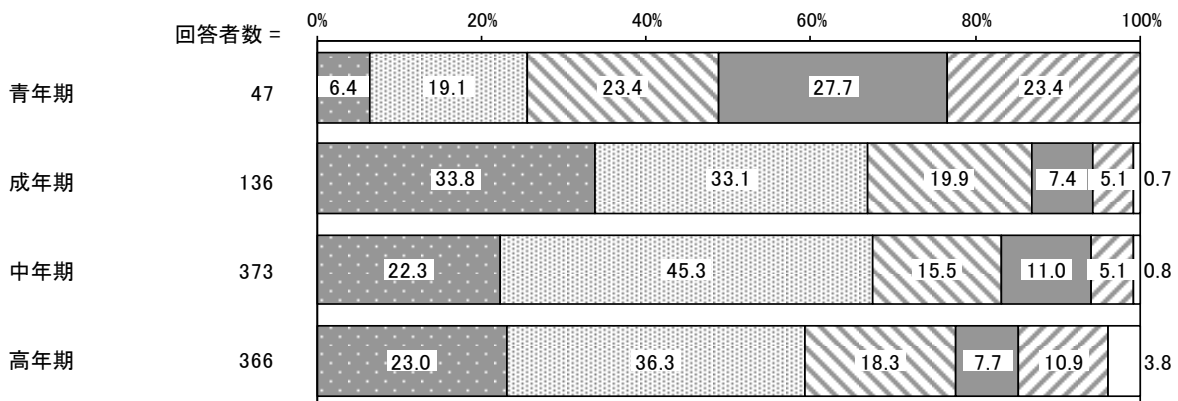
【図 2-12 食育への関心度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、成年期、中年期で“関心がある”の割合が高くなっています。また、青年期で“関心がない”の割合が高くなっています。

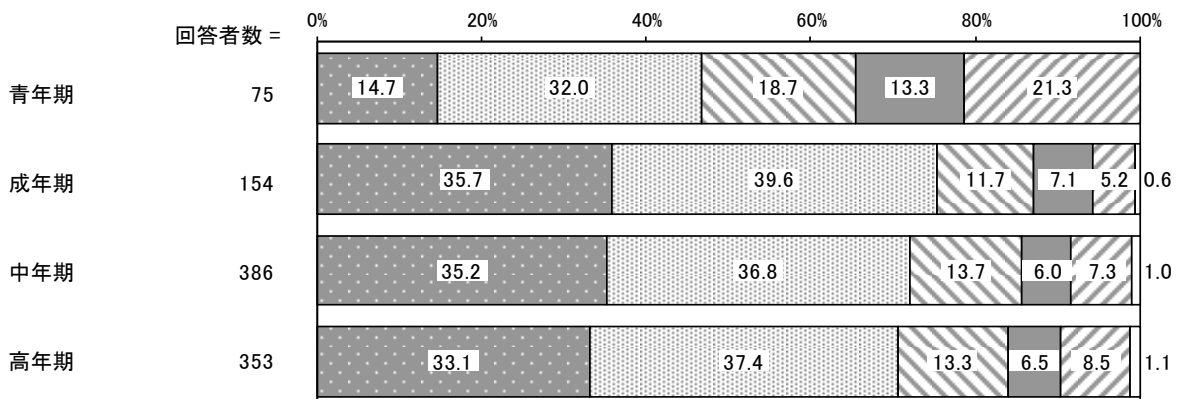
【図 2-12-1 ライフステージ別 食育への関心度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、すべての年代で“関心がある”の割合が減少し、“関心がない”の割合が増加しており、特に青年期で“関心がある”が 21.1 ポイント減少し、“関心がない”が 19.1 ポイント増加しています。

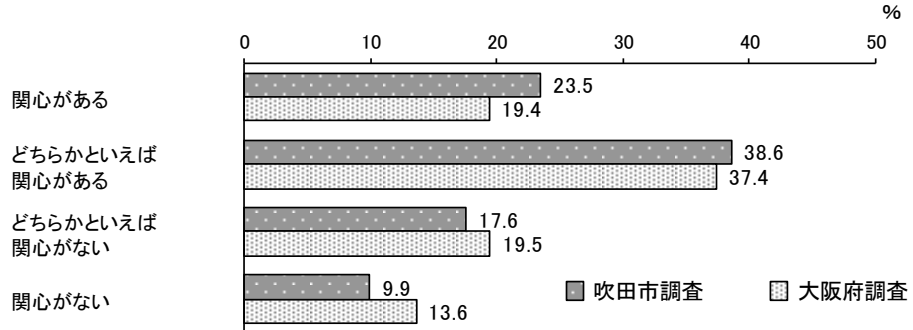
【図 2-12-2 ライフステージ別 食育への関心度<<前回調査>>】



【大阪府調査※との比較（食育への関心度）】

食育への関心度を大阪府調査と比較すると、大阪府調査に比べ、“関心がある”が 5.3 ポイント高くなっています。

【図 2-12-3 ライフステージ別 食育への関心度«大阪府調査との比較»】

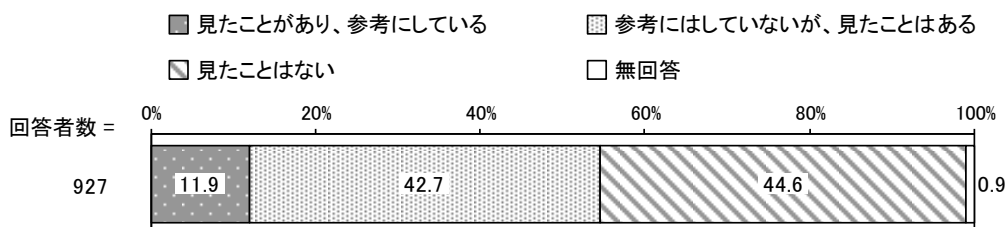


※平成 27 年度大阪府健康・栄養調査

問 19 あなたは、食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」を見たことがありますか。〈1つに○〉

「見たことはない」の割合が 44.6%と最も高く、次いで「参考にはしていないが、見たことはある」の割合が 42.7%、「見たことがあり、参考になっている」の割合が 11.9%となっています。

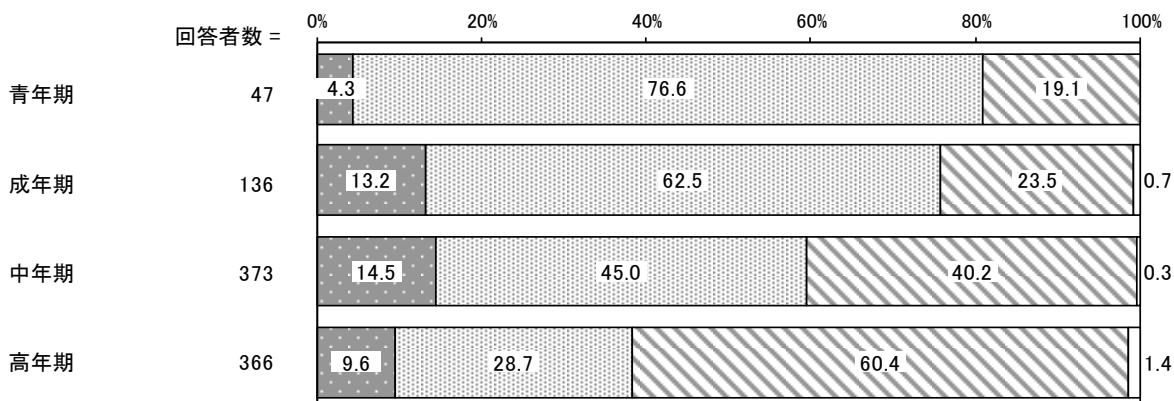
【図 2-13 食事バランスガイドの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が低くなるにつれ「参考にはしていないが、見たことはある」の割合が高く、年代が高くなるにつれ「見たことはない」の割合が高くなっています。

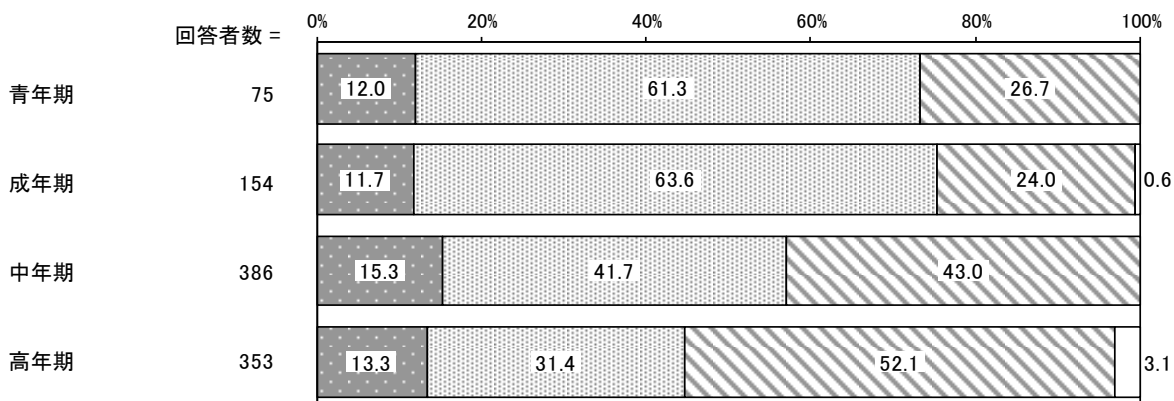
【図 2-13-1 ライフステージ別 食事バランスガイドの認知度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期で「参考にはしていないが、見たことはある」の割合が 15.3 ポイント増加し、「見たことがあり、参考になっている」の割合が 7.7 ポイント、「見たことはない」の割合が 7.6 ポイント減少しています。また、高年期で「見たことはない」の割合が 8.3 ポイント増加しています。

【図 2-13-2 ライフステージ別 食事バランスガイドの認知度<前回調査>】

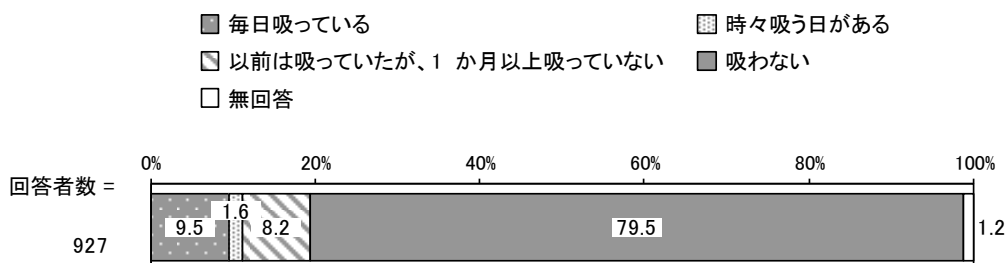


(3) 喫煙状況等について

問 20 あなた自身、たばこを吸いますか。〈1つに○〉

「毎日吸っている」と「時々吸う日がある」を合わせた“吸う”の割合が 11.1%となっています。

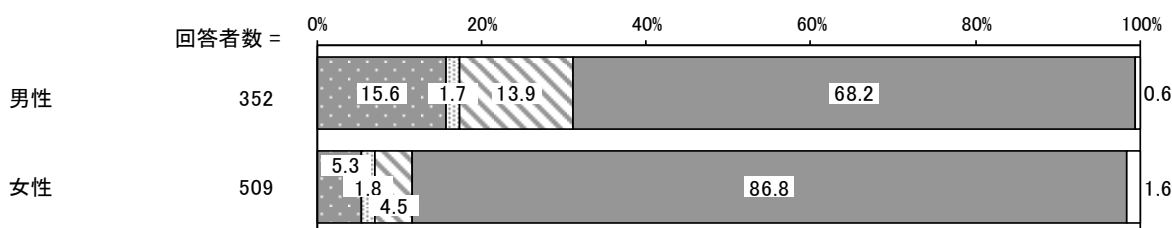
【図 3-1 喫煙の有無】



【性 別 (20 歳以上)】

性別でみると、「毎日吸っている」と「時々吸う日がある」を合わせた“吸う”の割合が、男性は 17.3%、女性は 7.1%となっています。

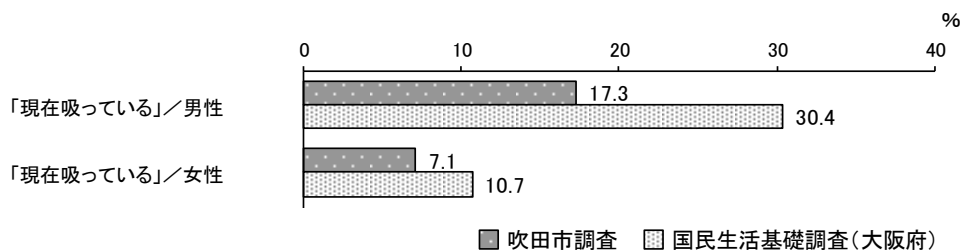
【図 3-1-1 性別 (20 歳以上) 喫煙の有無】



【国民生活基礎調査 (平成 28 年) における大阪府との比較 (20 歳以上の現在喫煙している人^{※1}の割合)】

現在喫煙している人の割合を国民生活基礎調査による大阪府と比較すると、大阪府に比べ、男性で 13.1 ポイント、女性で 3.6 ポイント低くなっています。

【図 3-1-2 性別 (20 歳以上) 喫煙の有無«大阪府との比較»】

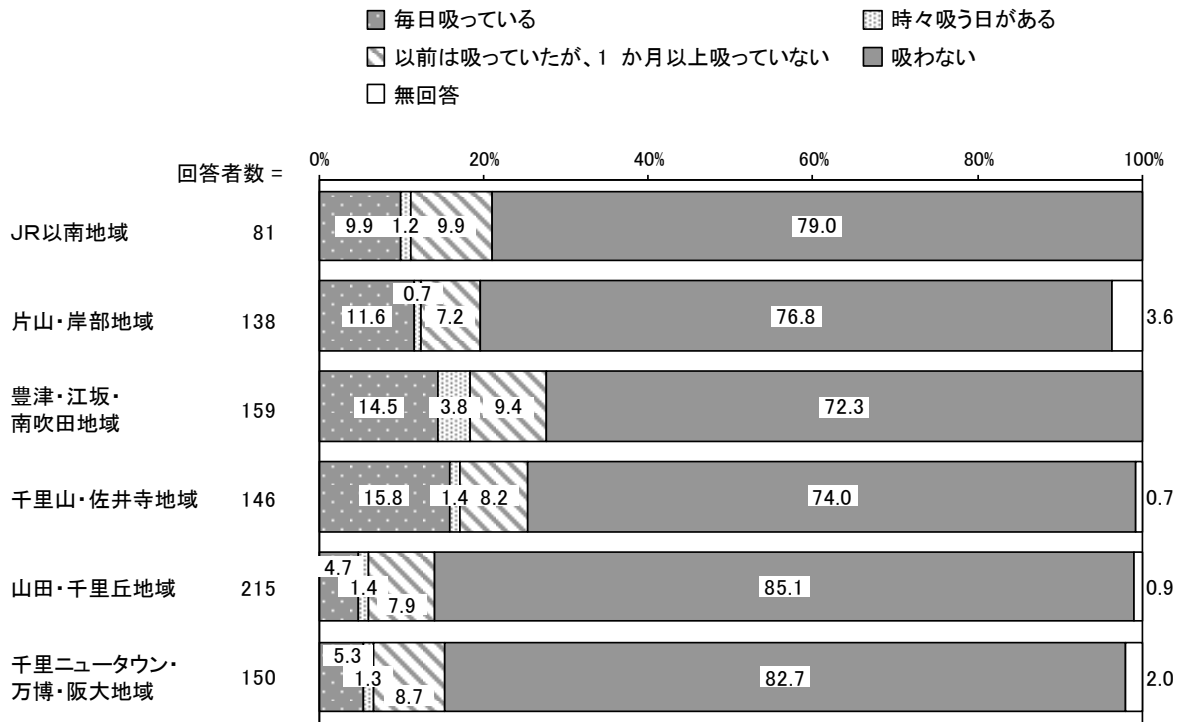


※1 現在吸っている人：「毎日吸っている」と「時々吸う日がある」の合計

【居住地域別（20歳以上）】

居住地域別で見ると、他に比べ、豊津・江坂・南吹田地域、千里山・佐井寺地域で「毎日吸っている」の割合が高くなっています。また、山田・千里丘地域、千里ニュータウン・万博・阪大地域で「吸わない」の割合が高くなっています。

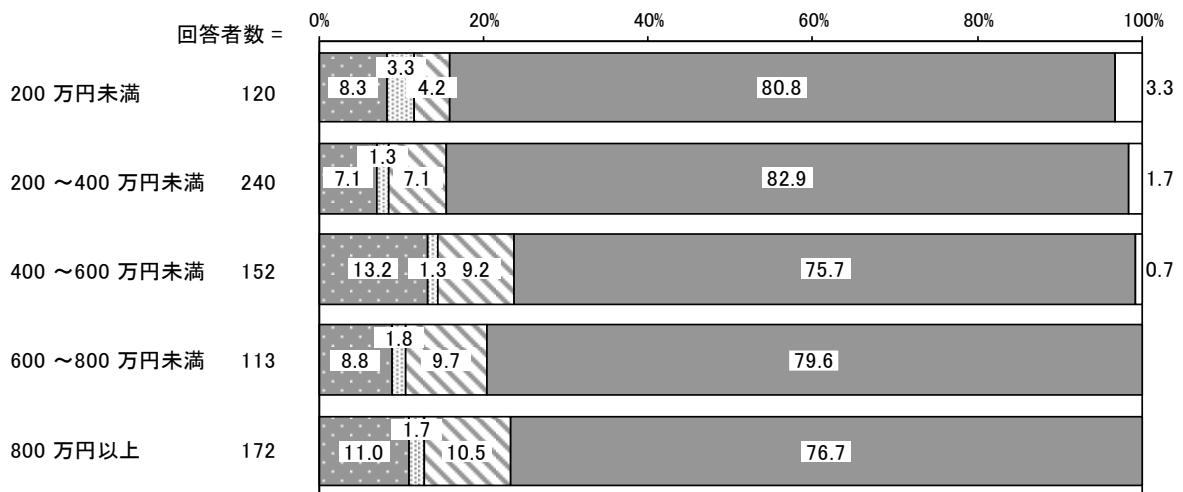
【図 3-1-3 居住地域別（20歳以上） 喫煙の有無】



【世帯収入別（20歳以上）】

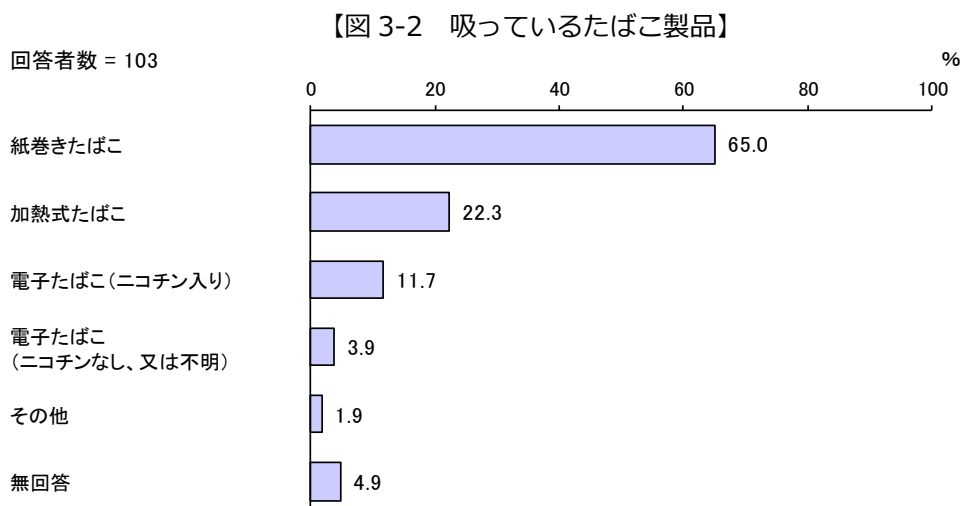
世帯収入別で見ると、他に比べ、400～600万円未満で「毎日吸っている」の割合が高くなっています。

【図 3-1-4 世帯収入別（20歳以上） 喫煙の有無】



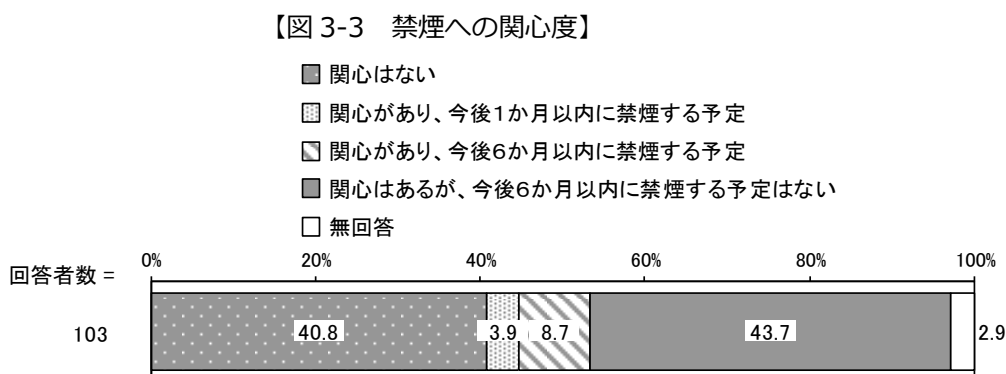
問 20-1 問 20 で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した人にお聞きします。
 現在あなたが吸っているたばこ製品は以下のどれですか。
 <あてはまるものすべてに○>

「紙巻きたばこ」の割合が 65.0%と最も高く、次いで「加熱式たばこ」の割合が 22.3%、「電子たばこ（ニコチン入り）」の割合が 11.7%となっています。



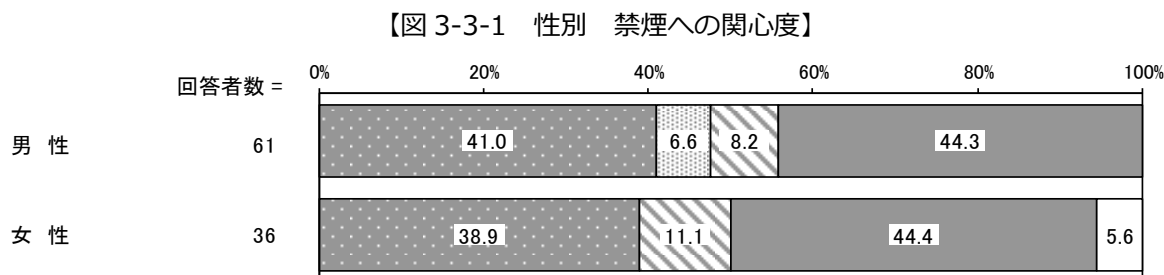
問 20-2 問 20 で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した人にお聞きします。
 禁煙について、あなたは関心がありますか。 <1つに○>

「関心はあるが、今後 6 か月以内に禁煙する予定はない」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「関心はない」の割合が 40.8%となっています。



【性別】

性別でみると、「関心があり、今後 1 か月以内に禁煙する予定」の割合が女性では 0.0%、男性では 6.6%となっています。

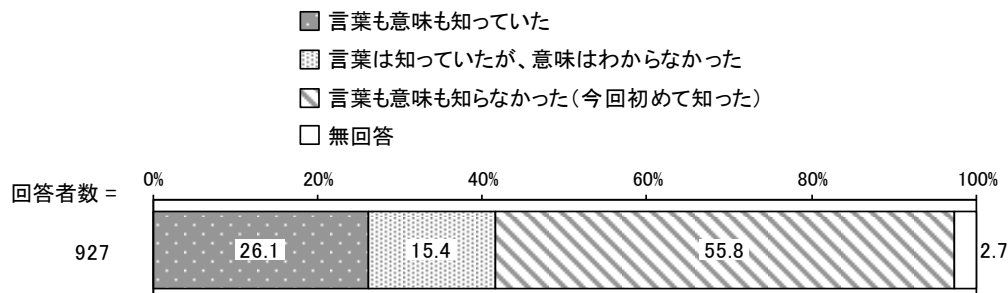


問 21 すべての方にお聞きします。

あなたは、「慢性閉塞性肺疾患（C O P D）」^{シーオーピーディー}について知っていますか。〈1つに○〉

「言葉も意味も知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」の割合が 26.1%、「言葉は知っていたが、意味はわからなかった」の割合が 15.4%となっています。

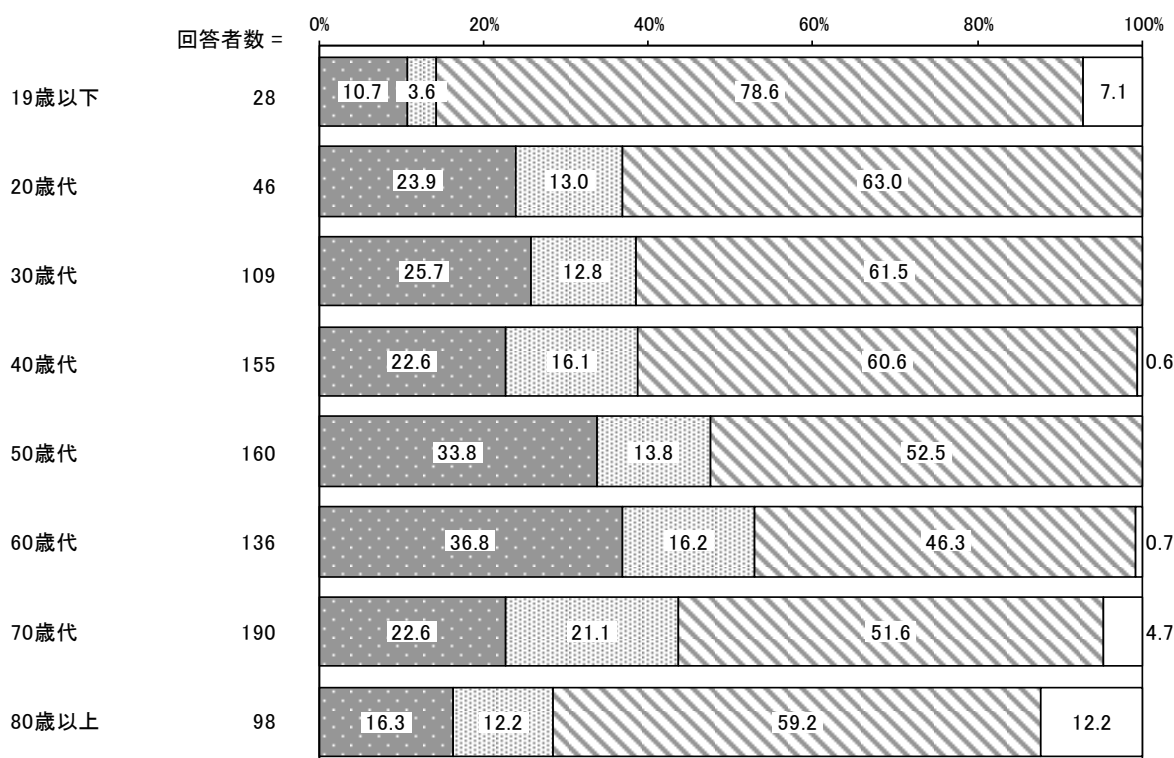
【図 3-4 慢性閉塞性肺疾患（C O P D）の認知度】



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、50 歳代、60 歳代で「言葉も意味も知っていた」の割合が高くなっています。また、70 歳代で「言葉は知っていたが、意味はわからなかった」の割合が、19 歳以下で「言葉も意味も知らなかった（今回初めて知った）」の割合が高くなっています。

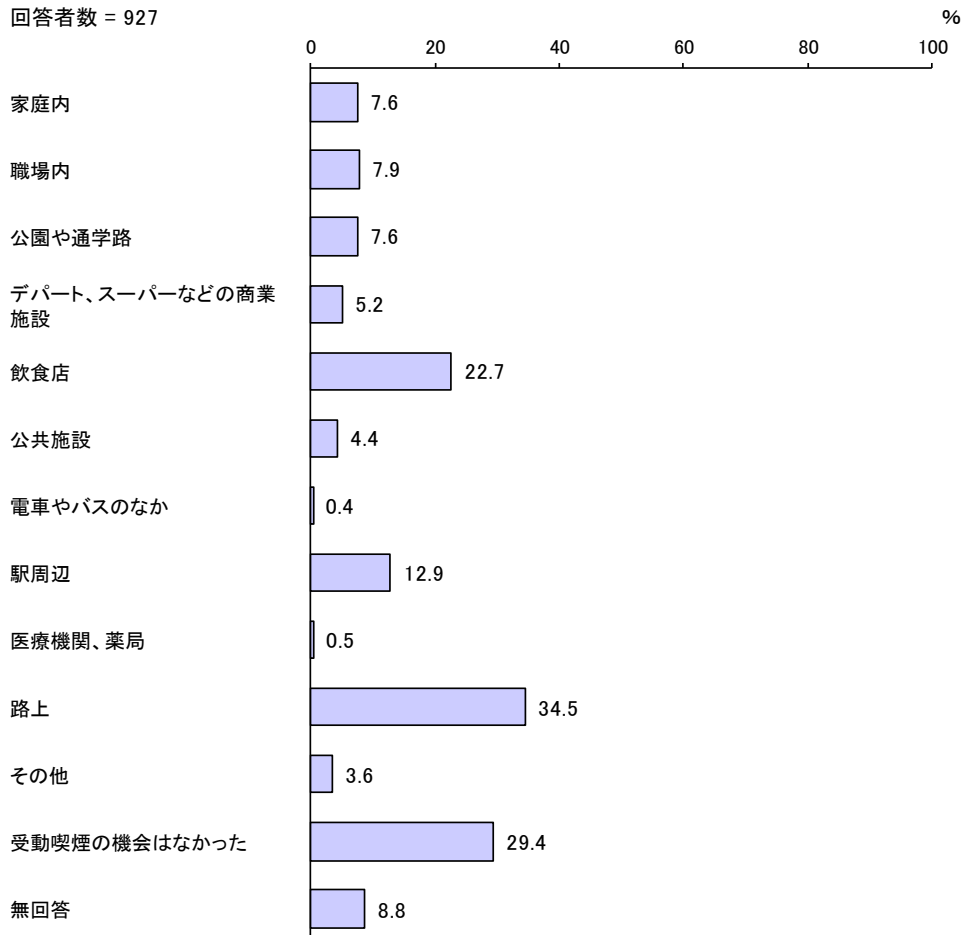
【図 3-4-1 年代別 慢性閉塞性肺疾患（C O P D）の認知度】



問 22 あなたはこの1か月間に受動喫煙の機会がありましたか。
〈あてはまるものすべてに○〉

「路上」の割合が34.5%と最も高く、次いで「受動喫煙の機会は無かった」の割合が29.4%、「飲食店」の割合が22.7%となっています。

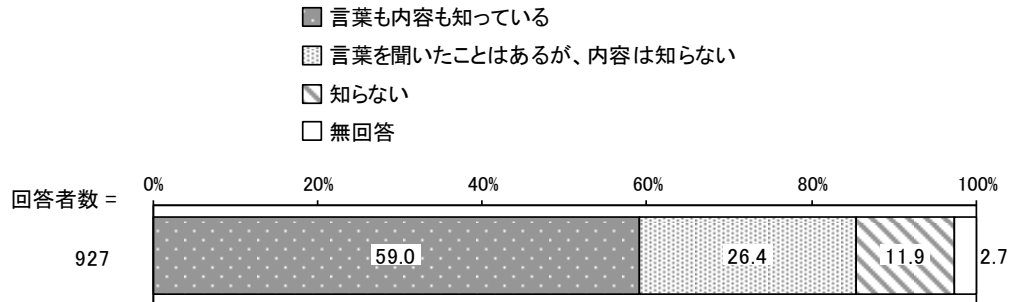
【図 3-5 1か月間の受動喫煙の機会】



問 23 あなたは「禁煙外来」という言葉を聞いたことがありますか。〈1つに〇〉

「言葉も内容も知っている」の割合が 59.0%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」の割合が 26.4%、「知らない」の割合が 11.9%となっています。

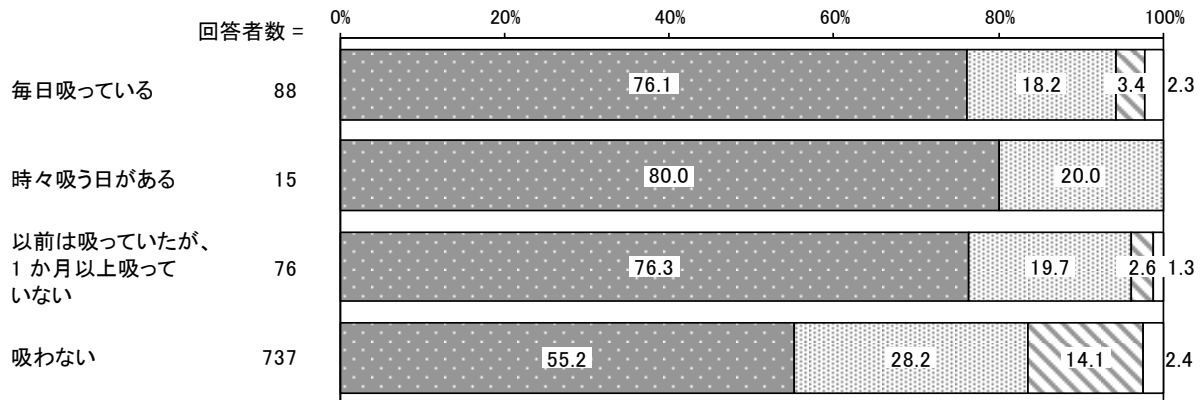
【図 3-6 禁煙外来の認知度】



【喫煙の有無別】

喫煙の有無別でみると、他に比べ、「吸わない」で「言葉も内容も知っている」の割合が低く、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」「知らない」の割合が高くなっています。

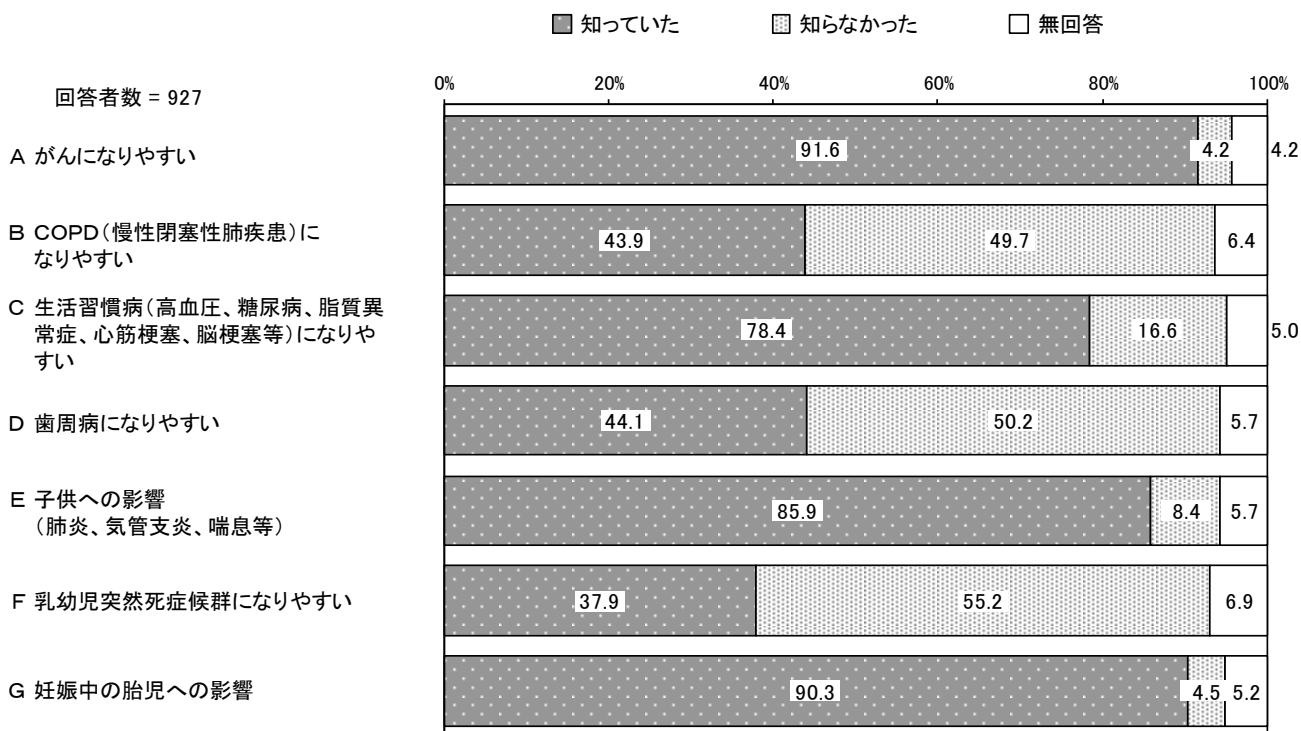
【図 3-6-1 喫煙の有無別 禁煙外来の認知度】



問 24 たばこが健康に与える影響として、以下のうち知っている事柄はありますか。
 <A～Gについて「知っていた」か「知らなかった」に○>

「A がんになりやすい」、「G 妊娠中の胎児への影響」で「知っていた」の割合が高く、約9割となっています。一方、「D 歯周病になりやすい」、「F 乳幼児突然死症候群になりやすい」で「知らなかった」の割合が高く、5割を超えています。

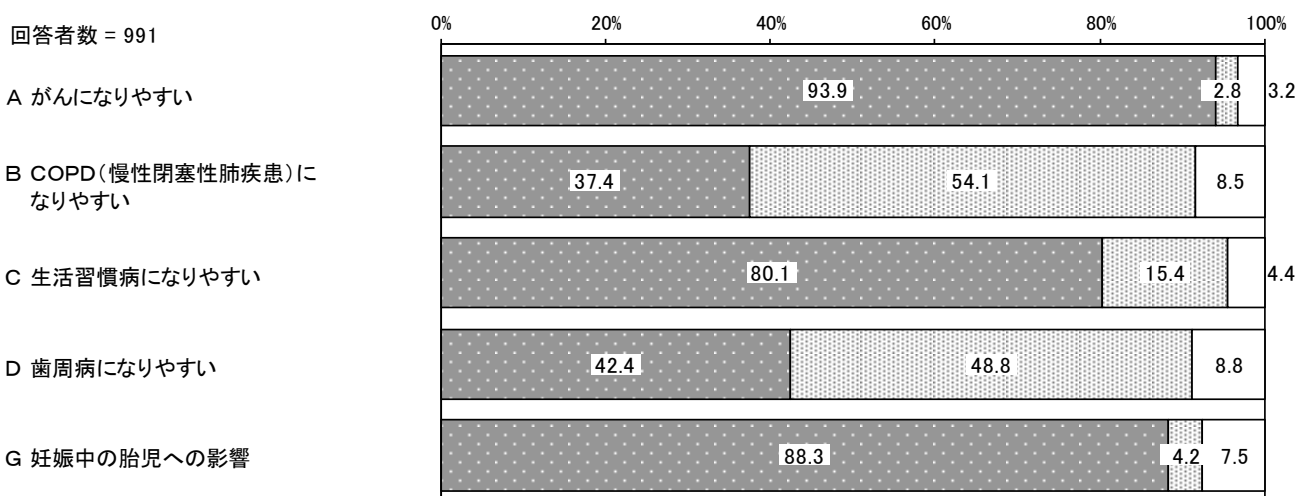
【図 3-7 たばこが健康に与える影響の認知度】



【前回調査】

前回調査と比較すると、「COPD(慢性閉塞性肺疾患)になりやすい」で「知っていた」の割合が6.5ポイント増加しています。

【図 3-7-1 たばこが健康に与える影響の認知度<<前回調査>>】

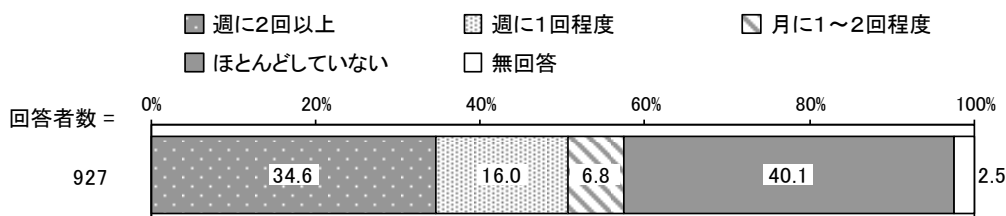


(4) 日頃の運動の状況等について

問 25 あなたは、日頃から日常生活の中で1日30分以上の運動をしていますか。
 (※学生の方は、学校の授業時間内に行っているものは除きます。) <1つに○>

「ほとんどしていない」の割合が40.1%と最も高く、次いで「週に2回以上」の割合が34.6%、「週に1回程度」の割合が16.0%となっています。

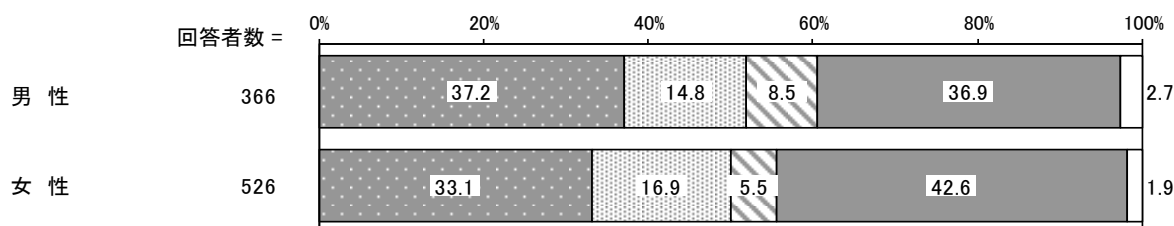
【図 4-1 日常生活における運動の実施頻度】



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「ほとんどしていない」の割合が高くなっています。

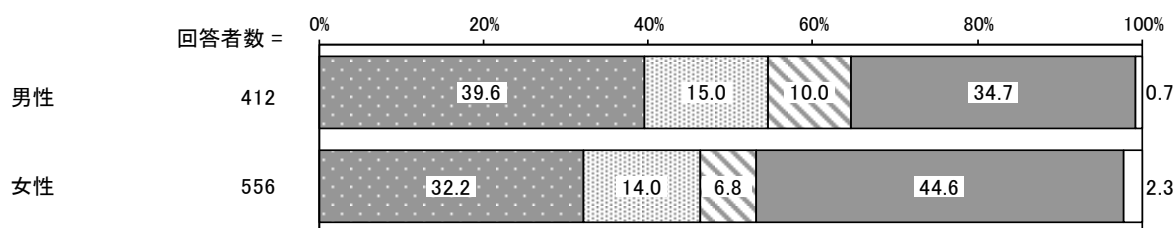
【図 4-1-1 性別 日常生活における運動の実施頻度】



【前回調査 (性別)】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

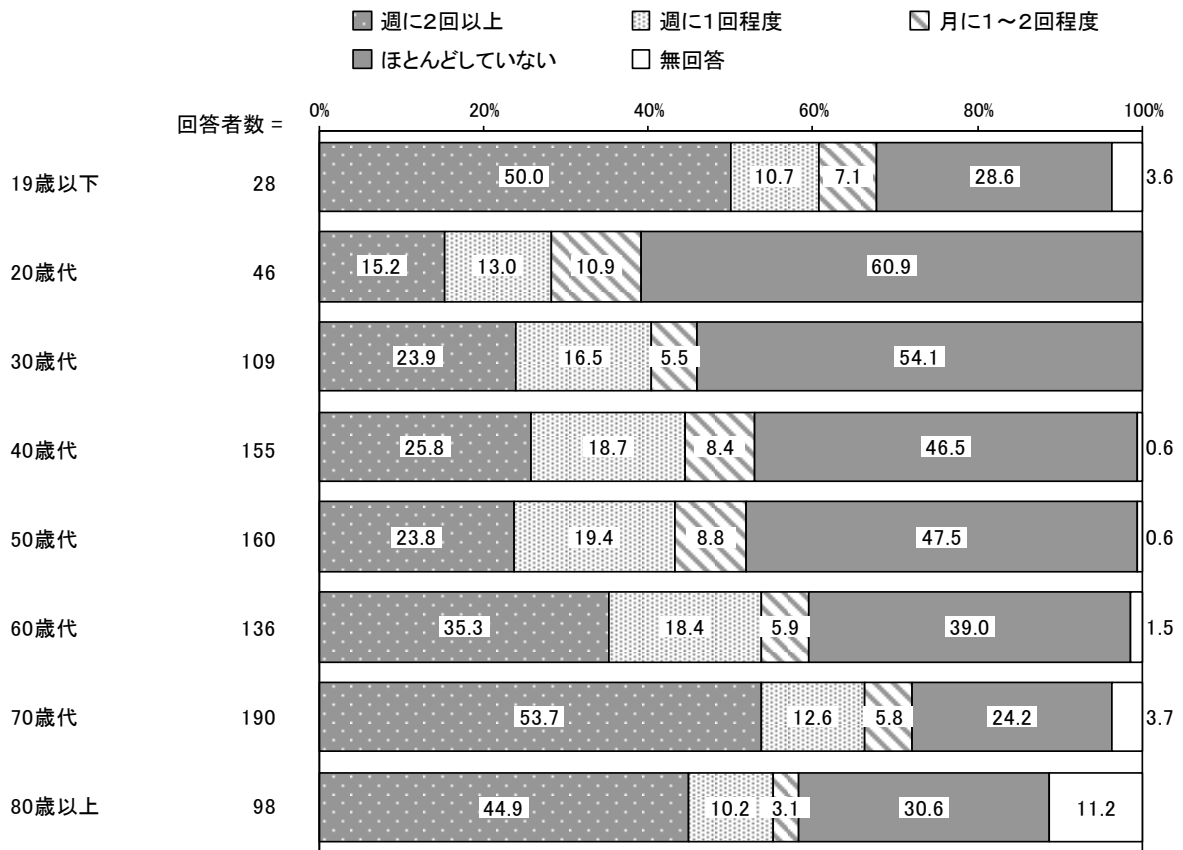
【図 4-1-2 性別 日常生活における運動の実施頻度<前回調査>】



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、70歳代で「週に2回以上」の割合が高くなっています。また、20歳代で「ほとんどしていない」の割合が高くなっています。

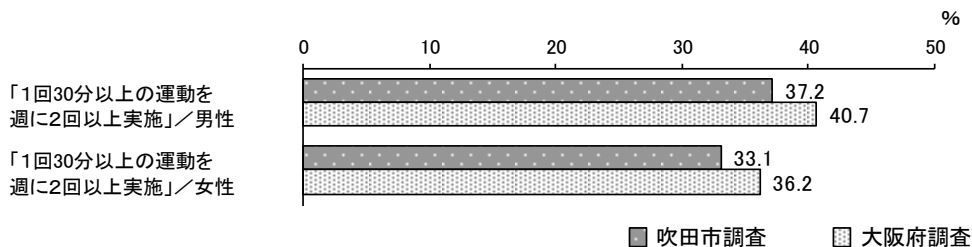
【図 4-1-3 年代別 日常生活における運動の実施頻度】



【大阪府調査※との比較（1回30分以上の運動を週に2回以上実施している人の割合）】

1回30分以上の運動を週に2回以上実施している人の割合を大阪府調査と比較すると、大阪府に比べ、男性で3.5ポイント、女性で3.1ポイント低くなっています。

【図 4-1-4 性別 日常生活における運動の実施頻度«大阪府調査との比較»】



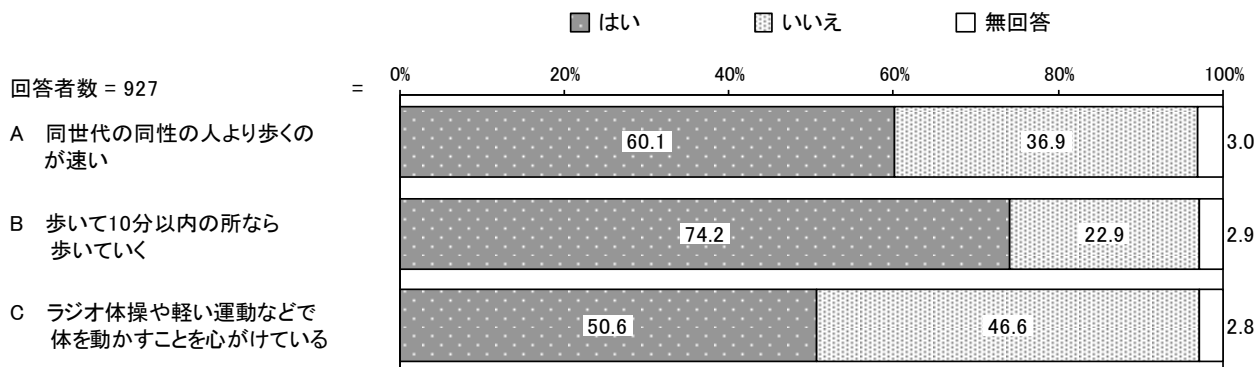
※平成27年大阪府健康・栄養調査

問 26 あなたの日頃の運動に関して以下のことについて教えてください。

<A・B・C各項目1つに○>

「B 歩いて10分以内の所なら歩いていく」で「はい」の割合が高く、7割台半ばとなっています。一方、「C ラジオ体操や軽い運動などで体を動かすことを心がけている」で「いいえ」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

【図 4-2 日頃の運動状況】

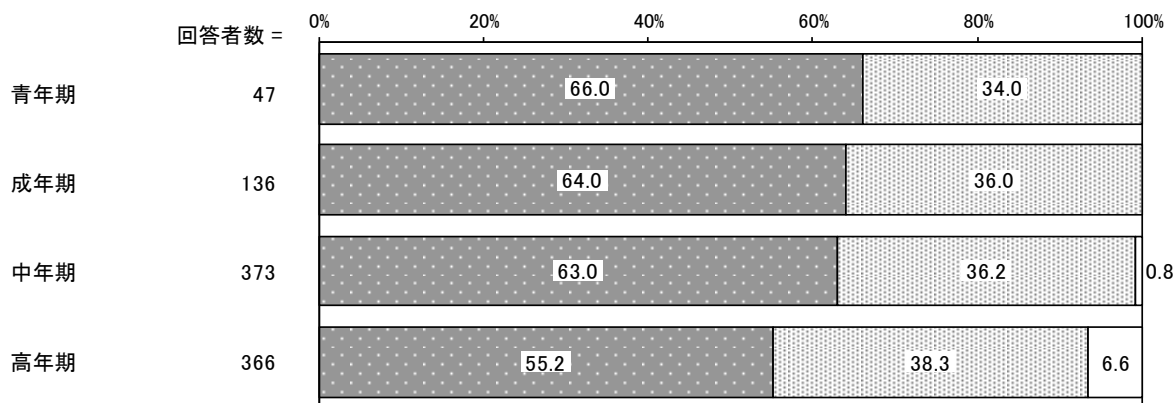


A 同世代の同性の人より歩くのが速い

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が低くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。

【図 4-2-1 ライフステージ別 日頃の運動状況『同世代の同性の人より歩くのが速い』】

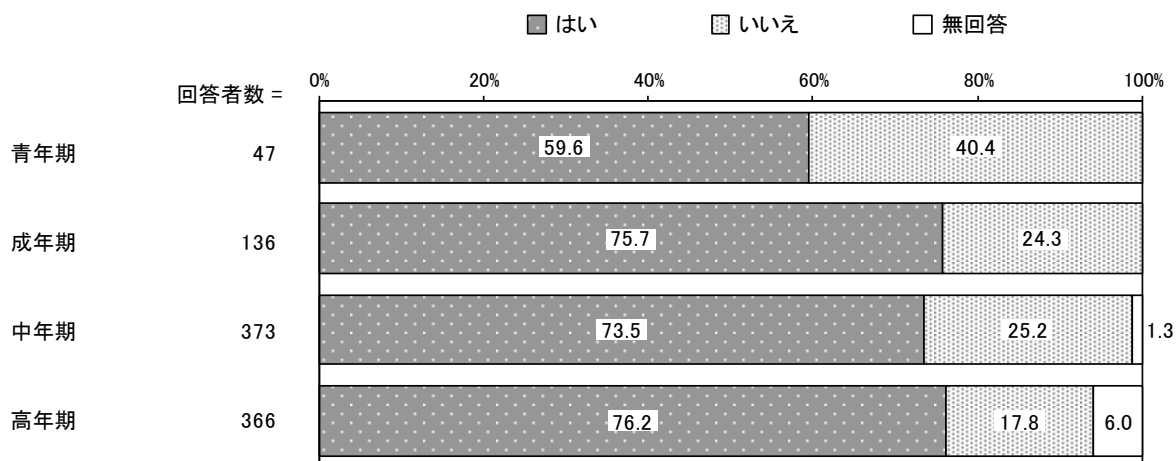


B 歩いて 10 分以内の所なら歩いていく

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、青年期で「いいえ」の割合が高くなっています。

【図 4-2-2 ライフステージ別 日頃の運動状況『歩いて 10 分以内の所なら歩いていく』】

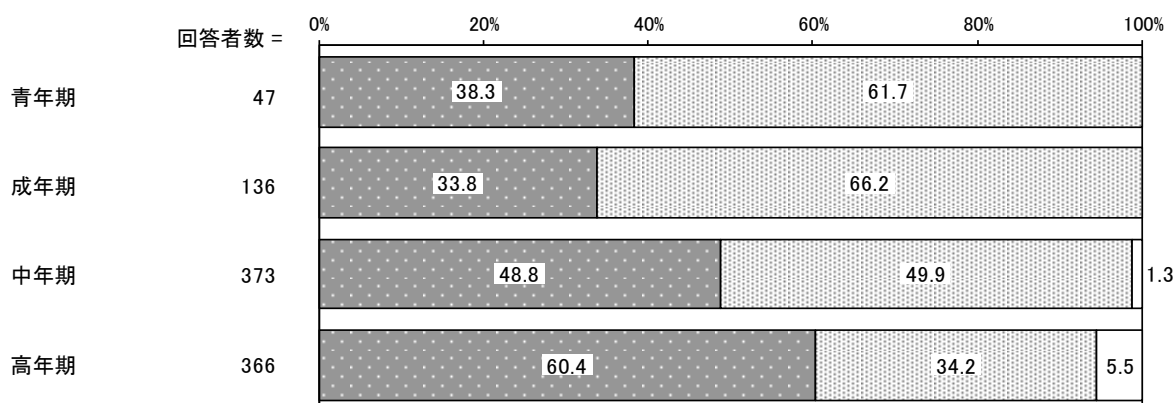


C ラジオ体操や軽い運動などで体を動かすことを心がけている

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられます。

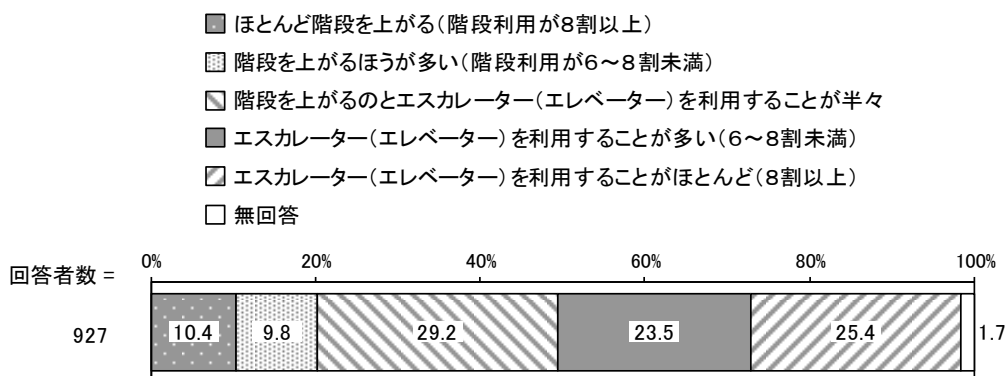
【図 4-2-3 ライフステージ別 日頃の運動状況『ラジオ体操や軽い運動などで体を動かすことを心がけている』】



問 27 ふだん、駅やビル等で3階ぐらいの高さ上がる際に、階段とエスカレーター（エレベーター）の両方があれば、あなたはどのようにすることが多いですか。〈1つに○〉

「階段を上がるのとエスカレーター（エレベーター）を利用することが半々」の割合が 29.2% と最も高く、次いで「エスカレーター（エレベーター）を利用することがほとんど（8割以上）」の割合が 25.4%、「エスカレーター（エレベーター）を利用することが多い（6～8割未満）」の割合が 23.5%となっています。

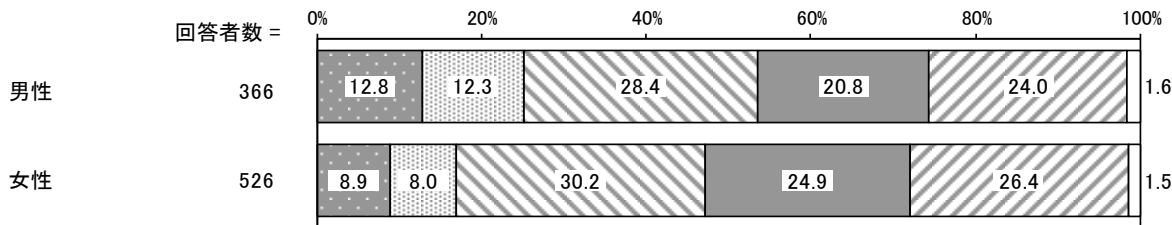
【図 4-3 階段とエスカレータ(エレベータ)の利用度合い】



【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ほとんど階段を上がる（階段利用が 8 割以上）」と「階段を上がる方が多い（階段利用が 6～8 割未満）」を合わせた“階段を上がる”の割合が高くなっています。

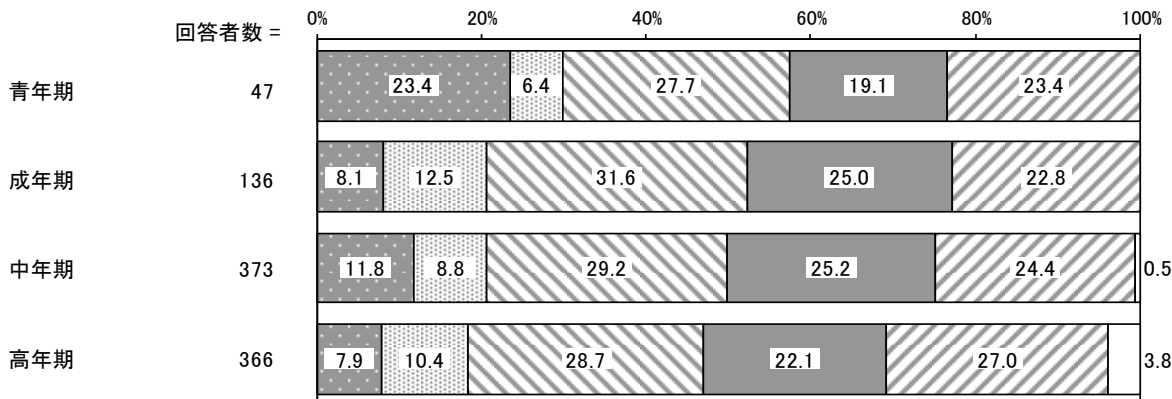
【図 4-3-1 性別 階段とエスカレータ(エレベータ)の利用度合い】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、青年期で「ほとんど階段を上がる（階段利用が 8 割以上）」の割合が高くなっています。

【図 4-3-2 ライフステージ別 階段とエスカレータ(エレベータ)の利用度合い】

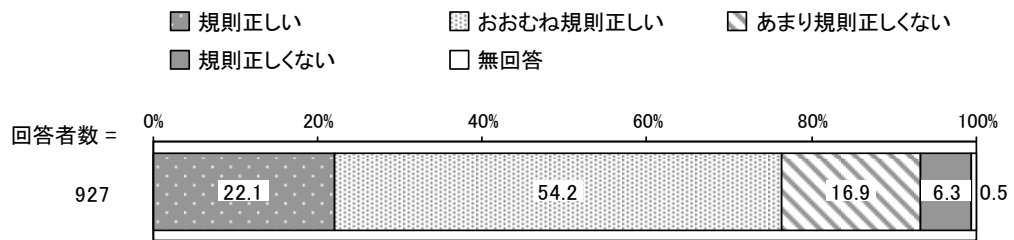


(5) 心身の健康について

問 28 ふだんの睡眠は、規則正しくとれていますか。〈1つに○〉

「規則正しい」と「おおむね規則正しい」を合わせた“規則正しい”の割合が76.3%、「あまり規則正しくない」と「規則正しくない」を合わせた“規則正しくない”の割合が23.2%となっています。

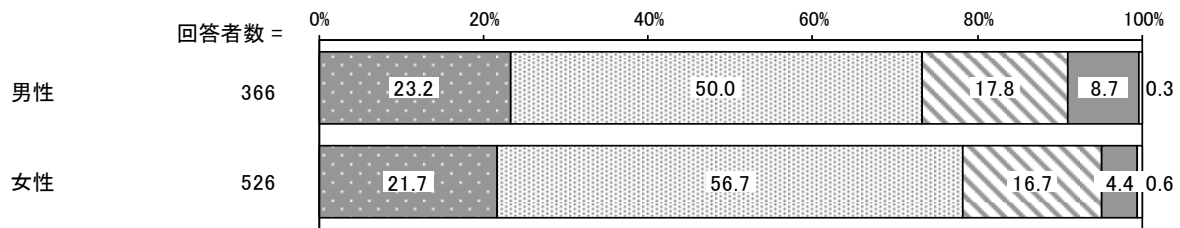
【図 5-1 規則正しい睡眠の有無】



【性 別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“規則正しい”の割合が高くなっています。

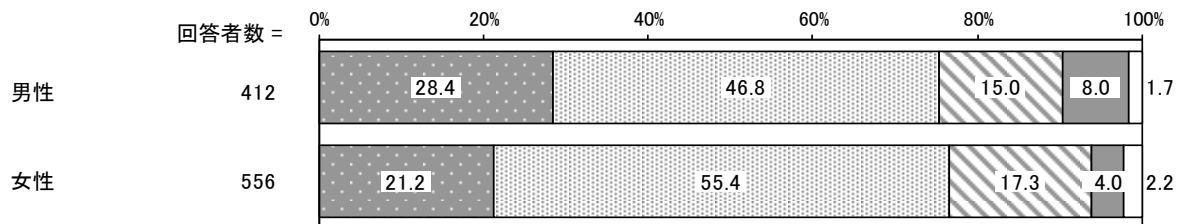
【図 5-1-1 性別 規則正しい睡眠の有無】



【前回調査 (性 別)】

前回調査と比較すると、男性で「規則正しい」の割合が5.2ポイント減少しています。

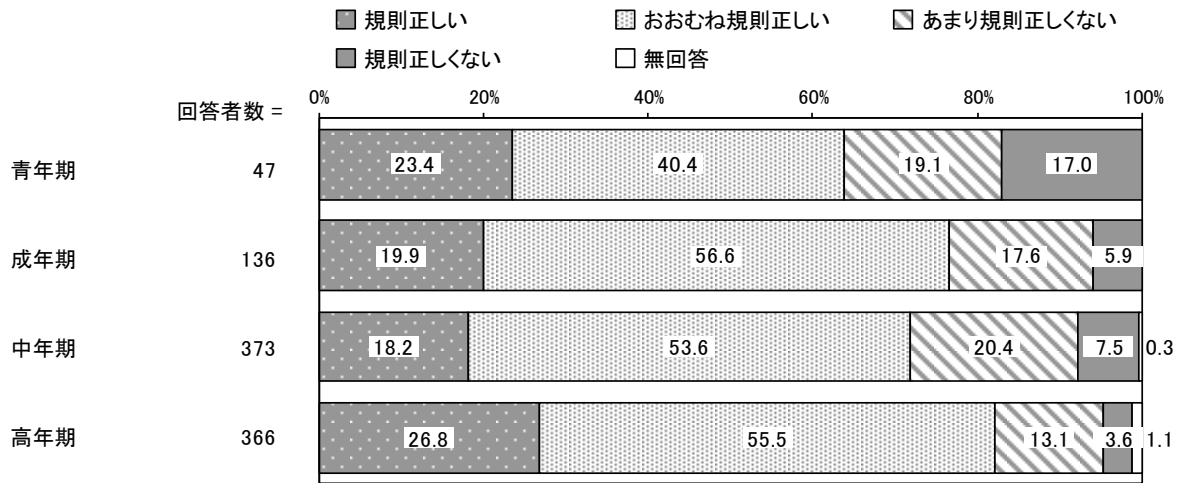
【図 5-1-2 性別 規則正しい睡眠の有無<前回調査>】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、高年期で“規則正しい”の割合が高くなっています。また、青年期で“規則正しくない”の割合が高くなっています。

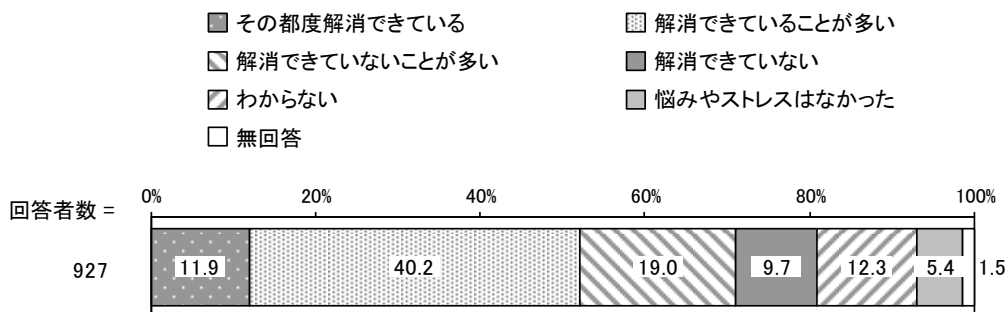
【図 5-1-3 ライフステージ別 規則正しい睡眠の有無】



問 29 この1か月間の日常生活での悩みやストレスについて解消できていますか。
 <1つに○>

「解消できていることが多い」の割合が40.2%と最も高く、次いで「解消できていないことが多い」の割合が19.0%、「わからない」の割合が12.3%となっています。

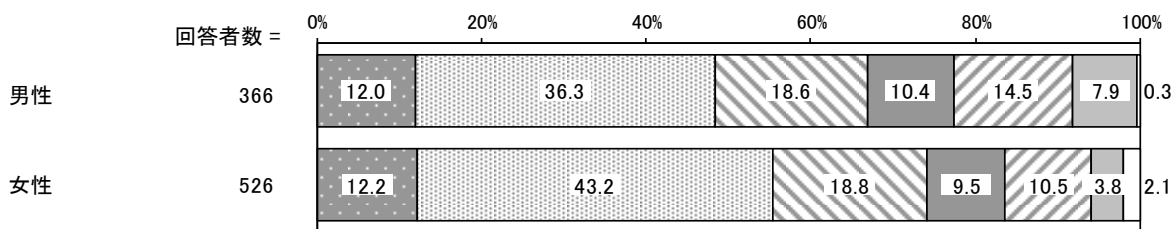
【図 5-2 悩みやストレス等の解消度合い】



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「解消できていることが多い」の割合が高くなっています。

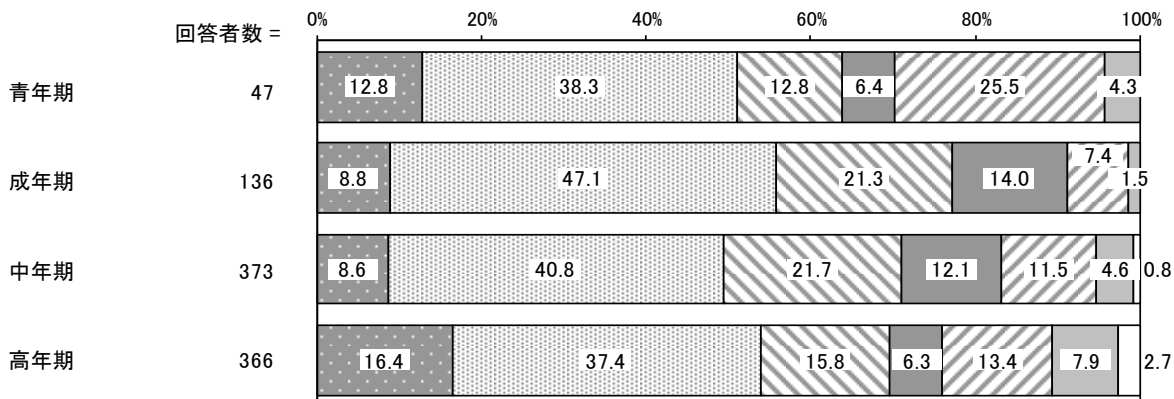
【図 5-2-1 性別 悩みやストレス等の解消度合い】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、成年期で「解消できていることが多い」の割合が、高年期で「その都度解消できている」の割合が高くなっています。また、成年期、中年期で「解消できていないことが多い」「解消できていない」の割合が高くなっています。

【図 5-2-2 ライフステージ別 悩みやストレス等の解消度合い】

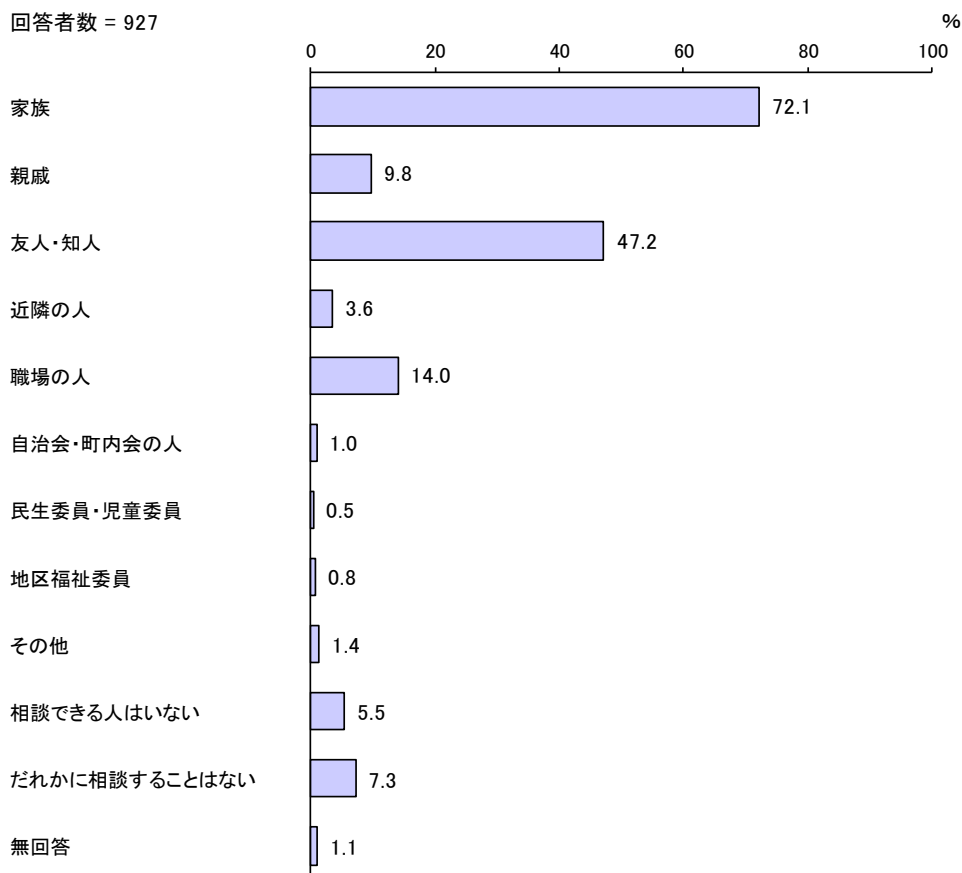


問 30 あなたの身近に悩みごと等を相談できる人はいますか。

<あてはまるものすべてに○>

「家族」の割合が72.1%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が47.2%、「職場の人」の割合が14.0%となっています。

【図 5-3 悩みごと等の相談先】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、青年期、成年期で「友人・知人」の割合が高くなっています。また、成年期で「家族」「職場の人」の割合が、高年期で「親戚」の割合が高くなっています。

【図 5-3-1 ライフステージ別 悩みごと等の相談先】

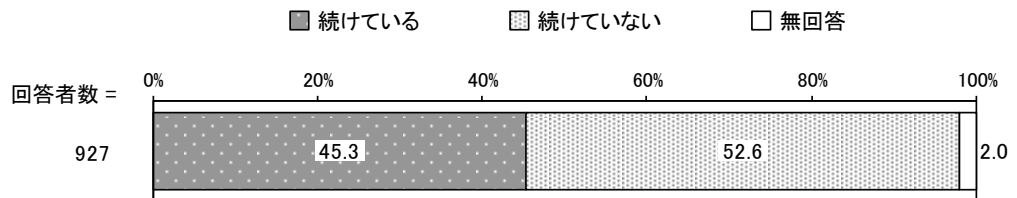
単位：%

区分	回答者数(件)	家族	親戚	友人・知人	近隣の人	職場の人	自治会・町内会の人	民生委員・児童委員	地区福祉委員	その他	相談できる人はいない	だれかに相談することはない	無回答
青年期	47	74.5	4.3	61.7	-	17.0	-	-	-	2.1	6.4	6.4	-
成年期	136	79.4	8.1	57.4	2.9	27.9	-	-	1.5	1.5	5.1	5.9	-
中年期	373	72.7	7.0	55.5	2.4	20.6	0.8	0.3	0.3	1.1	5.4	7.0	0.3
高年期	366	68.3	13.9	33.1	5.5	1.6	1.6	1.1	1.1	1.6	5.7	8.5	2.5

問 31 あなたはこの1年間に、健康づくりを目的とした活動を続けていますか。
 <1つに○>

「続けている」の割合が45.3%、「続けていない」の割合が52.6%となっています。

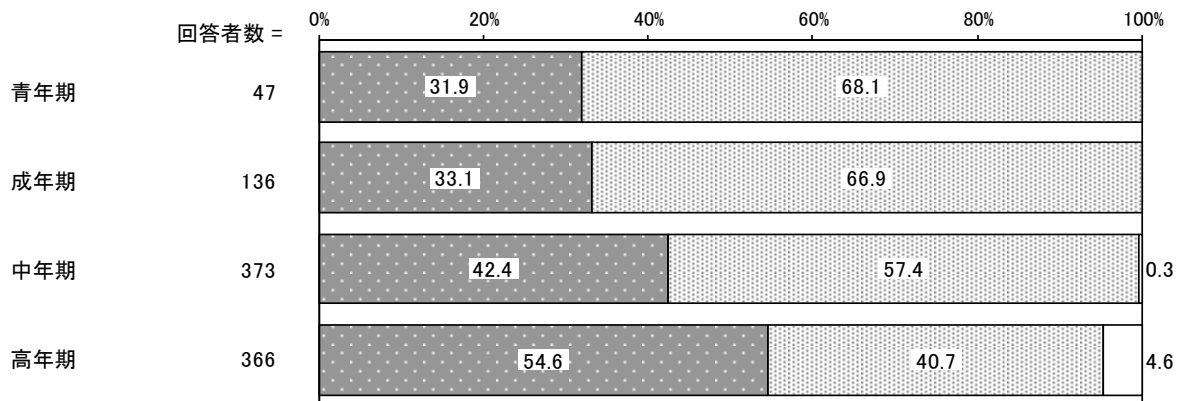
【図 5-4 健康づくりを目的とした活動の継続状況】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、年代が高くなるにつれ「続けている」の割合が高くなっています。

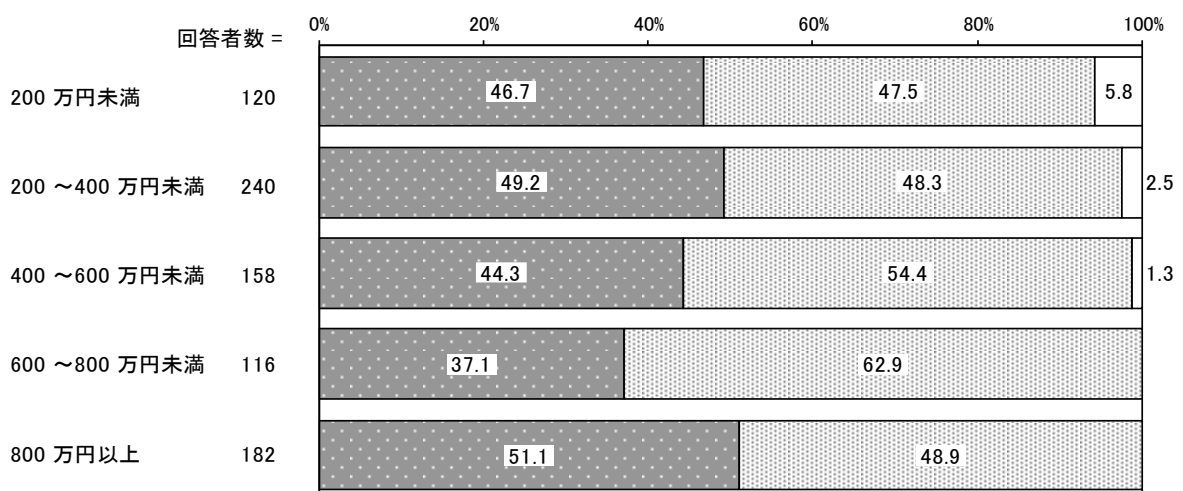
【図 5-4-1 ライフステージ別 健康づくりを目的とした活動の継続状況】



【世帯年収別】

世帯年収別で見ると、他に比べ、600～800万円未満で「続けていない」の割合が高くなっています。

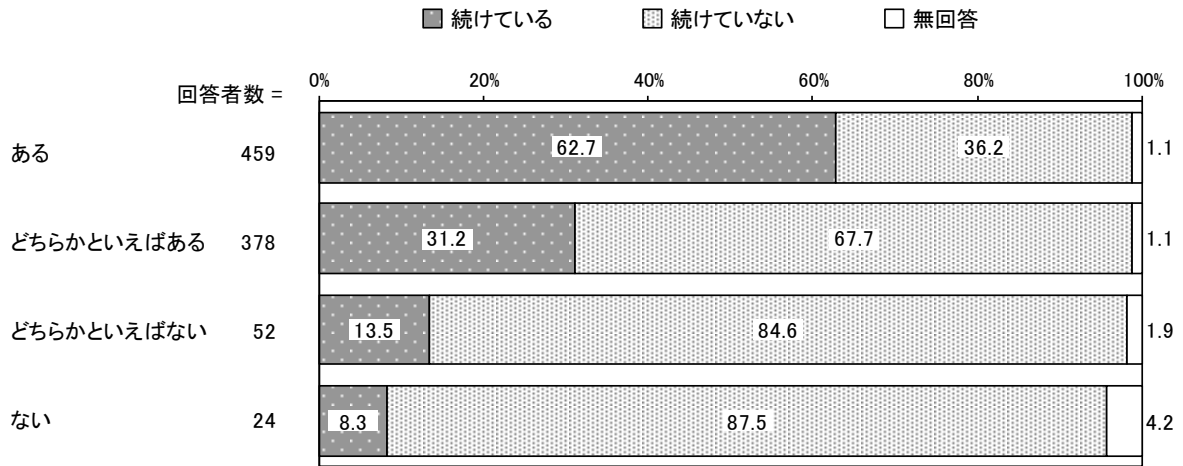
【図 5-4-2 世帯年収別 健康づくりを目的とした活動の継続状況】



【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別でみると、他に比べ、健康への関心が高くなるにつれ「続けている」の割合が高くなっています。

【図 5-4-3 健康づくりへの関心度別 健康づくりを目的とした活動の継続状況】



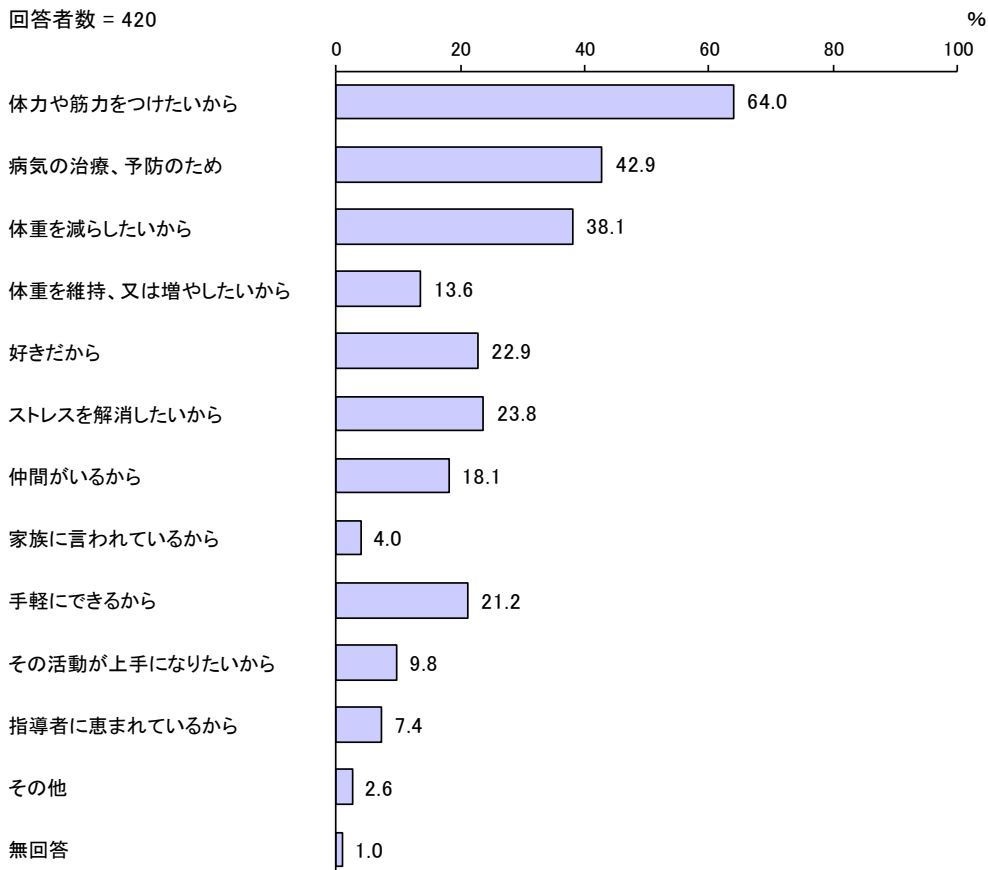
問 31-1 問 31 で「1 続けている」と回答した方にお聞きします。

あなたが健康づくり活動を続けられている理由はなんですか。

<あてはまるものすべてに○>

「体力や筋力をつけたいから」の割合が 64.0%と最も高く、次いで「病気の治療、予防のため」の割合が 42.9%、「体重を減らしたいから」の割合が 38.1%となっています。

【図 5-5 健康づくり活動を続けられている理由】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「体力や筋力をつけたいから」「手軽にできるから」の割合が高くなっています。また、他に比べ、成年期で「体重を減らしたいから」「ストレスを解消したいから」の割合が、青年期で「好きだから」の割合が高くなっています。

【図 5-5-1 ライフステージ別 健康づくり活動を続けられている理由】

単位：%

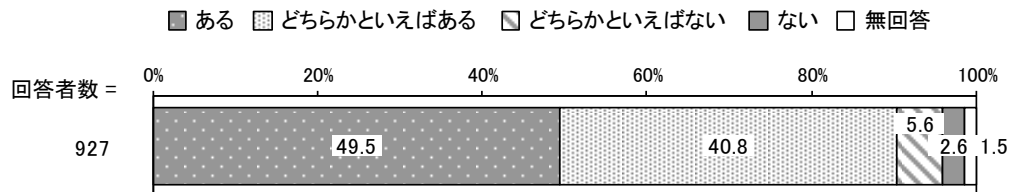
区分	回答者数(件)	体力や筋力をつけたいから	病気の治療、予防のため	体重を減らしたいから	体重を維持、又は増やしたいから	好きだから	ストレスを解消したいから	仲間がいるから	家族に言われているから	手軽にできるから	その活動が上手になりたいから	指導者に恵まれているから	その他	無回答
青年期	15	53.3	6.7	40.0	13.3	40.0	6.7	26.7	-	-	13.3	-	-	-
成年期	45	55.6	31.1	55.6	24.4	28.9	33.3	11.1	6.7	6.7	11.1	4.4	-	2.2
中年期	158	64.6	43.0	49.4	10.1	17.7	26.6	12.0	1.9	15.8	8.9	5.7	2.5	-
高年期	200	66.5	48.0	24.5	14.0	24.5	21.0	24.0	5.5	30.5	10.0	9.5	3.5	1.5

問 32 すべての方にお聞きします。

あなたはご自身や家族の健康づくりに関心がありますか。〈1つに〇〉

「ある」と「どちらかといえばある」を合わせた“ある”の割合が 90.3%、「どちらかといえばない」と「ない」を合わせた“ない”の割合が 8.2%となっています。

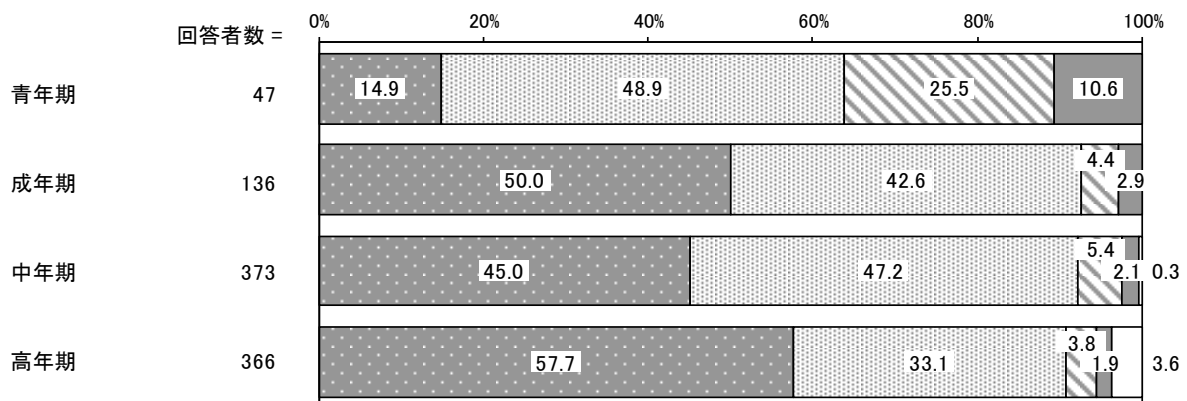
【図 5-6 自身や家族の健康づくりへの関心度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、青年期で“ない”の割合が高くなっています。

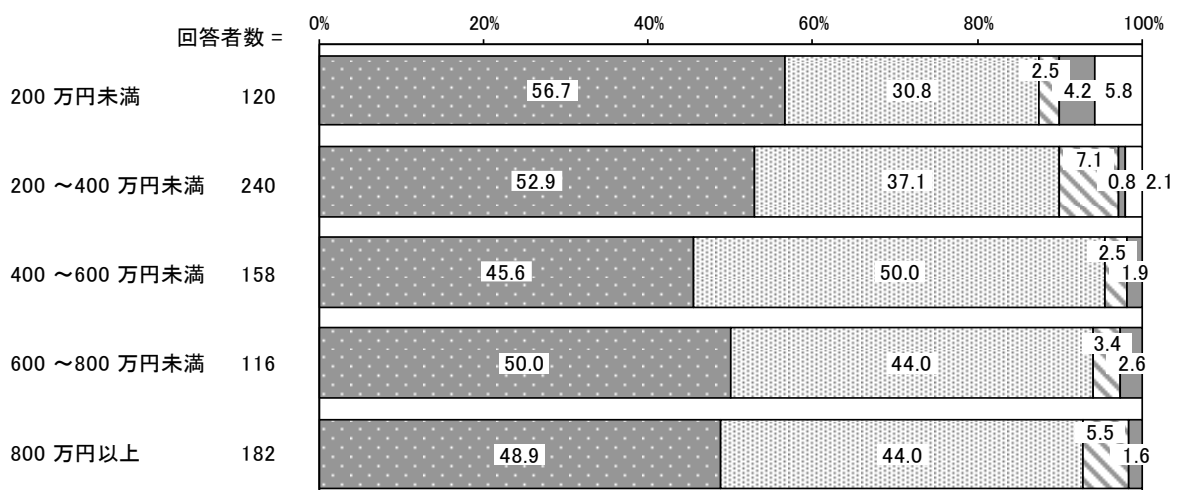
【図 5-6-1 ライフステージ別 自身や家族の健康づくりへの関心度】



【世帯年収別】

世帯年収別でみると、他に比べ、200万円未満で「ある」の割合が高くなっています。

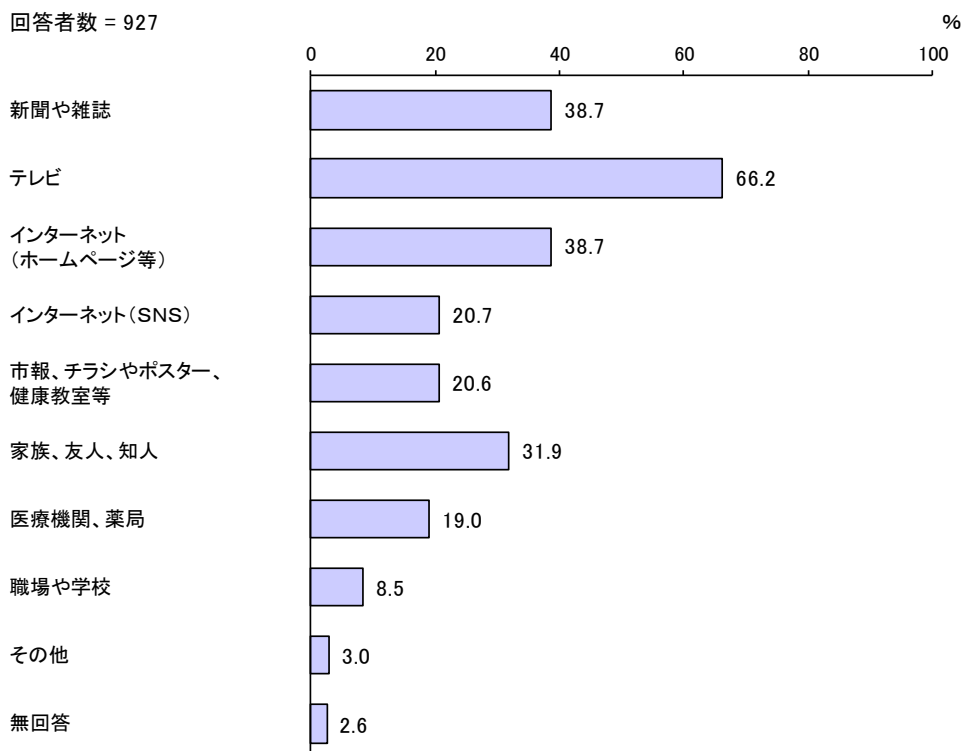
【図 5-6-2 世帯年収別 自身や家族の健康づくりへの関心度】



問 33 あなたは健康づくりに関する情報を何から入手していますか。
 <あてはまるものすべてに○>

「テレビ」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「新聞や雑誌」、「インターネット（ホームページ等）」の割合が 38.7%となっています。

【図 5-7 健康づくりに関する情報の入手先】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「新聞や雑誌」「テレビ」「市報、チラシやポスター、健康教室等」「医療機関、薬局」の割合が、年代が低くなるにつれ「インターネット(SNS)」「職場や学校」の割合が高くなっています。また、他に比べ、成年期、中年期で「インターネット(ホームページ等)」の割合が高くなっています。

【図 5-7-1 ライフステージ別 健康づくりに関する情報の入手先】

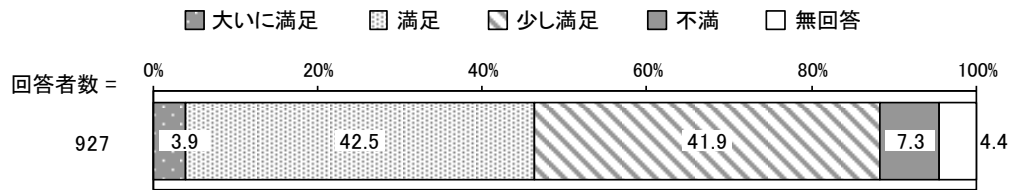
単位：%

区分	回答者数 (件)	新聞や雑誌	テレビ	インターネット (ホームページ等)	インターネット (SNS)	市報、チラシやポスター、健康教室等	家族、友人、知人	医療機関、薬局	職場や学校	その他	無回答
青年期	47	8.5	55.3	27.7	46.8	6.4	36.2	4.3	14.9	6.4	-
成年期	136	19.1	61.0	58.8	42.6	14.0	34.6	13.2	14.0	2.9	1.5
中年期	373	33.5	62.7	53.4	26.3	18.5	30.0	16.6	11.8	2.7	1.3
高年期	366	54.6	73.2	17.8	3.8	27.0	32.5	25.7	2.2	3.0	4.6

問 34 あなたは健康づくりに関する情報に満足していますか。〈1 つに○〉

「満足」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「少し満足」の割合が 41.9%となっています。

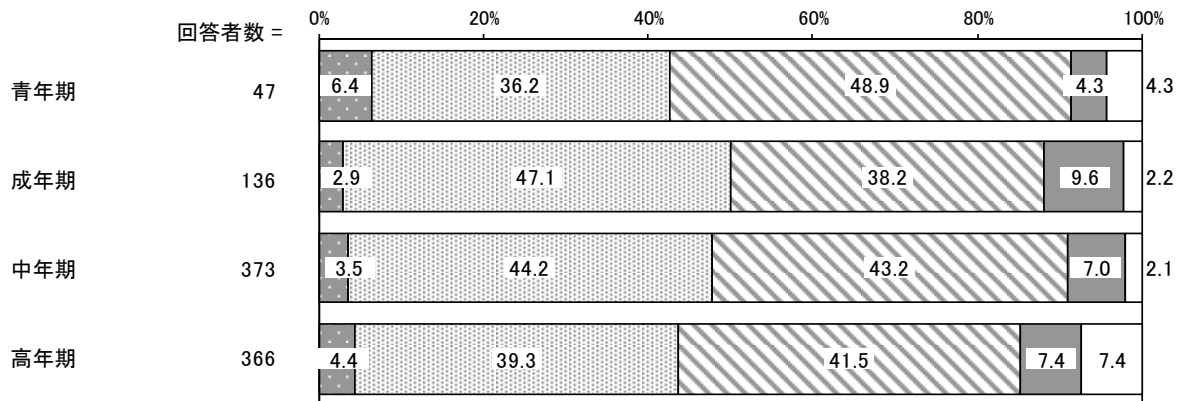
【図 5-8 健康づくりに関する情報の満足度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、成年期、中年期で“満足”の割合が高くなっています。

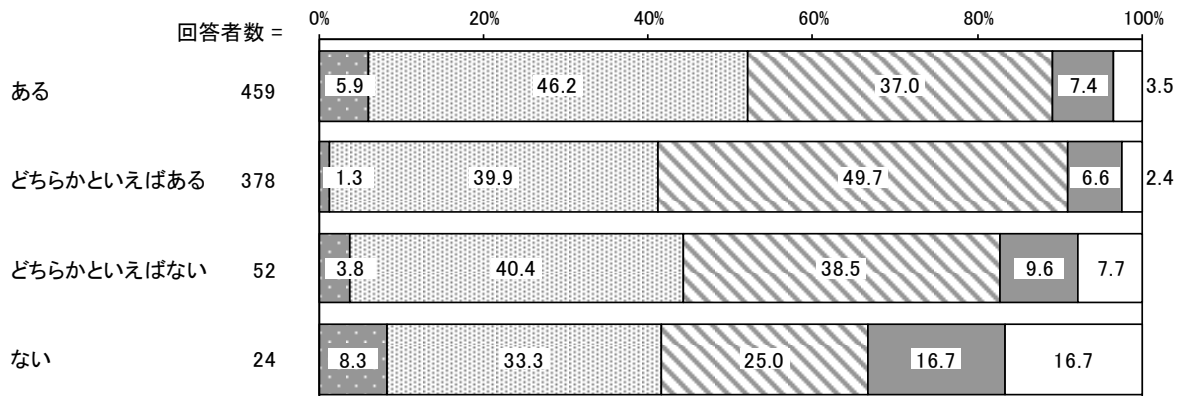
【図 5-8-1 ライフステージ別 健康づくりに関する情報の満足度】



【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別でみると、他に比べ、関心がある人で「満足」の割合が高くなっています。また、どちらかといえばある人で「少し満足」の割合が高くなっています。

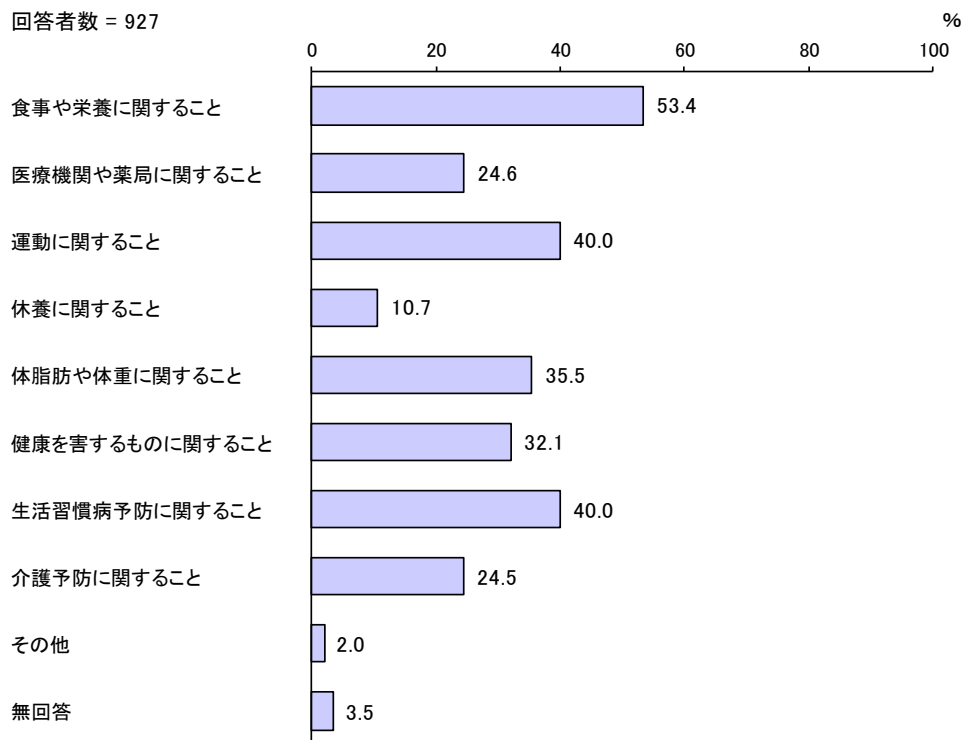
【図 5-8-2 健康づくりへの関心度別 健康づくりに関する情報の満足度】



問 35 あなたがご自身や家族の健康のために知りたいことはどんなことですか。
<あてはまるものすべてに○>

「食事や栄養に関すること」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「運動に関すること」、「生活習慣病予防に関すること」の割合が 40.0%となっています。

【図 5-9 自身や家族の健康のために知りたいこと】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「健康を害するものに関すること」「介護予防に関すること」の割合が高くなっています。また、他に比べ、成年期で「食事や栄養に関すること」「運動に関すること」「体脂肪や体重に関すること」の割合が高くなっています。

【図 5-9-1 ライフステージ別 自身や家族の健康のために知りたいこと】

単位：%

区分	回答者数(件)	食事や栄養に関すること	医療機関や薬局に関すること	運動に関すること	休養に関すること	体脂肪や体重に関すること	健康を害するものに関すること	生活習慣病予防に関すること	介護予防に関すること	その他	無回答
青年期	47	40.4	8.5	36.2	19.1	36.2	8.5	19.1	8.5	4.3	2.1
成年期	136	62.5	27.2	44.1	14.7	46.3	27.9	37.5	14.0	0.7	0.7
中年期	373	52.5	23.6	41.0	12.3	39.7	31.9	42.4	24.9	1.9	1.9
高年期	366	52.5	26.8	37.7	6.0	26.8	37.2	41.3	29.8	2.5	6.0

【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別でみると、関心が高くなるにつれ「食事や栄養に関すること」「医療機関や薬局に関すること」「体脂肪や体重に関すること」「健康を害するものに関すること」の割合が高くなっています。また、関心がない人に比べ、ある人で「運動に関すること」「生活習慣病予防に関すること」の割合が高くなっています。

【図 5-9-2 健康づくりへの関心度別 自身や家族の健康のために知りたいこと】

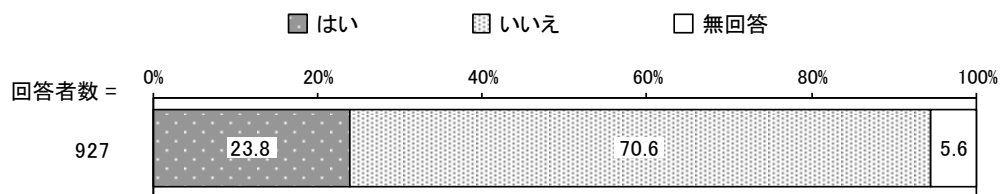
単位：%

区分	回答者数(件)	食事や栄養に関すること	医療機関や薬局に関すること	運動に関すること	休養に関すること	体脂肪や体重に関すること	健康を害するものに関すること	生活習慣病予防に関すること	介護予防に関すること	その他	無回答
ある	459	60.1	27.7	49.0	12.9	37.0	35.3	41.6	27.9	1.7	2.0
どちらかといえばある	378	50.5	22.0	36.0	7.9	36.5	31.7	43.4	22.2	1.1	2.1
どちらかといえばない	52	34.6	21.2	7.7	11.5	26.9	17.3	21.2	13.5	5.8	7.7
ない	24	20.8	16.7	12.5	4.2	12.5	12.5	12.5	25.0	12.5	20.8

問 36 ここ1年間で、地域活動（町内行事、公民館活動、ボランティア活動、サロンなど）に参加したことはありますか。〈1つに○〉

「はい」の割合が23.8%、「いいえ」の割合が70.6%となっています。

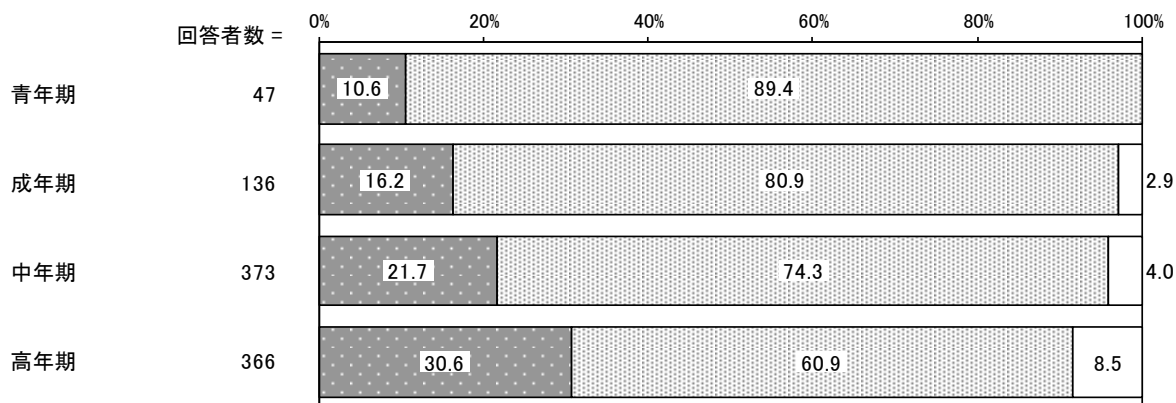
【図 5-10 1年間で地域活動への参加経験の有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、年代が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。

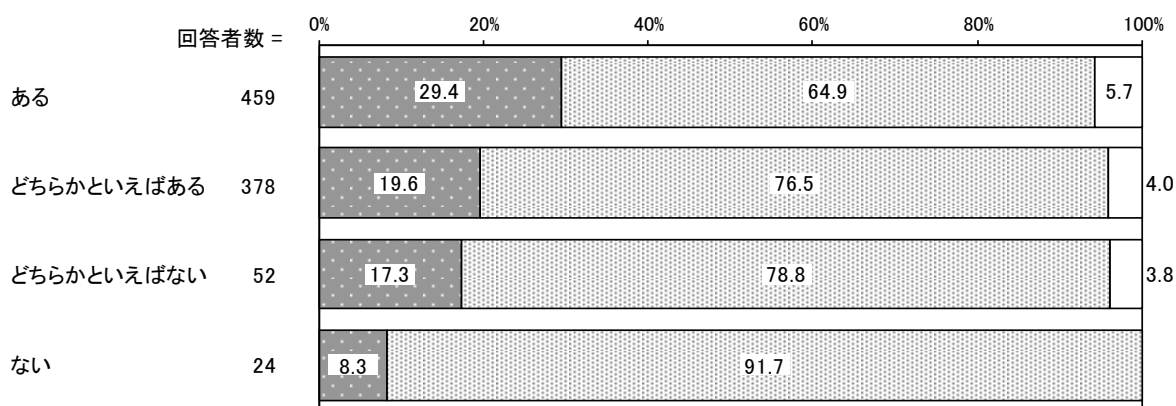
【図 5-10-1 ライフステージ別 1年間で地域活動への参加経験の有無】



【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別で見ると、関心が高くなるにつれ「はい」の割合が高くなっています。

【図 5-10-2 健康づくりへの関心度別 1年間で地域活動への参加経験の有無】

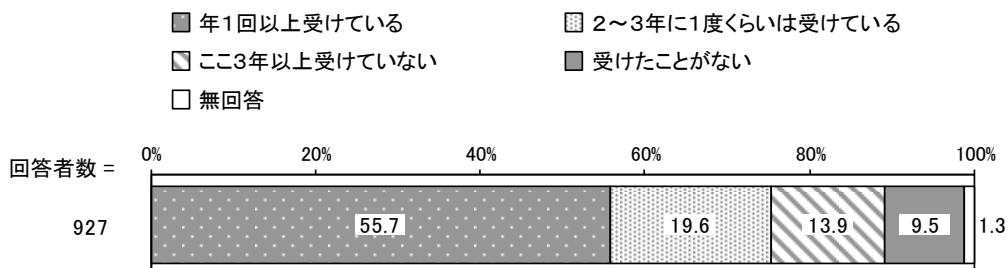


(6) 歯の健康等について

問 37 あなたは、定期的に歯科健診を受けていますか。〈1つに○〉

「年1回以上受けている」の割合が55.7%と最も高く、次いで「2～3年に1度くらいは受けている」の割合が19.6%、「ここ3年以上受けていない」の割合が13.9%となっています。

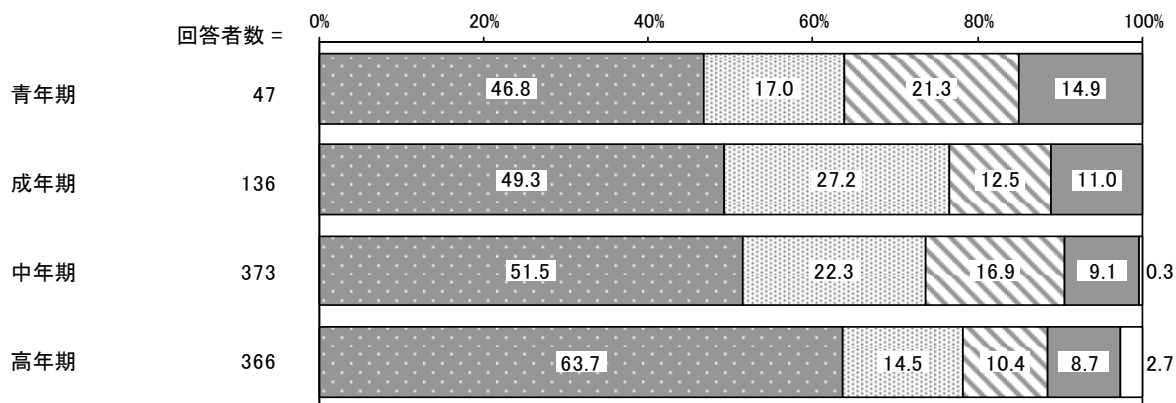
【図 6-1 歯科健診の受診状況】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「年1回以上受けている」の割合が高くなっています。また、他に比べ、成年期で「2～3年に1度くらいは受けている」の割合が、青年期で「ここ3年以上受けていない」の割合が高くなっています。

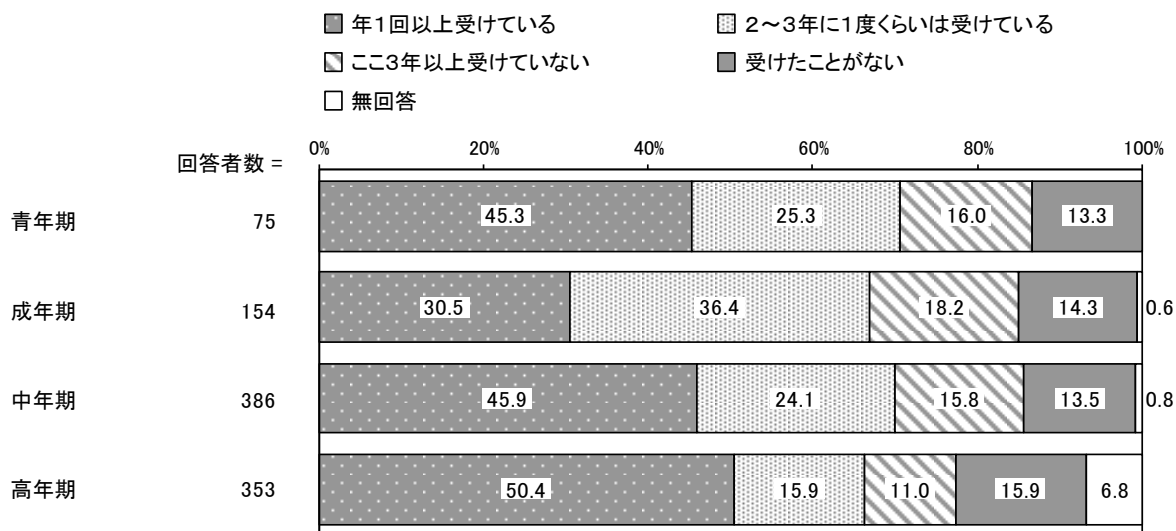
【図 6-1-1 ライフステージ別 歯科健診の受診状況】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、成年期、中年期、高年期で「年1回以上受けている」の割合が増加しており、特に成年期で18.8ポイント増加しています。また、青年期で「2～3年に1度くらいは受けている」の割合が8.3ポイント減少し、「ここ3年以上受けていない」の割合が5.3ポイント増加しています。

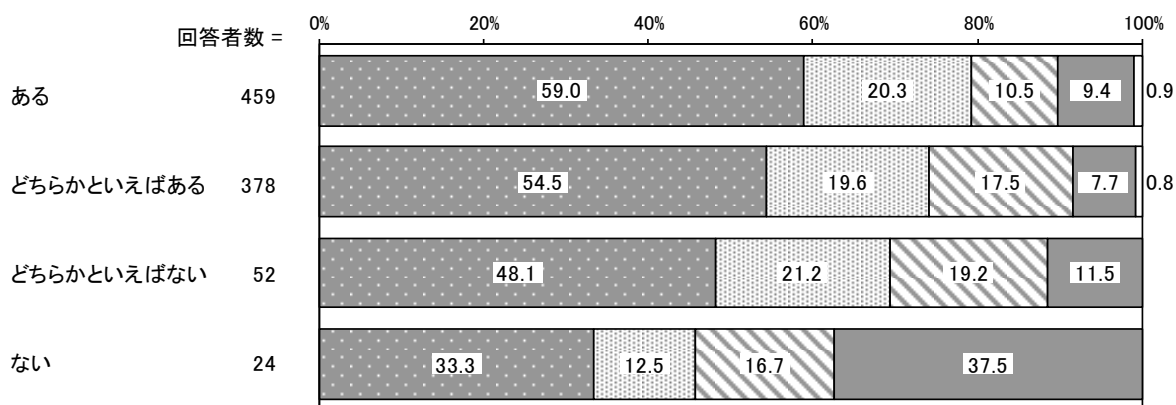
【図 6-1-2 ライフステージ別 歯科健診の受診状況<前回調査>】



【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別で見ると、関心が高くなるにつれ「年1回以上受けている」の割合が高くなっています。また、他に比べ、関心がない人で「受けたことがない」の割合が高くなっています。

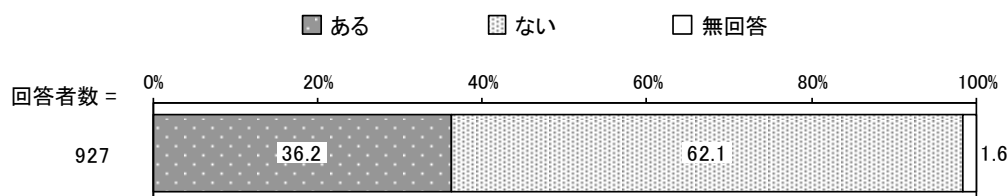
【図 6-1-3 健康づくりへの関心度別 歯科健診の受診状況<前回調査>】



問 38 これまで歯科医等に“歯周病”または“歯肉炎”と言われたことがありますか。
 <1つに○>

「ある」の割合が 36.2%、「ない」の割合が 62.1%となっています。

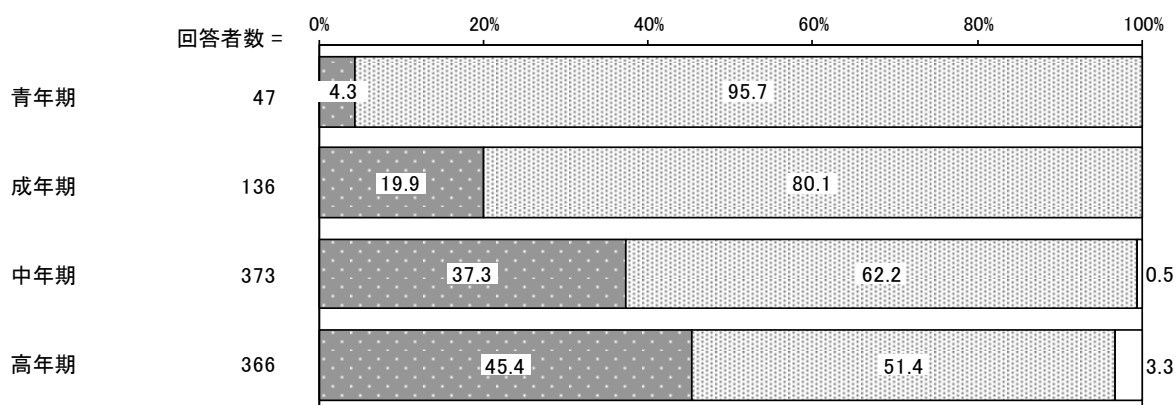
【図 6-2 歯周病や歯肉炎の診断の有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「ある」の割合が高くなっています。

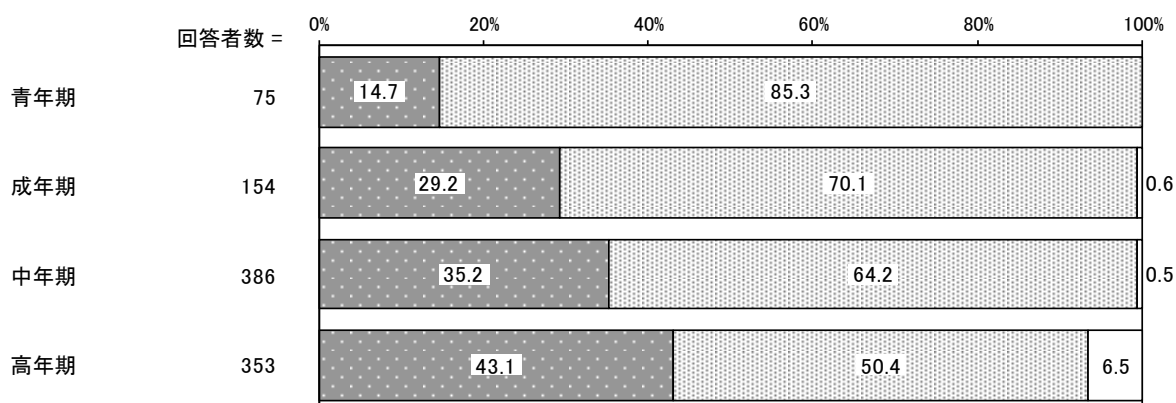
【図 6-2-1 ライフステージ別 歯周病や歯肉炎の診断の有無】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期、成年期ともに「ある」の割合が約 10 ポイント減少し、「ない」の割合が約 10 ポイント増加しています。

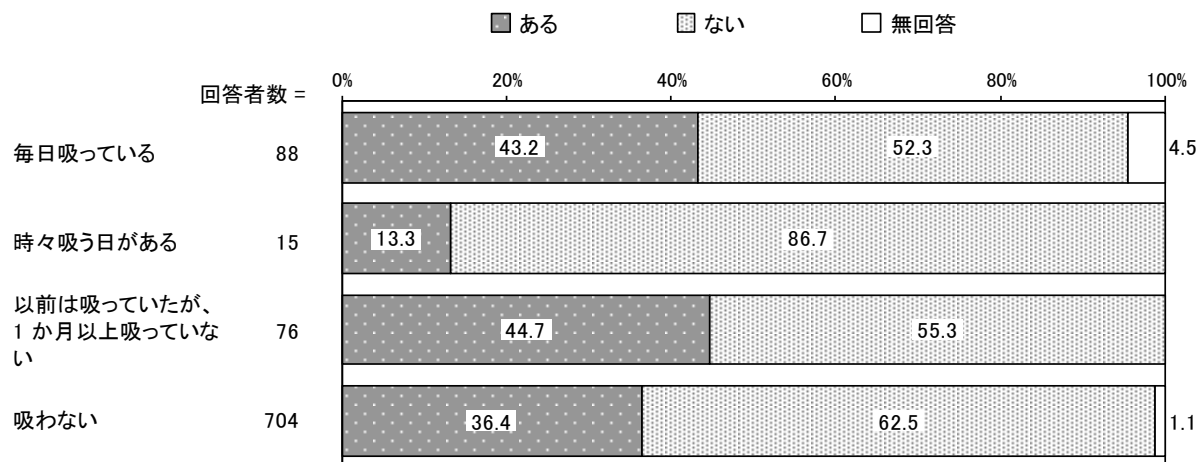
【図 6-2-2 ライフステージ別 歯周病や歯肉炎の診断の有無<前回調査>】



【喫煙の有無別】

喫煙の有無別でみると、他に比べ、「毎日吸っている」人、「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」人で「ある」の割合が高くなっています。また、「時々吸う日がある」人で「ない」の割合が高くなっています。

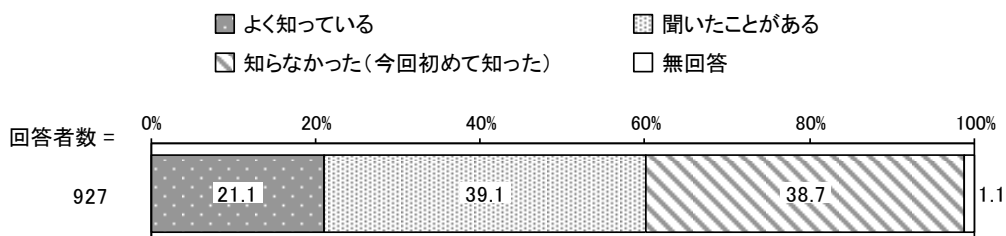
【図 6-2-3 喫煙の有無別 歯周病や歯肉炎の診断の有無】



問 39 あなたは、“歯周病”と“糖尿病”が、相互に悪影響を及ぼし合っていることを知っていますか。〈1つに○〉

「聞いたことがある」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 38.7%、「よく知っている」の割合が 21.1%となっています。

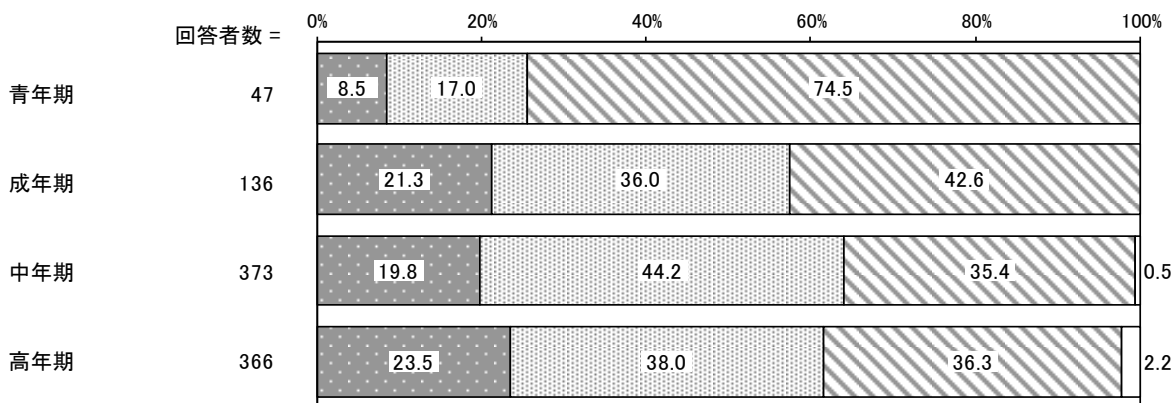
【図 6-3 歯周病と糖尿病が悪影響を及ぼし合うことの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、青年期で「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が高くなっています。

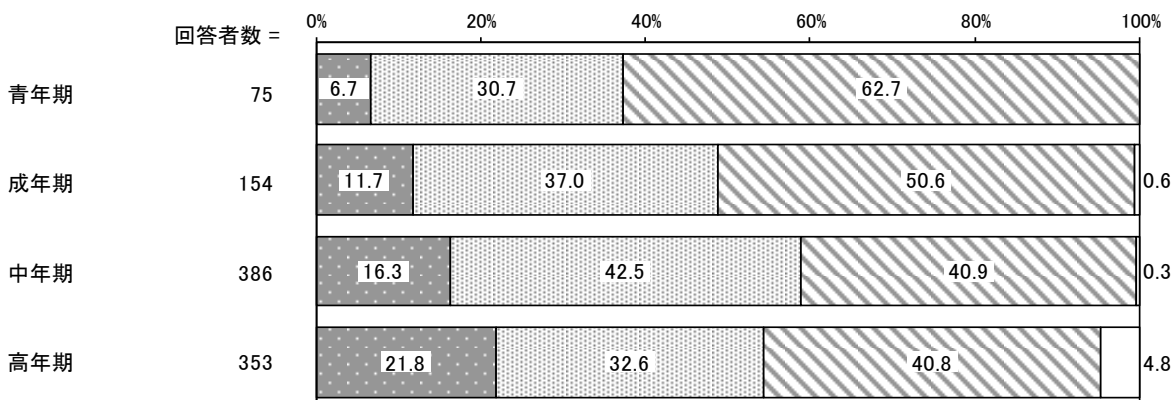
【図 6-3-1 ライフステージ別 歯周病と糖尿病が悪影響を及ぼし合うことの認知度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、青年期で「聞いたことがある」の割合が 13.7 ポイント減少し、「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 11.8 ポイント増加しています。また、成年期で「よく知っている」の割合が 9.6 ポイント増加し、「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 8.0 ポイント減少しているほか、高年期で「聞いたことがある」の割合が 5.4 ポイント増加し、中年期で「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 4.5 ポイント減少しています。

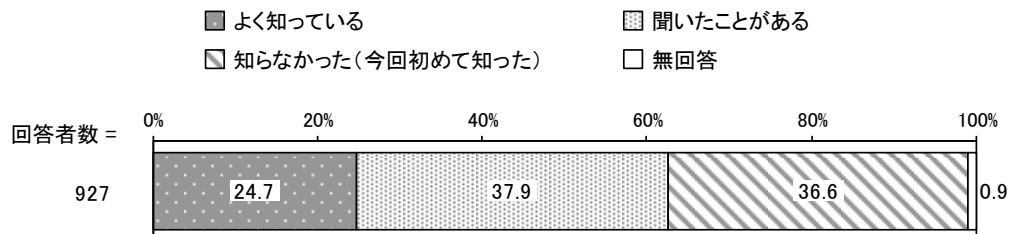
【図 6-3-2 ライフステージ別 歯周病と糖尿病が悪影響を及ぼし合うことの認知度<前回調査>】



問 40 あなたは、口腔機能の向上が"誤嚥性肺炎の予防"につながることを知っていますか。〈1つに○〉

「聞いたことがある」の割合が 37.9%と最も高く、次いで「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 36.6%、「よく知っている」の割合が 24.7%となっています。

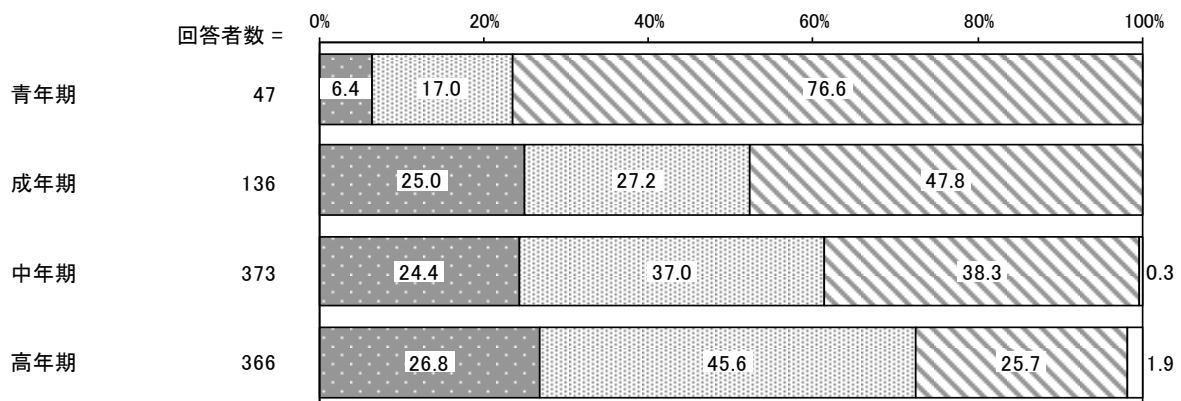
【図 6-4 口腔機能向上による誤嚥性肺炎予防の認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が低くなるにつれ「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が高く、年代が高くなるにつれ「聞いたことがある」の割合が高くなっています。また、他に比べ、青年期で「よく知っている」の割合が低くなっています。

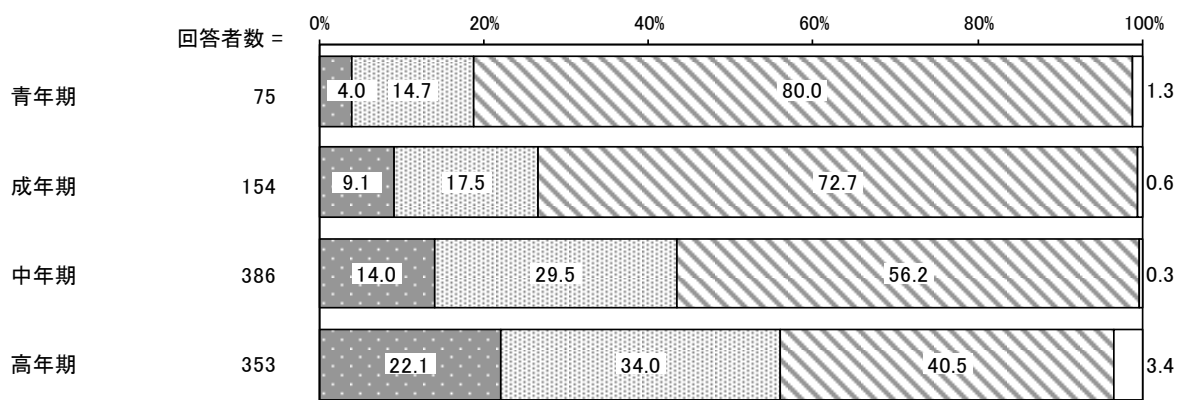
【図 6-4-1 ライフステージ別 口腔機能向上による誤嚥性肺炎予防の認知度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、成年期、中年期、高年期で「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が減少し、「聞いたことがある」の割合が増加しています。また、成年期、中年期で「よく知っている」の割合が増加しています。

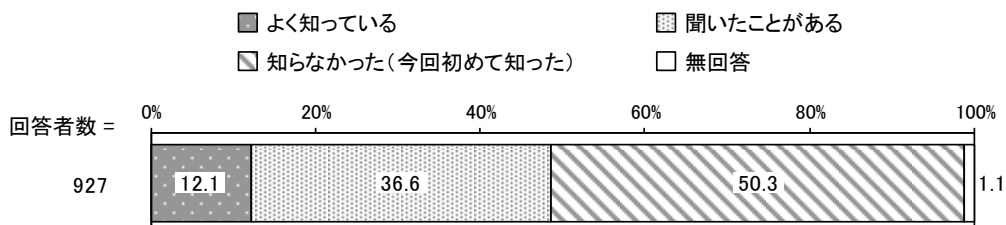
【図 6-4-2 ライフステージ別 口腔機能向上による誤嚥性肺炎予防の認知度<前回調査>】



問 41 歯周病や歯肉炎は 20 歳ころから発症しやすくなることを知っていますか。
 <1つに○>

「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「聞いたことがある」の割合が 36.6%、「よく知っている」の割合が 12.1%となっています。

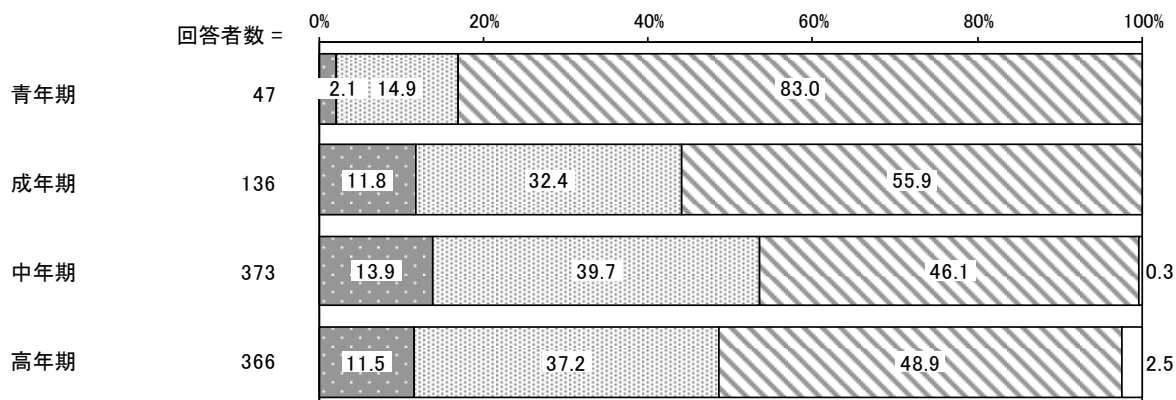
【図 6-5 歯周病や歯肉炎が 20 歳ころから発症しやすくなることの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、青年期で「よく知っている」「聞いたことがある」の割合が低く、「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が高くなっています。

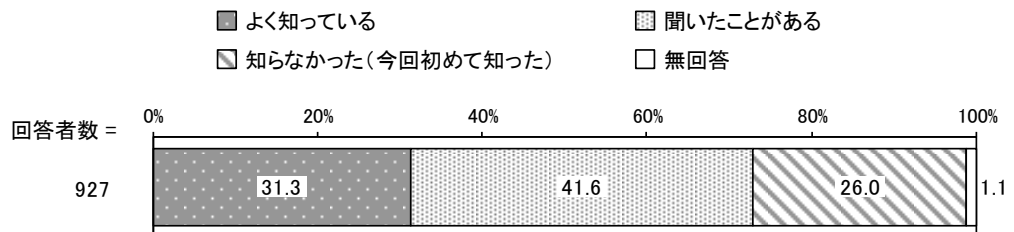
【図 6-5-1 ライフステージ別 歯周病や歯肉炎が 20 歳ころから発症しやすくなることの認知度】



問 42 むし歯や歯周病は口腔内細菌による感染症であることを知っていますか。
 <1つに○>

「聞いたことがある」の割合が 41.6%と最も高く、次いで「よく知っている」の割合が 31.3%、「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 26.0%となっています。

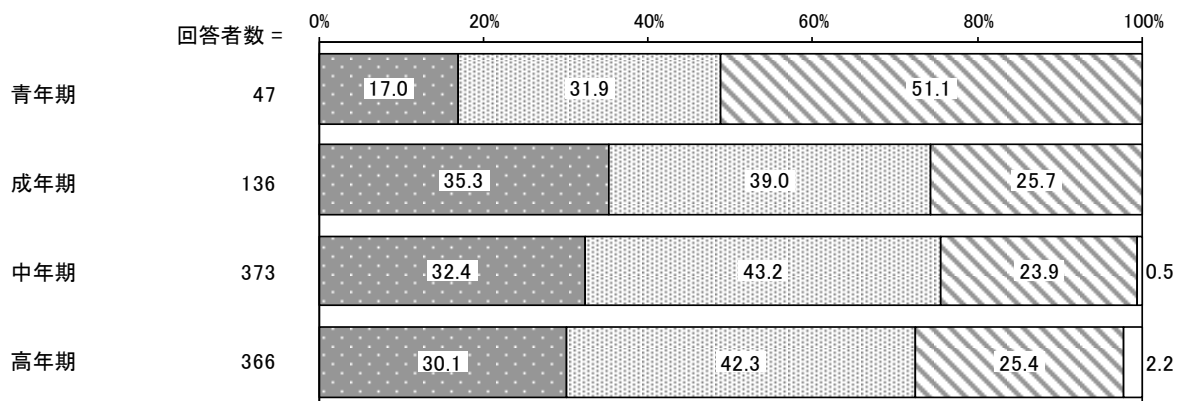
【図 6-6 むし歯や歯周病が口腔内細菌による感染症であることの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、青年期で「よく知っている」の割合が低く、「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が高くなっています。

【図 6-6-1 ライフステージ別 むし歯や歯周病が口腔内細菌による感染症であることの認知度】

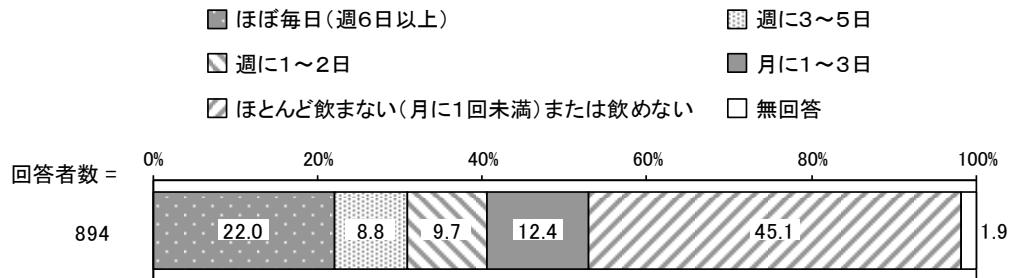


(7) お酒を飲む機会等について

問 43 あなたはふだんお酒やビールなどのアルコール類を飲むことがありますか。
 <1つに○>

「ほとんど飲まない（月に1回未満）または飲めない」の割合が45.1%と最も高く、次いで「ほぼ毎日（週6日以上）」の割合が22.0%、「月に1～3日」の割合が12.4%となっています。

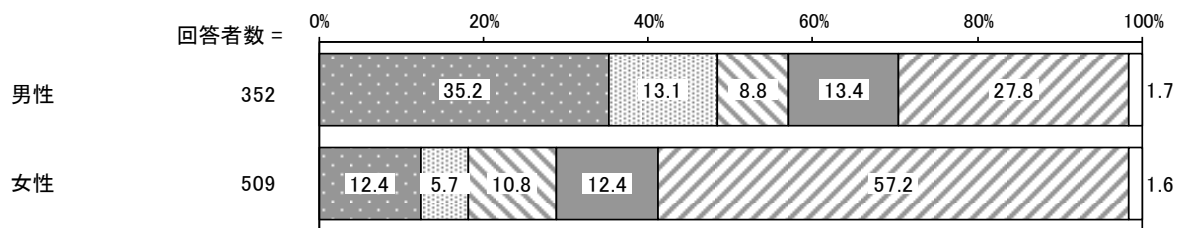
【図 7-1 飲酒の頻度】



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「ほぼ毎日（週6日以上）」「週に3～5日」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「ほとんど飲まない（月に1回未満）または飲めない」の割合が高くなっています。

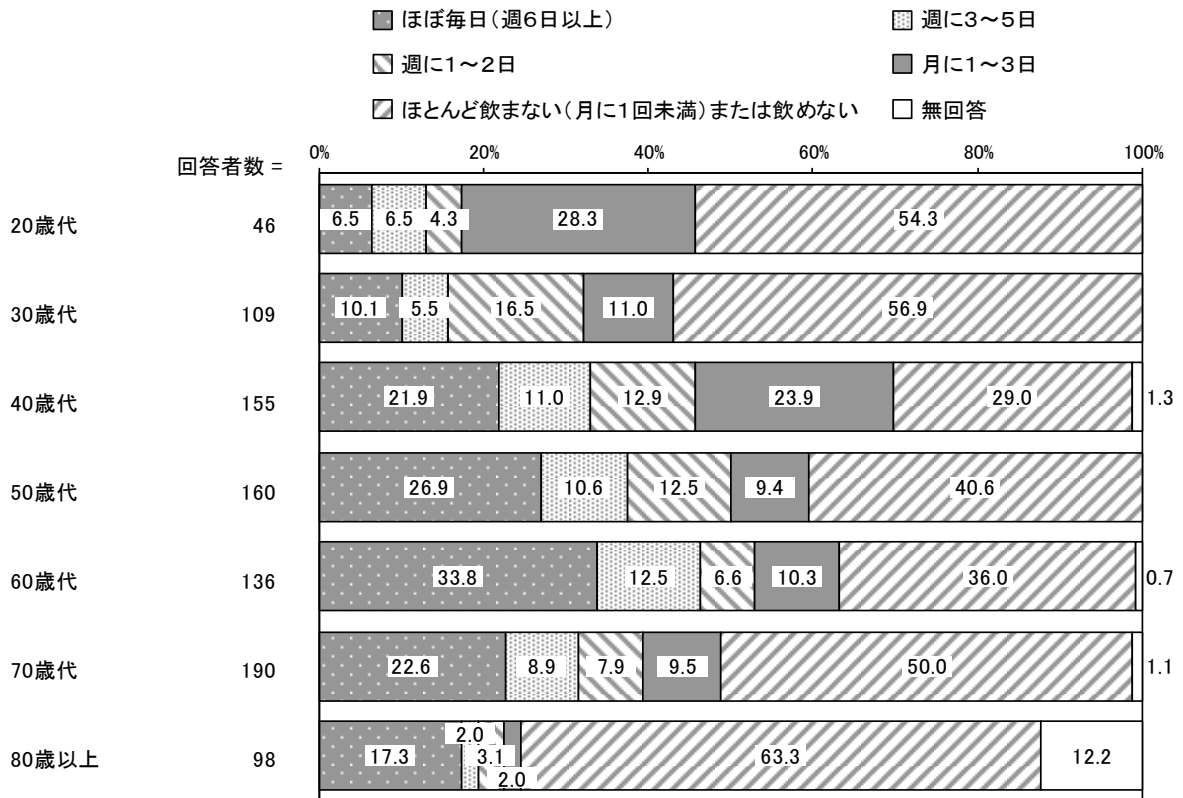
【図 7-1-1 性別 飲酒の頻度】



【年代別】

年代別でみると、他に比べ、60歳代で「ほぼ毎日（週6日以上）」の割合が高くなっています。また、20歳代、40歳代で「月に1～3日」の割合が、80歳以上で「ほとんど飲まない（月に1回未満）または飲めない」の割合が高くなっています。

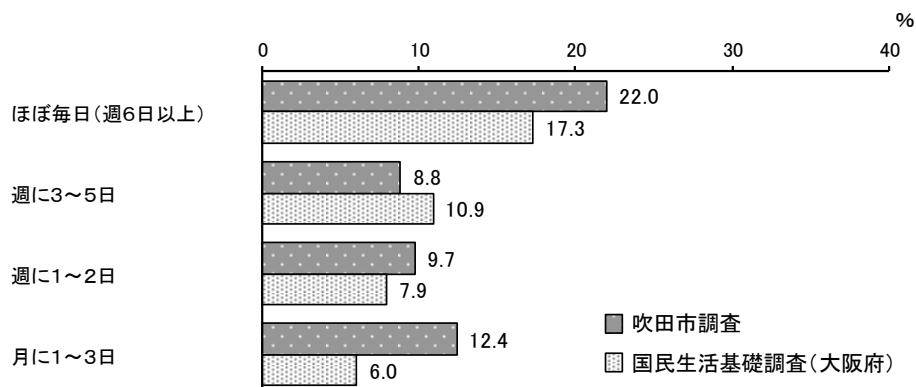
【図 7-1-2 年代別 飲酒の頻度】



【国民生活基礎調査（平成 28 年）における大阪府との比較（飲酒の頻度）】

飲酒頻度を国民生活基礎調査による大阪府と比較すると、大阪府に比べ、「月に1～3日」で6.4ポイント高くなっています。

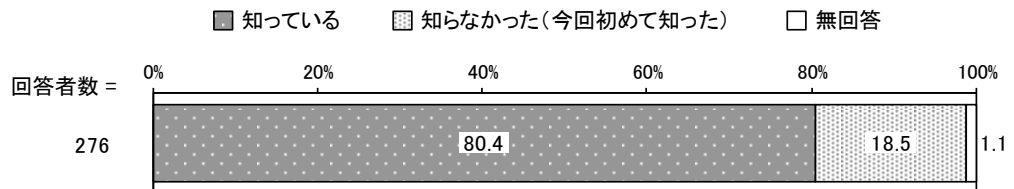
【図 7-1-3 飲酒の頻度«大阪府との比較»】



問 43-1 問 43 で「1 ほぼ毎日（週 6 日以上）」「2 週に 3～5 日」とお答えの方にお聞きします。
 飲酒の適量は 1 日に日本酒なら 1 合、ビールなら 500ml を 1 本、缶酎ハイなら 350ml を 1 缶程度ということをおあなたは知っていますか。〈1 つに○〉

「知っている」の割合が 80.4%、「知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 18.5%となっています。

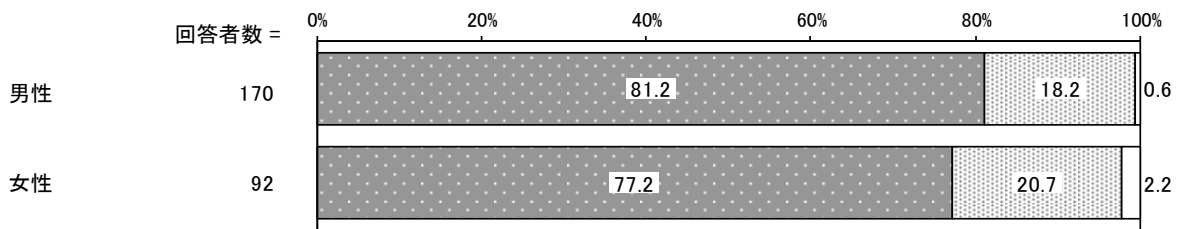
【図 7-2 飲酒の適量の認知度】



【性 別】

性別でみると、大きな差異はみられません。

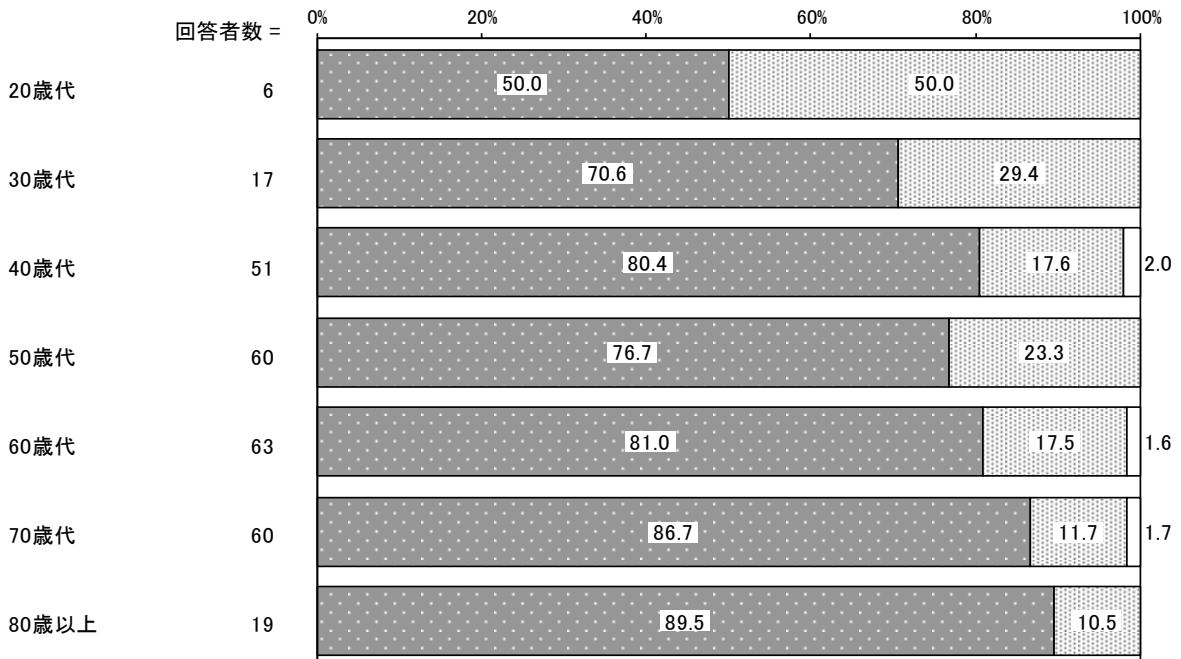
【図 7-2-1 性別 飲酒の適量の認知度】



【年代別】

年代別でみると、年代が高くなるにつれ「知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。

【図 7-2-2 年代別 飲酒の適量の認知度】

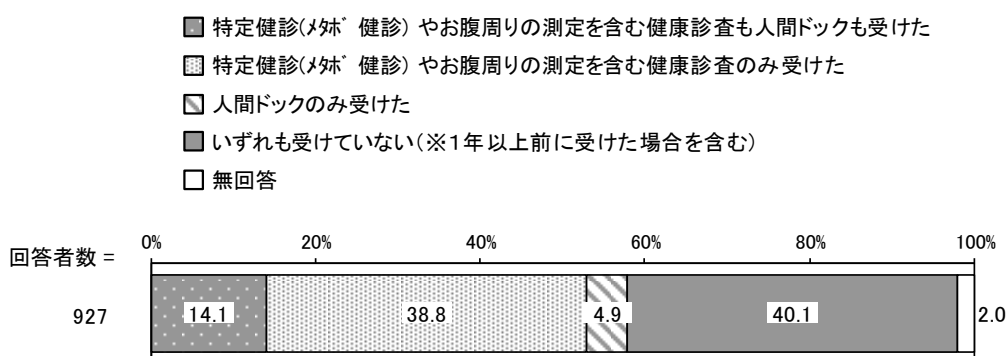


(8) 健診や医療機関の受診状況等について

問 44 過去1年間に、特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査、人間ドックを受けたことがありますか。〈1つに○〉

「いずれも受けていない（1年以上前に受けた場合を含む）」の割合が40.1%と最も高く、次いで「特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査のみ受けた」の割合が38.8%、「特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査も人間ドックも受けた」の割合が14.1%となっています。

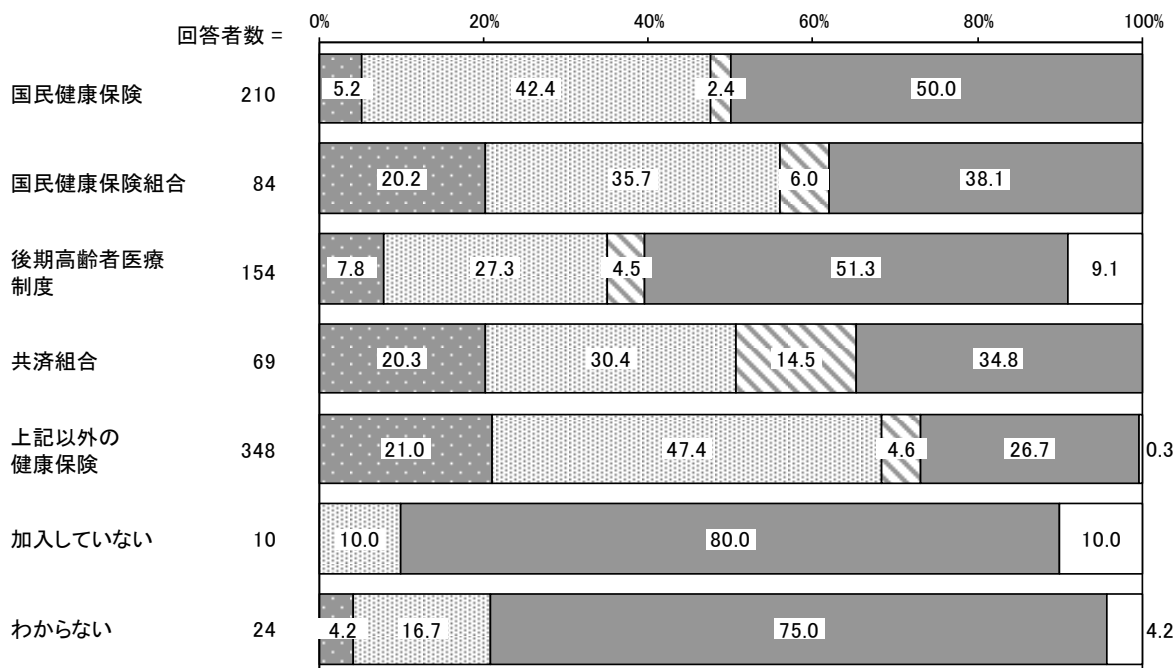
【図 8-1 健診や人間ドックの受診状況】



【健康保険の種類別】

特定健診や人間ドック等、何らかの健診を受けた人の割合は、「上記以外の健康保険組合」で73.0%、「共済組合」で65.2%、「国民健康保険組合」で61.9%、「国民健康保険」で50.0%、「後期高齢者医療制度」で39.6%となっており、「上記以外の健康保険組合」が一番高い割合を示しています。

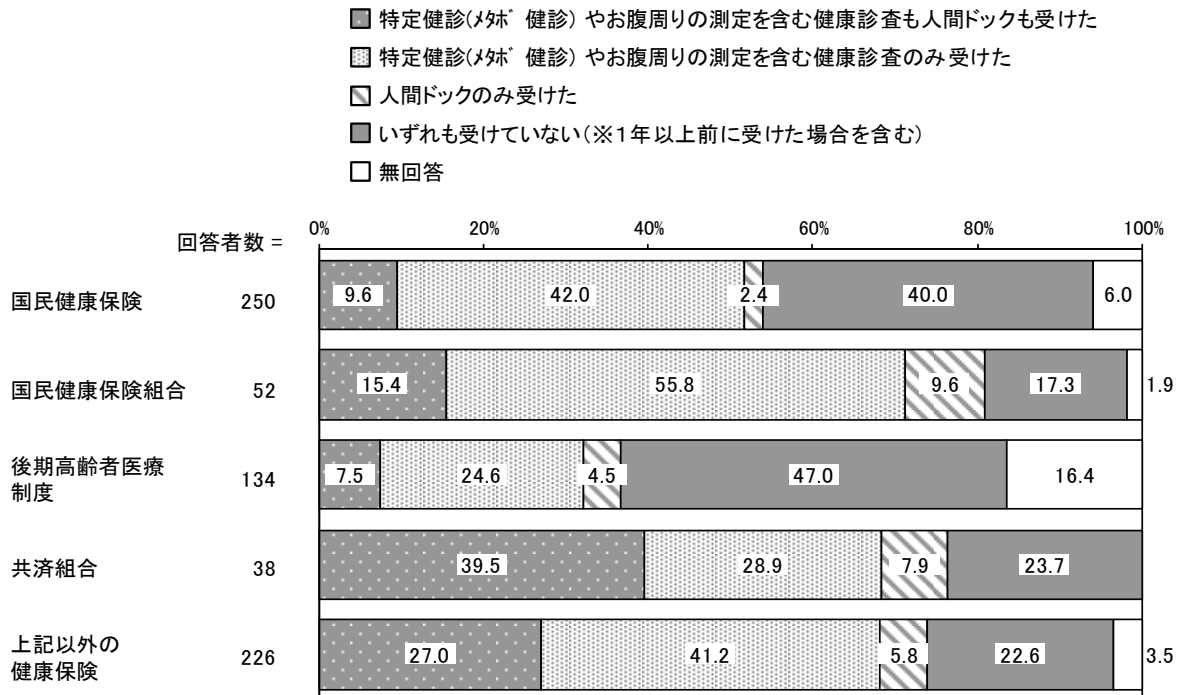
【図 8-1-1 健康保険の種類別 健診や人間ドックの受診状況】



【前回調査（健康保険の種類別）】

前回調査と比較すると、国民健康保険、国民健康保険組合、共済組合で「いずれも受けていない（※1年以上前に受けた場合を含む）」の割合が増加しており、特に国民健康保険組合で20.8ポイント増加しています。また、国民健康保険組合で「特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査のみ受けた」の割合が20.1ポイント減少しているほか、共済組合で「特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査も人間ドックも受けた」の割合が19.2ポイント減少し、「人間ドックのみ受けた」の割合が6.6ポイント増加しています。

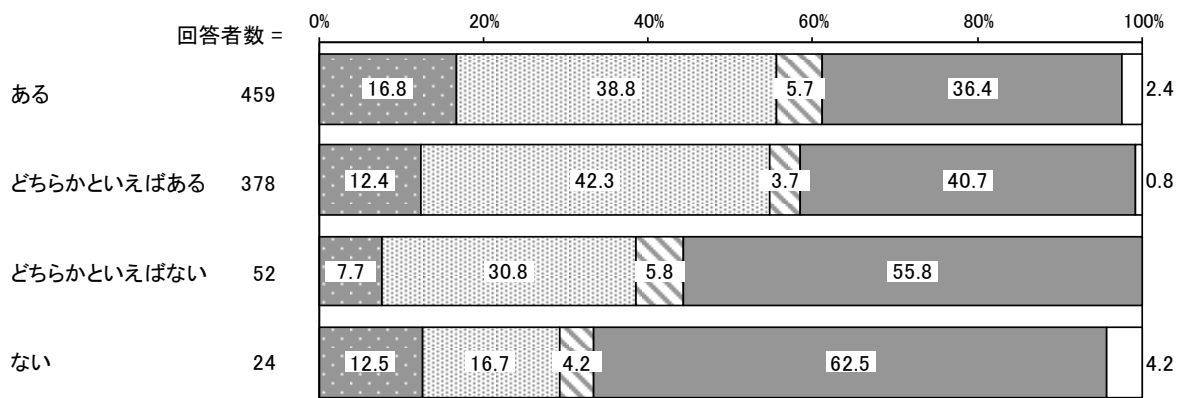
【図 8-1-2 健康保険の種類別 健診や人間ドックの受診状況◀前回調査▶】



【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別で見ると、関心が低くなるにつれ「いずれも受けていない（1年以上前に受けた場合を含む）」の割合が高くなっています。また、関心がない人に比べ、関心がある人で「特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査のみ受けた」の割合が高くなっています。

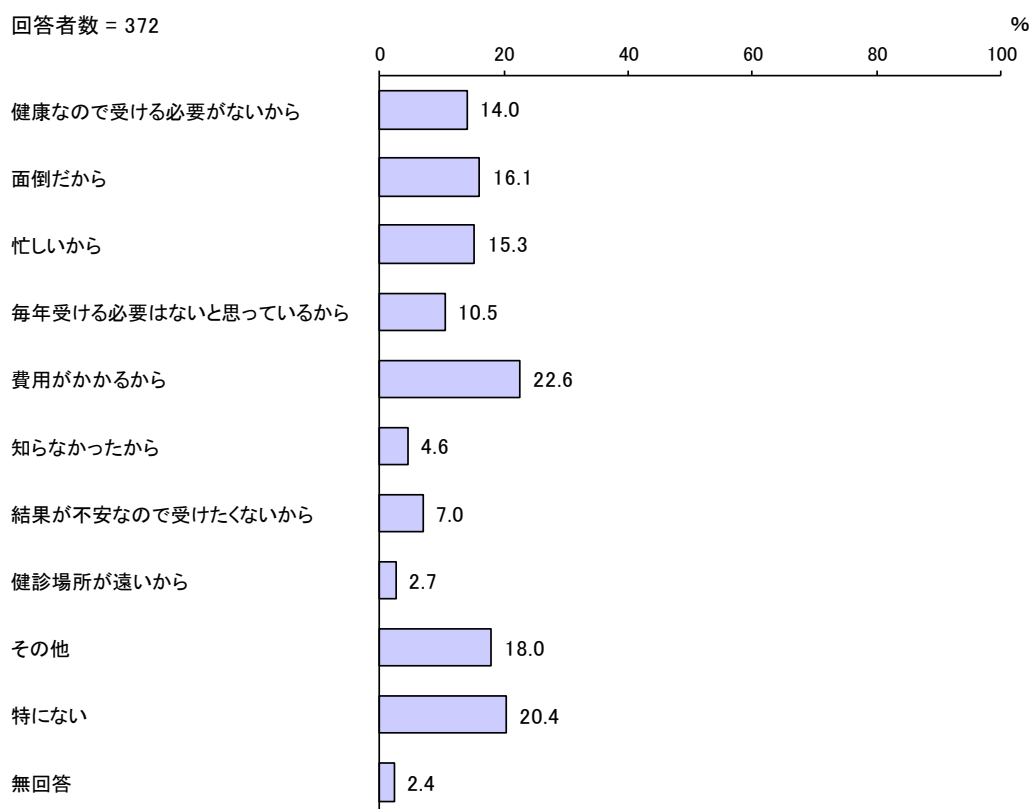
【図 8-1-3 健康づくりへの関心度別 健診や人間ドックの受診状況◀前回調査▶】



問 44-1 問 44 で「4 いずれも受けていない」という人にお聞きします。
健康診査や人間ドックを受けていない理由は何ですか。
<あてはまるものすべてに○>

「費用がかかるから」の割合が 22.6%と最も高く、次いで「特にない」の割合が 20.4%、「面倒だから」の割合が 16.1%となっています。

【図 8-2 健康診査や人間ドックを受けていない理由】



【健康保険の種類別】

健康保険の種類別で見ると、他に比べ、国民健康保険組合で「費用がかかるから」の割合が高くなっています。また、国民健康保険、国民健康保険組合で「面倒だから」の割合が、国民健康保険組合、上記以外の健康保険で「忙しいから」の割合が高くなっています。

【図 8-2-1 健康保険の種類別 健康診査や人間ドックを受けていない理由】

単位：%

区分	回答者数(件)	健康なので受ける必要がないから	面倒だから	忙しいから	思っているから	毎年受ける必要はないと	費用がかかるから	知らなかったから	結果が不安なので受けたくないから	健診場所が遠いから	その他	特にない	無回答
国民健康保険	105	15.2	21.9	16.2	11.4	24.8	2.9	9.5	1.9	21.0	16.2	2.9	
国民健康保険組合	32	18.8	21.9	21.9	9.4	37.5	6.3	6.3	3.1	21.9	9.4	-	
後期高齢者医療制度	79	20.3	8.9	7.6	12.7	13.9	3.8	3.8	2.5	15.2	24.1	6.3	
共済組合	24	20.8	8.3	8.3	8.3	12.5	-	-	4.2	20.8	25.0	-	
上記以外の健康保険	93	7.5	14.0	23.7	11.8	23.7	4.3	5.4	4.3	17.2	21.5	-	
加入していない	8	-	25.0	12.5	-	50.0	12.5	37.5	-	12.5	12.5	-	
わからない	18	11.1	27.8	5.6	5.6	22.2	11.1	11.1	-	5.6	33.3	-	

【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別で見ると、関心がある人に比べ、関心がない人で「特にない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、どちらかといえばある人で「面倒だから」「費用がかかるから」の割合が高くなっています。

【図 8-2-2 健康づくりへの関心度別 健康診査や人間ドックを受けていない理由】

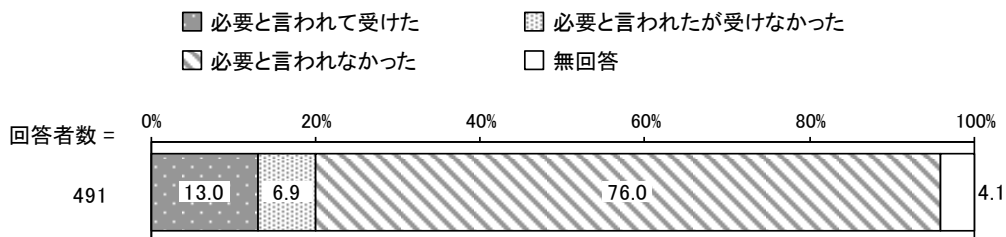
単位：%

区分	回答者数(件)	健康なので受ける必要がないから	面倒だから	忙しいから	思っているから	毎年受ける必要はないと	費用がかかるから	知らなかったから	結果が不安なので受けたくないから	健診場所が遠いから	その他	特にない	無回答
ある	167	15.0	10.8	16.2	10.2	20.4	4.2	6.0	2.4	21.0	17.4	4.2	
どちらかといえばある	154	12.3	22.7	17.5	11.7	27.9	3.9	7.1	3.9	16.9	20.8	1.3	
どちらかといえばない	29	24.1	17.2	3.4	6.9	10.3	-	6.9	-	13.8	27.6	-	
ない	15	-	13.3	13.3	13.3	20.0	20.0	13.3	-	13.3	26.7	-	

問 44-2 問 44 で、「1 特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査も人間ドックも受けた」または「2 特定健診（メタボ健診）やお腹周りの測定を含む健康診査のみ受けた」と回答した人にお聞きします。
 特定保健指導が必要と言われましたか。〈1 つに○〉

「必要と言われなかった」の割合が 76.0%と最も高く、次いで「必要と言われて受けた」の割合が 13.0%となっています。

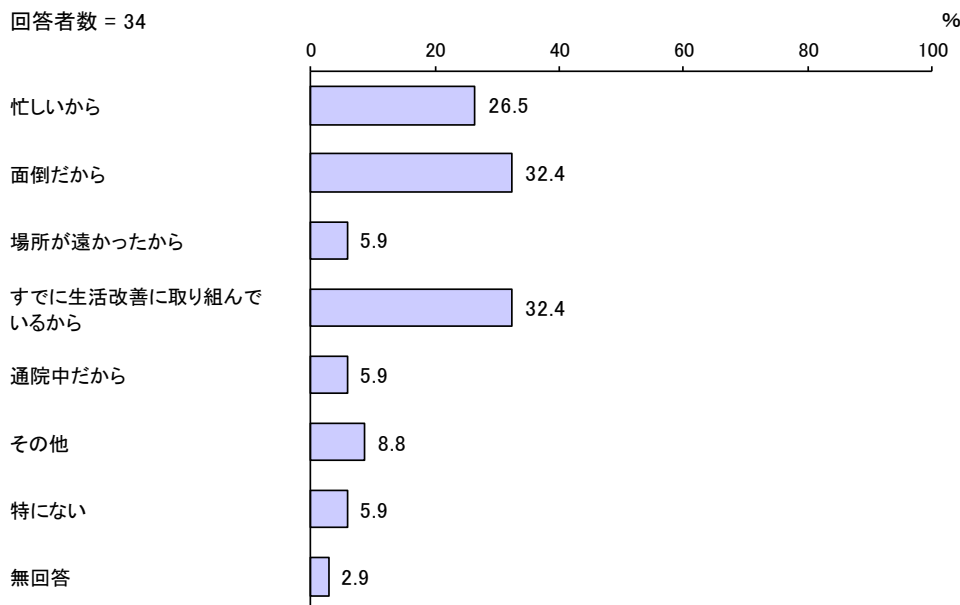
【図 8-3 特定保健指導の必要性】



問 44-3 問 44-2 で「2 必要と言われたが受けなかった」と回答した人にお聞きします。
 特定保健指導を受けなかった理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

「面倒だから」、「すでに生活改善に取り組んでいるから」の割合が 32.4%と最も高く、次いで「忙しいから」の割合が 26.5%となっています。

【図 8-4 特定保健指導を受けなかった理由】

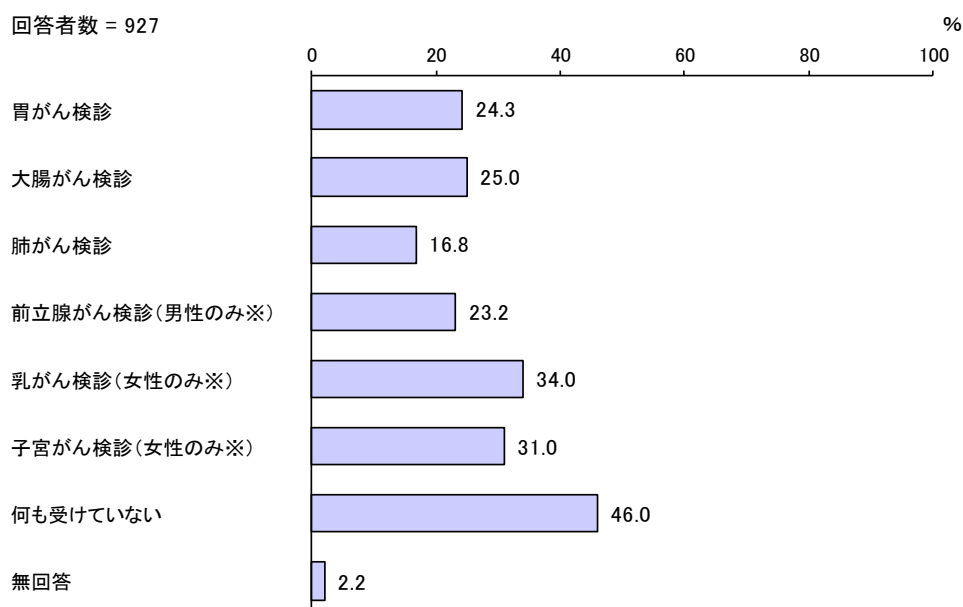


問 45 すべての方にお聞きします。

過去1年間にがん検診を受けましたか。〈あてはまるものすべてに○〉

「何も受けていない」の割合が46.0%と最も高く、次いで「乳がん検診（女性のみ）」の割合が34.0%、「子宮がん検診（女性のみ）」の割合が31.0%となっています。

【図 8-5 過去1年間のがん検診の受診状況】



※「前立腺がん検診」は男性の数を、「乳がん検診」「子宮がん検診」は女性の数を母数として算出。
男性のみの有効回答数は366件、女性のみの有効回答数は526件です。

【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「胃がん検診」「大腸がん検診」「肺がん検診」の割合が高くなっています。また、「何も受けていない」の割合も女性より男性のほうが高くなっています。

【図 8-5-1 性別 過去1年間のがん検診の受診状況】

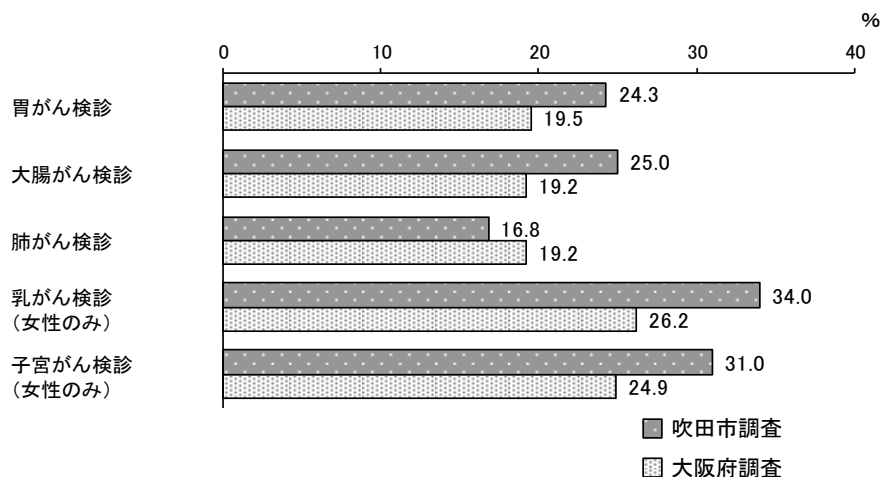
単位：%

区分	回答者数(件)	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	前立腺がん検診(男性のみ)	乳がん検診(女性のみ)	子宮がん検診(女性のみ)	何も受けていない	無回答
男性	366	30.3	30.1	19.9	23.2	-	-	50.3	1.4
女性	526	19.4	21.3	14.8	-	34.0	31.0	43.7	2.5

【大阪府調査※との比較（がん検診の受診割合）】

がん検診の受診割合を大阪府調査と比較すると、肺がんでは府に比べ受診率が低いものの、その他の検診では府に比べ受診率が高く、特に乳がん検診では 7.8 ポイント、子宮がん検診では 6.1 ポイント高くなっています。

【図 8-5-2 過去 1 年間のがん検診の受診状況「大阪府調査との比較」】



※大阪府政策マーケティング・リサーチ 2016 <「がん医療」に関するアンケート>

【健康保険の種類別】

健康保険の種類別で見ると、他に比べ、後期高齢者医療制度で「大腸がん検診」「前立腺がん検診」の割合が高くなっています。また、上記以外の健康保険で「乳がん検診」「子宮がん検診」の割合が高くなっています。

【図 8-5-3 健康保険の種類別 過去 1 年間のがん検診の受診状況】

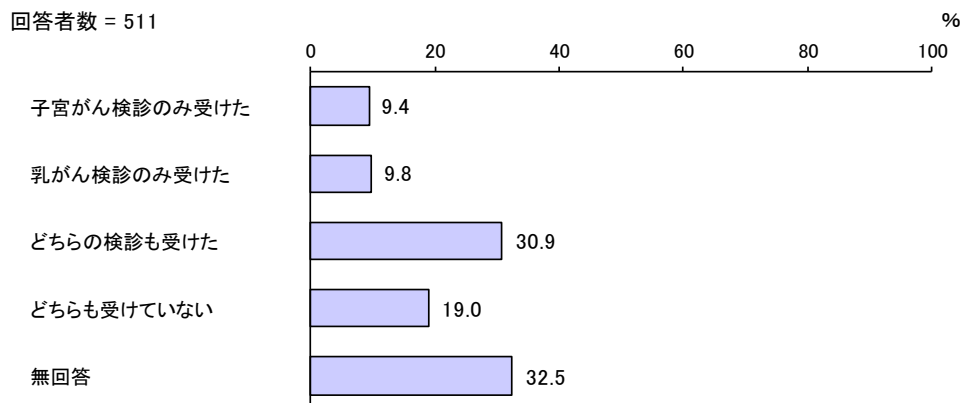
単位：%

区分	回答者数 (件)	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	前立腺がん検診 (男性のみ)	乳がん検診 (女性のみ)	子宮がん検診 (女性のみ)	何も受けていない	無回答
国民健康保険	210	23.3	29.0	21.0	13.3	15.7	11.9	47.6	1.9
国民健康保険組合	84	21.4	22.6	14.3	8.3	21.4	20.2	56.0	-
後期高齢者医療制度	154	30.5	34.4	24.0	23.4	11.0	4.5	35.7	4.5
共済組合	69	21.7	17.4	10.1	5.8	13.0	14.5	50.7	1.4
上記以外の健康保険	348	24.7	21.8	14.7	4.9	27.9	27.9	43.4	0.9
加入していない	10	20.0	10.0	10.0	-	-	10.0	70.0	10.0
わからない	24	8.3	-	-	-	4.2	8.3	83.3	4.2

問 45-1 20歳以上の女性にお聞きします。
過去2年間に子宮がん、乳がん検診を受けましたか。
<あてはまるものすべてに○>

「どちらの検診も受けた」の割合が30.9%と最も高く、次いで「どちらも受けていない」の割合が19.0%となっています。

【図 8-6 過去2年間の子宮がん、乳がん検診の受診状況】



【健康保険の種類別】

健康保険の種類別でみると、他に比べ、上記以外の健康保険で「どちらの検診も受けた」の割合が高くなっています。また、後期高齢者医療制度で「どちらも受けていない」の割合が高くなっています。

【図 8-6-1 健康保険の種類別 過去2年間の子宮がん、乳がん検診の受診状況】

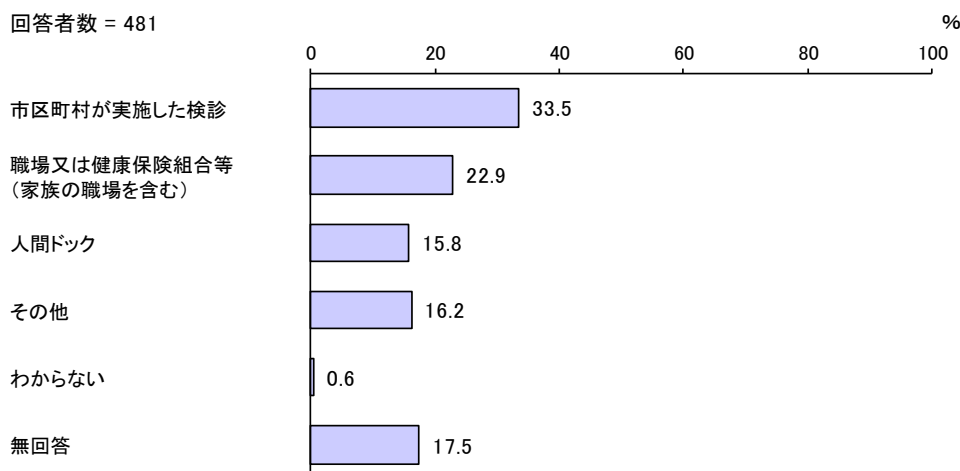
単位：%

区分	回答者数(件)	子宮がん検診のみ受けた	乳がん検診のみ受けた	どちらの検診も受けた	どちらも受けていない	無回答
国民健康保険	119	10.1	13.4	18.5	21.8	37.0
国民健康保険組合	42	14.3	4.8	40.5	14.3	28.6
後期高齢者医療制度	77	1.3	11.7	9.1	27.3	51.9
共済組合	34	17.6	8.8	26.5	17.6	32.4
上記以外の健康保険	204	8.3	8.8	47.5	13.2	23.0
加入していない	8	12.5	-	-	25.0	62.5
わからない	9	22.2	-	11.1	11.1	55.6

問 45-2 問 45 で「胃がん検診」～「子宮がん検診」と回答した人にお聞きします。
それはどのような機会に受けましたか。〈あてはまるものすべてに○〉

「市区町村が実施した検診」の割合が 33.5%と最も高く、次いで「職場又は健康保険組合等
(家族の職場を含む)」の割合が 22.9%、「人間ドック」の割合が 15.8%となっています。

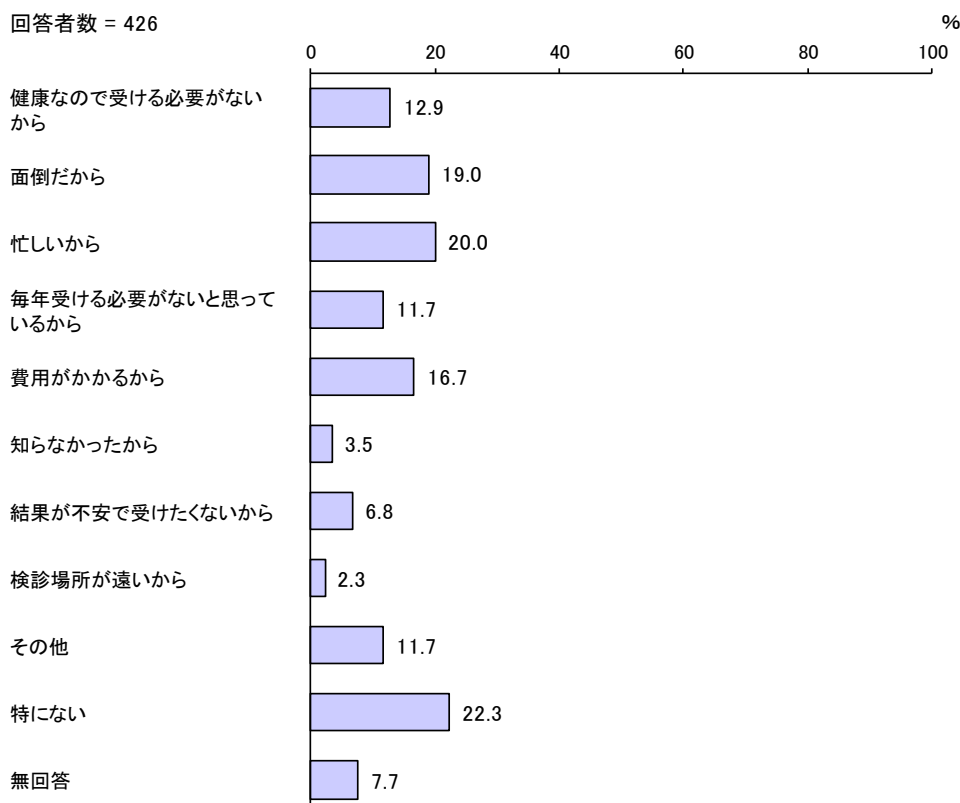
【図 8-7 検診を受診した機会】



問 45-3 受けていない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

「特にない」の割合が 22.3%と最も高く、次いで「忙しいから」の割合が 20.0%、「面倒だから」の割合が 19.0%となっています。

【図 8-8 検診を受けていない理由】

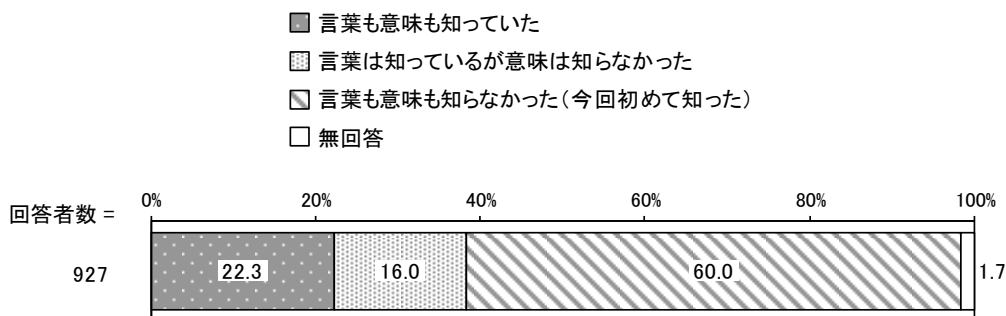


問 46 すべての方にお聞きします。

あなたは、ロコモティブシンドローム（運動器症候群）という言葉を知っていますか。〈1つに○〉

「言葉も意味も知らなかった（今回初めて知った）」の割合が60.0%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」の割合が22.3%、「言葉は知っているが意味は知らなかった」の割合が16.0%となっています。

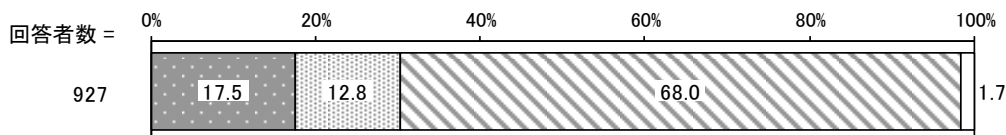
【図 8-9 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度】



【前回調査】

前回調査と比較すると、「言葉も意味も知らなかった（今回初めて知った）」の割合が8.0ポイント減少しています。

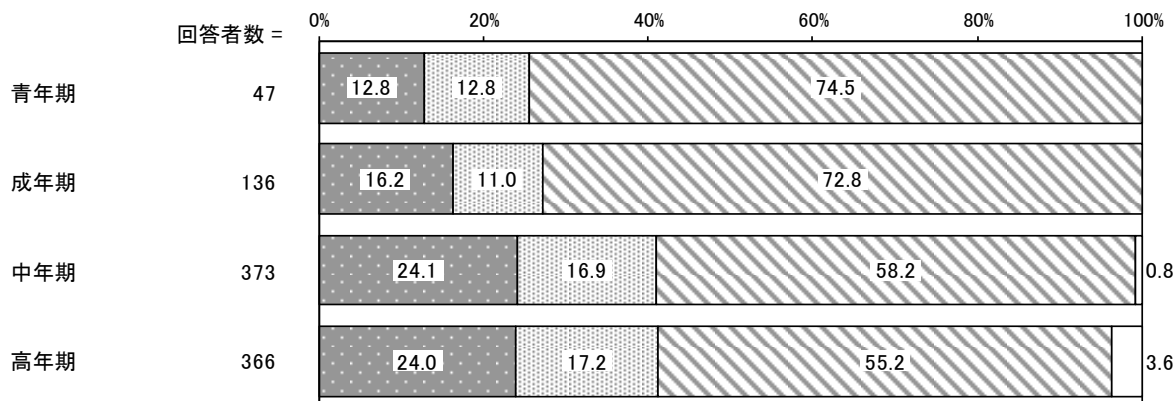
【図 8-9-1 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度<前回調査>】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「言葉も意味も知っていた」の割合が、年代が低くなるにつれ「言葉も意味も知らなかった（今回初めて知った）」の割合が高くなっています。

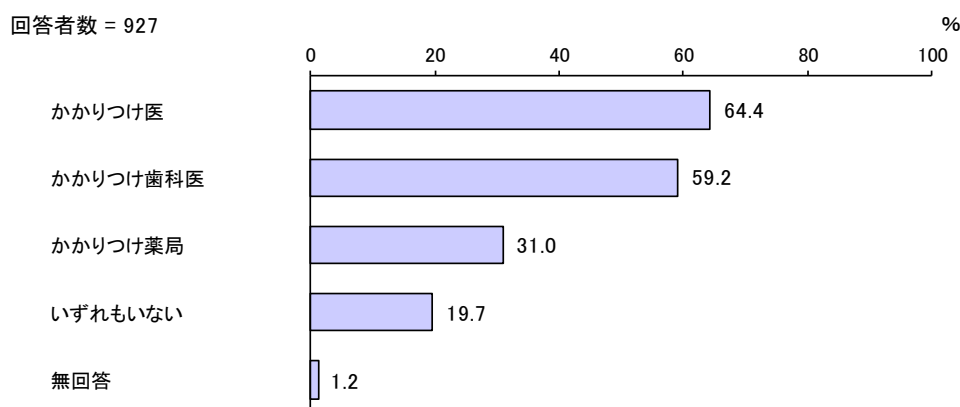
【図 8-9-2 健康保険の種類別 ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度】



問 47 あなたには、自身の健康についての相談や病気になったとき診てもらうための、かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局がありますか。
 <あてはまるものすべてに○>

「かかりつけ医」の割合が 64.4%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医」の割合が 59.2%、「かかりつけ薬局」の割合が 31.0%となっています。

【図 8-10 かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無】



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「いずれもない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「かかりつけ歯科医」「かかりつけ薬局」の割合が高くなっています。

【図 8-10-1 性別 かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無】

単位：%

区分	回答者数 (件)	かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局	いずれもない	無回答
男性	366	64.8	48.9	26.0	23.8	1.9
女性	526	64.4	66.7	34.0	16.9	0.4

【年代別】

年代別でみると、20歳以上で年代が低くなるにつれ「いずれもない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、70歳代、80歳以上で「かかりつけ医」の割合が、60歳代で「かかりつけ歯科医」の割合が、80歳以上で「かかりつけ薬局」の割合が高くなっています。

【図 8-10-2 年代別 かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無】

単位：%

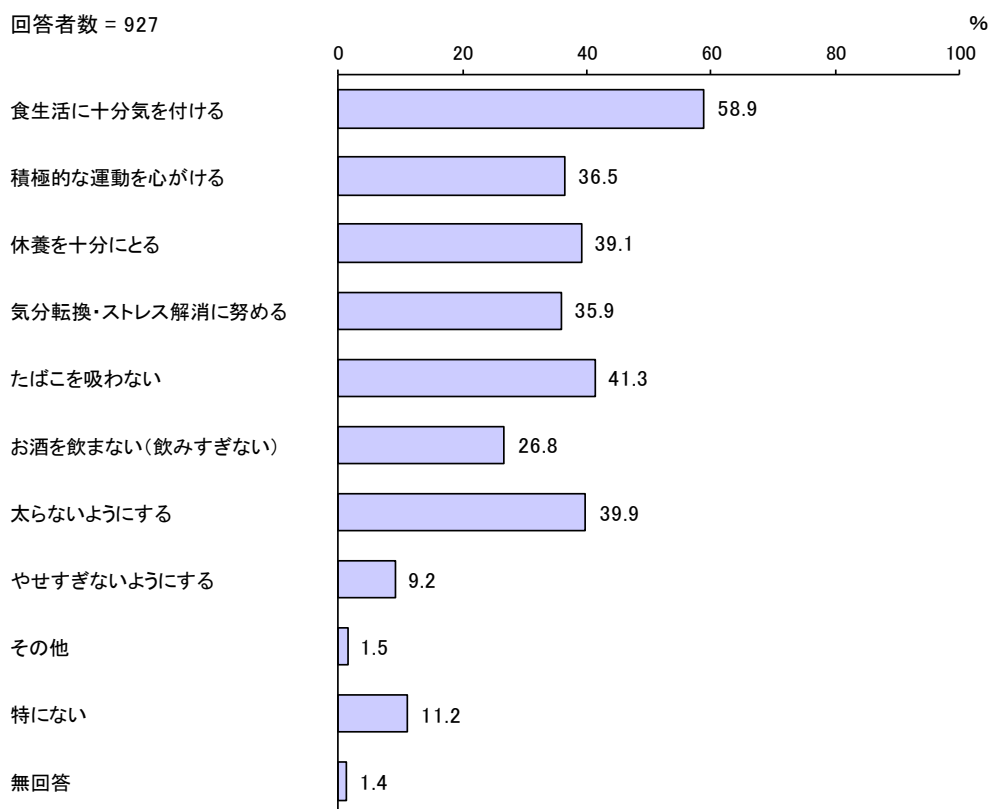
区分	回答者数 (件)	かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局	いずれもない	無回答
19歳以下	28	71.4	60.7	21.4	17.9	-
20歳代	46	41.3	37.0	19.6	47.8	-
30歳代	109	35.8	44.0	17.4	38.5	-
40歳代	155	45.8	54.2	16.1	31.6	1.3
50歳代	160	57.5	52.5	23.1	26.9	0.6
60歳代	136	77.2	74.3	37.5	9.6	-
70歳代	190	86.3	70.5	46.3	3.7	1.6
80歳以上	98	86.7	64.3	51.0	2.0	4.1

問 48 生活習慣病予防のためにやっていることはありますか。

<実践していることすべてに○>

「食生活に十分気を付ける」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「たばこを吸わない」の割合が 41.3%、「太らないようにする」の割合が 39.9%となっています。

【図 8-11 生活習慣病予防のためにやっていること】



【性 別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「積極的な運動を心がける」「特にない」の割合が高くなっています。また、男性に比べ、女性で「食生活に十分気を付ける」「休養を十分にとる」「気分転換・ストレス解消に努める」の割合が高くなっています。

【図 8-11-1 性別 生活習慣病予防のためにやっていること】

単位：%

区分	回答者数 (件)	食生活に十分気を付ける	積極的な運動を心がける	休養を十分にとる	気分転換・ストレス解消に努める	たばこを吸わない	お酒を飲まない(飲みすぎない)	太らないようにする	やせすぎないようにする	その他	特にない	無回答
男性	366	53.6	39.9	34.4	25.1	40.2	23.8	38.3	7.4	1.6	14.5	1.6
女性	526	63.1	34.2	42.4	43.5	41.8	28.3	40.9	10.3	1.5	8.9	0.8

【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「食生活に十分気を付ける」「積極的な運動を心がける」「太らないようにする」「やせすぎないようにする」の割合が、年代低くなるにつれ「特にない」の割合が高くなる傾向がみられます。また他に比べ、成年期で「気分転換・ストレス解消に努める」の割合が高くなっています。

【図 8-11-2 ライフステージ別 生活習慣病予防のためにやっていること】

単位：%

区分	回答者数(件)	食生活に十分気を付ける	積極的な運動を心がける	休養を十分にとる	気分転換・ストレス解消に努める	たばこを吸わない	お酒を飲まない(飲みすぎない)	太らないようにする	やせすぎないようにする	その他	特にない	無回答
青年期	47	25.5	27.7	31.9	21.3	21.3	23.4	25.5	—	—	31.9	—
成年期	136	49.3	24.3	41.2	44.1	44.1	29.4	34.6	5.1	—	11.8	—
中年期	373	53.6	30.8	32.7	35.9	39.1	22.8	38.9	4.0	1.6	12.9	0.5
高年期	366	71.6	47.3	45.6	35.0	44.8	30.1	44.3	16.7	2.2	6.8	3.0

【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別でみると、関心が高くなるにつれ「その他」「特にない」を除くすべての項目の割合が高くなっています。

【図 8-11-3 健康づくりへの関心度別 生活習慣病予防のためにやっていること】

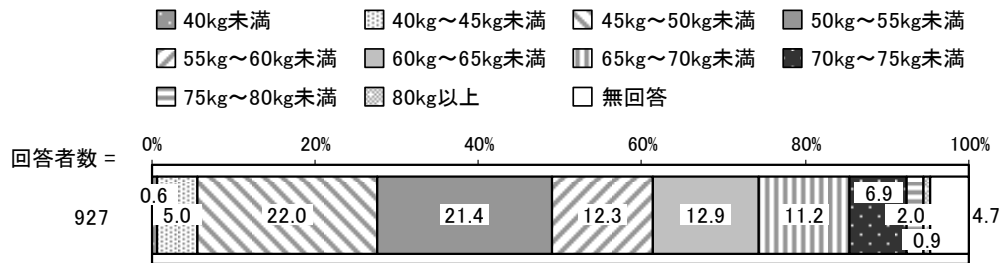
単位：%

区分	回答者数(件)	食生活に十分気を付ける	積極的な運動を心がける	休養を十分にとる	気分転換・ストレス解消に努める	たばこを吸わない	お酒を飲まない(飲みすぎない)	太らないようにする	やせすぎないようにする	その他	特にない	無回答
ある	459	71.9	52.3	45.1	44.0	46.6	32.5	45.8	11.8	1.7	3.3	1.3
どちらかといえばある	378	51.6	23.5	35.7	31.7	38.9	22.2	36.8	6.9	1.3	13.8	0.8
どちらかといえばない	52	21.2	5.8	21.2	13.5	26.9	15.4	19.2	5.8	1.9	40.4	1.9
ない	24	16.7	4.2	16.7	4.2	12.5	16.7	16.7	—	—	62.5	—

問 49 あなたの考える理想体重を教えてください。

「45kg～50kg 未満」の割合が 22.0%と最も高く、次いで「50kg～55kg 未満」の割合が 21.4%、「60kg～65kg 未満」の割合が 12.9%となっています。

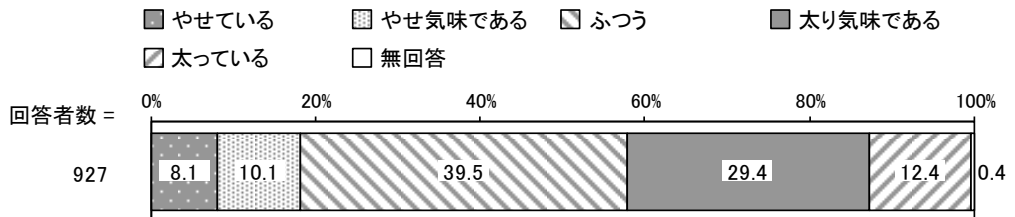
【図 8-12 理想体重】



問 50 あなた自身の体形についてどのようにお考えですか。＜1つに○＞

「ふつう」の割合が 39.5%と最も高く、次いで「太り気味である」の割合が 29.4%、「太っている」の割合が 12.4%となっています。

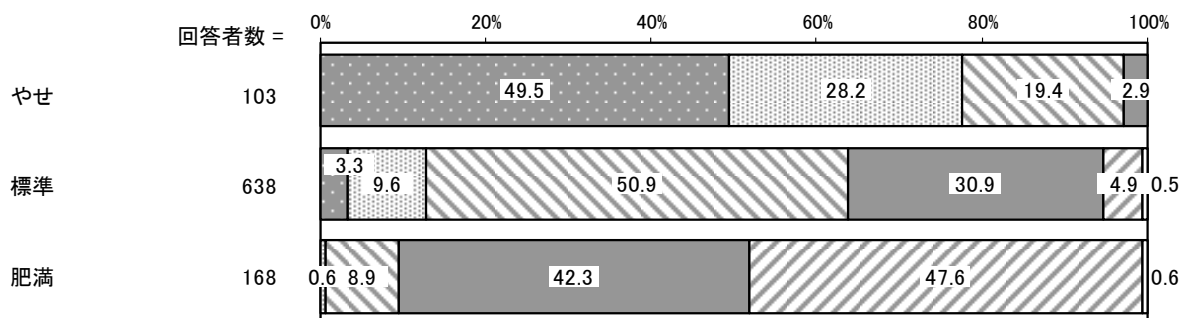
【図 8-13 自身の体形について】



【BMI別】

BMI別で見ると、他に比べ、やせで「やせている」「ややせ気味である」の割合が高くなっています。また、肥満で「太り気味である」「太っている」の割合が高くなっています。

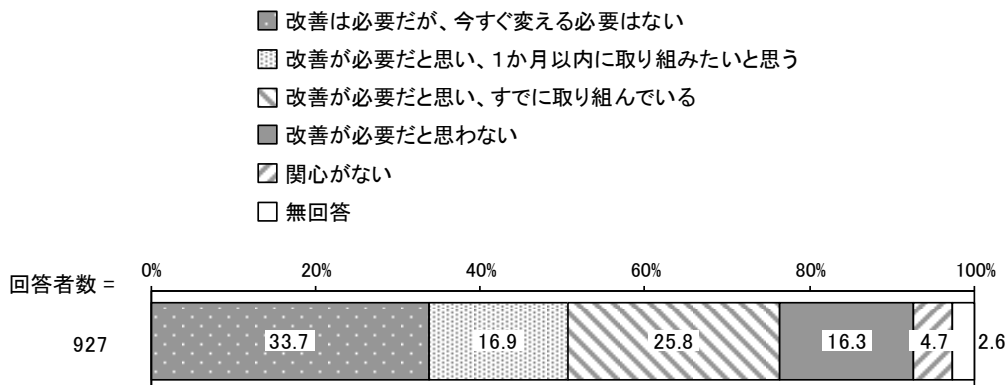
【図 8-13-1 BMI別 自身の体形について】



問 51 あなたはご自分の生活習慣の改善についてどのようにお考えですか。
 <1つに○>

「改善は必要だが、今すぐ変える必要はない」の割合が 33.7%と最も高く、次いで「改善が必要だと思い、すでに取り組んでいる」の割合が 25.8%、「改善が必要だと思い、1か月以内に取り組みたいと思う」の割合が 16.9%となっています。

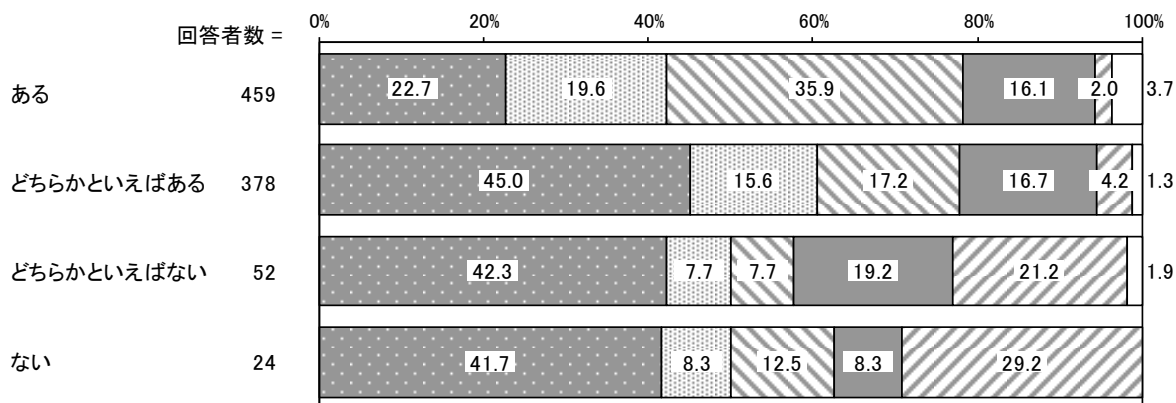
【図 8-14 自分の生活習慣の改善について】



【健康づくりへの関心度別】

健康づくりへの関心度別でみると、関心が高くなるにつれ「改善が必要だと思い、1か月以内に取り組みたいと思う」「改善が必要だと思い、すでに取り組んでいる」の割合が、関心が低くなるにつれ「関心がない」の割合が高くなっています。また、関心がある人で「改善は必要だが、今すぐ変える必要はない」の割合が低くなっています。

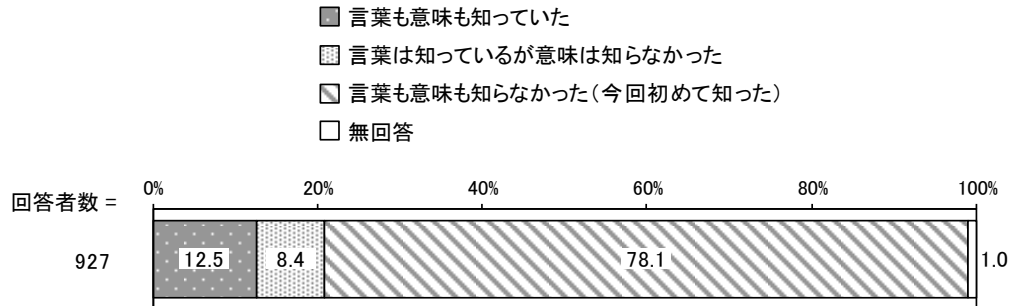
【図 8-14-1 健康づくりへの関心度別 自分の生活習慣の改善について】



問 52 サルコペニアという言葉を知っていますか。〈1つに○〉

「言葉も意味も知らなかった（今回初めて知った）」の割合が 78.1%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」の割合が 12.5%となっています。

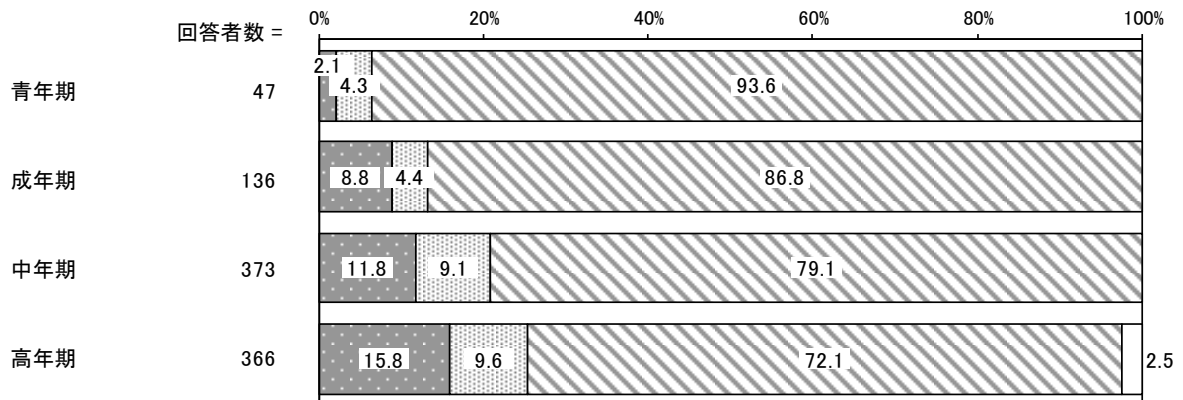
【図 8-15 サルコペニアの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年代が高くなるにつれ「言葉も意味も知っていた」「言葉は知っているが意味は知らなかった」の割合が高くなっています。

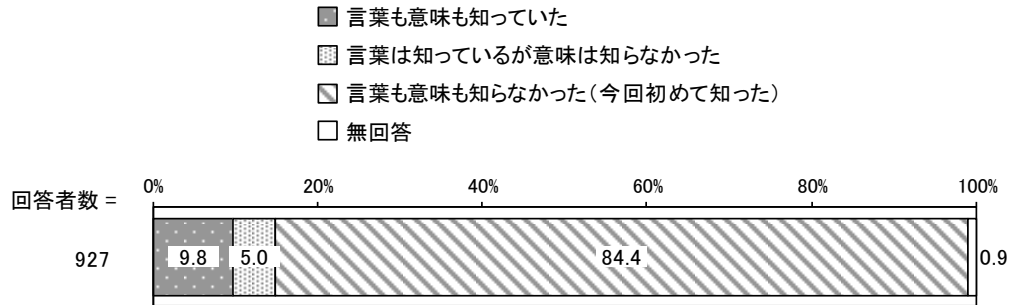
【図 8-15-1 ライフステージ別 サルコペニアの認知度】



問 53 フレイルという言葉を知っていますか。〈1つに○〉

「言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)」の割合が84.4%と最も高くなっています。

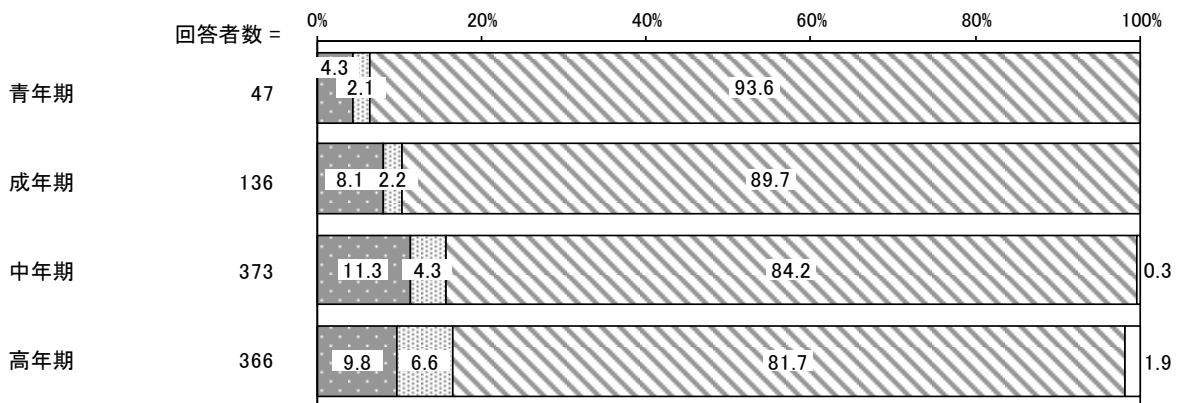
【図 8-16 フレイルの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、青年期で「言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)」の割合が高くなっています。

【図 8-16-1 ライフステージ別 フレイルの認知度】



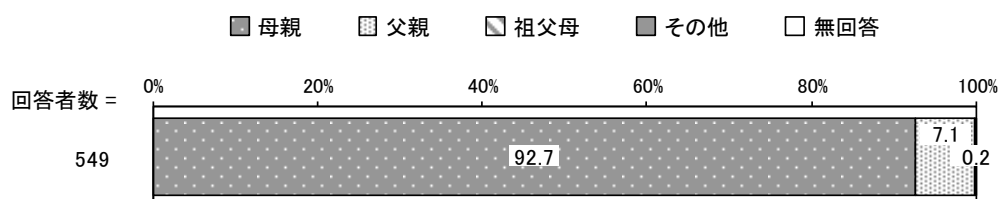
2 保護者対象調査

(1) 回答者属性

問1 封筒の宛名のお子さんからみた、あなたの続柄はどれにあてはまりますか。
<1つに○>

「母親」の割合が92.7%と最も高くなっています。

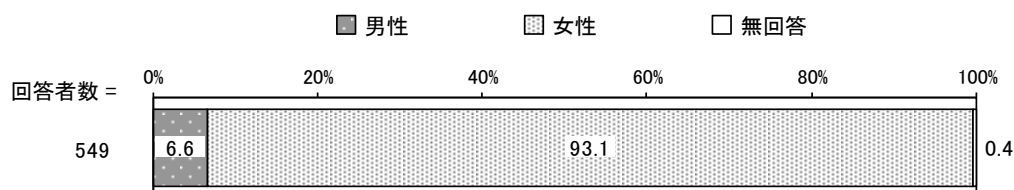
【図 1-1 保護者（記入者）の続柄】



問2 あなたの性別を教えてください。<1つに○>

「男性」の割合が6.6%、「女性」の割合が93.1%となっています。

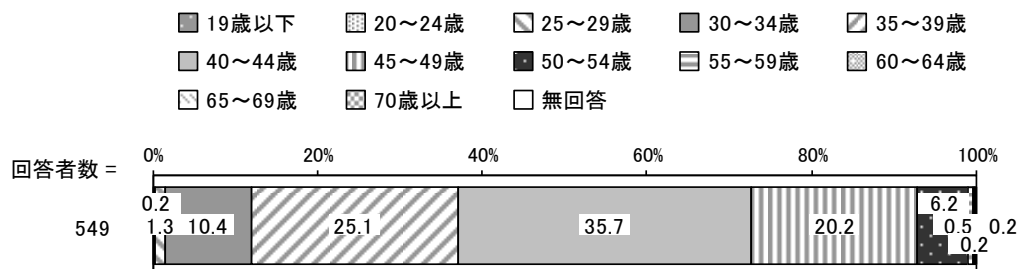
【図 1-2 保護者（記入者）の性別】



問3 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。（10月1日現在でお答えください。）
<1つに○>

「40～44歳」の割合が35.7%と最も高く、次いで「35～39歳」の割合が25.1%、「45～49歳」の割合が20.2%となっています。

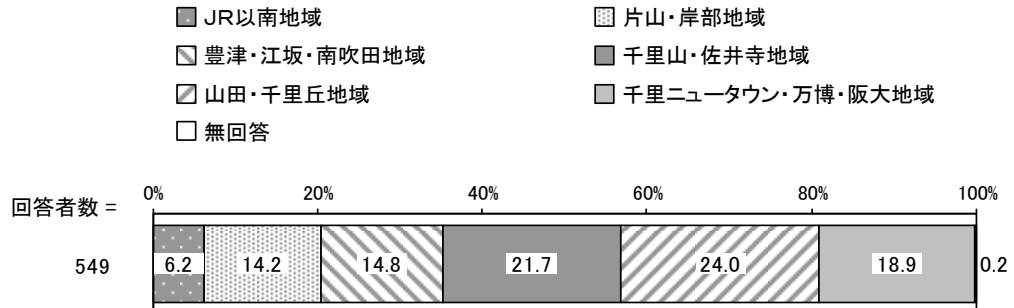
【図 1-3 保護者の年齢】



問4 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。〈該当する地域1つに○〉

「山田・千里丘地域」の割合が24.0%と最も高く、次いで「千里山・佐井寺地域」の割合が21.7%、「千里ニュータウン・万博・阪大地域」の割合が18.9%となっています。

【図1-4 居住地】

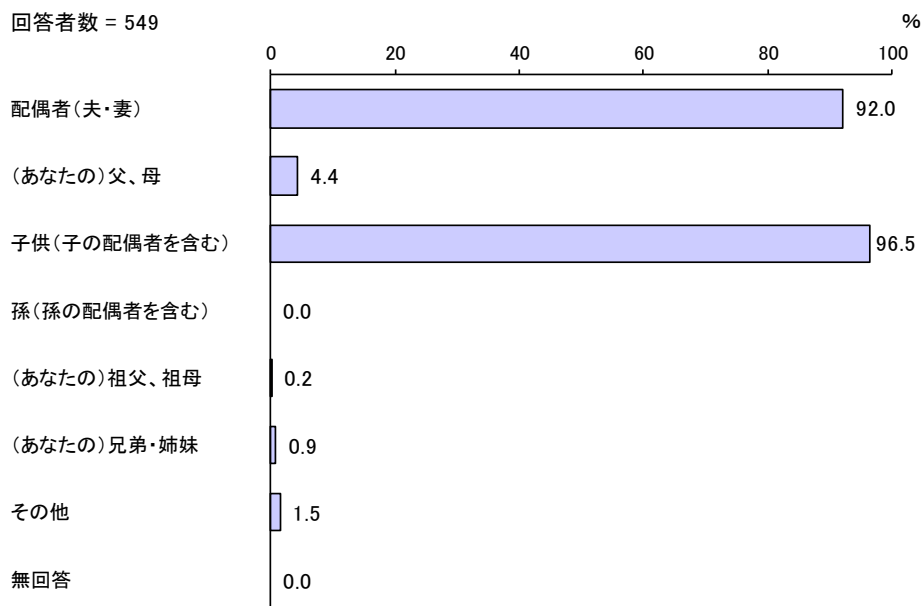


問5 現在、同居している家族はどなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉

※あなたからみた続柄でお答えください。(義理関係含む)

「子供(子の配偶者を含む)」の割合が96.5%と最も高く、次いで「配偶者(夫・妻)」の割合が92.0%となっています。

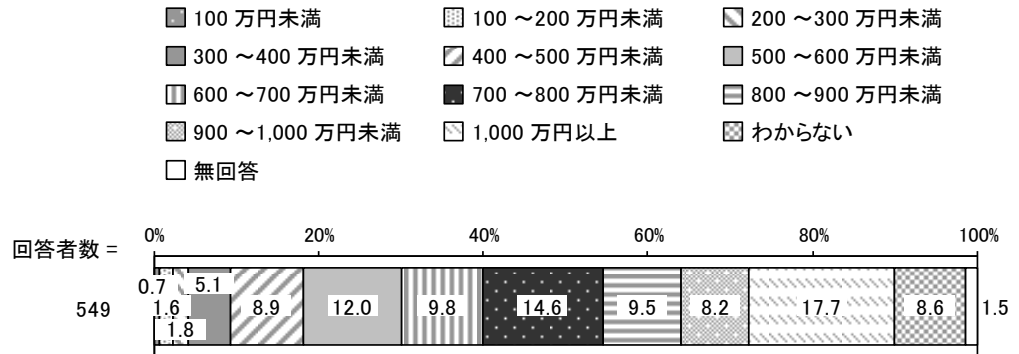
【図1-5 同居家族】



問6 あなたの世帯全体の年間の収入は次のどれにあてはまりますか。〈1つに○〉

「1,000万円以上」の割合が17.7%と最も高く、次いで「700～800万円未満」の割合が14.6%、「500～600万円未満」の割合が12.0%となっています。

【図1-6 世帯年収】

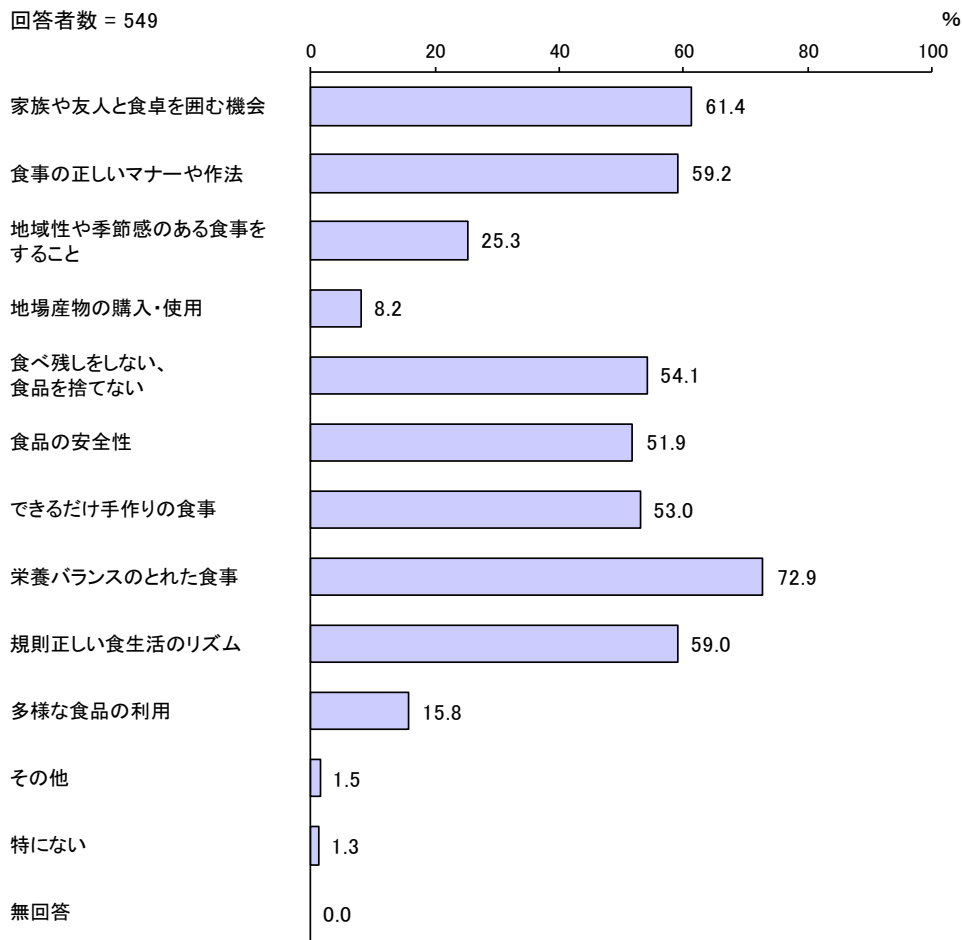


(2) 食生活等について

問7 あなたは食生活でどういったことを重視していますか。
<あてはまるものすべてに○>

「栄養バランスのとれた食事」の割合が72.9%と最も高く、次いで「家族や友人と食卓を囲む機会」の割合が61.4%、「食事の正しいマナーや作法」の割合が59.2%となっています。

【図 2-1 食生活において重視していること】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、子供の年代が高くなるにつれ「食べ残しをしない、食品を捨てない」「できるだけ手作りの食事」の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学生保護者で「食事の正しいマナーや作法」「地域性や季節感のある食事をする事」の割合が高くなっています。

【図 2-1-1 ライフステージ別 食生活において重視していること】

単位：%

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会	食事の正しいマナーや作法	地域性や季節感のある食事をする事	地場産物の購入・使用	食べ残しをしない、食品を捨てない	食品の安全性	できるだけ手作りの食事	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	多様な食品の利用	その他	特にない	無回答
幼児期保護者	174	62.1	58.6	20.1	4.6	48.9	46.6	45.4	74.1	64.9	11.5	1.7	2.3	-
小学生保護者	258	66.3	64.7	29.8	10.5	53.9	55.4	55.4	71.3	62.4	19.8	1.6	0.4	-
中学生保護者	117	49.6	47.9	23.1	8.5	62.4	52.1	59.0	74.4	42.7	13.7	0.9	1.7	-

【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、すべての年代で「できるだけ手作りの食事」の割合が減少しています。また、幼児期保護者、中学生保護者で「地域性や季節感のある食事をする事」「食品の安全性」の割合が減少しています。

【図 2-1-2 ライフステージ別 食生活において重視していること<<前回調査>>】

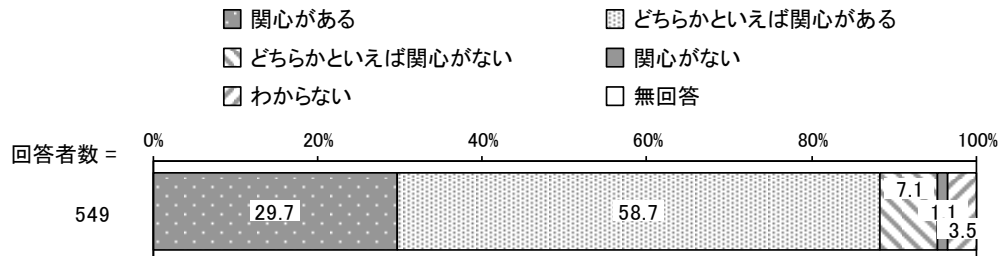
単位：%

区分	回答者数(件)	家族や友人と食卓を囲む機会	食事の正しいマナーや作法	地域性や季節感のある食事をする事	地場産物の購入・使用	食べ残しをしない、食品を捨てない	食品の安全性	できるだけ手作りの食事	栄養バランスのとれた食事	規則正しい食生活のリズム	多様な食品の利用	その他	特にない	無回答
幼児期保護者	178	64.0	59.0	32.6	10.1	53.4	56.7	56.7	75.3	57.3	19.7	-	1.1	2.8
小学生保護者	248	66.9	58.9	30.6	8.1	53.6	57.7	62.1	71.8	60.9	19.0	0.4	1.2	0.4
中学生保護者	137	65.0	46.0	34.3	7.3	53.3	62.8	67.9	75.9	47.4	14.6	0.7	0.7	-

問8 あなたは、「食育」に関心がありますか。〈1つに○〉

「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 88.4%、「どちらかといえば関心がない」と「関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 8.2%となっています。

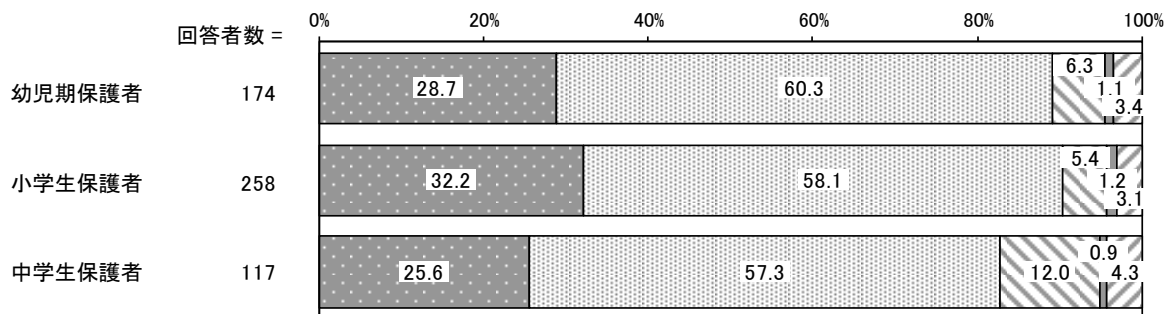
【図 2-2 食育への関心度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、中学生保護者で“関心がない”の割合が高くなっています。

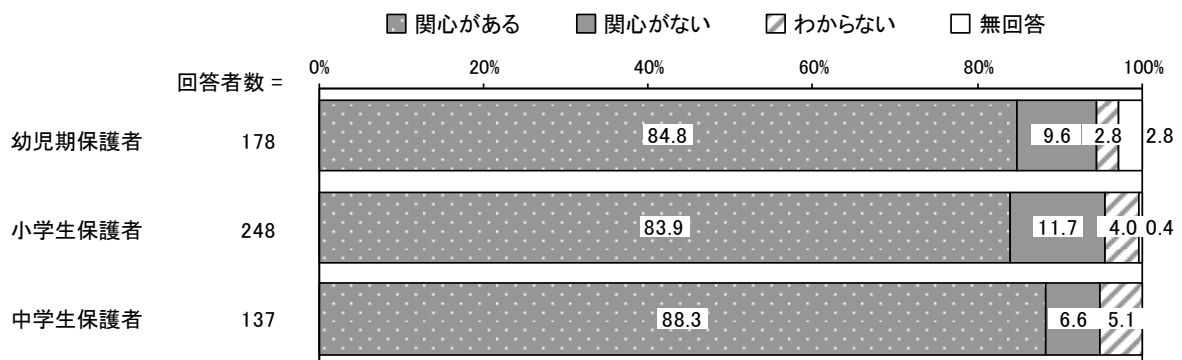
【図 2-2-1 ライフステージ別 食育への関心度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、小学生保護者で「関心がある」の割合が 6.4 ポイント増加している一方、中学生保護者では 5.4 ポイント減少しています。

【図 2-2-2 ライフステージ別 食育への関心度「前回調査」】

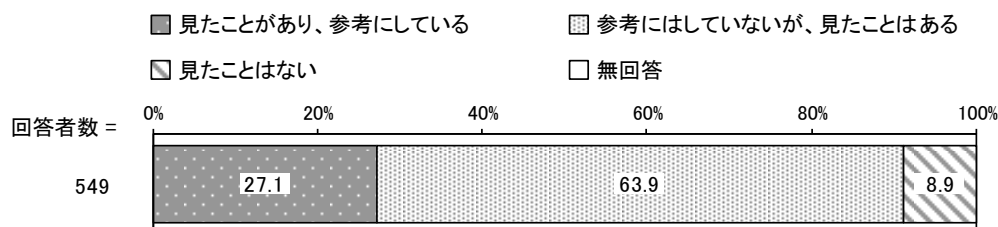


(前回調査の「関心がある」は「関心がある」と「どちらかというに関心がある」の合計、「関心がない」は「どちらかというに関心がない」と「関心がない」の合計です)

問9 あなたは、食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」を見たことがありますか。〈1つに○〉

「参考にはしていないが、見たことはある」の割合が63.9%と最も高く、次いで「見たことがあります、参考になっている」の割合が27.1%となっています。

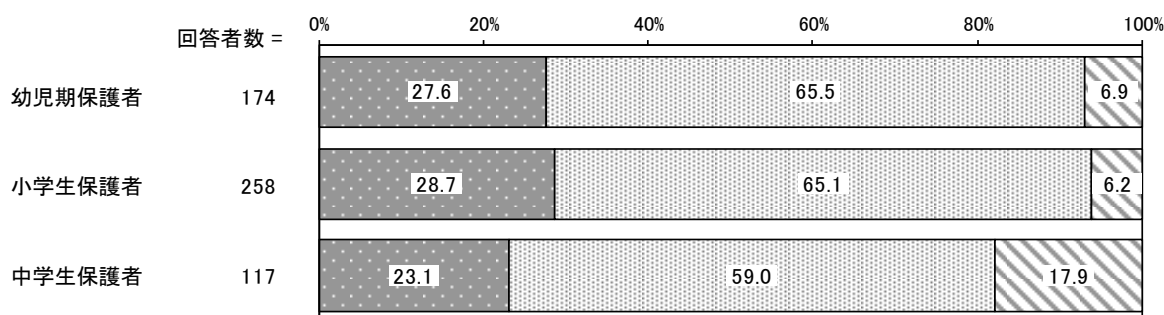
【図 2-3 食事バランスガイドの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、中学生保護者で「見たことがあります、参考になっている」「参考にはしていないが、見たことはある」の割合が低く、「見たことはない」の割合が高くなっています。

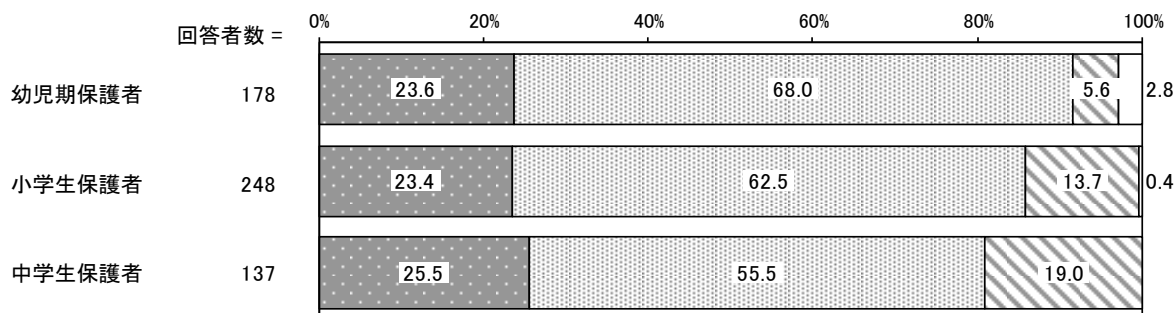
【図 2-3-1 ライフステージ別 食事バランスガイドの認知度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、小学生保護者で「見たことがあります、参考になっている」の割合が5.3ポイント増加し、「見たことはない」の割合が7.5ポイント減少しています。

【図 2-3-2 ライフステージ別 食事バランスガイドの認知度「前回調査」】

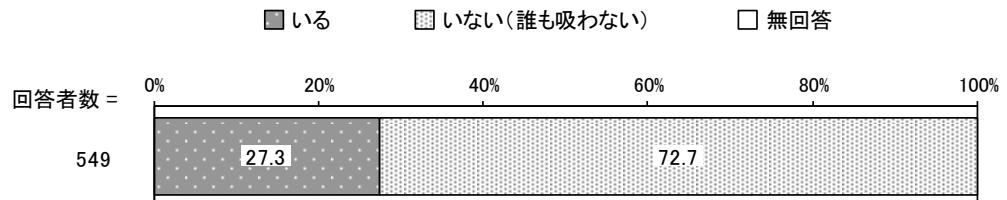


(3) 喫煙状況等について

問 10 あなたの同居家族の中に、たばこを吸う人（喫煙者）はいますか。
（あなた自身を含みます）＜1つに○＞

「いる」の割合が 27.3%、「いない（誰も吸わない）」の割合が 72.7%となっています。

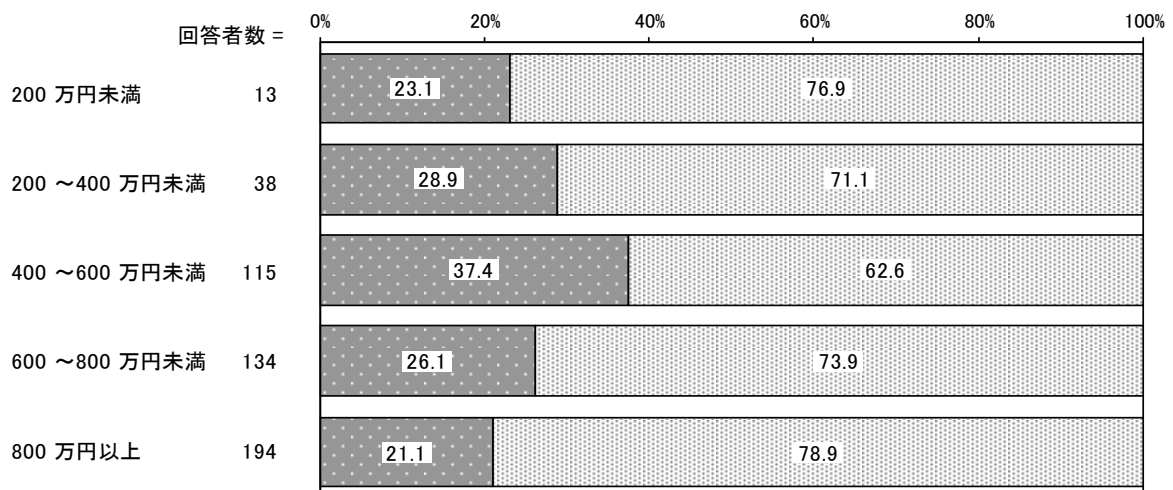
【図 3-1 喫煙者の有無】



【世帯収入別】

世帯収入別で見ると、他に比べ、400～600 万円未満で「いる」の割合が高くなっています。

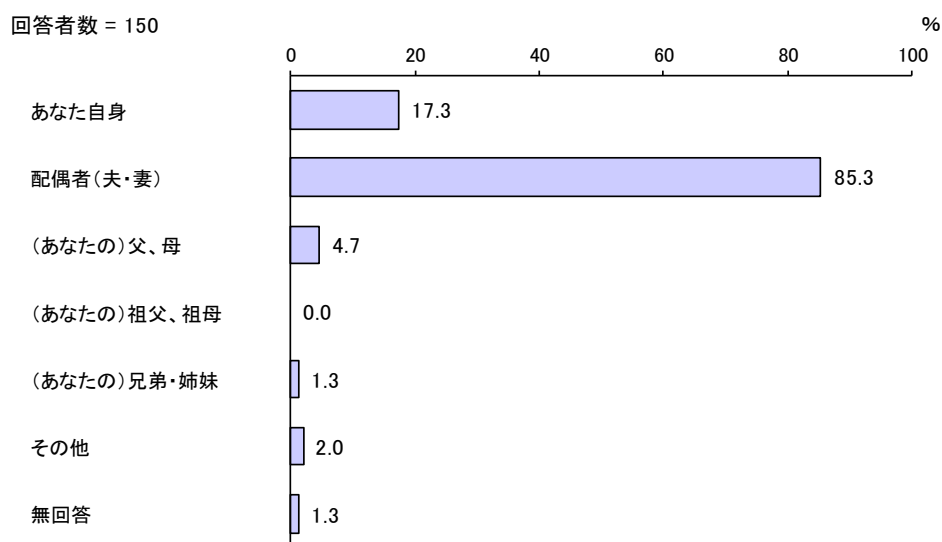
【図 3-1-1 世帯収入別 喫煙者の有無】



問 10-1 問 10 で「1 いる」と回答した人にお聞きします。
たばこを吸うのは、どなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉
※あなたからみた続柄でお答えください。(義理関係含む)

「配偶者(夫・妻)」の割合が 85.3%と最も高く、次いで「あなた自身」の割合が 17.3%となっています。

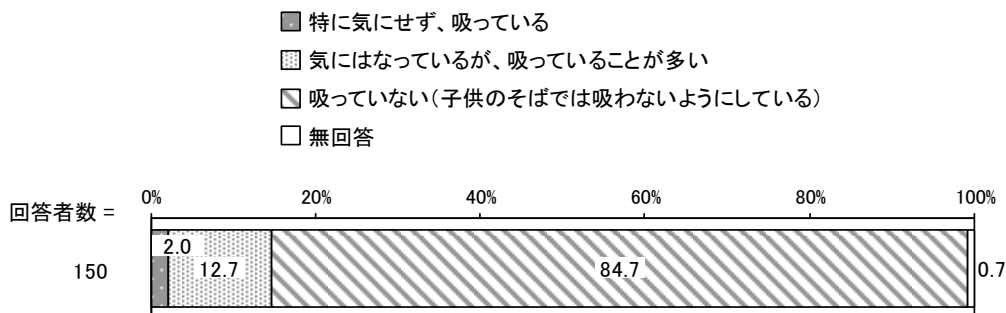
【図 3-2 喫煙者の続柄】



問 10-2 ふだん、(家族の誰かが) お子さんのそばで吸うことがありますか。
 <1つに○>

「吸っていない(子供のそばでは吸わないようにしている)」の割合が 84.7%と最も高く、次いで「気にはなっているが、吸っていることが多い」の割合が 12.7%となっています。

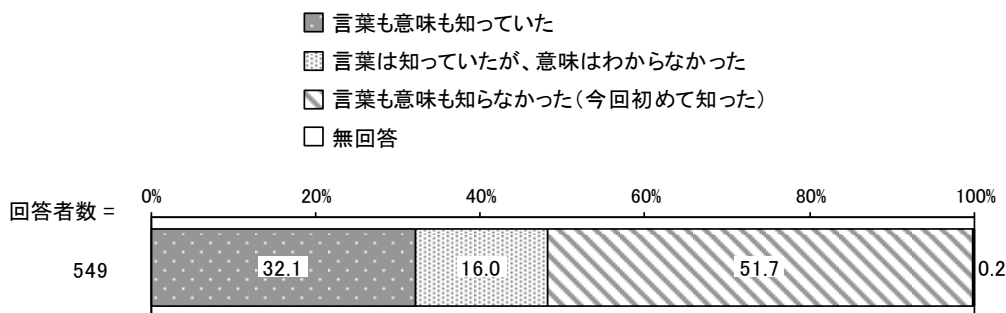
【図 3-3 子供のそばで吸うことの有無】



問 11 すべての方にお聞きします。
 あなたは、「慢性閉塞性肺疾患 (COPD)」について知っていますか。
 <1つに○>

「言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)」の割合が 51.7%と最も高く、次いで「言葉も意味も知っていた」の割合が 32.1%、「言葉は知っていたが、意味はわからなかった」の割合が 16.0%となっています。

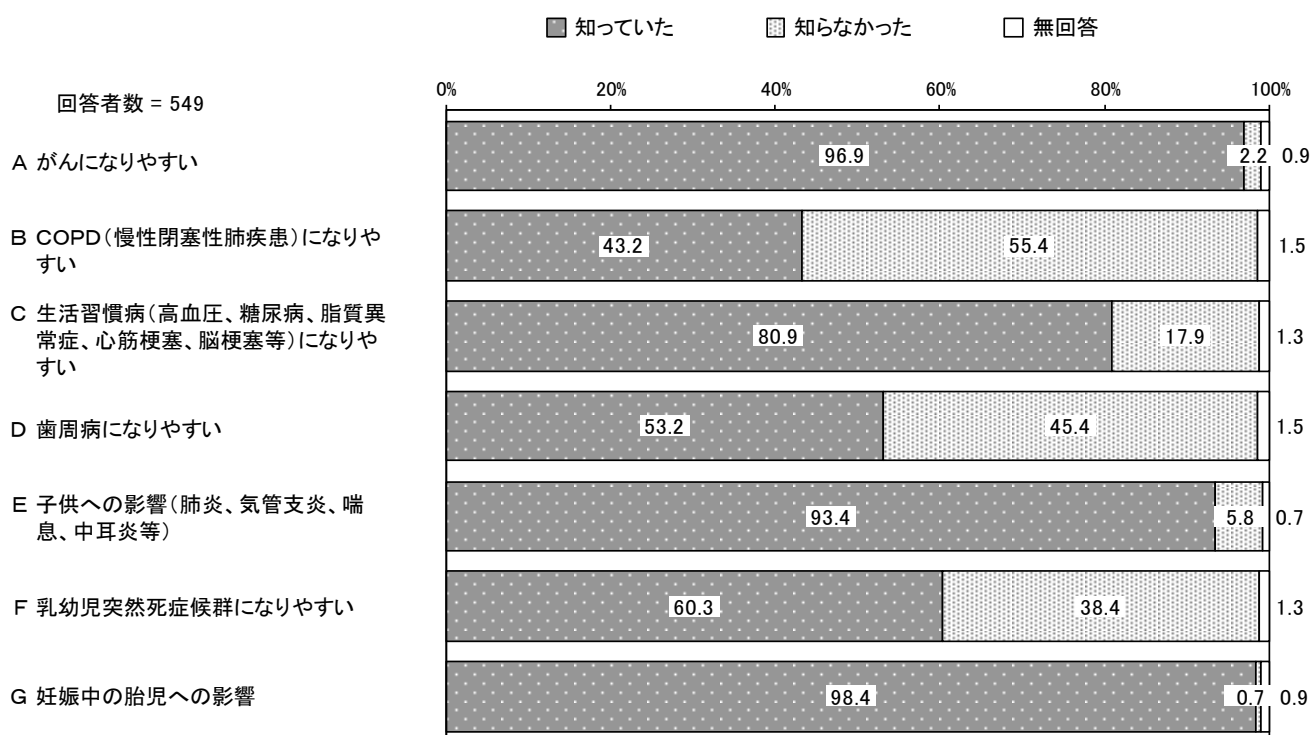
【図 3-4 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の認知度】



問 12 たばこが健康に与える影響として、以下のうち知っている事柄はありますか。
 <A～Gについて「知っていた」か「知らない」に○>

「A がんになりやすい」、「E 子供への影響（肺炎、気管支炎、喘息、中耳炎等）」、「G 妊娠中の胎児への影響」で「知っていた」の割合が高く、9割を超えています。一方、「B COPD（慢性閉塞性肺疾患）になりやすい」、「D 歯周病になりやすい」で「知らなかった」の割合が高く、4割を超えています。

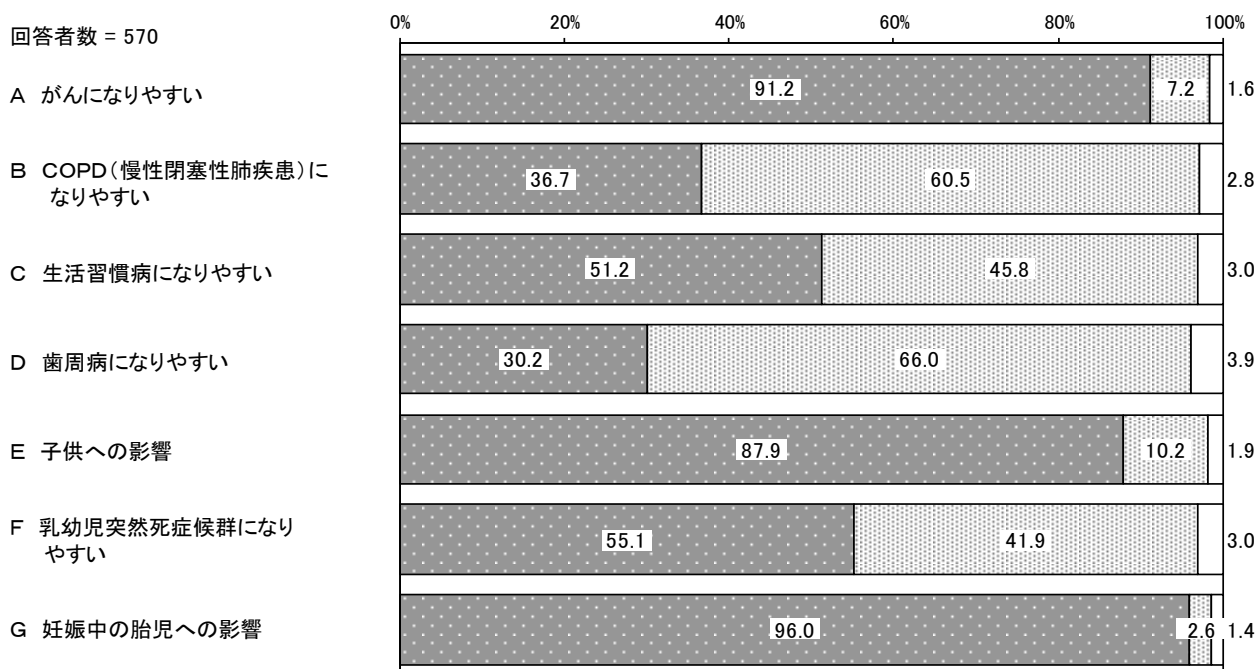
【図 3-5 たばこが健康に与える影響の認知度】



【前回調査】

前回調査と比較すると、『G 妊娠中の胎児への影響』を除くすべての項目で「知っていた」の割合が増加しており、特に『C 生活習慣病（高血圧、糖尿病、脂質異常症、心筋梗塞、脳梗塞等）になりやすい』『D 歯周病になりやすい』では20ポイント以上増加しています。

【図 3-5-1 たばこが健康に与える影響の認知度「前回調査」】



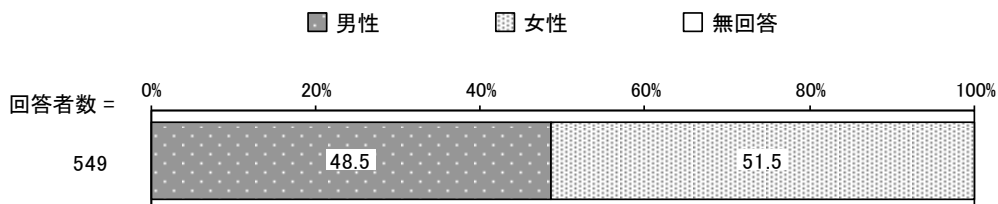
(4) お子さんについて

問 13 宛名のお子さんの性別と年齢を教えてください。〈①は1つに○〉

①性別

「男性」の割合が48.5%、「女性」の割合が51.5%となっています。

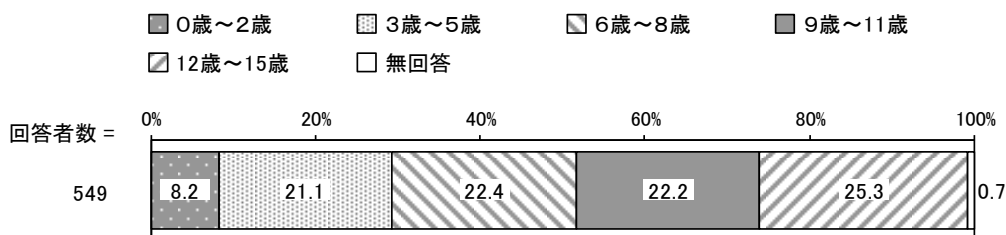
【図 4-1 子供の性別】



②年齢

「12歳～15歳」の割合が25.3%と最も高く、次いで「6歳～8歳」の割合が22.4%、「9歳～11歳」の割合が22.2%となっています。

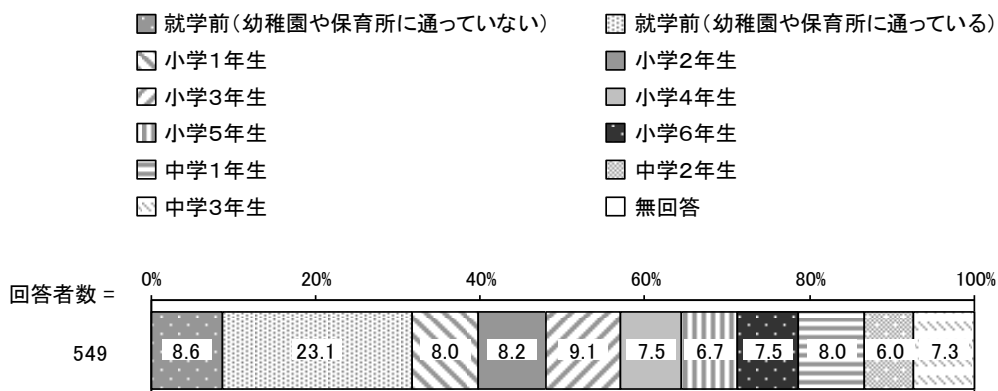
【図 4-2 子供の年齢】



問 14 宛名のお子さんの現在の学年等は何にあてはまりますか。〈1つに○〉

「就学前（幼稚園や保育所に通っている）」の割合が23.1%と最も高くなっています。

【図 4-3 子供の学年等】

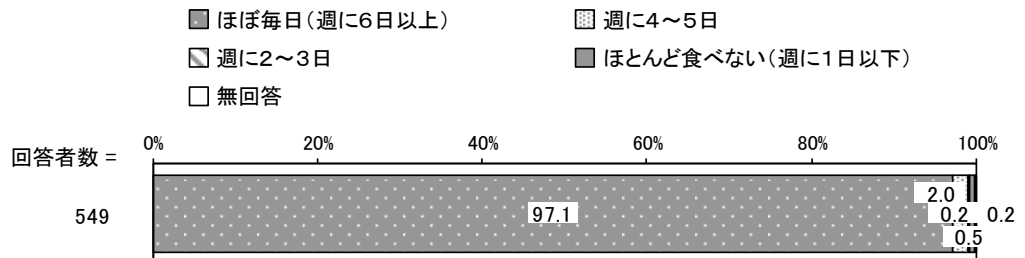


(5) お子さんの食事の状況について

問 15 宛名のお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。〈1つに○〉

「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が97.1%と最も高くなっています。

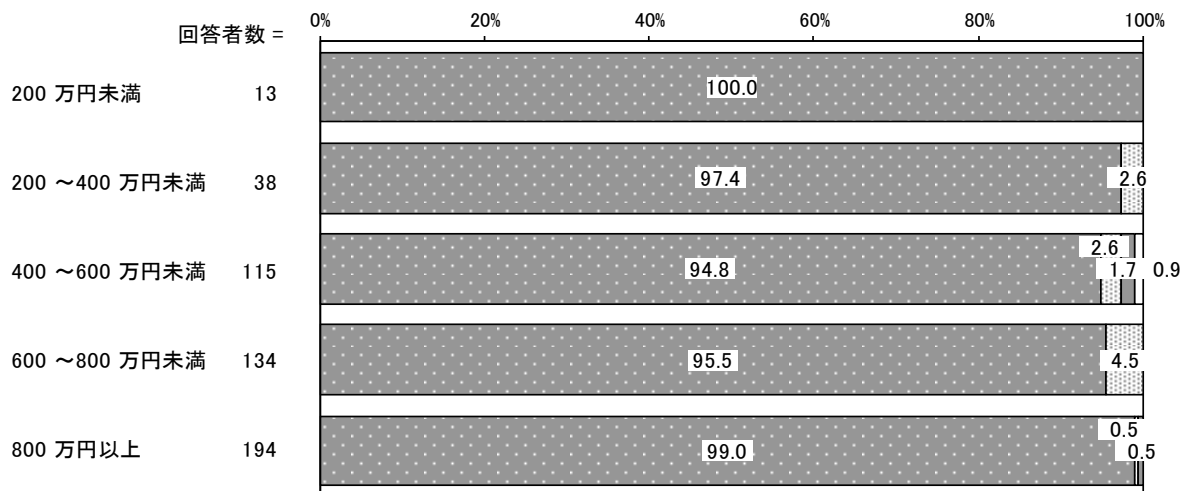
【図 5-1 朝食を食べる頻度】



【世帯年収別】

世帯年収別でみると、大きな差異はみられません。

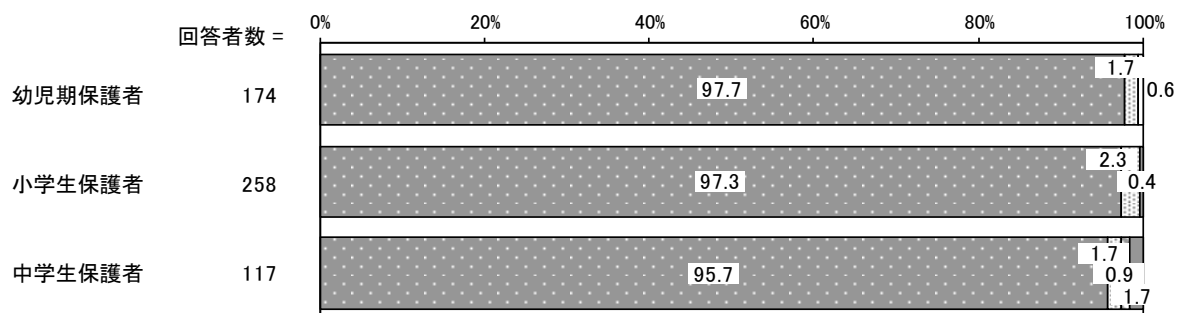
【図 5-1-1 世帯年収別 朝食を食べる頻度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、大きな差異はみられません。

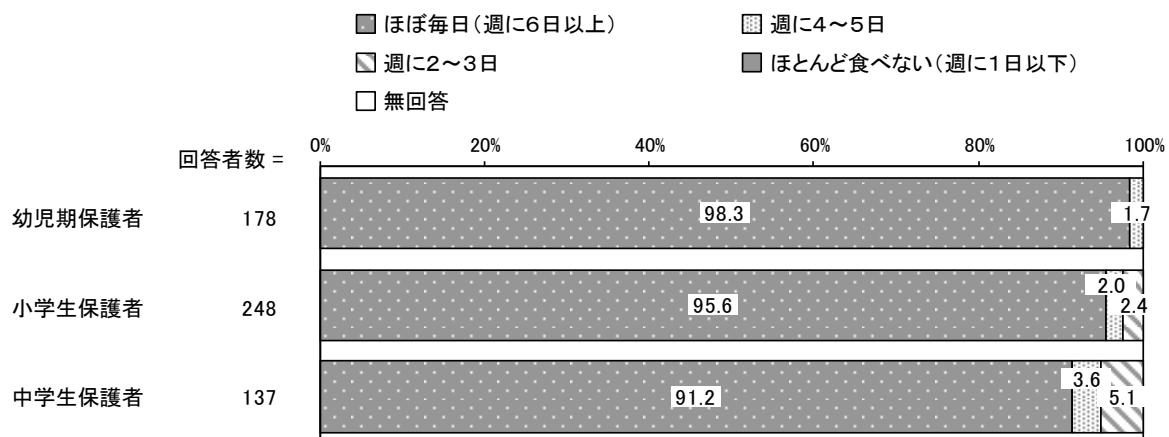
【図 5-1-2 ライフステージ別 世帯年収別朝食を食べる頻度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

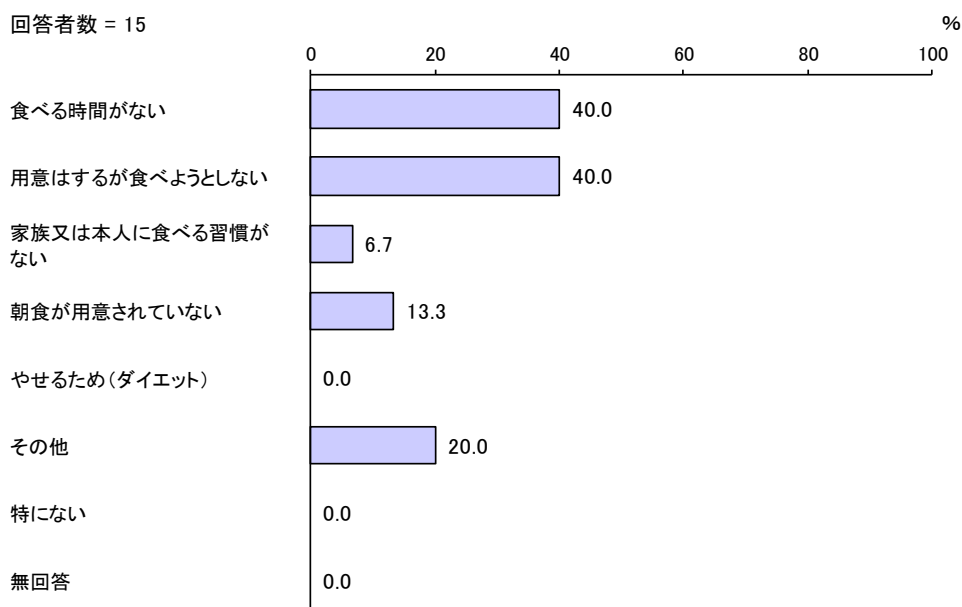
【図 5-1-3 ライフステージ別 世帯年収別朝食を食べる頻度「前回調査」】



問 15-1 問 15 で、「2 週に4~5日」「3 週に2~3日」または「4 ほとんど食べない(週に1日以下)」と回答した人にお聞きします。
 宛名のお子さんが朝食を食べない理由は何ですか。
 <あてはまるものすべてに○>

「食べる時間がない」「用意はするが食べようとしない」の割合が40.0%と最も高く、次いで「朝食が用意されていない」の割合が13.3%となっています。

【図 5-2 朝食を食べない理由】



【ライフステージ別】

ライフステージ別では、有効回答数が少ないため参考とします。

【図 5-2-1 ライフステージ別 朝食を食べない理由】

単位：%

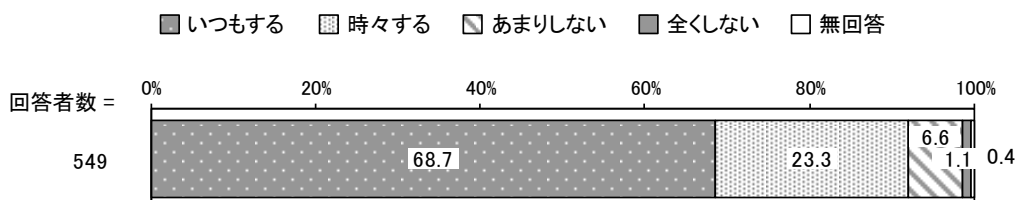
区分	回答者数(件)	食べる時間がない	用意はするが食べようとしない	家族又は本人に食べる習慣がない	朝食が用意されていない	やせるため(ダイエット)	その他	特になし	無回答
幼児期保護者	3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	-
小学生保護者	7	42.9	42.9	14.3	-	-	14.3	-	-
中学生保護者	5	40.0	20.0	-	40.0	-	40.0	-	-

問 16 すべての方にお聞きします。

宛名のお子さんはふだん、食事の前後にあいさつ（「いただきます」「ごちそうさま」）をしていますか。＜1つに○＞

「いつもする」と「時々する」を合わせた“する”の割合が92.0%、「あまりしない」と「全くしない」を合わせた“しない”の割合が7.7%となっています。

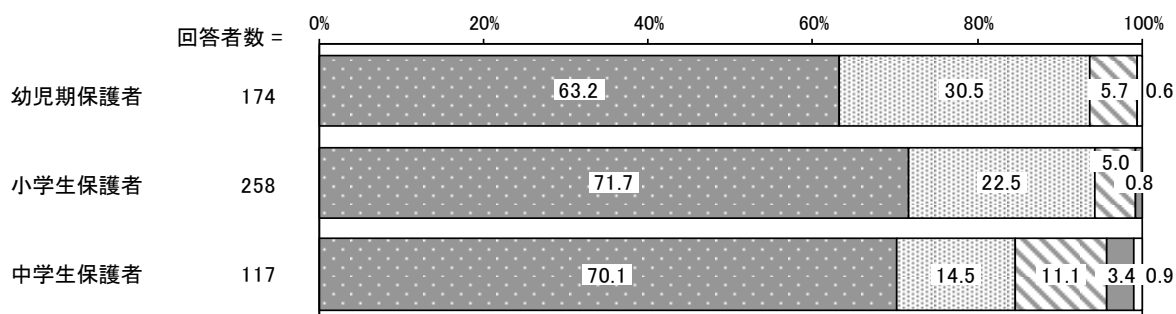
【図 5-3 食前・食後のあいさつの有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、中学生保護者で“する”の割合が低くなっています。

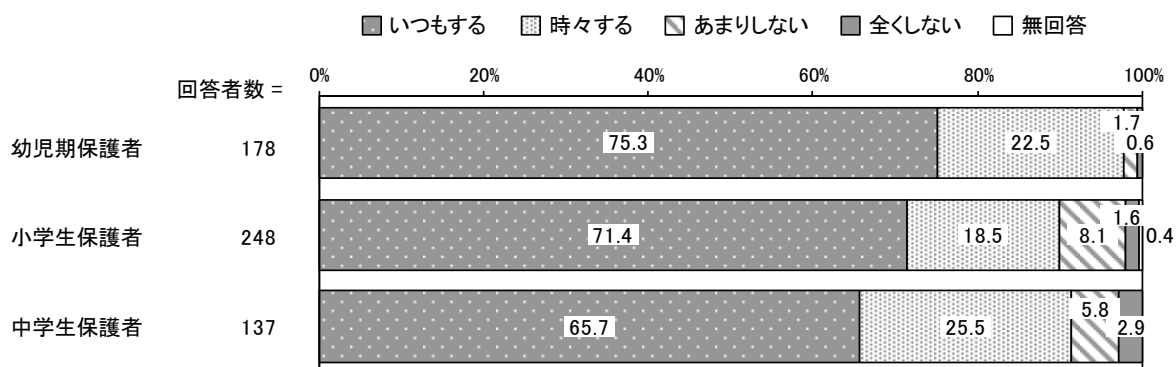
【図 5-3-1 ライフステージ別 食前・食後のあいさつの有無】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、幼児期保護者で「時々する」の割合が8.0ポイント増加し「いつもする」の割合が12.1ポイント減少しています。また、中学生保護者で「時々する」の割合が11.0ポイント減少し、「あまりしない」の割合が5.3ポイント増加しています。

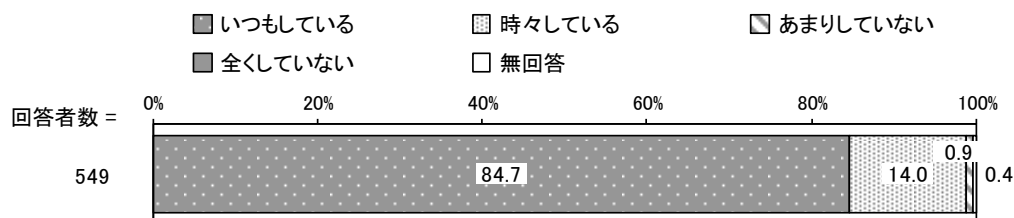
【図 5-3-2 ライフステージ別 食前・食後のあいさつの有無《前回調査》】



問 17 ふだん、宛名のお子さんと食事をする際、お子さんと会話をしていますか。
 <1つに○>

「いつもしている」と「時々している」を合わせた“している”の割合が 98.7%、「あまりしていない」の割合が 0.9%となっています。

【図 5-4 食事の際の子供との会話の有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、中学生保護者で「いつもしている」の割合が低くなっています。

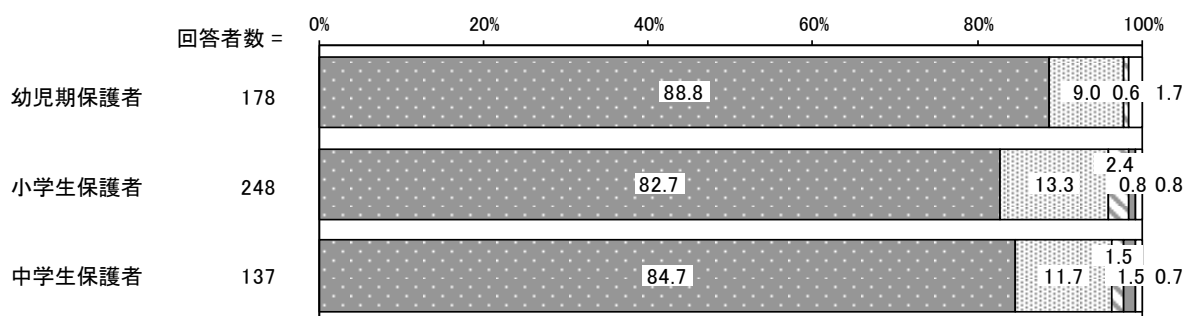
【図 5-4-1 ライフステージ別 食事の際の子供との会話の有無】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、中学生保護者で「いつもしている」の割合が 6.9 ポイント減少し、「時々している」の割合が 7.1 ポイント増加しています。

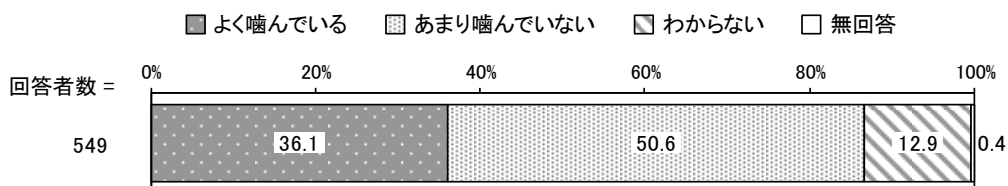
【図 5-4-2 ライフステージ別 食事の際の子供との会話の有無<前回調査>】



問 18 宛名のお子さんは、食事の際によく噛んで（1口30回程度）食べていますか。
 <1つに○>

「あまり噛んでいない」の割合が50.6%と最も高く、次いで「よく噛んでいる」の割合が36.1%、「わからない」の割合が12.9%となっています。

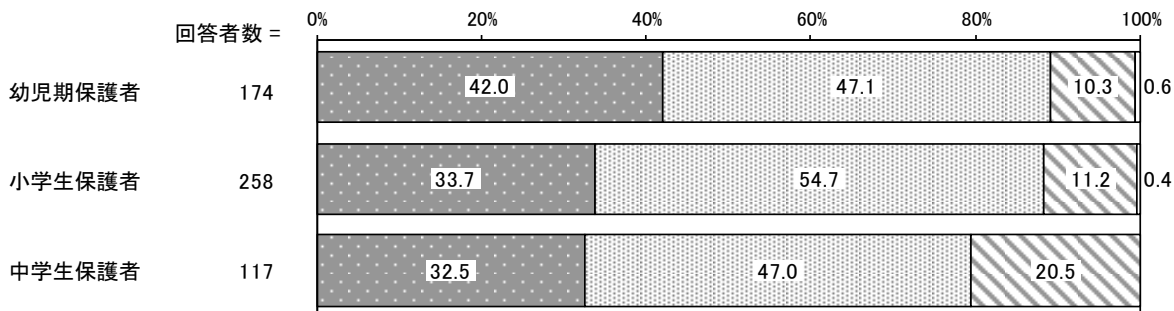
【図 5-5 食事の際によく噛んで食べていることの有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、幼児期保護者で「よく噛んでいる」の割合が高くなっています。また、小学生保護者で「あまり噛んでいない」の割合が高くなっています。

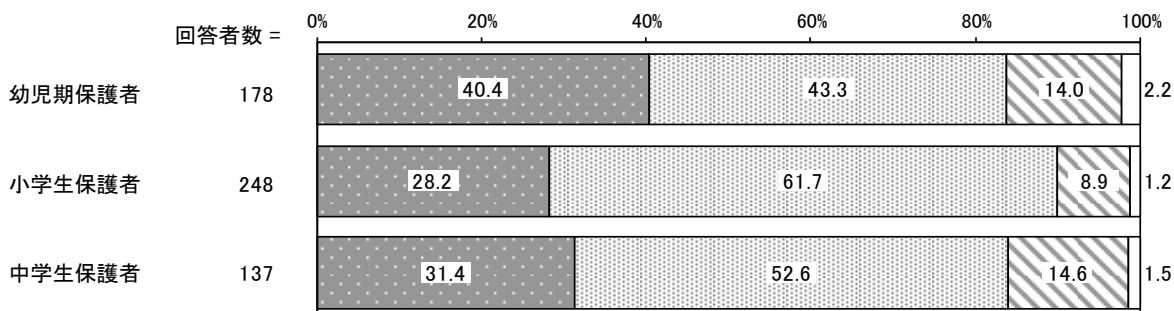
【図 5-5-1 ライフステージ別 食事の際によく噛んで食べていることの有無】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、小学生保護者で「あまり噛んでいない」の割合が7.0ポイント減少し、「よく噛んでいる」の割合が5.5ポイント増加しています。また、中学生保護者で「あまり噛んでいない」の割合が5.6ポイント減少しています。

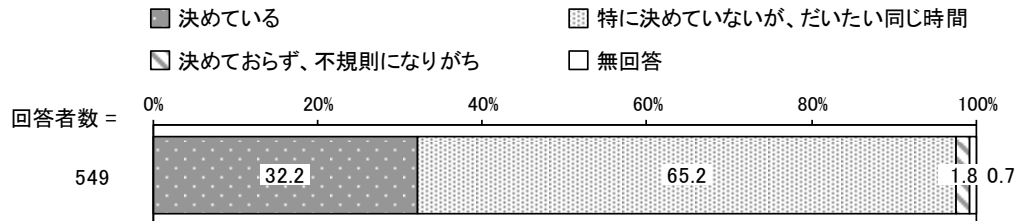
【図 5-5-2 ライフステージ別 食事の際によく噛んで食べていることの有無<前回調査>】



問 19 ふだん、宛名のお子さんの食事の時間は決めていますか。〈1つに○〉

「特に決めていないが、だいたい同じ時間」の割合が 65.2%と最も高く、次いで「決めている」の割合が 32.2%となっています。

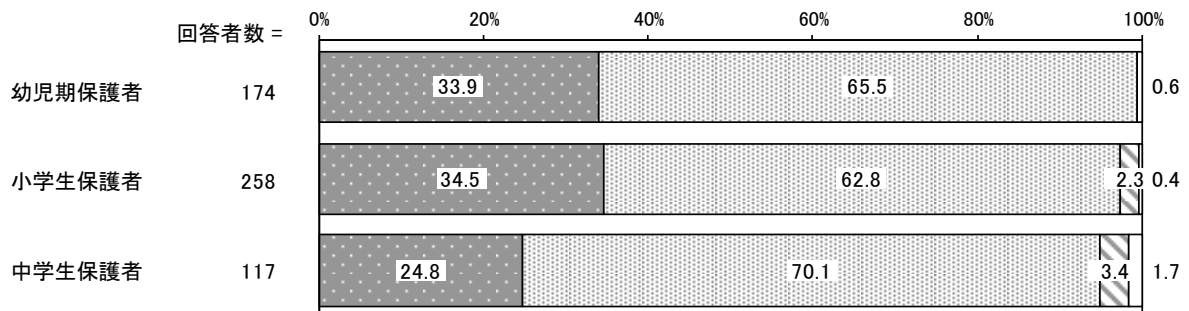
【図 5-6 食事の時間を決めていることの有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、中学生保護者で「決めている」の割合が低く、「特に決めていないが、だいたい同じ時間」の割合が高くなっています。

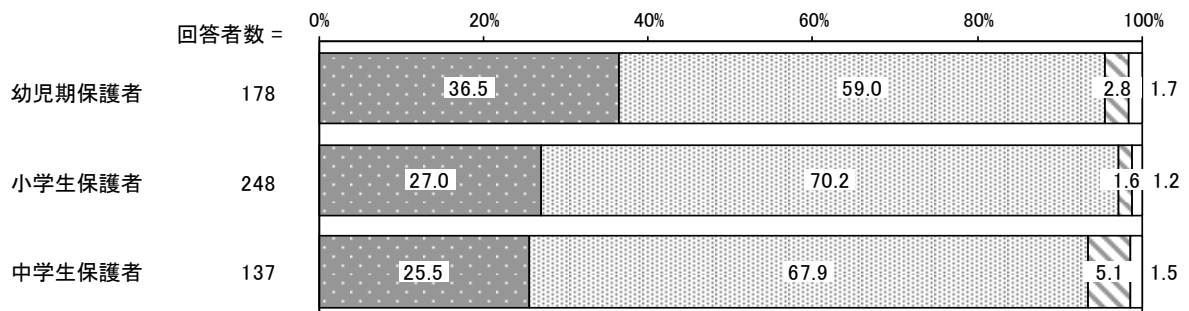
【図 5-6-1 ライフステージ別 食事の時間を決めていることの有無】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、幼児期保護者で「特に決めていないが、だいたい同じ時間」の割合が 6.5 ポイント増加しています。また、小学生保護者で「特に決めていないが、だいたい同じ時間」の割合が 7.4 ポイント減少し、「決めている」の割合が 7.5 ポイント増加しています。

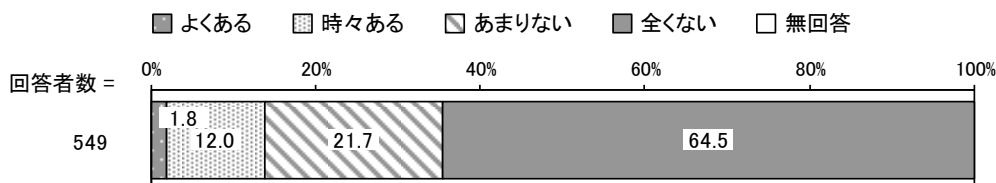
【図 5-6-2 ライフステージ別 食事の時間を決めていることの有無〈前回調査〉】



問 20 ふだん、宛名のお子さんは夕食をひとりで食べること（孤食）がどれくらいありますか。※家族と異なる時間帯に食べる場合などを含みます。〈1つに○〉

「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”の割合が 13.8%、「あまりない」と「全くない」を合わせた“ない”の割合が 86.2%となっています。

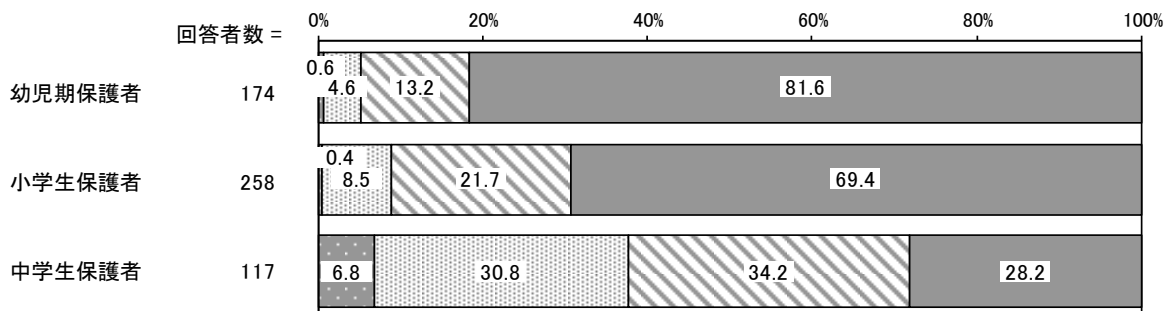
【図 5-7 孤食の頻度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、子供の年代が高くなるにつれ「よくある」と「時々ある」を合わせた“ある”の割合が高くなっています。

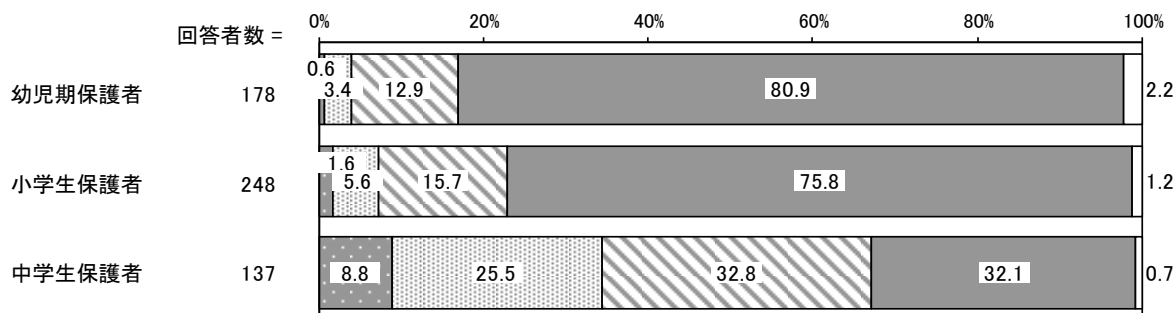
【図 5-7-1 ライフステージ別 孤食の頻度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、小学生保護者で「あまりない」の割合が 6.0 ポイント増加し、「全くない」の割合が 6.4 ポイント減少しています。また、中学生保護者で「時々ある」の割合が 5.3 ポイント増加しています。

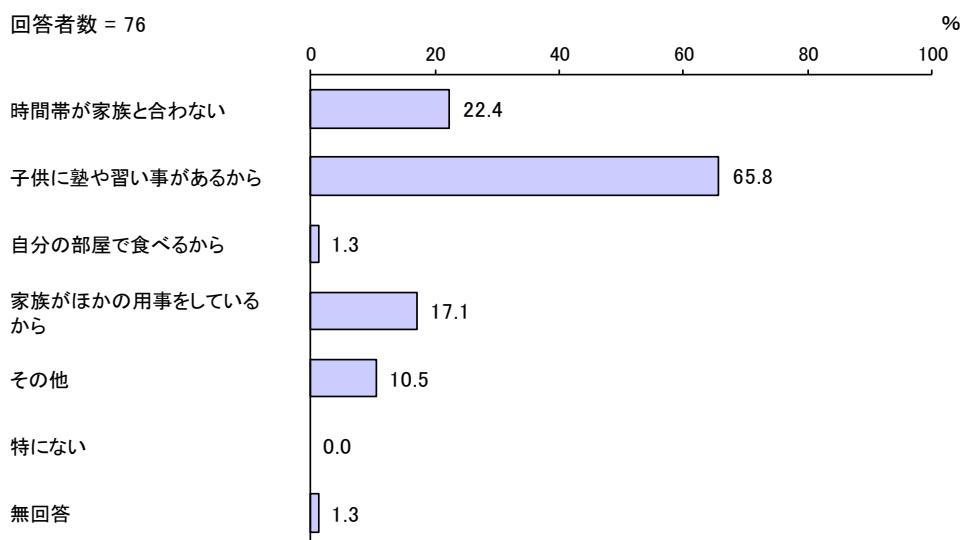
【図 5-7-2 ライフステージ別 孤食の頻度<<前回調査>>】



問 20-1 問 20 で「1 よくある」または「2 時々ある」と回答した人にお聞きします。
夕食をひとりで食べることもある理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

「子供に塾や習い事があるから」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「時間帯が家族と合わない」の割合が 22.4%、「家族がほかの用事をしているから」の割合が 17.1%となっています。

【図 5-8 孤食の理由】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、小学生保護者で「時間帯が家族と合わない」の割合が、中学生保護者で「子供に塾や習い事があるから」の割合が高くなっています。

【図 5-8-1 ライフステージ別 孤食の理由】

単位：%

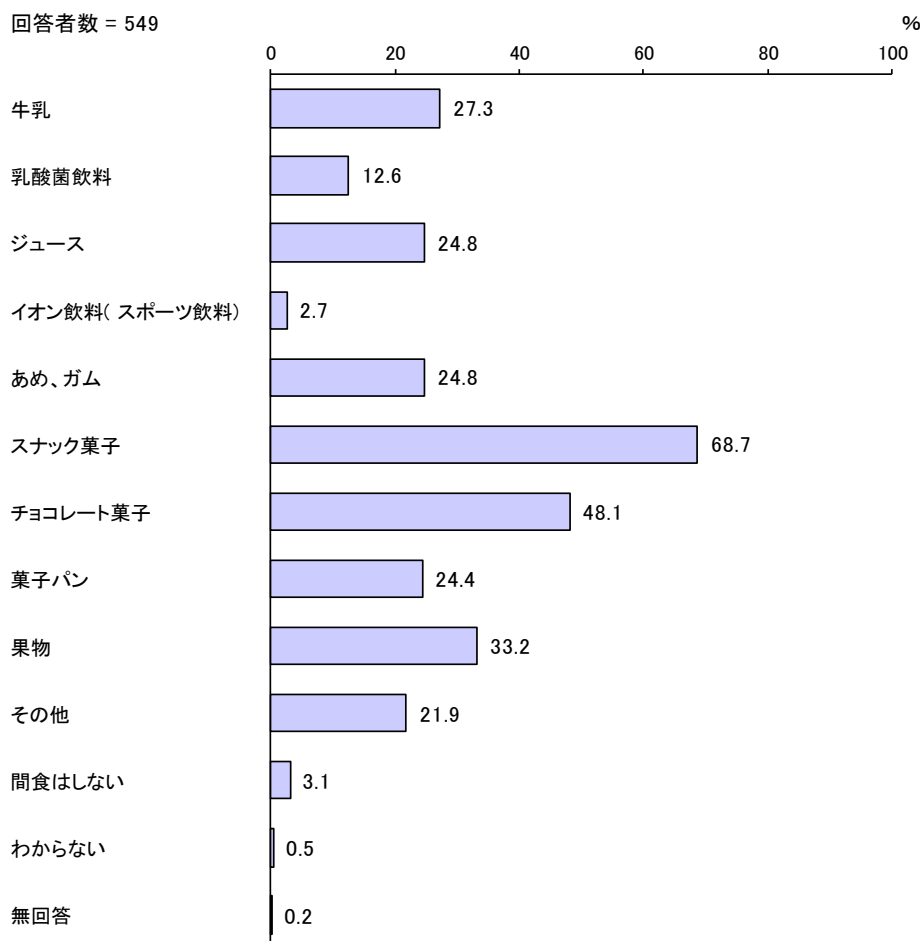
区分	回答者数 (件)	時間帯が家族と合わない	子供に塾や習い事があるから	自分の部屋で食べるから	家族がほかの用事をしているから	その他	特にない	無回答
幼児期保護者	9	33.3	-	-	55.6	33.3	-	-
小学生保護者	23	26.1	56.5	4.3	13.0	13.0	-	-
中学生保護者	44	18.2	84.1	-	11.4	4.5	-	2.3

問 21 すべての方にお聞きします。

宛名のお子さんの間食（毎日の規則的な食事の間にとる補助的な食事）は、どのようなものが多いですか。〈間食としてよく食べるものすべてに○〉

「スナック菓子」の割合が 68.7%と最も高く、次いで「チョコレート菓子」の割合が 48.1%、「果物」の割合が 33.2%となっています。

【図 5-9 間食としてよく食べるもの】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、子供の年代が低くなるにつれ「牛乳」「乳酸菌飲料」「果物」の割合が高くなっています。また、他に比べ、小学生保護者で「あめ、ガム」「スナック菓子」の割合が高くなっています。

【図 5-9-1 ライフステージ別 間食としてよく食べるもの】

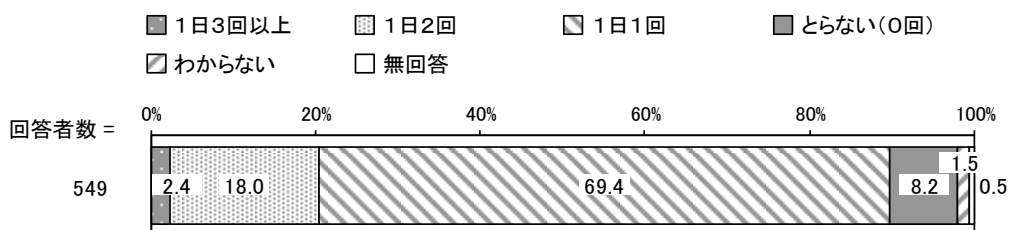
単位：%

区分	回答者数(件)	牛乳	乳酸菌飲料	ジュース	イオン飲料(スポーツ飲料)	あめ、ガム	スナック菓子	チョコレート菓子	菓子パン	果物	その他	間食はしない	わからない	無回答
幼児期保護者	174	37.9	17.8	28.7	1.1	20.7	66.1	38.5	21.3	45.4	26.4	0.6	-	0.6
小学生保護者	258	23.6	10.9	19.8	4.3	32.6	72.5	52.7	22.5	31.4	16.7	3.5	0.8	-
中学生保護者	117	19.7	8.5	29.9	1.7	13.7	64.1	52.1	33.3	18.8	26.5	6.0	0.9	-

問 22 宛名のお子さんは菓子や菓子パン、ジュース等を1日何回とっていますか。
 <1つに○>

「1日1回」の割合が69.4%と最も高く、次いで「1日2回」の割合が18.0%となっています。

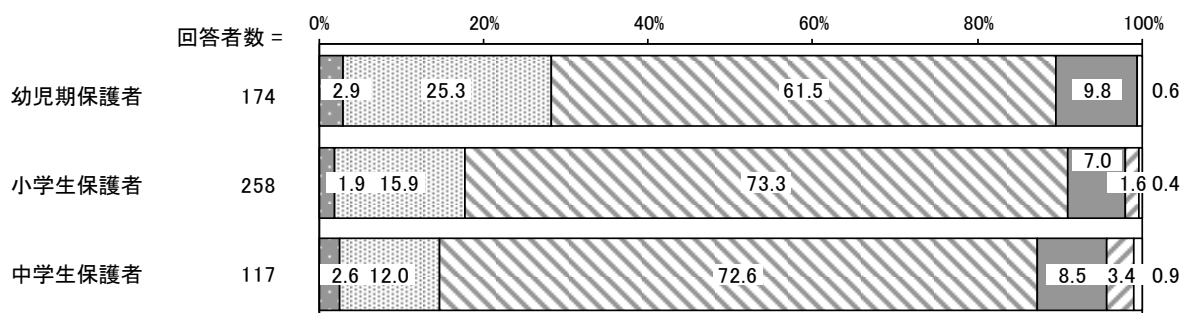
【図 5-10 菓子やジュース等の摂取頻度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、子供の年代が低くなるにつれ「1日2回」の割合が高くなっています。

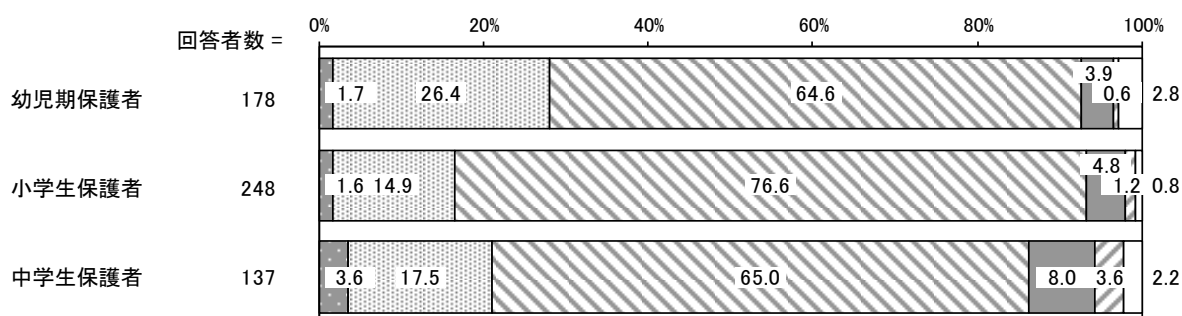
【図 5-10-1 ライフステージ別 菓子やジュース等の摂取頻度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、幼児期保護者で「とらない（0回）」の割合が5.9ポイント増加しています。また、中学生保護者で「1日2回」の割合が5.5ポイント減少し、「1日1回」の割合が7.6ポイント増加しています。

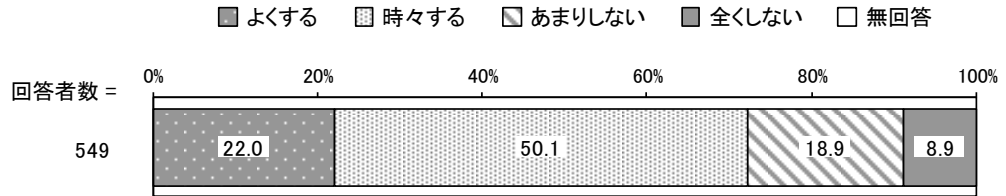
【図 5-10-2 ライフステージ別 菓子やジュース等の摂取頻度<<前回調査>>】



問 23 宛名のお子さんは、食事の準備や後片付けの手伝いをしますか。〈1つに○〉

「よくする」と「時々する」を合わせた“する”の割合が72.1%、「あまりしない」と「全くしない」を合わせた“しない”の割合が27.8%となっています。

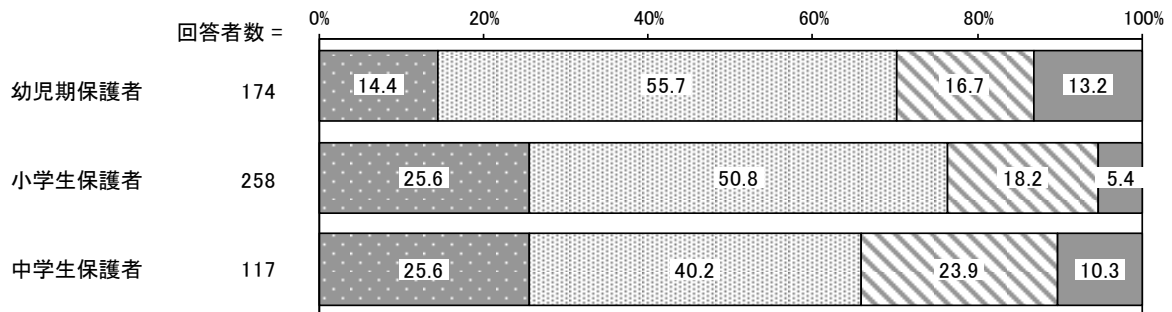
【図 5-11 食事の準備や後片付けの手伝いの有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、小学生保護者で“する”の割合が高くなっています。また、中学生保護者で“しない”の割合が高くなっています。

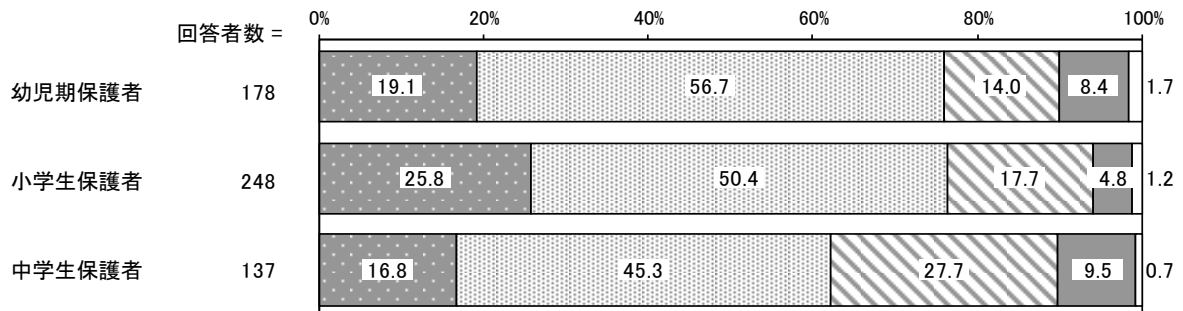
【図 5-11-1 ライフステージ別 食事の準備や後片付けの手伝いの有無】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、中学生保護者で「時々する」の割合が5.1ポイント減少し、「よくする」の割合が8.8ポイント増加しています。

【図 5-11-2 ライフステージ別 食事の準備や後片付けの手伝いの有無<<前回調査>>】



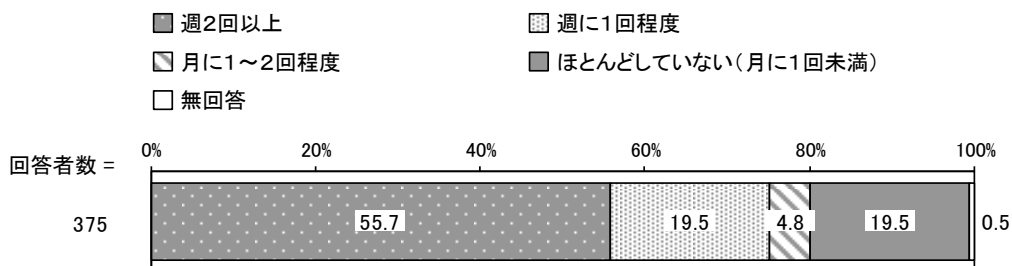
(6) 日常生活の状況等について

問 24 問 24～問 25 は、宛名のお子さんが“小学生”または“中学生”という方にお聞きします。

宛名のお子さんは、日頃から日常生活の中で1日30分以上の運動（体を動かすこと）をしていますか。（ただし学校の授業時間内で行っているものは除きます。）
 <1つに○>

「週2回以上」の割合が55.7%と最も高く、次いで「週に1回程度」、「ほとんどしていない（月に1回未満）」の割合が19.5%となっています。

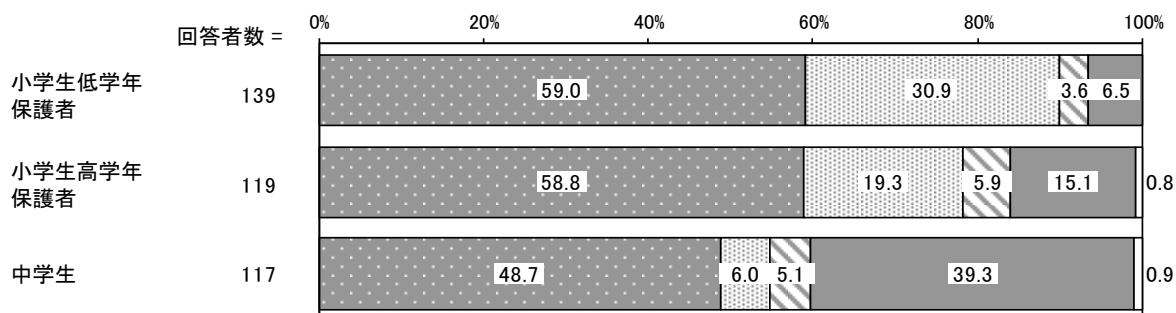
【図 6-1 日常生活における運動の実施頻度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、年齢が低くなるにつれ「週2回以上」「週に1回程度」の割合が、年齢が高くなるにつれ「ほとんどしていない（月に1回未満）」の割合が高くなっています。

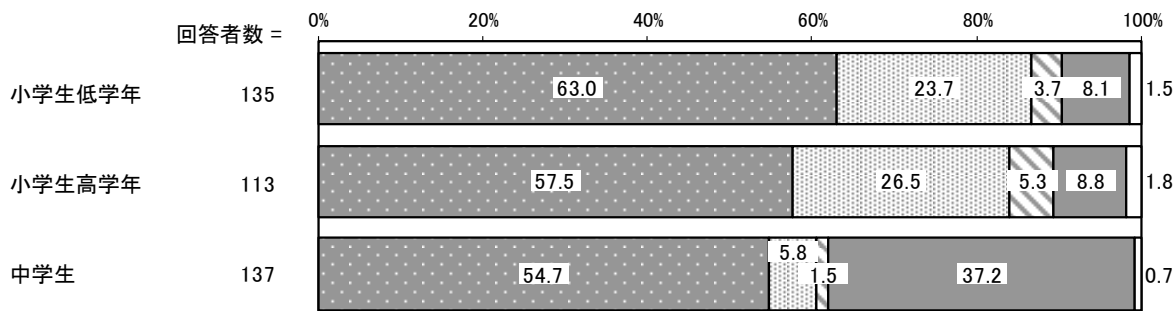
【図 6-1-1 ライフステージ別 日常生活における運動の実施頻度】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、小学生低学年保護者で「週に1回程度」の割合が7.2ポイント増加しています。また、小学生高学年保護者で「週に1回程度」の割合が7.2ポイント減少し、「ほとんどしていない（月に1回未満）」の割合が6.3ポイント増加しているほか、中学生保護者で「週2回以上」の割合が6.0ポイント減少しています。

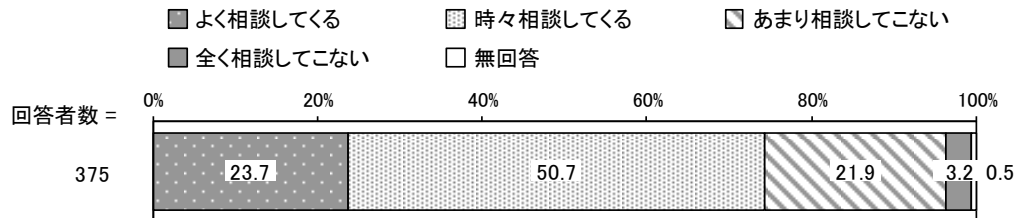
【図 6-1-2 ライフステージ別 日常生活における運動の実施頻度「前回調査」】



問 25 宛名のお子さんは、悩みや不安等を相談してきますか。〈1つに○〉

「よく相談してくる」と「時々相談してくる」を合わせた“してくる”の割合が 74.4%、「あまり相談してこない」と「全く相談してこない」を合わせた“してこない”の割合が 25.1%となっています。

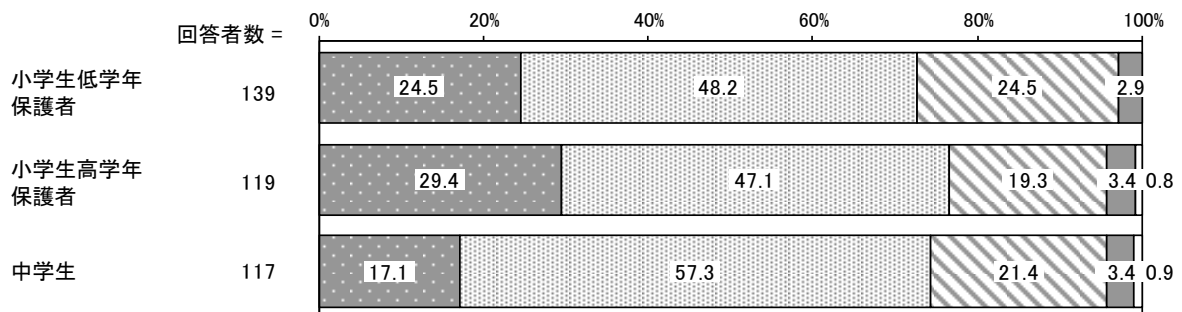
【図 6-2 悩みや不安等を相談されることの有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、小学生低学年保護者で“相談してこない”の割合が高くなっています。

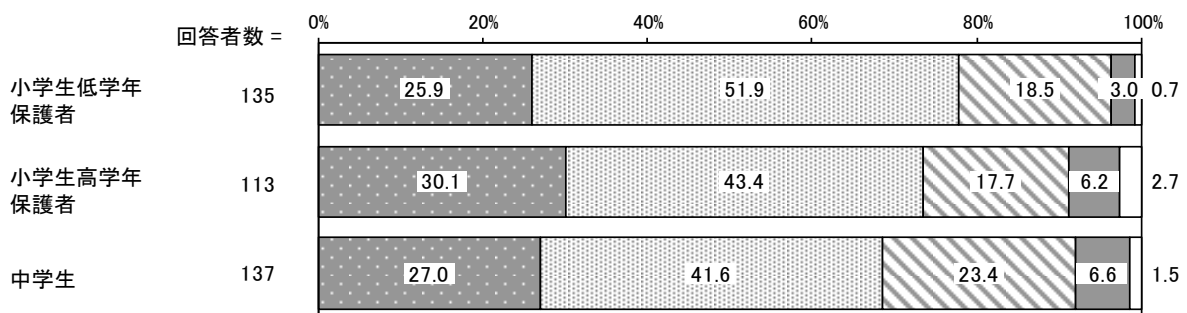
【図 6-2-1 ライフステージ別 悩みや不安等を相談されることの有無】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、小学生低学年保護者で「あまり相談してこない」の割合が 6.0 ポイント増加しています。また、中学生保護者で「よく相談してくる」の割合が 9.9 ポイント減少し、「時々相談してくる」の割合が 15.7 ポイント増加しています。

【図 6-2-2 ライフステージ別 悩みや不安等を相談されることの有無〈前回調査〉】



(7) 生活習慣について

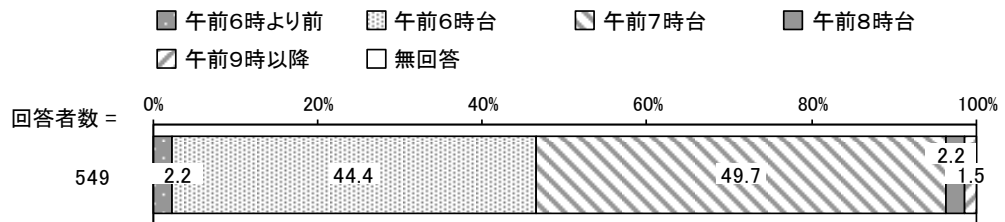
問 26 すべての方にお聞きします。

宛名のお子さんのふだんの睡眠状況についてお聞きします。

(1) 宛名のお子さんの起床時間は何時ごろですか。〈最も多い時間帯1つに○〉

「午前7時台」の割合が49.7%と最も高く、次いで「午前6時台」の割合が44.4%となっています。

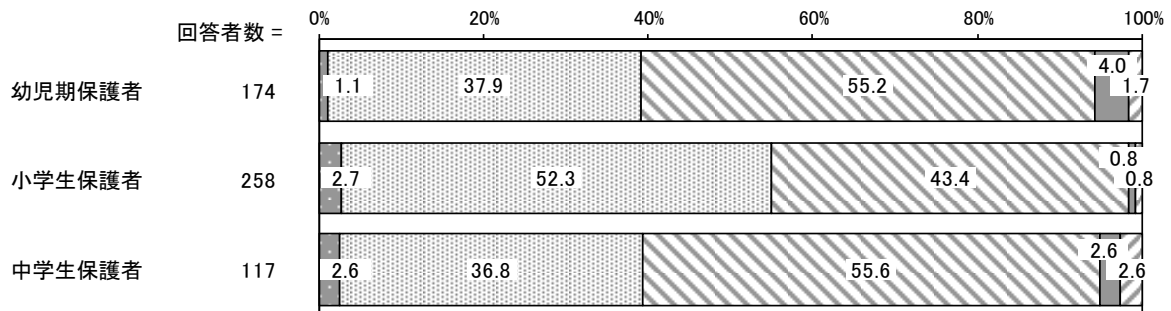
【図 7-1 起床時間】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、他に比べ、小学生保護者で「午前6時台」の割合が高くなっています。

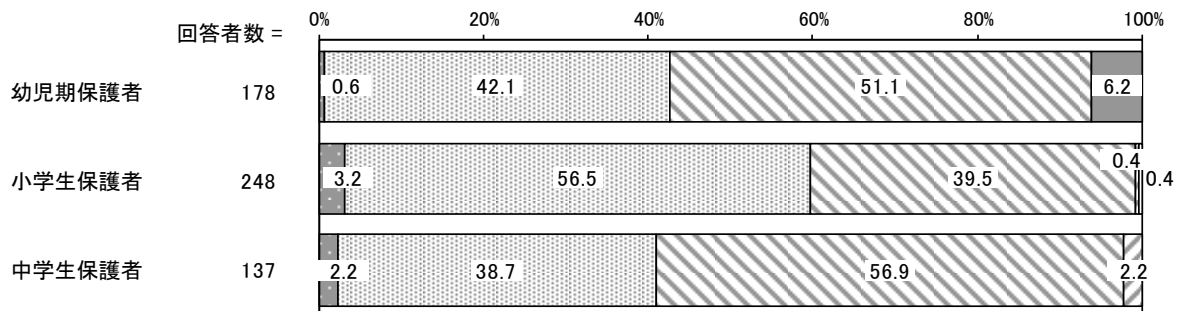
【図 7-1-1 ライフステージ別 起床時間】



【前回調査 (ライフステージ別)】

前回調査と比較すると、大きな変化はみられません。

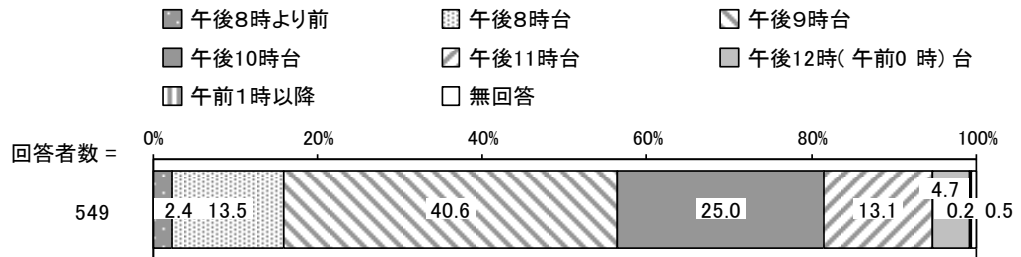
【図 7-1-2 ライフステージ別 起床時間<前回調査>】



(2) 宛名のお子さんの就寝時間は何時ごろですか。〈最も多い時間帯1つに○〉

「午後9時台」の割合が40.6%と最も高く、次いで「午後10時台」の割合が25.0%、「午後8時台」の割合が13.5%となっています。

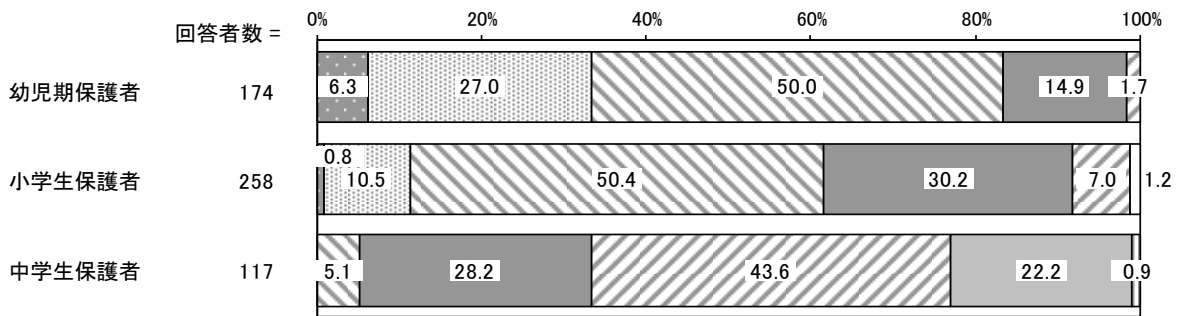
【図7-2 就寝時間】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、子供の年代が低くなるにつれ「午後8時台」の割合が高くなっています。また、他に比べ、中学生保護者で「午後11時台」「午後12時(午前0時)台」の割合が高くなっています。

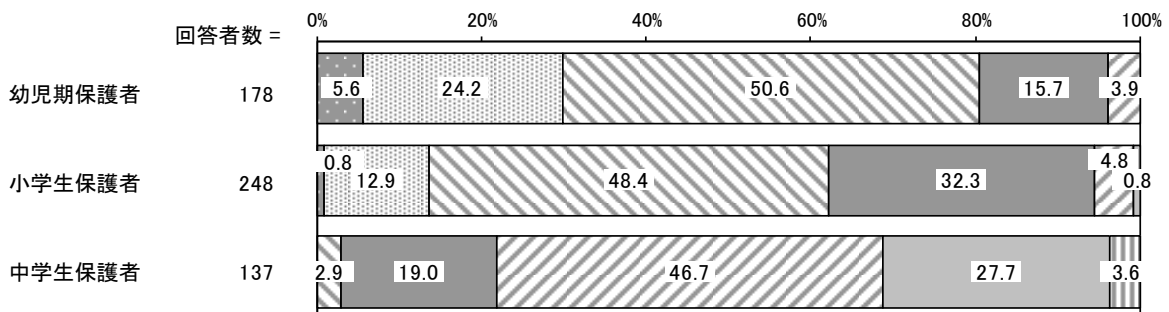
【図7-2-1 ライフステージ別 就寝時間】



【前回調査 (ライフステージ別)】

前回調査と比較すると、中学生保護者で「午後10時台」の割合が9.2ポイント増加し、「午後12時(午前0時)台」の割合が5.5ポイント減少しています。

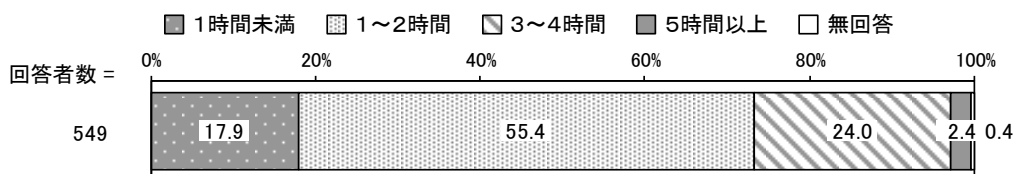
【図7-2-2 ライフステージ別 就寝時間<前回調査>】



問 27 ふだん、宛名のお子さんは1日どれくらいメディアを視聴しますか。〈1つに○〉
 (※テレビ、DVD、テレビゲーム・携帯ゲーム、パソコン、携帯電話・スマートフォン等が該当します。)

「1～2時間」の割合が55.4%と最も高く、次いで「3～4時間」の割合が24.0%、「1時間未満」の割合が17.9%となっています。

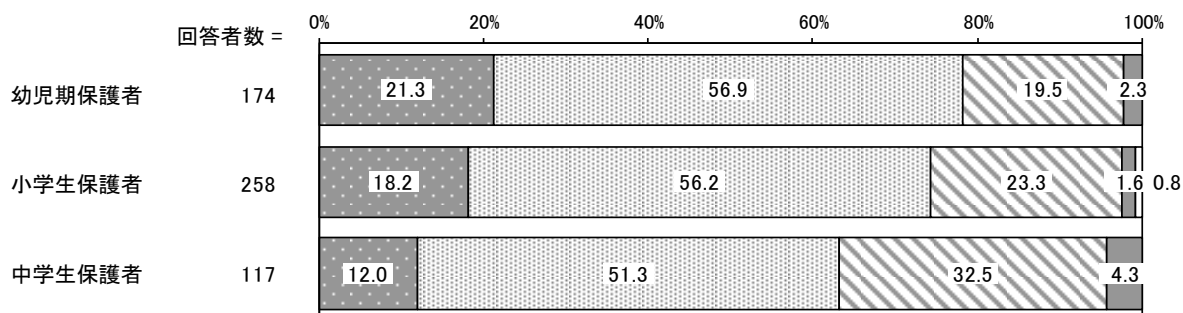
【図 7-3 メディアの視聴時間】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、子供の年代が低くなるにつれ「1時間未満」「1～2時間」の割合が、年代が高くなるにつれ「3～4時間」の割合が高くなっています。

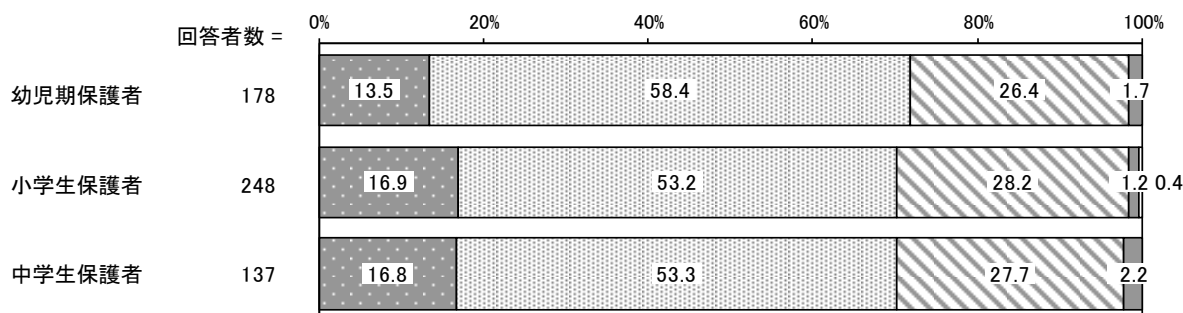
【図 7-3-1 ライフステージ別 メディアの視聴時間】



【前回調査（ライフステージ別）】

前回調査と比較すると、幼児期保護者で「3～4時間」の割合が6.9ポイント減少し、「1時間未満」の割合が7.8ポイント増加しています。

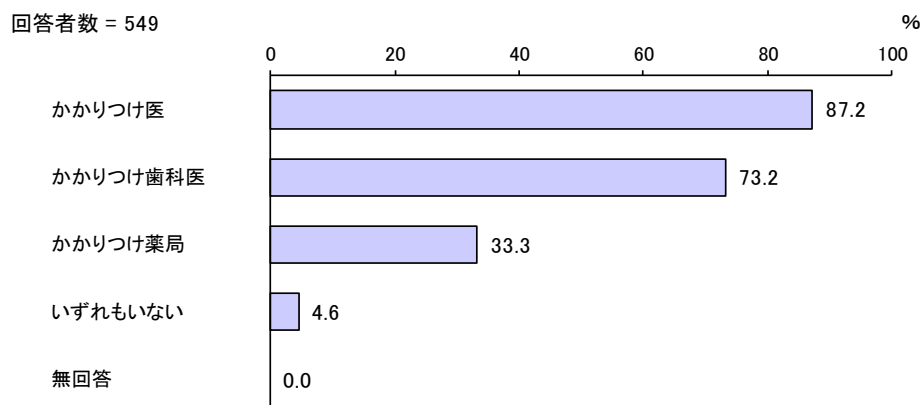
【図 7-3-2 ライフステージ別 メディアの視聴時間<前回調査>】



問 28 ふだん、宛名のお子さんの健康についての相談や病気になったとき診てもらうための、かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局がありますか。
 <あてはまるものすべてに○>

「かかりつけ医」の割合が87.2%と最も高く、次いで「かかりつけ歯科医」の割合が73.2%、「かかりつけ薬局」の割合が33.3%となっています。

【図 7-4 かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無】



【ライフステージ別】

ライフステージ別でみると、子供の年代が高くなるにつれ「かかりつけ医」の割合が低くなっています。また、他に比べ、幼児期保護者で「かかりつけ歯科医」の割合が、中学生保護者で「かかりつけ薬局」の割合が低くなっています。

【図 7-4-1 ライフステージ別 かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無】

単位：%

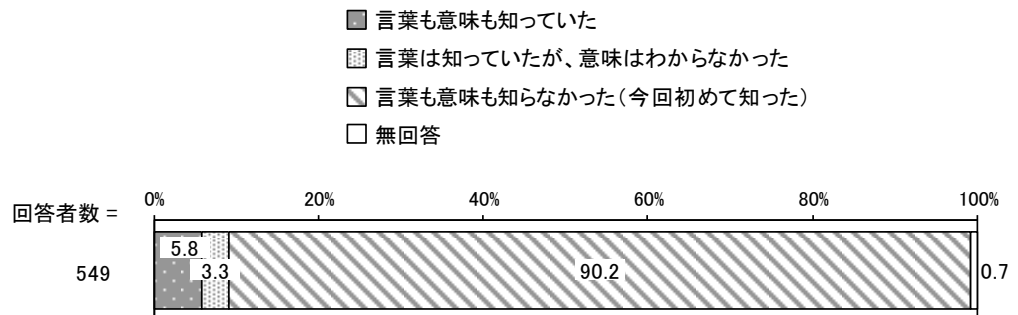
区分	回答者数 (件)	かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局	いずれもない	無回答
幼児期保護者	174	92.5	58.0	36.8	5.2	-
小学生保護者	258	90.3	81.8	35.3	2.3	-
中学生保護者	117	72.6	76.9	23.9	8.5	-

(8) その他

問 29 「吹田版ネウボラ」という言葉を知っていますか。〈1つに○〉

「言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)」の割合が90.2%と最も高くなっています。

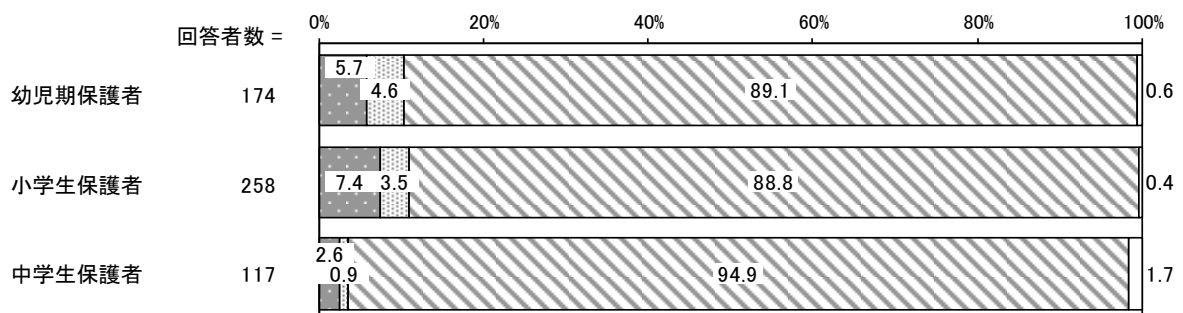
【図 8-1 吹田版ネウボラの認知度】



【ライフステージ別】

ライフステージ別で見ると、他に比べ、中学生保護者で「言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)」の割合が高くなっています。

【図 8-1-1 ライフステージ別 吹田版ネウボラの認知度】



Ⅲ 調査結果からみた課題

本市では、「吹田市健康増進計画（第2次）」、「吹田市食育推進計画（第2次）」、「吹田市歯と口腔の健康づくり推進計画」の3計画を合わせた「健康すいた21（第2次）」を策定し、健康づくりに関する施策を総合的に推進してきました。

ここでは、今後の本市の健康施策の推進に当たり、本アンケート調査の結果からうかがえる課題についてまとめました。

1 栄養・食生活

●朝食の欠食

朝食について、ほぼ毎日食べる人は一般市民全体で85.2%となっており、前回調査と同様の傾向となっています。ライフステージ別にみると、週3日以下しか食べない人の割合は、成年期が悪化しており、4人に1人となっています（p10 図2-1、図2-1-1、図2-1-2）。朝食を食べない理由としては、食欲がないことや起きる時間が遅いことなどの生活習慣の乱れの影響がうかがえます。また、朝食を食べない理由のなかに、「朝食が用意されていない」ことも挙げられており、その場合には、経済的な状況等も考慮した働きかけが必要と思われます（p12 図2-2、p100 図5-2）。

朝食の欠食時期として、「19～22歳の頃」の割合が高く、大学に進学する等の時期に、朝食を食べなくなる傾向があり、生活の環境が変わる時期に生活リズムの変化に合わせて、食生活も乱れることがうかがえます。（p14 図2-3）

●バランスの取れた食事

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べる頻度について、「ほぼ毎日（週に6日以上）」の割合が、市民全体で69.6%となっていますが、ライフステージ別でみると、青年期（55.3%）成年期（50.0%）と低くなっており、食事のバランスが悪いことがわかりました（p15 図2-4、図2-4-1）。青年期、成年期は、外食・中食をする頻度も高く、日頃の生活において、塩分、牛乳、甘い飲料等、食生活に留意する人が少なくなっています（p19～20 図2-6-1～図2-6-4 p22 図2-7-1）。BMIをみると、中年期の「肥満」が増加しており、メタボリック・シンドロームに該当する人も増加していることが推定されます（p5 図1-7-1、p6 図1-7-2）。また、青年期では食生活で重視していることが「特にない」割合が高く、青年期等から、自身の食生活を見直すことが必要になります（p26 図2-10-2）。また一方で、高年期の「やせ」も前回調査より増えており、低栄養の予防が必要です（p5 図1-7-1、p6 図1-7-2）。

●子供の食生活について

子供の保護者が、食生活において重視していることとしては、「栄養バランスのとれた食事」（72.9%）が最も多く、次いで「家族や友人と食卓を囲む機会」（61.4%）、「食事の正しいマナーや作法」（59.2%）となっています（p89 図2-1）。共働き世帯の増加等、子供を取り巻く環境は大きく変化しているなかで、保護者の栄養・食生活の意識の向上と合わせて、食生活の実践に取り組みやすい情報等の支援も必要になります。

● 栄養・食生活全体について

健康のために知りたいことについて、「食事や栄養に関すること」では、すべてのライフステージで関心が高く、栄養・食生活への関心は高くなっています（p55 図 5-9-1）。

一方で、健康づくりに関心がない人では、栄養・食生活に関する関心も低いことがわかりました。健康づくりに関する意識の向上を図るとともに、健康づくりに関心がない人に対しても、栄養・食生活の改善につなげる環境づくりも同時に必要となります。

2 たばこ

● 喫煙の状況

20歳以上で、たばこを「現在吸っている」という人は、男性 17.3%に対し、女性は 7.1%となっており、前回調査と比べ、男性が減少、女性は増加しています。府と比較した場合、男女とも低い割合となっています（p32 図 3-1、図 3-1-1、図 3-1-2）。

タバコの種類は、紙巻タバコが全体の 65.0%、加熱式タバコ 22.3%、電子タバコが 15.6%と紙巻以外のタバコが 3割以上となっています（p34 図 3-2）。

● 禁煙支援について

「禁煙外来」という言葉について、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」「知らない」を合わせた割合が 38.3%となっています。毎日吸っている喫煙者でも 21.6%となっており、喫煙者でも「禁煙外来」について知らない人が一定数みられており、禁煙外来の周知が必要となります（p37 図 3-6、図 3-6-1）。

● たばこの害についての認知度

一般市民全体で、たばこが健康に与える影響として知らなかったものとしては、「乳幼児突然死症候群になりやすい」（55.2%）、「歯周病になりやすい」（50.2%）、「COPDになりやすい」（49.7%）が約半数を占めています。（p38 図 3-7）

COPDについての「言葉も意味も知っていた」「言葉は知っていたが意味は分からなかった」を合わせた認知度が一般市民全体では 41.5%、子供の保護者についても 48.1%を占めており、いずれも前回調査より減少しています（p35 図 3-4、p95 図 3-4）。たばこの害について一層の周知が必要となります。

● 受動喫煙の状況

子供の保護者のうち、同居家族の中に喫煙者が「いる」という割合は 27.3%みられ、家族の誰かが子供のそばで喫煙することがあるという割合は 14.7%となっています（p93 図 3-1、p95 図 3-3）。受動喫煙の及ぼす影響について、さらに周知する必要があります。

3 運動・身体活動

●運動習慣について

日常生活のなかで1日30分以上の運動を「週に2回以上」実施している人は、一般市民全体で34.6%となっており、前回調査と大きな変化はみられませんでした。年齢別でみると、20歳代(15.2%)、50歳代(23.8%)、30歳代(23.9%)、40歳代(25.8%)で低くなっています(p39 図4-1、p40 図4-1-3)。

20歳代から50歳代までは働いている人が多い年代で、運動習慣がない人が多く、各年代のライフスタイルにあわせて、忙しいなかでも、毎日の生活のなかで気軽に体を動かすことができる取り組みが必要となります。

健康に関心がない人ほど、特に運動分野に取り組んでいないことがわかりました。健康づくりに関する関心を高めるとともに、関心がない人でも、身体を動かしやすい社会環境の整備が必要となります。

●子供の運動習慣について

小学生及び中学生の1日30分以上の運動の実施頻度は、「週2回以上」が小学生低学年で59.0%、小学生高学年で58.8%、中学生で48.7%となっており、小学生低学年と中学生では前回調査と比べて悪化しています。運動を「ほとんどしていない」が中学生で39.3%と高く、年齢が上がるにつれ、運動の実施頻度が低くなる傾向がみられます(p111 図6-1-1、図6-1-2)。

運動・身体活動についての楽しさや運動経験を積み重ね、小学生及び中学生からの運動の習慣化につなげることが必要となります。

4 休養・こころの健康

●睡眠について

睡眠について、「あまり規則正しくない」という人を合わせた「規則正しくない」という人は2割を超えています。ライフステージ別にみると、青年期で「規則正しくない」という人の割合が36.1%と他世代より高くなっています(p44 図5-1、p45 図5-1-3)。良い睡眠はからだや心の健康とも関連すると言われており、その必要性の啓発等が引き続き必要です。

●悩みやストレスについて

この1か月間の日常生活での悩みやストレスについて「解消できていないことが多い」「解消できていない」という人は、一般市民のうち女性で28.3%、男性で29.0%となっています。また、ライフステージ別でみると、成年期(35.3%)、中年期(33.8%)であまり解消できていないと感じています(p46 図5-2、図5-2-1、図5-2-2)。働く人が多い世代で、悩みやストレスを解消できていない人が他の世代より多くなっています。

●悩みごとの相談について

悩みごと等について、「だれかに相談することはない」が7.3%、「相談できる人はいない」が5.5%と大きな変化はみられません（p47 図5-3）。専門的な相談先について、周知し、いざとなったときに相談につながるようにしていくことが必要となります。

小学生及び中学生が悩みや不安等について保護者に「相談してくる」割合は、全体で74.4%と前回調査と同様となっています（p112 図6-2）。小中学生が相談できるところを紹介するなど、学校等と連携し、相談しやすい環境の整備に努めることが必要となります。

●吹田版ネウボラの認知度

子供を持つ保護者で、保健センターとのびのび子育てプラザが中心となり、子育てに関わる機関が、すべての妊婦や乳幼児を育てる家庭を対象として、相談、支援を行っている「吹田版ネウボラ」について、「言葉も意味も知らなかった」人が90.2%となっており、市民に知られていない現状です（p117 図8-1）。少子化や核家族化などが進むなか、育児の悩みを抱える親の孤独化が問題となっており、孤立させず、切れ目のない支援につながるよう、周知が必要となります。

5 歯と口腔の健康

●歯科健診の受診

歯科健診について「年1回以上受けている」という人は、一般市民全体で55.7%となっており、前回に比べて改善しています（p57 図6-1）。今後も歯科健診の受診の重要性について周知していく必要があります。

●歯科疾患と全身疾患の関連性

歯周病や歯肉炎は20歳ころから発症しやすくなること、むし歯や歯周病は口腔内細菌による感染症であること、歯周病と糖尿病が相互に悪影響を及ぼし合っていること、口腔機能の向上が誤嚥性肺炎の予防につながることを「知らなかった」という人の割合が高くなっています。特に青年期では認知度が低くなっています（p62 図6-4、図6-4-1）。

歯周病や、歯科疾患と全身疾患の関連性について、若い世代からの啓発が必要になります。

●歯周病や歯肉炎の診断を受けた人

歯周病や歯肉炎の診断を受けたことが「ある」という人は、一般市民全体で36.2%と前回調査と同様となっており、年齢が高くなるにつれて高くなっていますが、若い世代にもみられています。

また、喫煙歴がある場合、喫煙歴がない場合に比べ、歯周病や歯肉炎と診断された人の割合がやや高くなっています（p59 図6-2、図6-2-1、図6-2-2、p60 図6-2-3）。

若い時から、定期的な歯科健診の受診や、効果的な口腔ケアを行うとともに、禁煙に努めるなど、生活習慣病も含め、歯科疾患の予防への関心を高めることが大切になります。

●子供の歯の健康

子供の間食としては、「スナック菓子」が68.7%と最も多く、特に小学生で72.5%と高くなっており、前回調査と変化がありません。また、子供が菓子やジュース等をとる回数としては、「1日1回」が69.4%を占めている状況です（p108 図5-9、図5-9-1、p109 図5-10）。

幼児期からの食生活の改善や食後の歯みがき習慣を身に付け、むし歯予防につなげることが必要となります。

6 アルコール

●飲酒の頻度について

飲酒の頻度について一般市民の男性では、「ほぼ毎日」が35.2%と最も多くなっているのに対し、女性では「ほとんど飲まない（月に1回未満）または飲めない」が57.2%を占めており、前回調査と変化はみられていません（p65 図7-1、図7-1-1）。

●適正な飲酒量の認知度について

“飲酒の適量は1日に日本酒1合程度”ということを知っているという人は、一般市民全体のうち80.4%となっており、前回調査より約24ポイント増加していますが、年代別では20歳代が最も「知っている」人の割合が少ない状況となっています（p67 図7-2、図7-2-2）。

飲酒は、アルコール依存症や、生活習慣病などのリスクを高めます。また、未成年者や妊産婦の飲酒防止も重要であることから、特に若い世代を中心に、適量飲酒等アルコールの正しい知識の普及啓発が必要となります。

7 健康管理

●健診等の受診状況

直近1年以内の健診や人間ドックの受診状況としては、特定健診やお腹周りの測定を含む健康診査及び人間ドックについて「いずれも受けていない」割合は、40.1%となっており健康づくりへの関心度別で見ると、関心が低くなるにつれ受診していない人の割合が高くなっています。健康づくりに関心のある人も受診していない人がみられます（p68 図8-1、p69 図8-1-3）。

受診していない理由としては、「費用がかかるから」（22.6%）、「特にない」（20.4%）、「面倒だから」（16.1%）が高くなっています（p70 図8-2）。

定期的な健康診査等は、単に疾病の早期発見、早期治療の場であるだけでなく、生活習慣改善のための契機の間ともなることから、引き続き健康診査等の受診勧奨が必要と考えられます。

●がん検診の受診状況

過去1年以内に、がん検診を「受けた」という人は一般市民全体で51.8%となっており、その種類としては「乳がん検診」(34.0%)、「子宮がん検診(女性のみ)」(31.0%)、「大腸がん検診」(25.0%)、「胃がん検診」(24.3%)となっています(p73 図8-5)。

一方、がん検診を受けていない人の理由としては、「特にない」(22.3%)、「忙しいから」(20.0%)、「面倒だから」(19.0%)、となっています(p76 図8-8)。がんの早期発見、早期治療につなげるためにも、引き続きがん検診の受診率向上に取り組む必要があります。

●フレイル等の認知度

運動器の衰えなどにより歩行や日常生活に何らかの支障をきたし、進行すると要介護状態になるリスクが高くなる“ロコモティブシンドローム”、加齢や疾患により筋肉量が低下することで、全身の筋力低下及び身体機能の低下が起こる“サルコペニア”、老化に伴う様々な機能の低下により、疾病発症や身体機能障がいに対する脆弱性が増す状態ですが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態である“フレイル”について一般市民の認知度が低い状況です(p84 図8-15、p85 図8-16)。健康寿命の延伸を図るため、言葉の意味も含めて広く普及啓発をおこない、予防に努めることが必要となります。

●健康づくりを目的とした活動

最近1年間に、健康づくりを目的とした活動を続けている一般市民が45.3%となっています。また、健康づくりへの関心が高くなるにつれ、健康づくりの活動が継続されている状況です(p48 図5-4、p49 図5-4-3)。

また、最近1年間で、地域活動(町内行事、公民館活動、ボランティア活動、サロンなど)に参加したことがある一般市民が23.8%となっており、健康づくりへの関心が高くなるにつれ、参加したことがある人が多くなっています(p56 図5-10、図5-10-2)。

さらに、生活習慣病予防についても、健康づくりへの関心度別で見ると、関心が高くなるにつれて、取り組む市民が多くなっています(p81 図8-11-3)。

市民が健康づくりや生活習慣病の予防に継続的に取り組むため、健康づくりへの関心を高めるとともに、健康づくりに関心のない層への働きかけも検討していく必要があります。

8 食を通じた豊かな人間形成

●食育について

食育への関心がある（「ある」又は「どちらかといえばある」を合わせたもの）という人の割合は、一般市民全体では前回調査の69.9%から今回62.1%と減少傾向を示しています。特に青年期では他世代と比べて「関心がある」人の割合が低くなっており、子供のころからの食育の推進が引き続き必要です（p29 図2-12、図2-12-1、図2-12-2）。

●孤食の状況

夕食をひとりで食べること（孤食）が「よくある」と「時々ある」を合わせた「ある」という割合は、一般市民全体で41.3%、幼児期・小学生・中学生を合わせた子供全体で13.8%でした。前回調査はそれぞれ31.0%、9.6%となっており、いずれも増加しています。

また、子供のうち、「ある」という割合をライフステージ別でみると、幼児期で5.2%、小学生で8.9%、中学生で37.6%となっています。前回調査では幼児期4.0%、小学生7.2%、中学生34.3%となっており、いずれも増加しています（p23 図2-8、p106 図5-7、図5-7-1、図5-7-2）。

家族の共食のあり方については、働き方や生活全体に関係するため、個人の努力だけでは改善が難しいこともあります。今後、共食の推進については、家庭だけでなく、地域や職場も含めて考えていく必要があります。

IV 調査票

健康に関する市民意識アンケート調査（一般市民）
健康に関する市民意識アンケート調査（保護者）

健康に関する市民意識アンケート調査 2019

＜調査ご協力のお願＞

みなさまには、日ごろから市政全般にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本アンケート調査は、市民のみなさまの食と健康に関する意識や実態を把握するとともに、吹田市の健康増進に関する計画策定や評価、保健活動の基礎資料とし、今後の市政に活用していくために実施いたします。

ご回答いただきました内容は、個々の回答ではなく全体として集計した結果を使わせていただきますので、個人が特定されることは一切ございません。また、調査票や返信用封筒にお名前を書いていただく必要もございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、なにとぞご協力いただきますようお願い申し上げます。

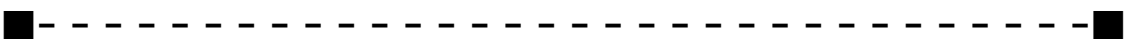
令和元年 11 月

吹 田 市

記入にあたってのお願い

- 1 調査票の中で「あなたは」と表現している設問は、封筒の宛名に書かれたご本人のことをご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。○印は、番号を囲むように濃くつけてください。また、「1つに○」など、○の数を指定している場合がありますので、ご注意ください。
- 3 「その他」の回答を選んだ場合は、()の中へ具体的にお書きください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、お名前やご住所を記入なさらずに、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。切手は不要です。

【ポスト投函期限】令和元年(2019年) 12月3日(火)



このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

吹田市健康医療部 保健センター(〒564-0072 吹田市出口町 19-2)

電話:06-6339-1212 / FAX:06-6339-7075

■ あなた自身のことについてお聞きします。

問1 あなたの性別を教えてください。〈1つに○〉

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。(10月1日現在でお答えください。)<1つに○〉

1 19歳以下	2 20～24歳	3 25～29歳	4 30～34歳
5 35～39歳	6 40～44歳	7 45～49歳	8 50～54歳
9 55～59歳	10 60～64歳	11 65～69歳	12 70～74歳
13 75～79歳	14 80歳以上		

問3 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。〈該当する地域1つに○〉

1 JR以南地域	寿町,中の島町,西御旅町,東御旅町,内本町,元町,朝日町,清和園町,南清和園町,川岸町,高浜町,南高浜町,昭和町,高城町,末広町,日の出町,川園町,吹東町,幸町,南正雀,目俵町,平松町
2 片山・岸部地域	西の庄町,片山町,上山手町,原町,出口町,藤が丘町,朝日が丘町,天道町,山手町,岸部南,岸部中,岸部北,芝田町,岸部新町
3 豊津・江坂・南吹田地域	泉町,金田町,南金田,南吹田,穂波町,垂水町,江坂町 1～4 丁目,豊津町,江の木町,芳野町,広芝町
4 千里山・佐井寺地域	千里山霧が丘,千里山星が丘,千里山虹が丘,千里山月が丘,千里山東,千里山西,千里山松が丘,竹谷町,佐井寺南が丘,佐井寺,千里山高塚,春日,千里山竹園,円山町,五月が丘西,五月が丘南,江坂町 5 丁目,五月が丘東,五月が丘北
5 山田・千里丘地域	山田東,山田西,山田南,山田北,櫻切山,山田市場,尺谷,千里丘上,千里丘中,千里丘下,千里丘西,千里丘北,長野東,長野西,新芦屋上,新芦屋下,清水,青葉丘南,青葉丘北
6 千里ニュータウン・万博・阪大地域	佐竹台,高野台,津雲台,桃山台,竹見台,古江台,青山台,藤白台,上山田,千里万博公園,山田丘

問4 現在、同居している家族はどなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉

※あなたからみた続柄でお答えください。(義理関係含む)

1 配偶者(夫・妻)	2 父、母
3 子供(子の配偶者を含む)	4 孫(孫の配偶者を含む)
5 祖父、祖母	6 兄弟・姉妹
7 その他()	8 同居している家族はいない

問5 あなたの世帯全体の年間の収入は次のどれにあてはまりますか。〈1つに○〉

1 100万円未満	2 100～200万円未満	3 200～300万円未満
4 300～400万円未満	5 400～500万円未満	6 500～600万円未満
7 600～700万円未満	8 700～800万円未満	9 800～900万円未満
10 900～1,000万円未満	11 1,000万円以上	12 わからない

問6 現在、あなたが加入している健康保険は何ですか。〈1つに○〉

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 国民健康保険(自営業等) | 2 国民健康保険組合(建設国保、医師国保等) |
| 3 後期高齢者医療制度(主に75歳以上の方) | 4 共済組合(公務員等) |
| 5 上記1~4以外の健康保険(民間企業等) | 6 加入していない |
| 7 わからない | |

問7 あなたの身長と体重を教えてください。(※よくわからない場合はおおよそで結構です。)

<①身長>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	cm	<②体重>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>	.	<input type="text"/>	kg
-------	--	----	-------	--	---	----------------------	----

問8 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響はありますか? 〈1つに○〉

- | | |
|------|----------|
| 1 ある | 2 ない⇒問9へ |
|------|----------|

【問8で「1 ある」と回答した人にお聞きします】

問8-1 それはどのようなことに影響がありますか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1 日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など) | 2 外出 |
| 3 仕事、家事、学業 | 4 運動(スポーツ含む) |
| 5 その他() | |

【すべての方にお聞きします】

問9 あなたは現在、生活習慣病の治療(通院による定期的な検査や生活習慣の改善指導を含む)のため、定期的に医療機関を受診していますか。〈1つに○〉

生活習慣病とは、がん、糖尿病、脂質異常症、高血圧症、脳卒中(脳出血や脳梗塞等)、狭心症、心筋梗塞などを指す。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 受診している | 2 受診していない |
|----------|-----------|

■ あなたの食生活等についてお聞きします。

問10 あなたは、ふだん朝食を食べていますか。〈1つに○〉

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1 ほぼ毎日(週に6日以上)⇒問11へ | 2 週に4~5日 |
| 3 週に2~3日 | 4 ほとんど食べない(週に1日以下) |

【問10で「2 週に4~5日」「3 週に2~3日」「4 ほとんど食べない(週に1日以下)」と回答した人にお聞きします】

問10-1 あなたが朝食を食べない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1 食べる時間がない | 2 食欲がわかない |
| 3 起きる時間が遅く朝屋兼用になる | 4 やせるため(ダイエット) |
| 5 朝食の準備が面倒 | 6 朝食が用意されていない |
| 7 朝食を食べる習慣がない | 8 食費節約のため |
| 9 その他() | 10 特にない |

問 10-2 いつ頃から朝食を食べないことが多くなりましたか。〈1つに○〉

1 小学生の頃	2 中学生の頃	3 16～18歳の頃
4 19～22歳の頃	5 その他()	6 わからない

問 11 あなたは、主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べていますか。

1 ほぼ毎日(週に6日以上)	2 週に4～5日
3 週に2～3日	4 ほとんど食べない(週に1日以下)

主食:ごはん、パン、麺類など 主菜:魚や肉、卵、大豆製品など 副菜:野菜やきのこ類、海そう類

問 12 あなたは、食事の準備(調理等)をひとりでできますか。〈1つに○〉

1 できる	2 だいたいできる	3 ほとんどできない
-------	-----------	------------

問 13 日頃の食生活の状況について、以下の項目についてお答えください。

〈A～Eについて“1”か“2”に○〉	『はい』	『いいえ』
A 塩分を多く含む食品を控えている	1	2
B 牛乳や乳製品(ヨーグルト・チーズ等)を毎日食べている	1	2
C ジュース等の甘い飲料を控えている	1	2
D 就寝2時間前には何も食べない	1	2
E 食事の量は腹八分目にしている	1	2

問 14 あなたは、外食及び持ち帰り弁当や惣菜はどのくらい利用しますか。〈1つに○〉

〈ABについて“1”～“4”に○〉	『ほとんど毎日』	『週4～5日』	『週2～3日』	『ほとんどない(週1日以下)』
A 外食(飲食店での食事)	1	2	3	4
B 持ち帰り弁当や惣菜	1	2	3	4

【家族等と同居されている方のみにお聞きます(※ひとり暮らしの方は問16へ)】

問 15 あなたはふだん夕食をひとりで食べること(孤食)がどれくらいありますか。〈1つに○〉

1 よくある	2 時々ある
3 あまりない ⇒問16へ	4 全くない ⇒問16へ

【問 15 で「1 よくある」または「2 時々ある」と回答した人にお聞きします】

問 15-1 夕食をひとりで食べることがある理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 夕食の時間に自分が家にいないから | 2 夕食の時間に家族が家にいないから |
| 3 自分の好きな時に食べるから | 4 自分の部屋で食べるから |
| 5 その他() | 6 特にない |

【すべての方にお聞きします】

問 16 あなたは、食生活でどういったことを重視していますか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 家族や友人と食卓を囲む機会 | 2 食事の正しいマナーや作法 |
| 3 よく噛むこと | 4 地域性や季節感のある食事をする |
| 5 地場産物の購入・使用 | 6 食品の安全性 |
| 7 食べ残しをしない、食品を捨てない | 8 できるだけ手作りの食事 |
| 9 栄養バランスのとれた食事 | 10 規則正しい食生活のリズム |
| 11 多様な食品の利用 | 12 その他() |
| 13 特にない | |

問 17 あなたは、食品を購入する際に栄養成分の表示を確認して購入しますか。〈1つに○〉

- | | |
|------------|-----------|
| 1 いつもしている | 2 時々している |
| 3 あまりしていない | 4 全くしていない |

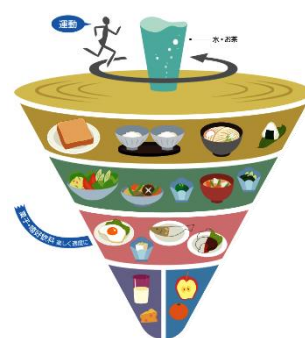
問 18 あなたは、「食育」に関心がありますか。〈1つに○〉

「食育」とは、様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいう。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 関心がある | 2 どちらかといえば関心がある |
| 3 どちらかといえば関心がない | 4 関心がない |
| 5 わからない | |

問 19 あなたは、食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」(右図)を見たことがありますか。〈1つに○〉

- | |
|----------------------|
| 1 見たことがあり、参考にしている |
| 2 参考にはしていないが、見たことはある |
| 3 見たことはない |



■ 喫煙状況等についてお聞きします。

問 20 あなた自身、たばこを吸いますか。〈1つに○〉

- | | |
|--------------------------------|------------|
| 1 毎日吸っている | 2 時々吸う日がある |
| 3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない⇒問 21 へ | |
| 4 吸わない⇒問 21 へ | |

【問 20 で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した人にお聞きします】

問 20-1 現在あなたが吸っているたばこ製品は以下のどれですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1 紙巻きたばこ | 2 加熱式たばこ |
| 3 電子たばこ(ニコチン入り) | 4 電子たばこ(ニコチンなし、又は不明) |
| 5 その他() | |

加熱式たばことは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品を燃焼させず、専用機器を用いて電気で加熱することで煙を発生させるもの。加熱の方法や温度などは製品ごとに異なる。電子たばことは、香料などを含む溶液を電氣的に加熱し、発生させたエアロゾル(蒸気)を吸入する製品で、日本ではニコチンを含むものは現在販売されていない。

【問 20 で「1 毎日吸っている」「2 時々吸う日がある」と回答した人にお聞きします】

問 20-2 禁煙について、あなたは関心がありますか。〈1つに○〉

- | |
|----------------------------|
| 1 関心はない |
| 2 関心があり、今後1か月以内に禁煙する予定 |
| 3 関心があり、今後6か月以内に禁煙する予定 |
| 4 関心はあるが、今後6か月以内に禁煙する予定はない |

【すべての方にお聞きします】

問 21 あなたは、「慢性閉塞性肺疾患(COPD)^{シーオービーディー}」について知っていますか。〈1つに○〉

「COPD」とは、たばこの煙などが原因で、呼吸困難や慢性的な咳・たんが続くなど、肺機能が徐々に低下していく病気のことをいう。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 言葉も意味も知っていた | 2 言葉は知っていたが、意味はわからなかった |
| 3 言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った) | |

問 22 あなたはこの1か月間に受動喫煙の機会がありましたか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|------------|--------------------|
| 1 家庭内 | 2 職場内 |
| 3 公園や通学路 | 4 デパート、スーパーなどの商業施設 |
| 5 飲食店 | 6 公共施設 |
| 7 電車やバスのなか | 8 駅周辺 |
| 9 医療機関、薬局 | 10 路上 |
| 11 その他() | 12 受動喫煙の機会はなかった |

問 23 あなたは「禁煙外来」という言葉を聞いたことがありますか。〈1つに○〉

「禁煙外来」とは、医師が外来で喫煙者の喫煙歴を把握したうえで禁煙補助薬を処方し治療すること。禁煙中の症状(離脱症状)についても相談できる。一定の条件を満たせば健康保険による治療ができる。

- | | |
|---------------|------------------------|
| 1 言葉も内容も知っている | 2 言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない |
| 3 知らない | |

問 24 たばこが健康に与える影響として、以下のうち知っている事柄はありますか。

E、Fは子供が受動喫煙(他人のたばこの煙を吸わされること)した場合。
Fの乳幼児突然死症候群とは、それまで元気であった乳幼児(主に1歳未満の乳児)が睡眠中に何の前触れもなく、亡くなってしまう病気のこと。

<A~Gについて“1”か“2”に○>	『知っていた』	『知らなかった』
A がんになりやすい	1	2
B COPD(慢性閉塞性肺疾患)になりやすい	1	2
C 生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症、心筋梗塞、脳梗塞等)になりやすい	1	2
D 歯周病になりやすい	1	2
E 子供への影響(肺炎、気管支炎、喘息等)	1	2
F 乳幼児突然死症候群になりやすい	1	2
G 妊娠中の胎児への影響	1	2

■ 日頃の運動の状況等についてお聞きします。

問 25 あなたは、日頃から日常生活の中で1日30分以上の運動をしていますか。
(※学生の方は、学校の授業時間内に行っているものは除きます。)<1つに○>

1 週に2回以上	2 週に1回程度
3 月に1~2回程度	4 ほとんどしていない

問 26 あなたの日頃の運動に関して以下のことについて教えてください。<A・B・C各項目1つに○>

A 同世代の同性の人より歩くのが速い	1 はい	2 いいえ
B 歩いて10分以内の所なら歩いていく	1 はい	2 いいえ
C ラジオ体操や軽い運動などで体を動かすことを心がけている	1 はい	2 いいえ

問 27 ふだん、駅やビル等で3階ぐらいの高さを上げる際に、階段とエスカレーター(エレベーター)の両方があれば、あなたはどちらを使うことが多いですか。<1つに○>

1 ほとんど階段を上げる(階段利用が8割以上)
2 階段を上げるほうが多い(階段利用が6~8割未満)
3 階段を上げるのとエスカレーター(エレベーター)を利用することが半々
4 エスカレーター(エレベーター)を利用することが多い(6~8割未満)
5 エスカレーター(エレベーター)を利用することがほとんど(8割以上)

■ 心身の健康についてお聞きします。

問 28 ふだんの睡眠は、規則正しくとれていますか。〈1つに○〉

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 規則正しい | 2 おおむね規則正しい |
| 3 あまり規則正しくない | 4 規則正しくない |

問 29 この1か月間の日常生活での悩みやストレスについて解消できていますか。〈1つに○〉

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 その都度解消できている | 2 解消できていることが多い |
| 3 解消できていないことが多い | 4 解消できていない |
| 5 わからない | 6 悩みやストレスはなかった |

問 30 あなたの身近に悩みごと等を相談できる人はいますか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 家族 | 2 親戚 |
| 3 友人・知人 | 4 近隣の人 |
| 5 職場の人 | 6 自治会・町内会の人 |
| 7 民生委員・児童委員 | 8 地区福祉委員 |
| 9 その他() | 10 相談できる人はいない |
| 11 だれかに相談することはない | |

問 31 あなたはこの1年間に、健康づくりを目的とした活動を続けていますか。〈1つに○〉

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 続けている | 2 続けていない⇒問 32 へ |
|---------|-----------------|

【問 31 で「1 続けている」と回答した方にお聞きします】

問 31-1 あなたが健康づくり活動を続けられている理由はなんですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 体力や筋力をつけたいから | 2 病気の治療、予防のため |
| 3 体重を減らしたいから | 4 体重を維持、又は増やしたいから |
| 5 好きだから | 6 ストレスを解消したいから |
| 7 仲間がいるから | 8 家族に言われているから |
| 9 手軽にできるから | 10 その活動が上手になりたいから |
| 11 指導者に恵まれているから | 12 その他() |

【すべての方にお聞きします】

問 32 あなたはご自身や家族の健康づくりに関心がありますか。〈1つに○〉

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 ある | 2 どちらかといえばある |
| 3 どちらかといえはない | 4 ない |

問 33 あなたは健康づくりに関する情報を何から入手していますか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 新聞や雑誌 | 2 テレビ |
| 3 インターネット(ホームページ等) | 4 インターネット(SNS) |
| 5 市報、チラシやポスター、健康教室等 | 6 家族、友人、知人 |
| 7 医療機関、薬局 | 8 職場や学校 |
| 9 その他() | |

■ お酒を飲む機会等についてお聞きします。

問 43 あなたはふだんお酒やビールなどのアルコール類を飲むことがありますか。〈1つに○〉

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1 ほぼ毎日(週6日以上)⇒問 43-1 へ | 2 週に3~5日⇒問 43-1 へ |
| 3 週に1~2日⇒問 44 へ | 4 月に1~3日⇒問 44 へ |
| 5 ほとんど飲まない(月に1回未満)または飲めない ⇒問 44 へ | |

【問 43 で「1 ほぼ毎日(週6日以上)」「2 週に3~5日」とお答えの方にお聞きします】

問 43-1 “飲酒の適量は1日に日本酒なら1合、ビールなら 500ml を 1 本、缶酎ハイなら 350ml を 1 缶程度”ということをおあなたは知っていますか。〈1つに○〉

- | | |
|---------|--------------------|
| 1 知っている | 2 知らなかった(今回初めて知った) |
|---------|--------------------|

■ 健診や医療機関の受診状況等についてお聞きします。

問 44 過去1年間に、特定健診(メタボ健診)やお腹回りの測定を含む健康診査、人間ドックを受けたことがありますか。〈1つに○〉

- | |
|---|
| 1 特定健診(メタボ健診)やお腹回りの測定を含む健康診査も人間ドックも受けた⇒問 44-2 へ |
| 2 特定健診(メタボ健診)やお腹回りの測定を含む健康診査のみ受けた ⇒問 44-2 へ |
| 3 人間ドックのみ受けた ⇒問 45 へ |
| 4 いずれも受けていない(※1年以上前に受けた場合を含む)⇒問 44-1 へ |

【問 44 で「4 いずれも受けていない」という人にお聞きします】

問 44-1 健康診査や人間ドックを受けていない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 健康なので受ける必要がないから | 2 面倒だから |
| 3 忙しいから | 4 毎年受ける必要はないと思っているから |
| 5 費用がかかるから | 6 知らなかったから |
| 7 結果が不安なので受けたくないから | 8 健診場所が遠いから |
| 9 その他() | 10 特にない |

【問 44 で、「1」または「2」と回答した人にお聞きします】

問 44-2 特定保健指導が必要と言われましたか。〈1つに○〉

- | |
|---------------------------|
| 1 必要と言われて受けた ⇒問 45 へ |
| 2 必要と言われたが受けなかった⇒問 44-3 へ |
| 3 必要と言われなかった ⇒問 45 へ |

【問 44-2 で「2 必要と言われたが受けなかった」と回答した人にお聞きします】

問 44-3 特定保健指導を受けなかった理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1 忙しいから | 2 面倒だから |
| 3 場所が遠かったから | 4 すでに生活改善に取り組んでいるから |
| 5 通院中だから | 6 その他() |
| 7 特にない | |

【すべての方にお聞きします】

問 45 過去1年間にがん検診を受けましたか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1 胃がん検診 | 2 大腸がん検診 |
| 3 肺がん検診 | 4 前立腺がん検診(男性のみ) |
| 5 乳がん検診(女性のみ) | 6 子宮がん検診(女性のみ) |
| 7 何も受けていない⇒問 45-3へ | |

【20歳以上の女性にお聞きします。※問 45 で5、6と答えた方もお答えください。】

問 45-1 過去2年間に子宮がん、乳がん検診を受けましたか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|---------------|--------------|
| 1 子宮がん検診のみ受けた | 2 乳がん検診のみ受けた |
| 3 どちらの検診も受けた | 4 どちらも受けていない |

【問 45 で「1～6」と回答した人にお聞きします】

問 45-2 それはどのような機会に受けましたか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 市区町村が実施した検診 | 2 職場又は健康保険組合等(家族の職場を含む) |
| 3 人間ドック | 4 その他() |
| 5 わからない | |

【問 45 で「7 何も受けていない」と回答した人にお聞きします】

問 45-3 受けていない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 健康なので受ける必要がないから | 2 面倒だから |
| 3 忙しいから | 4 毎年受ける必要がないと思っているから |
| 5 費用がかかるから | 6 知らなかったから |
| 7 結果が不安で受けたくないから | 8 検診場所が遠いから |
| 9 その他() | 10 特にない |

【すべての方にお聞きします】

問 46 あなたは、“ロコモティブシンドローム(運動器症候群)”という言葉を知っていますか。〈1つに○〉

「ロコモティブシンドローム」とは、加齢や生活習慣が原因といわれる運動器(骨・関節・筋肉等)の衰えなどによって、要介護状態になるリスクが高まる状態のこと。

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1 言葉も意味も知っていた | 2 言葉は知っているが意味は知らなかった |
| 3 言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った) | |

問 47 あなたには、自身の健康についての相談や病気になったとき診てもらうための、かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局がありますか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-----------|------------|
| 1 かかりつけ医 | 2 かかりつけ歯科医 |
| 3 かかりつけ薬局 | 4 いずれもない |

問 48 生活習慣病予防のために行っていることはありますか。〈実践していることすべてに○〉

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 食生活に十分気を付ける | 2 積極的な運動を心がける |
| 3 休養を十分にとる | 4 気分転換・ストレス解消に努める |
| 5 たばこを吸わない | 6 お酒を飲まない(飲みすぎない) |
| 7 太らないようにする | 8 やせすぎないようにする |
| 9 その他() | 10 特にない |

問 49 あなたの考える理想体重を教えてください。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	.	<input type="text"/>	kg
----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----

問 50 あなた自身の体形についてどのようにお考えですか。〈1つに○〉

1 やせている	2 やせ気味である
3 ふつう	4 太り気味である
5 太っている	

問 51 あなたはご自分の生活習慣の改善についてどのようにお考えですか。〈1つに○〉

1 改善は必要だが、今すぐ変える必要はない
2 改善が必要だと思い、1か月以内に取り組みたいと思う
3 改善が必要だと思い、すでに取り組んでいる
4 改善が必要だと思わない
5 関心がない

問 52 サルコペニアという言葉を知っていますか。〈1つに○〉

サルコペニアとは加齢や疾患により筋肉量が低下することで、全身の筋力低下及び身体機能の低下が起こること。

1 言葉も意味も知っていた	2 言葉は知っているが意味は知らなかった
3 言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)	

問 53 フレイルという言葉を知っていますか。〈1つに○〉

フレイルとは、老化に伴う様々な機能の低下により、疾病発症や身体機能障がいに対する脆弱性が増す状態であるが、一方で適切な介入・支援により、生活機能の維持向上が可能な状態。

1 言葉も意味も知っていた	2 言葉は知っているが意味は知らなかった
3 言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)	

ご協力ありがとうございました。

この調査票を返信用封筒に入れて、返送してください。(切手不要)

健康に関する市民意識アンケート調査 2019

＜調査ご協力をお願い＞

みなさまには、日ごろから市政全般にご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本アンケート調査は、市民のみなさまの食と健康に関する意識や実態を把握するとともに、吹田市の健康増進に関する計画策定や評価、保健活動の基礎資料とし、今後の市政に活用していくために実施いたします。

ご回答いただきました内容は、個々の回答ではなく全体として集計した結果を使わせていただきますので、個人が特定されることは一切ございません。また、調査票や返信用封筒にお名前を書いていただく必要もございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、なにとぞ協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元年 11 月

吹 田 市

記入にあたってのお願い

- 1 調査票の中で「あなたは」と表現している設問は回答される保護者様ご本人のことをご記入ください。お子さんについての設問は、封筒の宛名に書かれたお子さんについてご記入ください。
- 2 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。○印は、番号を囲むように濃くつけてください。また、「1つに○」など、○の数を指定している場合がありますので、ご注意ください。
- 3 「その他」の回答を選んだ場合は、()の中へ具体的にお書きください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、お名前やご住所を記入なさらずに、同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。切手は不要です。

【ポスト投函期限】令和元年(2019年) 12月3日(火)

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

吹田市健康医療部保健センター(〒564-0072 吹田市出口町 19-2)

電話:06-6339-1212 / FAX:06-6339-7075

■ あなた(保護者の方)自身のことについてお聞きします。

問1 封筒の宛名のお子さんからみた、あなたの続柄はどれにあてはまりますか。〈1つに○〉

1 母親	2 父親
3 祖父母	4 その他()

問2 あなたの性別を教えてください。〈1つに○〉

1 男性	2 女性
------	------

問3 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。(10月1日現在でお答えください。)<1つに○〉

1 19歳以下	2 20～24歳	3 25～29歳
4 30～34歳	5 35～39歳	6 40～44歳
7 45～49歳	8 50～54歳	9 55～59歳
10 60～64歳	11 65～69歳	12 70歳以上

問4 あなたが現在お住まいの地域はどこですか。〈該当する地域1つに○〉

1 JR以南地域	寿町,中の島町,西御旅町,東御旅町,内本町,元町,朝日町,清和園町,南清和園町,川岸町,高浜町,南高浜町,昭和町,高城町,末広町,日の出町,川園町,吹東町,幸町,南正雀,目俵町,平松町
2 片山・岸部地域	西の庄町,片山町,上山手町,原町,出口町,藤が丘町,朝日が丘町,天道町,山手町,岸部南,岸部中,岸部北,芝田町、岸部新町
3 豊津・江坂・南吹田地域	泉町,金田町,南金田,南吹田,穂波町,垂水町,江坂町 1～4丁目,豊津町,江の木町,芳野町,広芝町
4 千里山・佐井寺地域	千里山霧が丘,千里山星が丘,千里山虹が丘,千里山月が丘,千里山東,千里山西,千里山松が丘,竹谷町,佐井寺南が丘,佐井寺,千里山高塚,春日,千里山竹園,円山町,五月が丘西,五月が丘南,江坂町 5丁目,五月が丘東,五月が丘北
5 山田・千里丘地域	山田東,山田西,山田南,山田北,樫切山,山田市場,尺谷,千里丘上,千里丘中,千里丘下,千里丘西,千里丘北,長野東,長野西,新芦屋上,新芦屋下,清水,青葉丘南,青葉丘北
6 千里ニュータウン・万博・阪大地域	佐竹台,高野台,津雲台,桃山台,竹見台,古江台,青山台,藤白台,上山田,千里万博公園,山田丘

問5 現在、同居している家族はどなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉

※あなたからみた続柄でお答えください。(義理関係含む)

1 配偶者(夫・妻)	2 (あなたの)父、母
3 子供(子の配偶者を含む)	4 孫(孫の配偶者を含む)
5 (あなたの)祖父、祖母	6 (あなたの)兄弟・姉妹
7 その他()	

問6 あなたの世帯全体の年間の収入は次のどれにあてはまりますか。〈1つに○〉

1 100万円未満	2 100～200万円未満	3 200～300万円未満
4 300～400万円未満	5 400～500万円未満	6 500～600万円未満
7 600～700万円未満	8 700～800万円未満	9 800～900万円未満
10 900～1,000万円未満	11 1,000万円以上	12 わからない

■ あなたの食生活等についてお聞きします。

問7 あなたは食生活でどういったことを重視していますか。〈あてはまるものすべてに○〉

1 家族や友人と食卓を囲む機会	2 食事の正しいマナーや作法
3 地域性や季節感のある食事をする	4 地場産物の購入・使用
5 食べ残しをしない、食品を捨てない	6 食品の安全性
7 できるだけ手作りの食事	8 栄養バランスのとれた食事
9 規則正しい食生活のリズム	10 多様な食品の利用
11 その他()	12 特にな

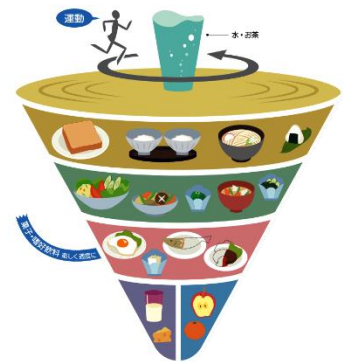
問8 あなたは、「食育」に関心がありますか。〈1つに○〉

「食育」とは、様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てることをいう。

1 関心がある	2 どちらかといえば関心がある
3 どちらかといえば関心がない	4 関心がない
5 わからない	

問9 あなたは、食事の望ましい組み合わせとおおよその量を示したコマ型のイラスト「食事バランスガイド」(右図)を見たことがありますか。〈1つに○〉

1 見たことがあり、参考にしている
2 参考にはしていないが、見たことはある
3 見たことはない



■ 喫煙状況等についてお聞きします。

問10 あなたの同居家族の中に、たばこを吸う人(喫煙者)はいますか。(あなた自身を含みます)〈1つに○〉

1 いる	2 いない(誰も吸わない)⇒問11へ
------	--------------------

【問 10 で「1 いる」と回答した人にお聞きします】

問 10-1 たばこを吸うのは、どなたですか。〈あてはまるものすべてに○〉

※あなたからみた続柄でお答えください。(義理関係含む)

1 あなた自身	2 配偶者(夫・妻)
3 (あなたの)父、母	4 (あなたの)祖父、祖母
5 (あなたの)兄弟・姉妹	6 その他()

問 10-2 ふだん、(家族の誰かが)お子さんのそばで吸うことがありますか。〈1つに○〉

1 特に気にせず、吸っている
2 気にはなっているが、吸っていることが多い
3 吸っていない(子供のそばでは吸わないようにしている)

【すべての方にお聞きします】

問 11 あなたは、「慢性閉塞性肺疾患(COPD)」^{シーオーピーディー}について知っていますか。〈1つに○〉

「COPD」とは、たばこの煙などが原因で、呼吸困難や慢性的な咳・たんが続くなど、肺機能が徐々に低下していく病気のことです。

1 言葉も意味も知っていた
2 言葉は知っていたが、意味はわからなかった
3 言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)

問 12 たばこが健康に与える影響として、以下のうち知っている事柄はありますか。

E、Fは子供が受動喫煙(他人のたばこの煙を吸わされること)した場合。
Fの乳幼児突然死症候群とは、それまで元気であった乳幼児(主に1歳未満の乳児)が睡眠中に何の前触れもなく亡くなってしまう病気のこと。

〈A~Gについて“1”か“2”に○〉	『知っていた』	『知らなかった』
A がんになりやすい	1	2
B COPD(慢性閉塞性肺疾患)になりやすい	1	2
C 生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症、心筋梗塞、脳梗塞等)になりやすい	1	2
D 歯周病になりやすい	1	2
E 子供への影響(肺炎、気管支炎、喘息、中耳炎等)	1	2
F 乳幼児突然死症候群になりやすい	1	2
G 妊娠中の胎児への影響	1	2

■ お子さんのことについてお聞きします。

※ここからは、「封筒の宛名のお子さん」についてお聞きします。

お子さんが2人以上いらっしゃる場合も、あくまで宛名のお子さんについてお答えください。

問 13 宛名のお子さんの性別と年齢を教えてください。〈①は1つに○〉

〈①性別〉

1 男性

2 女性

〈②年齢〉

満 _____ 歳 (←10月1日現在、数字でお答えください)

問 14 宛名のお子さんの現在の学年等はどれにあてはまりますか。〈1つに○〉

- | | | |
|-----------------------|----------|----------|
| 1 就学前(幼稚園や保育所に通っていない) | | |
| 2 就学前(幼稚園や保育所に通っている) | | |
| 3 小学1年生 | 4 小学2年生 | 5 小学3年生 |
| 6 小学4年生 | 7 小学5年生 | 8 小学6年生 |
| 9 中学1年生 | 10 中学2年生 | 11 中学3年生 |

■ お子さんの食事の状況についてお聞きします。

問 15 宛名のお子さんは、ふだん朝食を食べていますか。〈1つに○〉

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1 ほぼ毎日(週に6日以上)⇒問 16へ | 2 週に4~5日 |
| 3 週に2~3日 | 4 ほとんど食べない(週に1日以下) |

【問 15で、「2 週に4~5日」「3 週に2~3日」または「4 ほとんど食べない(週に1日以下)」と回答した人にお聞きします】

問 15-1 宛名のお子さんが朝食を食べない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 食べる時間がない | 2 用意はするが食べようとしな |
| 3 家族又は本人に食べる習慣がない | 4 朝食が用意されていない |
| 5 やせるため(ダイエット) | 6 その他() |
| 7 特にな | |

【すべての方にお聞きします】

問 16 宛名のお子さんはふだん、食事の前後にあいさつ(「いただきます」「ごちそうさま」)をしていますか。〈1つに○〉

- | | |
|----------|---------|
| 1 いつもする | 2 時々する |
| 3 あまりしない | 4 全くしない |

問 17 ふだん、宛名のお子さんと食事をする際、お子さんと会話をしていますか。〈1つに○〉

- | | |
|------------|-----------|
| 1 いつもしている | 2 時々している |
| 3 あまりしていない | 4 全くしていない |

問 18 宛名のお子さんは、食事の際によく噛んで(1口30回程度)食べていますか。〈1つに○〉

- | | | |
|-----------|-------------|---------|
| 1 よく噛んでいる | 2 あまり噛んでいない | 3 わからない |
|-----------|-------------|---------|

問 19 ふだん、宛名のお子さんの食事の時間は決めていますか。〈1つに○〉

- | |
|----------------------|
| 1 決めている |
| 2 特に決めていないが、だいたい同じ時間 |
| 3 決めておらず、不規則になりがち |

問 20 ふだん、宛名のお子さんは夕食をひとりで食べること(孤食)がどれくらいありますか。
※家族と異なる時間帯に食べる場合などを含みます。〈1つに○〉

- | | |
|----------------|---------------|
| 1 よくある | 2 時々ある |
| 3 あまりない⇒問 21 へ | 4 全くない⇒問 21 へ |

【問 20 で「1 よくある」または「2 時々ある」と回答した人にお聞きします】

問 20-1 夕食をひとりで食べる理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 時間帯が家族と合わない | 2 子供に塾や習い事があるから |
| 3 自分の部屋で食べるから | 4 家族がほかの用事をしているから |
| 5 その他() | 6 特にない |

【すべての方にお聞きします】

問 21 宛名のお子さんの間食(毎日の規則的な食事の間にとる補助的な食事)は、どのようなものが多いですか。〈間食としてよく食べるものすべてに○〉

- | | | |
|-----------------|-----------|----------|
| 1 牛乳 | 2 乳酸菌飲料 | 3 ジュース |
| 4 イオン飲料(スポーツ飲料) | 5 あめ、ガム | 6 スナック菓子 |
| 7 チョコレート菓子 | 8 菓子パン | 9 果物 |
| 10 その他() | 11 間食はしない | 12 わからない |

問 22 宛名のお子さんは菓子や菓子パン、ジュース等を1日何回とっていますか。〈1つに○〉

- | | | |
|------------|---------|--------|
| 1 1日3回以上 | 2 1日2回 | 3 1日1回 |
| 4 とらない(0回) | 5 わからない | |

問 23 宛名のお子さんは、食事の準備や後片付けの手伝いをしますか。〈1つに○〉

- | | |
|----------|---------|
| 1 よくする | 2 時々する |
| 3 あまりしない | 4 全くしない |

■ お子さんの日常生活の状況等についてお聞きします。

【問 24～問 25 は、宛名のお子さんが“小学生”または“中学生”という方にお聞きします。】

問 24 宛名のお子さんは、日頃から日常生活の中で1日 30 分以上の運動(体を動かすこと)をしていますか。(ただし学校の授業時間内で行っているものは除きます。)<1つに○>

- | | | |
|---------------------|----------|------------|
| 1 週2回以上 | 2 週に1回程度 | 3 月に1～2回程度 |
| 4 ほとんどしていない(月に1回未満) | | |

問 25 宛名のお子さんは、悩みや不安等を相談してきますか。<1つに○>

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 よく相談してくる | 2 時々相談してくる |
| 3 あまり相談してこない | 4 全く相談してこない |

■ お子さんの生活習慣についてお聞きします。

【すべての方にお聞きします】

問 26 宛名のお子さんのふだんの睡眠状況についてお聞きします。

(1)宛名のお子さんの起床時間は何時ごろですか。<最も多い時間帯1つに○>

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| 1 午前6時より前 | 2 午前6時台 | 3 午前7時台 |
| 4 午前8時台 | 5 午前9時以降 | |

(2)宛名のお子さんの就寝時間は何時ごろですか。<最も多い時間帯1つに○>

- | | | |
|-----------|----------|----------------|
| 1 午後8時より前 | 2 午後8時台 | 3 午後9時台 |
| 4 午後10時台 | 5 午後11時台 | 6 午後12時(午前0時)台 |
| 7 午前1時以降 | | |

問 27 ふだん、宛名のお子さんは1日どれくらいメディアを視聴しますか。<1つに○>

(※テレビ、DVD、テレビゲーム・携帯ゲーム、パソコン、携帯電話・スマートフォン等が該当します)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1 1時間未満 | 2 1～2時間 | 3 3～4時間 | 4 5時間以上 |
|---------|---------|---------|---------|

問 28 ふだん、宛名のお子さんの健康についての相談や病気になったとき診てもらうための、かかりつけ医やかかりつけ歯科医、かかりつけ薬局がありますか。<あてはまるものすべてに○>

- | | |
|-----------|------------|
| 1 かかりつけ医 | 2 かかりつけ歯科医 |
| 3 かかりつけ薬局 | 4 いずれもない |

■ その他

【すべての方にお聞きします】

問 29 「吹田版ネウボラ」という言葉を知っていますか<1つに○>

「吹田版ネウボラ」:「ネウボラ」とはフィンランド語で「相談・アドバイスの場所」を意味する。吹田市では保健センターとのびのび子育てプラザが中心となり、子育てに関わる機関が、すべての妊婦や乳幼児を育てる家庭を対象として、相談、支援を行っている。

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味はわからなかった
- 3 言葉も意味も知らなかった(今回初めて知った)

ご協力ありがとうございました。

この調査票を返信用封筒に入れて、返送してください。(切手不要)

吹田市健康に関する市民意識アンケート調査2019 結果報告書

令和2年3月

編集・発行 吹田市 健康医療部 保健センター

〒564-0072 吹田市出口町19番2号

電話 06-6339-1212 / Fax 06-6339-7075

この冊子は100部作成し、一部当たりの単価は920円です。